

ANNUAL REPORT

2008

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum

年報



目次

■平成20年度の流れ	近代美術館	3
	万代島美術館	4
■事業報告		
●展覧会	近代美術館 常設展 新収蔵品展	7
	こどもの世界	9
	彩発見！新潟の日本画	12
	にいがたの風景	14
	東海道五十三次とジャポニスム	17
	企画展 魅せます！コレクション	20
	マティスとルオー	26
	国宝との出会い	32
	西洋の美 東洋の美	37
	国立能楽堂コレクション展	41
	共催展 新潟県美術展覧会（県展）長岡展	47
	新潟県ジュニア美術展覧会長岡展	48
	友の会展	49
	万代島美術館 企画展 写真・昭和の肖像 1945～1989	50
	ポーラ美術館コレクション展	57
	佐藤哲三の時代	63
	黄金の国ジバングと佐渡金銀山展	69
	所蔵品展 相澤コレクション：そばにおきたい絵	77
	現代の美術表現—素材と技法	83
●教育普及	近代美術館 巡回ミュージアム	86
	イベント	87
	刊行物	91
	作品解説会等	92
	団体への解説	93
	学校教育との連携	93
	観覧料免除	95
	アート・ボランティア	96
	博物館実習	97
	万代島美術館 イベント（講演会、講座、他）	98
	作品解説会等	99
	学校教育との連携	100
	観覧料免除	102
	博物館実習	102
●調査・研究	研修	103
	館外活動	103
●収集・保存	作品の収集 平成20年度収集作品	105
	作品の保存・作品の修復	113
	作品の貸出	114
■管理・運営		
●開館及び入館状況	近代美術館	118
	万代島美術館	119
●講堂・ギャラリー等の貸出	近代美術館	120
●アンケート集計	近代美術館	121
	万代島美術館	123
●組織及び業務	組織及び業務	125
	職員	125
●施設	近代美術館	126
	万代島美術館	128
●審議会等	協議会	130
	収集委員会	130
	新潟県立美術館友の会	131
	自己評価・外部評価報告	132
■沿革		137

平成20年度の流れ（新潟県立近代美術館）

4月	12日(土) 企画展「魅せます！コレクション」展開会 12日(土) 常設展「新収蔵品展」開会 26日(土) 第1回美術鑑賞講座「話します！コレクションの成り立ちⅠ．西洋美術」
5月	3日(土) 第2回美術鑑賞講座「話します！コレクションの成り立ちⅡ．日本美術編」 4日(日) ワークショップ「あなたの知らない美術館」 10日(土) 第1回映画鑑賞会「お茶漬の味」 18日(日) ワークショップ「発見！びじゅつかん クイズで読み解くコレクション」 25日(日) トークショー「私にとっての美術館」
6月	7日(土) 第3回美術鑑賞講座「佐渡の人間国宝 三浦小平二～人と作品」 15日(日) 企画展「魅せます！コレクション」展閉会 19日(木) 県展「長岡展」開会 29日(日) 県展「長岡展」閉会
7月	4日(金) 企画展「マティスとルオー」開場式 5日(土) 企画展「マティスとルオー」開会 6日(日) 常設展「新収蔵品展」閉会 6日(日) ワークショップ「野外彫刻であそぼう」 8日(火) 巡回ミュージアム・関川会場 開会 10日(木) 常設展「こどもの世界」開会 12日(土) 第4回美術鑑賞講座「マティスとルオー：巨匠を支えた陰の立役者たち」 13日(日) ワークショップ「発見！びじゅつかん ルオーのピエロを探せ」 20日(日) ワークショップ「びじゅつ☆探検隊 マティスの切り絵に迫る」 21日(月) 「林家正楽 マティスに挑む！ with SATO'S BAND」 26日(土) 第5回美術鑑賞講座「ジョルジュ・ルオーの魅力ー線と色彩」 27日(日) ワークショップ「ロダンのポーズに迫る」 29日(火) 巡回ミュージアム・関川会場 作品解説
8月	2日(土) 長岡まつり ふれあい広場出店 3日(日) ミュージアム・コンサート「シャコンヌ～佐藤博志ヴァイオリン・コンサート」 9日(土) こどもアートミュージアム開会 10日(日) ワークショップ「夢が生まれる石コウタマゴ」「親子でアートⅠ ならべてつくる」 13日(水) こどもアートミュージアム開会 17日(日) ワークショップ「親子でアートⅡ ならべてつくる」 19日(火) 巡回ミュージアム・関川会場 閉会 22日(金) 巡回ミュージアム・柏崎会場 開会 24日(日) 巡回ミュージアム・柏崎会場 作品解説 31日(日) 企画展「マティスとルオー」閉会
9月	6日(土) 第6回美術鑑賞講座「長岡出身の洋画家 小山正太郎」 12日(金) 企画展「国宝との出会い」開場式 13日(土) 企画展「国宝との出会い」開会 13日(土) 講演会「京博の名宝と京文化」 14日(日) ギャラリートーク「こどもの世界」 20日(土) 講演会「妙高市関山神社の菩薩像と飛鳥仏」 28日(日) ワークショップ「国宝の秘密に迫る」

10月	4日(土) 講演会「『源氏物語』の流域―漂う女君の系譜」 9日(木) 出前授業「夢が生まれる石こうのタマゴ」 11日(土) 講演会「威奈大村骨蔵品銘文が語るもの」 11日(土) 第7回美術鑑賞講座「砂浜を描いた画家 國領経郎と柏崎」 19日(日) 企画展「国宝との出会い」閉会 19日(日) 常設展「こどもの世界」閉会 25日(土) 企画展「西洋の美 東洋の美」開会 25日(土) 常設展「彩発見！新潟の日本画」開会 26日(日) 西洋の美 東洋の美 ワークショップ「水墨画に挑戦」
11月	3日(月) 西洋の美 東洋の美 ワークショップ「アートキッパで遊ぼう」 15日(土) 第8回美術鑑賞講座「岩田正巳と新興大和絵の画家たち」 22日(土) 講演会「ふたつの美術館の物語」 23日(日) ワークショップ「日本画の印章 てん刻に挑戦」
12月	14日(日) 企画展「国宝との出会い」閉会 14日(日) ワークショップ「みんなで飾る美術館」 21日(日) ワークショップ「みんなで飾る美術館」
1月	4日(日) 「新潟県ジュニア展長岡展」開会 10日(土) 第2回映画鑑賞会「チャップリン初期傑作選『成功争ひ』ほか」 15日(木) 常設展「彩発見！新潟の日本画」閉会 15日(木) 新潟県ジュニア展「長岡展」閉会 24日(土) 企画展「国立能楽堂コレクション展」開会 24日(土) 常設展「にいがたの風景」開会 31日(土) 第3回映画鑑賞会「特集・新潟の伝統工芸」
2月	1日(日) ワークショップ「能のうごきに挑戦」 7日(土) 第4回映画鑑賞会「能と狂言シリーズ①」 8日(日) 能の実演「能楽一語・仕舞・囃子」 14日(土) 第5回映画鑑賞会「能と狂言シリーズ②」 21日(土) 第6回映画鑑賞会「能と狂言シリーズ③」
3月	1日(日) 企画展「国立能楽堂コレクション展」閉会 7日(土) 企画展「東海道五十三次とジャポニスム」開会 7日(土) 第7回映画鑑賞会「浮世絵入門」 8日(日) ワークショップ「浮世絵版画の色摺に挑戦」 14日(土) 第8回映画鑑賞会「映像の世紀 第11集 JAPAN」 21日(土) 第9回美術鑑賞講座「ジャポニスムと浮世絵版画」

平成20年度の流れ（新潟県立万代島美術館）

4月	1日(火)～ 4日(金) 5日(土) 所蔵品展「相澤コレクション：そばにおきたい絵」 開会		
5月	10日(土) 美術鑑賞講座「世界遺産をめぐる旅④中世ローマ美術散歩」 11日(日) 「相澤コレクション：そばにおきたい絵」閉会 12日(月)～ 23日(金) 24日(土) 企画展「東京都写真美術館コレクションによる 写真・昭和の肖像 1945～1989ーレンズが視た戦後の日本」開会 24日(土) 「写真・昭和の肖像 1945～1989ーレンズが視た戦後の日本」ギャラリー・トーク		
6月	21日(土) 美術鑑賞講座「昭和戦後の写真」		
7月	5日(土) 「写真・昭和の肖像 1945～1989ーレンズが視た戦後の日本」美術講演会「『昭和』を視るー戦後写真の軌跡」 19日(土) 美術鑑賞講座「日本画家の生涯と作品①小林古径」 27日(日) 「写真・昭和の肖像 1945～1989ーレンズが視た戦後の日本」閉会 28日(月)～ 31日(木)		
8月	1日(金)～ 8日(金) 8日(金) 企画展「ポーラ美術館コレクション展 モネ、ルノワールからマティス、ピカソまで」開場式 9日(土) 「ポーラ美術館コレクション展」開会 23日(土) 美術鑑賞講座「印象派の誕生と近代絵画」		
9月	28日(日) 「ポーラ美術館コレクション展」美術講演会「フランス近代美術の歓びーポーラ美術館コレクション展から」		
10月	5日(日) 「ポーラ美術館コレクション展」閉会 6日(月)～ 10日(金) 10日(金) 企画展「佐藤哲三の時代」開場式 11日(土) 「佐藤哲三の時代」開会 11日(土) 「佐藤哲三の時代」美術講演会「父・佐藤哲三を語る」 18日(土) 「佐藤哲三の時代」連続講座「佐藤哲三の肖像」第1回「新進画家誕生 国画会デビュー」		
11月		2日(日) 「佐藤哲三の時代」ミュージアム・コンサート 早房あかね 8日(土) 「佐藤哲三の時代」連続講座「佐藤哲三の肖像」第2回「内なる風景の発見 郷土の画家へ」 22日(土) 「佐藤哲三の時代」連続講座「佐藤哲三の肖像」第3回「戦後の足取り 44歳の早すぎる死まで」 29日(土) 「佐藤哲三の時代」美術鑑賞講座「美術のすがた③ー近代の歴史画と絵画館」	
12月		14日(日) 「佐藤哲三の時代」閉会 15日(月)～ 22日(月) 23日(火) 所蔵品展「現代の美術表現ー素材と技法」開会 28日(日)～ 31日(水)	
1月		1日(木)～ 3日(土) 17日(土) 美術鑑賞講座「現代の日本画ー「横の会」を中心に」 29日(木) 「現代の美術表現ー素材と技法」閉会 30日(金)・ 31日(土)	
2月		1日(日)～ 20日(金) 20日(金) 企画展「金GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展」開場式 21日(土) 「金GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展」開会 28日(土) 美術鑑賞講座「現代美術とアメリカ映画」	
3月		1日(日) 「金GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展」美術鑑賞講座「黄金の国ジパングー日本の自然金と金利用の歴史」 14日(土) 美術鑑賞講座「ビザンティン美術における「金」」 20日(金) 「金GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展」シンポジウム「佐渡金銀山遺跡を世界遺産に」 28日(土) 「金GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展」美術鑑賞講座「描き継がれた佐渡金銀山絵巻」	

事業報告



常 設 展



【趣 旨】

当館の所蔵品による展示。従来は3つある展示室の特徴を生かした分野別の展示が多かったが、平成20年度からはこれにとられず、一つのテーマに基づき所蔵品を多彩に構成する形をとるようになった。また、併せて遠来の来館者にも応えられるように当館の名品を展示する場も設けた。

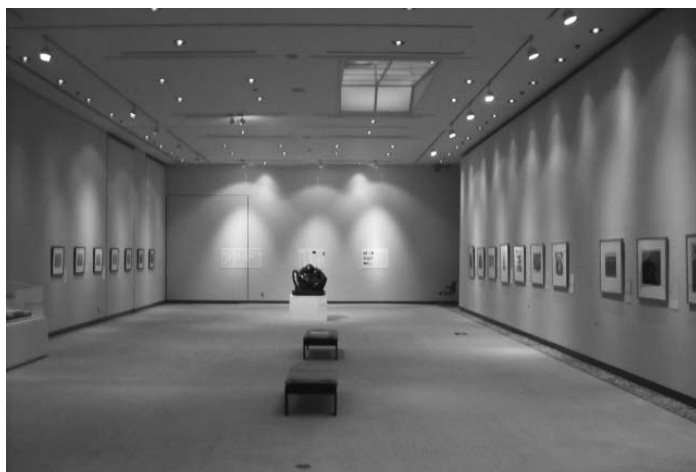
【観覧料】

一 般……………410円 (330円)
大学・高校生……………200円 (160円)
中学・小学生……………100円 (80円)

※土・日祝日は小・中学生無料

※ () 内は20名以上の団体料金

※企画展観覧券で観覧可





新収蔵品展 ～平成18・19年度収集作品による～ 2007年4月12日(土)～7月6日(日) (78日)

前期：4月12日(土)～5月25日(日) 後期：5月27日(火)～7月6日(日)

【趣 旨】

平成18年度・19年度に収集した新収蔵作品を一堂に会して紹介した。

新潟県では、この2年間に、39件280点の作品を多くの人たちの寄贈により新しく収集することができた。本展ではその中から、約100点を展示した。

この2年間の新収蔵作品には、新潟県にゆかりの深い作家・作品が多く、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定され2005年逝去した三浦小平二や、戦後の日本画壇を代表する日本画家横山操のほか、地元長岡で活動が続けた竹内蘆風、夭折の工芸家柴田武次など、今まであまり知られていなかった作家の作品も何点が収蔵された。特に三浦小平二については、まとまった点数を収集できたため、展示室3を使って小特集を組むことができた。

本展では、その他新しく収蔵された作品に加えて、様々な分野や時代に活躍した作家たちの作品も併せて紹介した。

【総 括】

- 横山操の小品、松永真の亀倉雄策賞受賞作品、三浦小平二の陶磁器作品など、まとまった点数で収集された作品が何種類かあったため、関連する既存作品と組み合わせながら、まとまった内容を紹介することができた。特に、重要無形文化財保持者に認定された三浦小平二の作品は、初期の作品から制作転機となった焼き締め、人間国宝に認定されてからの青磁まで、小平二の仕事を通観できる展示となった。
- 寄贈作品が多くなっている為か、地元長岡で活躍した竹内蘆風など県出身、ゆかりの作家の作

品も多くなっており、古い時代から現代まで、様々な地元作家を紹介することができた。

- 展覧会全体の印象が地味であり、地元作家の作品に焦点を当ててマスコミに紹介する試みも行ったが、今ひとつ注目を集めることができなかった。

【関連行事】

- ・講座
第3回美術鑑賞講座 地域の美術シリーズ
佐渡の人間国宝 三浦小平二～人と作品～
6月7日(土)午後2時～ 当館講堂にて
講 師：宮下東子(当館主任学芸員)
参加者数：43名

担当 宮下東子、立川厚生

【出品リスト】

展示室1・2・3 新収蔵品展

【全会期】

小林古径	* 生果	
安田靫彦	* 不盡山	c1960
柴田武次	* 鍛銀花瓶	1937
	* 鍛鉄銀象嵌波濤文香炉	昭和10年代
	* 錫打込魚文花瓶	1941
宮田脩平	* トルソ	1975
宮田脩平	* ブローチ 机、椅子	1975
横山 操	** 燈台	1959
	** 炎炎桜島	c1959
	** 月嶺	1959
	** 雲れる丘	c1959
	** 波濤	1960
	** 流星	1960
	** 湖映	1960
	** 富士	c1960
	** ふるさと	1966
	** 春近し	1969
長谷部権次呂	* 女子警防団	1943
長谷部権次呂	* 河岸の家	2002
佐々木象堂	* 鍍銀鼎式香炉	1950
亀倉蒲舟	** 黄銅鸞文飾箱	1937
亀倉康之	** 枯野	1978
亀倉蒲舟	** 門	1975

【前期】

瀧 和亭	** 着色牡丹孔雀之図	1857
長谷川嵐溪	溪山重翠	1846
竹内蘆風	** 春江待渡之図	1928
竹内蘆風	武陵桃源之図	1928
横尾深林人	** 鶴	不明
良 寛	** 白雲抱幽石	不明
會津ハ一	** 江山清趣	1950年代
會津ハ一	和歌（かきわかば）	c1952

【後期】

亀倉蒲舟	** 黄鶴詩抄	1980
亀倉康之	** 日本海	1993
三浦小平二	** トルコにて 水汲み	1989
三浦小平二	** イエメンにて ジャンビアの踊り	1989
尾竹国観	* 騎兵図	明治後期
竹内蘆風	** 極彩色孔雀之図	1926
上野泰郎	* もろびと	1975
上野泰郎	* 佳きおとづれ	1992
荒谷直之介	** 婦人像	1940
藤田熊雄	* 狩人（またぎ）	c1960
藤田熊雄	* とむらい	1959
大矢 紀	** 北岬	1976
	** 煌	2005
	** 清韻	1994
小島丹彦	河口暮色	1956
	* 河口暮色小下絵	1956
	待つ	1965
	* 待つ小下絵	1965
** 雪の駅路小下絵		1954
* 白炎浄土小下絵		1975
* 手当小下絵		1972
* 妓帰る小下絵		1966
* 河口小下絵		1957
* 帰樵小下絵		1975
見学		1969
** 見学スケッチ		1969
* 夕照小下絵		1980
* 月と花小下絵		1984
** 月と花スケッチ		1984
* 作品小下絵		不明

岡本太郎
佐藤哲三

* 顔		1965
** 越後の晩秋（鴻沼村を望む）		1935
越後の秋		1937
残雪		1952
風景		c1953
帰路		1954
** ISSIMBOW グラフィックアートG		2006
** ISSIMBOW グラフィックアートC		2006
** ISSIMBOW グラフィックアートA		2006
** ISSIMBOW グラフィックアートE		2006
** ISSIMBOW グラフィックアートF		2006
** ISSIMBOW ロゴポスターA		2007
** ISSIMBOW キービジュアルA		2005
** ISSIMBOW キービジュアルB		2005
** ISSIMBOW グラフィックアートD		2006
** ISSIMBOW グラフィックアートB		2006
** ISSIMBOW グラフィックアートH		2006
** ISSIMBOW グラフィックアートI		2006
** ISSIMBOW カレンダー2007		2007
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Healthy life [健]		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Healthy life [健]		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Healthy life [健]		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Beautiful life [美]		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Beautiful life [美]		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Beautiful life [美]		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Lively life [活]		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Lively life [活]		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Lively life [活]		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Assort		2006
** ISSIMBOW"Katachi-koh"Assort		2006

展示室3 小特集：人間国宝三浦小平二の仕事

【全会期】

三浦小平二	** 染付釉裏紅「船窓」	1967
	** 鉄絵土瓶・汲出「D51」	1967
	** 鈞窯花瓶	1973
	** 焼きしめマサイ文カップ	1970
	** 焼きしめマサイ文皿	1970
	** 焼きしめ花瓶「マサイ」	1970
	** 釉裏紅大皿「魚文」	1975
	青磁絵皿シルクロード	1978
** 青磁豆色彩 茶入れ 中国舞姫文		1987
** 青磁花瓶「バオバブの木」		1991
** 青磁蓋物「ラジャスタン文」		1991
** 青磁茜豆彩大皿「ラジャスタン」		2003
** 青磁飾り壺「シルクロード」		2003
** イエメンにて 仲よし		2006
** カメルーンにて 大地の少年		2006
** アフガニスタンにて ヘラートへの道		2006

その他の館内展示

【全会期】

原 正樹	プラスのトルソー	1988
市橋敏雄	桃源の夢	1976
原 益夫	エンドレス	1997
山脇敏雄	和韻	1932
細野稔人	鳥と少女	1976
林 昭三	おと	1989

* は平成18年度新収蔵作品
** は平成19年度新収蔵作品
※ は寄託作品



こどもの世界 ～遊びにおいでよ、美術館へ～ 2008年7月10日(木)～10月19日(日) (100日間) 前期：7月10日(木)～8月31日(日) 後期：9月2日(火)～10月19日(日)

【趣 旨】

美術館をもっと親しみのあるものにしたい、そして夏休みの子どもたちにもっと美術館へ足を運んでもらいたい。この願いのもとに、所蔵品の中から子どもを題材にしたりモチーフにしたりした日本画・洋画・版画・彫刻・写真等の作品約50点、また、こどもの目線で見えて驚き、発見のある作品約50点をもって構成した。

本展では、第1章「こどもの情景－こどものいる風景」、第2章「大好き、驚き・不思議・発見」、第3章「西洋の名品」とし、子どもを中心として「みる楽しみ、ふれる楽しみ」をテーマに見方・考え方を広げ、気軽に作品を楽しむとともに、作品の成り立ちやメッセージを読み解くことができるようにした。

なお、第2展示室の一角に体験コーナー「こどもワークスペース」を特設した。美術館で鑑賞して得た思いや気持ちをもとに、簡単に表現したり追体験したりできる体験コーナーを用意した。アートパズルやマイ・スケッチや積み木造形等、思いついた形やアイデアを試してみたり、作者の思いや願いを追体験したりできるコーナーであり、仲間同士、親子で、家族で語り合いながら鑑賞を楽しめるようにした。



【総 括】

あらためてこどもの愛らしい姿やふとした表情を伝える作品、いつかどこかで見た昔なつかしいこどもの姿、母子像や家族の中のこども、社会の中のこども等に焦点を当てた展示ができた。また、驚きのきっかけとなる自然のもつ厳しさ・力強さ・やさしさを伝える作品、目の前にあるものをそのまま描くのではなく空想や物語を感じさせる作品、形や色、線等造形要素だけで表現された不思議さや発見のある作品、西洋の名品といわれる見慣れた作品でも時代によって見方・考え方を広げた作品を紹介できた。

●評価すべき点

- ・構成を工夫することで、大人もこどもも親しみをもって観覧できた。
- ・展示室内に、ワークボックスと称する8個の展示収納ボックスによる体験コーナーを特設し鑑賞と表現の一体的な場として、大人もこどもも気軽に簡単な表現を試したり、造形物に触れたりし、リラックスして鑑賞できた。

●検討課題

- ・表現の場の机や椅子を設置し、床での制作も許容したため、ものが整理されない面や企画を盛り込みすぎ、やや散漫になった面もあった。
- ・会期中の一時期、合わせて2階ギャラリーにおいて「こどもアート・ミュージアム」も開催したが、夏休み中のこどもの美術館利用の促進という面からの、今後の継続と広報の工夫が必要である。



【関連行事】

・ワークショップ

びじゅつ☆体験隊「親子でアートⅠ」

8月10日(日)午後2時～

講 師：長谷川重雄（学芸課長）
「夢が生まれる石コウのタマゴ」

参加者数：82名

講 師：池上秀敏（学芸課長代理）

「ならべてつくる」

参加者数：47名

びじゅつ☆体験隊「親子でアートⅡ」

8月17日(日)午後2時～

講 師：池上秀敏（学芸課長代理）

「ならべてつくる」

参加者数：35名

発見!びじゅつかん「ギャラリートーク／こどもの世界」

9月14日(日)午後2時～

担 当：池上秀敏（学芸課長代理）

参加者数：8名

こどもアート・ミュージアム（2階ギャラリー）

8月9日(土)～8月13日(水)

参加者数：17展示・企画、208名

・作品解説会

毎週土曜日午前11時～

【関連記事】

・新聞

7月16日(水) 新潟日報

「芸術 遊んで親しもう 長岡 近代美術館『こどもの世界』展」

8月27日(水)長岡よみうり

「魚だ」「ロボットだ」トレーで作る芸術親子でアート 近代美術館アートボランティア

・雑誌

女性誌 VERY8月号

体感するアートを厳選

見て触れて、親子で楽しいミュージアムガイド

担当 池上秀敏 濱田真由美

【出品リスト】

展示室1 第1章 こどもの情景

【全会期】		
数内佐斗司	走る童子	1996
石山恵美子	門の組曲	1993
岩田正巳	母と子	不明
加山又造	白菜と小鳥	1957
小島丹彦	待つ	1946
三輪晃勢	草の上	1947
長谷部権次郎	遊	1991
鶴巻三郎	春の日のマリア	1980
土田麦僊	春（子供）	1920
鶴巻三郎	おり鶴	1972
牧野虎雄	秋近き濱	1934
安宅帋雄	子守と幼児	1935
安宅帋雄	鸚鵡と少女	1936
安宅安五郎	姉弟	1931
阿部展也	太郎	1949
桑原 実	断絶の子ら	1969
桑原 実	生への祈り	1973
中澤 茂	老婆の高笑い	1968
海老原喜之助	市場	1937
佐善 明	ボブの教え子	1988

【前 期】		
番場春雄	雪に遊ぶ	1935
竹内栖鳳	睡郷	1930
小山正太郎	牧童図	不明
奥村土牛	少女図	1926
F・J・ゴヤ	ほら、お化けが来るよ	1799
F・E・ヴァロットン	下着姿の女の子ふたり	1893
F・E・ヴァロットン	下着を脱ぐ女の子	1893
濱谷 浩	雪季市	1940
濱谷 浩	歌ってゆく鳥追い	1940
牛腸茂雄	SELF AND OTHERS 115	1977
牛腸茂雄	SELF AND OTHERS 119	1977
牛腸茂雄	SELF AND OTHERS 157	1977
三芳悌吉	時の止まった赤ん坊	1983

【後 期】		
下村観山	入日	1915
小杉未醒	風神雷神図	1917
尾竹越堂	浜辺図	明治後期
三浦文治	浜	1973
F・J・ゴヤ	水瓶を壊したばかりに	1799
F・E・ヴァロットン	子供のいる浴女	1893
F・E・ヴァロットン	白鳥と浴女	1893
濱谷 浩	サイノカミの火の打ち合い	1940
濱谷 浩	ホンヤラ洞へゆく子供たち	1956
牛腸茂雄	SELF AND OTHERS 151	1977
牛腸茂雄	SELF AND OTHERS 132	1977
牛腸茂雄	SELF AND OTHERS 158	1977
三芳悌吉	時の止まった赤ん坊	1983

第2展示室 第2章 大好き、驚き・不思議・発見

【全会期】		
佐善 明	ボブの教え子	1988
穂刈春雄	大河渡る	2002
村山 径	風紋	1960
金井二郎	海の詩	2002
三輪晃勢	瀟	1964
脇田 和	鳥を呼ぶ人	1958
栢森琢也	生動	1976
木村忠太	桜樹のある村	1984
猪熊弦一郎	犬とネクタイ	1991
猪爪彦一	風景	1990
畠中光亨	散華Ⅳ	1996

篠原有司男	スパイダーマン	1981
岡本太郎	顔	1965
木下 晋	101年の胎動	2001
富岡惣一郎	雪国	1971
富岡惣一郎	山並み	1971
李 禹煥	線より	1976
竹谷富士雄	シノンの町の屋根	1971
高橋 秀	ピンクの中の思考	1971
高井貞二	MIDORI TONUZU	1965
村井正誠	ものうり	1958
斎藤義重	作品Ⅰ	1957
白髪一雄	志賀#107	1973

【前 期】		
K・ヘリング	花Ⅰ	1990

【後 期】		
K・ヘリング	花Ⅴ	1990

展示室3 第3章 西洋の名品

T・ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	1845頃
C・トロワイヨン	りんごの取り入れ	1840頃
A・ブーシェ	朝顔	1896頃
G・クールベ	エトルタ海岸、夕日	1819~77
A・フォンタネージ	ブジェイ高原	1858~60
C・F・ドービニー	オワーズ河、イル・ド・ヴォーの夜明け	1869
C・モネ	コロンプの平原、霜	1873
M・ドニ	夕映えの中のマルト	1892
フンデルトワッサー	日本で描いた最初の渦巻#471	1961
M・エルンスト	鳥=人頭	1934~1935
B・ニコルソン	1946 (painting)	1946
F・ボテロ	頭像	1989
P・ピカソ	テーブルの上のギターと楽譜	1920
L・フォンタナ	空間概念 期待	1962
M・マリーニ	騎手のための構想・習作	1955
M・マリーニ	騎手	1950

【前 期】		
E・ベルナル	青い肩かけのブルターニュ婦人	1887
E・ベルナル	サン・ブリアクの収穫	1887
E・ベルナル	レゼビアンサン・ブリアクの小湾	1888
E・ベルナル	ラヴァン川の大きな赤い帆	1889
H・M・ベヒシュタイン	或る村 表題：或る村	1918~1919
H・M・ベヒシュタイン	或る村 1. 朝	1918~1919
H・M・ベヒシュタイン	或る村 2. 昼	1918~1919

【後 期】		
E・ベルナル	帽子を被って座るボン=タヴァンの二人の婦人	1888
E・ベルナル	川を渡る船上の四人の人物	1889
E・ベルナル	ブルターニュの谷間の風景	不明
E・ベルナル	ボン=タヴァンのぼら色の道	1892
H・M・ベヒシュタイン	或る村 3. 夕暮れ	1918~1919
H・M・ベヒシュタイン	或る村 4. 農家	1918~1919
H・M・ベヒシュタイン	或る村 5. 村の通り	1918~1919
H・M・ベヒシュタイン	或る村 6. 村の入口	1918~1919

その他の館内展示

明日川孝	母と子	1954
前田常作	人間波動粒子・日輪	1970~1972
八木一夫	真珠取りの少女	1969
細野稔人	鳥と少女	1967
宮崎 進	ナナエツの少女	1996
木津一夫	未来への遺産Ⅱ	1987



彩発見！新潟の日本画

【趣 旨】

当館では収集方針の柱のひとつとして「新潟の美術」を掲げ、新潟出身作家の作品コレクションを継続的に形成してきている。新潟に生まれた日本画家としては、小林古径、土田麦僊、横山操の三人がもっとも取り上げられる頻度が高いが、それ以外にも初期文展で活躍した尾竹三兄弟、新興大和絵の岩田正巳、京都画壇の三輪晃勢など、数多くの名前を挙げることができる。本展ではその多彩な魅力を所蔵品によって再発見してもらうとともに、それらの画家を通して、日本画全般への視野も広げてもらうことを目的とした。展示は、時代順に1. 日本画の繚乱（明治～昭和戦前期）、2. 「日本画滅亡論」以後（昭和戦後期）、3. 今日の表現（現役の作家たち）の3部から構成し、展示数は約60点。展示室3に名品展示「木立ちのある名品たち」を併設した。

【総 括】

県人作家による日本画作品をまとめて紹介することによって、新潟の美術がもつ独自性や価値を発信し、「新潟の美術」を収集方針とする当館活動の意義を提示することができた。

●評価すべき点

広く来場者にとってわかりやすい内容となるよう工夫できたのは解説キャプションである。ほとんどの作品に解説を附したが、画題解説のみならず作家の所属した団体や作品に使われている技法やジャンル（たとえば「胡粉と岩絵具」「花鳥画」など）についても説明し、個々の作品を通して、日本画の基礎知識を身につけられるようにした。会期中に関連する内容の美術鑑賞講座を設定できたことも、来館者の興味関心を深めてもらうため

に有効であった。また、名品展示の内容をあえて今回のテーマとはかかわりのない西洋美術・日本洋画にすることで、当館コレクションの幅広さを示すことができた。

●検討課題

当館では網羅的に県人作家を収集してきてはいるものの、所蔵品だけでは紹介しきれない作家がいることも事実である。その部分をカバーするためにパネル等での紹介ができればさらによかった。

【開催日・その他】

＝2008年10月25日(土)～2009年1月15日(休)
(70日)＝

前 期：～2月15日

後 期：2月17日～

主 催：新潟県立近代美術館

観覧料：一般……………420円（340円）

大学・高校生……………200円（160円）

※中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

【関連行事】

・美術鑑賞講座

「日本画家 岩田正巳と新興大和絵の画家たち」

11月15日(土)14時～ 講堂

講師：長嶋圭哉（当館主任学芸員）

参加者数：34名

・作品解説会

会期中の土曜日午前11時～

担当 長嶋圭哉、宮下東子

【出品リスト】

展示室1 第1章 日本画の繚乱(明治～昭和戦前期)

【前期】		
三輪晃勢	海女	1937
小林古径	飛鴨	1930
	紫苑	1933
土田麦僊	鮭之図	1924
	春宵舞妓図	1923
	牽牛花	1935
恩田耕作	佐渡海府風景	1926
尾竹越堂	渡し	大正初期
尾竹国観	巴	1930
尾竹竹坡	梧桐	1911
岩田正巳	春日垂迹下絵	1927
	春日垂迹	1927
広川操一	習志野の朝	1939
長谷部権次郎	女子警防団	1943
石塚仙堂	鷹	不明
【後期】		
佐々木林風	柳におしどり	不明
小林古径	雨	1917
	文珠	1931
竹内蘆風	武陵桃源之図	1928
岩淵芳華	理科室	1940
三輪晃勢	鶴	不明
土田麦僊	山茶花	1933
	宇治白川村	1915
	惜春	1915
	郊外	1915
	筏	1915
恩田耕作	風島弁天の景	1930
尾竹竹坡	大地円	1925
津端道彦	うたげの装	1911
岩田正巳	浜名を渡る源九郎義経	1936
広川操一	阿仏尼	1940
三浦文治	佐渡のイカ干し	1938
【全会期】		
三浦文治	越前国勝山町左義長祭り	不明
桐谷洗鱗	釈尊一代記	1915
山本日炉	鍔銅鷹香炉	1940
佐々木象堂	鍔銅色絵鬚哥置物	1940

展示室2 第2章 「日本画滅亡論」以後(昭和戦後期)

【全会期】		
三輪晃勢	アダテオ	1949
	街	1951
岩田正巳	花さす人	1950
長井亮之	見学	1969
横尾深林人	伊豆の山にて	1955
白倉嘉入	比叡山	1962
中島萬木	待春	1967
大矢黄鶴	はつなつの譜	1965
藤田熊雄	狩人(またぎ)	c1960
小島丹濤	河口暮色	1956
番場春雄	大雪嶺	1969
小林大幾	伊豆の七瀬	1976
村山 径	残雪の高原	1958
横山 操	朔原	1959
	炎々桜島	1956
	高速四号線	1964
	満月潮	1968

展示室2 第3章 今日の表現(現役の作家たち)

【全会期】		
三輪晃久	おおぞら	1979
山崎隆夫	茄子	1990
川合清	秋	1983
大矢紀	北に花咲く	1973
柴田長俊	やわらかき夜	1990
橋本龍美	風之唄	1981
長谷部権次郎	遊	1991
穂刈春雄	大河渡る	2002
金井二郎	海の詩	2002
宮田宏平	蠟型鍔金・終りのない物語「恋秤」	1983
五代伊藤赤水	無名異壺	1988
三浦小平二	青磁蓋物「ラジャスタン文」	1991

展示室3 併設「木立ちのある名品たち」

【全会期】		
A・ブーシェ	朝顔	c1892
C・トロワイヨン	りんごの取り入れ	c1840
T・ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	c1845
C・モネ	コロンプの平原、霜	1873
P・セザンヌ	水浴(寄託作品)	1875-77
M・ドニ	夕映えの中のマルト	1892
P・E・ランソン	収穫する7人の女性	1895
小山正太郎	仙台の桜	1881
高村真夫	春日野	1911
萬鉄五郎	木の間風景	1918
鳥海青児	北海道風景	1943
村田茂樹	道二題	1991
市橋敏雄	朱銅花器・森の詩	1982
東山魁夷	森の静寂	1964
【前期】		
渡辺義雄	伊勢神宮：内宮敷地全景	1962
渡辺義雄	伊勢神宮：内宮古殿地の心の御柱覆屋	1962
渡辺義雄	伊勢神宮：内宮遷宮直後の新旧並存の景	1973
渡辺義雄	伊勢神宮：内宮御正殿全景(北西側)	1962
渡辺義雄	伊勢神宮：内宮宇治橋	1962
【後期】		
M・クリンガー	オヴィディウス『変身譚』の犠牲者たちの救済	1879

その他の館内展示

【全会期】		
北村四海	すみれ	c1920
前田常作	人間風景 No.13	1960
本間琢斎	蠟型鍔銅花鳥文花瓶	1900
原直樹	鍔銅花壺・銘花苑	1954
伊藤豊	鍔銅花器・杵	1971
A・ロダン	考える人	1880
K・コルヴィッツ	母と二人の子	c1932-36
金子直裕	裸婦(木陰)	1976



にいがたの風景

【趣 旨】

当館所蔵作品の中から、県内各地の風景を取り上げた日本画・洋画・水彩・写真など様々なジャンルの所蔵品約70点をテーマごとに紹介する試み。

これまで県ゆかりの作家を紹介する機会はたびたびあったが、表現対象として新潟を描いた作品をまとめて紹介することはほとんどなかった。本展は、「野山と人々の暮らし」「水のある風景」「雪の譜」という3つのテーマで構成され、取材地等についての解説や写真とともに地理的分布に沿って展示した。

美術館で〈にいがた〉巡りができるという今回の企画は、県内のこれまでに知らなかった土地や、知っている場所の新たな魅力を再発見する絶好の機会となったであろう。また、各作家が新潟という場所をいかに描いたかを比較しながら鑑賞することで、表現方法の違いを楽しむことができたに違いない。

第3展示室では、「日本近代洋画の名品～大光コレクションより～」と題して、当館所蔵の日本近代洋画の代表作を展示した。

【総 括】

●評価すべき点

- すべての展示作品に解説をつけたことに加え、今回は作品に描かれている取材地についての解説と写真も添えた。このことによって、現地を知る人には昔と今の風景の違いを感じてもらい、また県外の方には美術館で新潟各地を巡るような体験ができたのではない。
- アンケートでも、県内の風景をまとめてみられた今回のテーマ展は見応えがあったと評価された。
- 風景というどうしても絵画作品ばかりになりがちだが、工芸や彫刻などにみられる新潟らしいモチーフやテーマの作品を加えることで、壁面だけを使用した単調な展示にならないよう心がけた。



●検討課題

- 取材地の写真をすべての作品につけられなかったこと、また写真が小さくてみえにくかったことが今後の改善点である。また、映像などを加えることで、展覧会に活気を与えることも考えていきたい。
- モチーフとなった土地と作家の関連性については解説で多少触れたが、さらに掘り下げて紹介することが、作品と作家を理解する上で必要であると感じた。

【開催日・その他】

会 期：平成21年1月24日(土)～4月19日(日)
(開催日数79日間)

主 催：新潟県立近代美術館

観覧料：一般……………420円(340円)

大学・高校生……………200円(160円)

中学・小学生……………無料

※()内は20名以上の団体料金

【関連行事】

学芸員による作品解説会 毎週土曜日午前11時～

【関連記事】

●新聞

2009年1月23日(金) 読売新聞

「昔と今 移り変わり紹介」

2009年1月30日(金) 朝日新聞

「懐かしい新潟各地の風景画展」

●テレビ

2009年2月9日(月)、10日(火)、12日(水)、13日(木) NHK「18時のニュース」

2009年3月21日(土) UX21「まるどり」

担当 濱田真由美、池上秀敏

【出品リスト】

展示室１・２ にいがたの風景

第１部 水のある風景

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
川端龍子	夕茜（越後出雲崎展望）	1953	絹本彩色	
横山 操	親不知夜雨	1970	紙本彩色	
伊藤 豊	陶板画・雪山松籙	1973	陶器	
番場春雄	雪に遊ぶ	1935	紙本彩色	前期
行田魁庵	鶯の囀	江戸末期	紙本彩色	後期
西脇順三郎	万代橋風景	1941	紙本彩色	
長井亮之	砂丘	1936	絹本彩色	
恩田耕作	佐渡海府風景	1926	紙本彩色	前期
恩田耕作	風島弁天の景	1930	紙本彩色	後期
諸橋政範	潮風	1937	油彩、キャンバス	
三浦文治	佐渡のイカ干し	1938	紙本彩色	
小林大幾	佐渡の舟庫	1970	紙本彩色	
富川潤一	浜焼き	1960	油彩、キャンバス	
関屋俊彦	いか釣りの船	1990	油彩、キャンバス	
山崎隆夫	砂丘晩夏	1985	紙本彩色	
小島丹彦	河口暮色	1956	紙本彩色	
猪爪彦一	河	1990	油彩、キャンバス	
石井柏亭	鳥屋野湯冬景色	1955	水彩、墨、紙	前期
五十嵐二郎	越後海景	1986	水彩、キャンバス	後期
堺 時雄	異人池（新潟カトリック教会付近）	1922-26	モノクローム・プリント	前期
堺 時雄	新潟砂丘	1936-41	モノクローム・プリント	後期
長谷部権次呂	河岸の家	2002	紙本彩色	
國領經郎	遠い海	1987	油彩、キャンバス	
鳥越 憂	機械船	1962	油彩、キャンバス	
三浦文治	浜	1973	紙本彩色	
目黒順三郎	彫漆水葵文箱	1989	漆	
小川英鳳	銀製・波・花瓶	1969	銀	
亀倉蒲舟	列	1965	銅	
松本楓湖	信濃川洪水図	1897	絹本彩色	前期
寺崎広業	信濃川洪水図 其の二	1897	絹本彩色	前期
川端玉章	信濃川洪水図 其の参	1897	絹本彩色	前期
久保田米僊	信濃川洪水図 其の四	1897	絹本彩色	前期
川崎千虎	信濃川洪水図 其の六	1897	絹本彩色	前期
邨田丹陵	信濃川洪水図 其の八	1897	絹本彩色	前期
松本楓湖	信濃川洪水図	1897	絹本彩色	後期
久保田米僊	信濃川洪水図 其の五	1897	絹本彩色	後期
川崎千虎	信濃川洪水図 其の七	1897	絹本彩色	後期
邨田丹陵	信濃川洪水図 其の九	1987	絹本彩色	後期
寺崎広業	信濃川洪水図 其の十	1897	絹本彩色	後期
川端玉章	信濃川洪水図 其の十二	1897	絹本彩色	後期

第２部 野山と人々の暮らし

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
吉田醇一郎	小硯箱	1944	漆工	
西村 満	黎明	1991	油彩、キャンバス	
矢部友衛	泉・農民百態39 蒲原で	1951	油彩、キャンバス	
布川勝三	蒲原風景	1976	油彩、キャンバス	
佐藤哲三	越後の秋	1937	油彩、キャンバス	
佐藤哲三	農村託児所	1934	油彩、キャンバス	
池山阿有	炉ばた	1993	油彩、キャンバス	2/2-5は展示無し
三芳悌吉	浜木綿と仮面	1970	アクリル絵具、キャンバス	2/2-5のみ展示
横山 操	秋	1963	紙本彩色	
早津 剛	小出の家（中魚沼郡中里村小出にて）	1979	油彩、キャンバス	2/2-5は展示無し
田代修一	雪の妙高山	1979	油彩、キャンバス	2/2-5のみ展示
長谷部権次呂	女子警防団	1943	紙本彩色	
中島萬木	奥三面の山の嶺	1971	紙本彩色	前期
中島萬木	長岡悠久山の松林	1971	紙本彩色	後期
小野 末	高原（妙高）	1947	油彩、キャンバス	
横尾 茂	春、肌さむき頃	1977	油彩、キャンバス	
柴田長俊	やわらかき夜	1990	紙本彩色	
三浦小平	獅子舞大花瓶	1954	陶器	

第3部 雪 の 譜

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
富岡惣一郎	作品	1962	油彩、キャンバス	
横山 操	雪峽	1963	紙本彩色	
麻田鷹司	雪景色	1975頃	紙本彩色	
川合 清	白粧	1983	紙本彩色	
香場春雄	残雪の椿園	1972	紙本彩色	
齋藤三郎	色絵唐草窓絵椿模様大壺	1977	陶器	
岩下尊弘	地吹雪	1997	油彩、キャンバス	
鳥越 憂	雪の季節	1972	油彩、キャンバス	
倉石 隆	街裏	1959-63	油彩、キャンバス	
栢森 義	織女の家路	1971	油彩、板	
濱谷 浩	雪国：歌ってゆく鳥追い	1940	モノクローム・プリント	前期
濱谷 浩	雪国：サイノカミの火の打ち合い	1940	モノクローム・プリント	後期
濱谷 浩	雪国：雁木下をゆく醫女	1956	モノクローム・プリント	前期
濱谷 浩	雪国：ホンヤラ洞にゆく子供たち	1956	モノクローム・プリント	後期
濱谷 浩	裏日本：雪解露	1955	モノクローム・プリント	前期
濱谷 浩	裏日本：佐渡の雨	1955	モノクローム・プリント	後期
濱谷 浩	裏日本：雲と波と雪と家	1955	モノクローム・プリント	前期
濱谷 浩	裏日本：越後の女	1955	モノクローム・プリント	後期
濱谷 浩	裏日本：骨休み	1955	モノクローム・プリント	前期
濱谷 浩	裏日本：餅つくり	1956	モノクローム・プリント	後期
濱谷 浩	裏日本：雪季市	1956	モノクローム・プリント	前期
濱谷 浩	裏日本：雁木	1956	モノクローム・プリント	後期
亀倉雄策	苗場スキー場	1968	オフセット印刷	
亀倉雄策	苗場スキー場	1971	オフセット印刷	
亀倉雄策	苗場スキー場	1976	オフセット印刷	
明田川孝	越後の乳くぼり	1938	ブロンズ	
安宅安五郎	越後六拾景図：新潟白山神社	1953	水彩、紙	前期
安宅安五郎	越後六拾景図：新潟税関	1945	水彩、紙	前期
安宅安五郎	越後六拾景図：松ヶ崎にて	1939-53頃	水彩、紙	前期
安宅安五郎	越後六拾景図：加治の花	1949	水彩、紙	前期
安宅安五郎	越後六拾景図：越後赤谷字瀧谷	1947	水彩、紙	前期
安宅安五郎	越後六拾景図：越後国上五合庵	1939	水彩、紙	前期
安宅安五郎	越後六拾景図：佐渡尖閣湾	1939-53頃	水彩、紙	前期
安宅安五郎	越後六拾景図：佐渡外海府盆の燈籠	1939-53頃	水彩、紙	前期
安宅安五郎	越後六拾景図：新潟異人池天主教会	1945	水彩、紙	後期
安宅安五郎	越後六拾景図：新潟白山神社未定橋	1939-53頃	水彩、紙	後期
安宅安五郎	越後六拾景図：松ヶ崎	1939-53頃	水彩、紙	後期
安宅安五郎	越後六拾景図：加治の花	1949	水彩、紙	後期
安宅安五郎	越後六拾景図：北蒲原郡川東村石喜	1949	水彩、紙	後期
安宅安五郎	越後六拾景図：越後五箇浜	1939-53頃	水彩、紙	後期
安宅安五郎	越後六拾景図：佐渡小比叡蓮華峰寺鐘楼	1951	水彩、紙	後期
安宅安五郎	越後六拾景図：小木権座屋	1939-53頃	水彩、紙	後期

展示室3 日本近代洋画の名品～大光コレクションより～

作家名	作品名	制作年	技法・素材	備考
坂本繁二郎	牛	1915	油彩、キャンバス	
岸田劉生	冬枯れの道路（原宿附近写生）	1916	油彩、キャンバス	
藤田嗣治	私の夢	1947	油彩、キャンバス	
梅原龍三郎	紫禁城	1942	油彩、キャンバス	
安井曾太郎	読書	1942	油彩、キャンバス	
北川民次	大地	1939	油彩、キャンバス	
海老原喜之助	燃える	1957	油彩、キャンバス	
田淵安一	輪舞	1961	油彩、キャンバス	
斎藤義重	“反対称” 三角形 No.1	1976	プラスチック、木	
斎藤義重	“反対称” 三角形 No.2	1976	プラスチック、木	
斎藤義重	“反対称” 正八面体 プラトンの多面体	1978	合板	
山口長男	段	1968	油彩、板	
イサム・ノグチ	女（リシ・ケシュにて）	1956	鉄	
齋藤三郎	色絵椿文筆管	1975	磁器	回廊
齋藤三郎	色絵干大根文大皿	1975	磁器	回廊
本間一秋	波響	1990	鳳尾竹	スロープ
本間一秋	五線汎游	1986	鳳尾竹	スロープ
高橋 秀	アリスの月（白）	1976	油彩、キャンバス	スロープ
ケーテ・コルヴィッツ	母と二人の子	1932-36	ブロンズ	入口前



東海道五十三次とジャポニスム 2009年3月7日(土)～4月5日(日) (26日)

【趣 旨】

当館には、歌川広重《東海道五十三次》全図と葛飾北斎《富嶽三十六景之内・遠江山中》がある。また、リヴィエールの《エッフェル塔36景》全図など、ジャポニスム関連の西洋版画が多数ある。これまで、この一部ずつ展示することはあったが、一堂に展観する機会はなかった。

本展では、東海道五十三次全図を紹介することで、広重の魅力を堪能し、広重や北斎の影響を受けた西洋版画との関連性を明らかにすることでジャポニスムの一端を理解してもらおう試みである。全体を四部構成とし、第一部は「名所絵師広重の東海道五十三次」、第二部は「二人の三十六景～北斎とバリの浮世絵師リヴィエール～」、第三部は「ジャポニスムの担い手たち」、第四部は「ジャポニスムの道案内たち」からなる。

分かりやすく、楽しめる展示にするために、第一部では、初摺り、後摺り、異版の違いなどを図版で示した。展示が単調にならないように、五つのコラムを入れて、広重の特徴を解説した。

第二・三部では、関連のある浮世絵版画を図版で示し、影響関係の理解の一助とした。第四部では、林忠正の「COLLECTION HAYASHI」とピングの「LE JAPON ARTISTIQUE」を展示し、パネルでジャポニスムの道案内たちの業績を紹介した。

ロビーには、学習・体験コーナーを設置し、東海道五十三次すころく、錦絵の多色摺り紹介、お気に入りの一枚投票コーナーなどを設けた。

【総 括】

浮世絵版画とジャポニスム版画を関連付けて展示することで、日本と西洋の文化交流の一端を紹介することができた。《東海道五十三次》と《エッフェル塔36景》を全図展示することで、それぞれのよさを十分に味わうことができた。展覧会に関連した映画鑑賞会、ワークショップ、美術鑑賞講座を設けることで、理解を深めることができた。

●評価すべき点

キャプションの解説を詳しくし、関連図版やコラムを掲示することで分かりやすく興味をもって鑑賞していただくことができた。学習・体験コーナーを設置することで、参加する楽しみを味わってもらえた。東海道五十三次のお気に入りの一枚投票結果やコメントを掲示板やホームページで紹介し、興味をもって見ていただいた。

●検討課題

年度末、年度始めの時期で、広報も十分でない中で、いかに周知・集客を図っていくかが課題である。

【開催日・その他】

＝会期2009年3月7日(土)～4月5日(日) (26日)

＝

主 催：新潟県立近代美術館

観覧料：一 般……………420円 (340円)

大学・高校生……………200円 (160円)

※小・中学生無料

※()内は20名以上の団体料金

【関連行事】

- ・映画鑑賞会
「日本の絵画のよさ」「浮世絵」「浮世絵と歌川
広重」
3月7日(土)午前10時～／午後2時～
当館講堂にて
鑑賞者：45名
- ・ワークショップ
浮世絵版画の色摺に挑戦
3月8日(日)午前10時～／午後2時～
当館講座室にて
参加者数：23名
- ・美術鑑賞講座
ジャポニスムと浮世絵版画

3月21日(土)午後2時～ 当館講堂にて
講師：立川厚生（当館主任学芸員）
参加者数：28名

- ・作品解説会
毎週日曜日午後2時～

【関連記事】

- ・新聞
新潟日報 3月9日
朝日新聞新潟版 3月20日
長岡新聞 4月2日
- 担当 立川厚生、桐原浩

【出品リスト】

第1部 名所絵師広重の東海道五十三次

歌川広重	東海道五十三次之内	日本橋・朝之景 品川・日之出 川崎・六郷渡舟 神奈川・臺之景 保土ヶ谷・新町橋 戸塚・元町別道 藤澤・遊行寺 平塚・縄手道 大磯・虎ヶ雨 小田原・酒匂川 箱根・湖水図 三島・朝霧 沼津・黄昏図 原・朝之富士 吉原・左富士 蒲原・夜之雪 由井・薩掛嶺 興津・興津川 江尻・三保遠望 府中・安部川 鞠子・名物茶店 岡部・宇津之山 藤枝・人馬継立 嶋田・大井川駿岸 金谷・大井川遠岸 日坂・佐夜ノ中山 掛川・秋葉山遠望 袋井・出茶屋ノ図 見附・天竜川図 濱松・冬枯ノ図 舞坂・今切真景 荒井・渡舟ノ図 白須賀・汐見坂図 二川・猿ヶ馬場 吉田・豊川橋 御油・旅人留女 赤阪・旅舎招婦ノ図 藤川・棒鼻ノ図	1833頃
------	-----------	--	-------

岡崎・矢矧之橋
池鯉鮒・首夏馬市
鳴海・名物有松絞
宮・熱田神事
桑名・七里渡口
四日市・三重川
石薬師・石薬師寺
庄野・白雨
亀山・雪晴
関・本陣早立
阪之下・筆捨嶺
土山・春之雨
水口・名物干瓢
石部・目川ノ里
草津・名物立場
大津・走井茶店
京師・三條大橋

クロード・モネ コロンブの平原、霜 1873

第2部 二人の三十六景 ～北斎とパリの浮世絵師リヴィエール～

葛飾北斎	富嶽三十六景之内・遠江山中	1831-33
ジョルジュ・オリオール	エッフェル塔36景 表紙	1902
アンリ・リヴィエール	エッフェル塔36景 1. 扉絵	1902
	2. エッフェル塔の工事現場	
	3. 建設中のエッフェル塔、トロカデロからの眺め	
	4. エッフェル塔の上で	
	5. ベートーベン通り	
	6. グルネルの野菜畑	
	7. サン・ペール橋	
	8. コンフェランス河岸	
	9. ノートル＝ダム	
	10. クリシー大通り	
	11. 夜明け	
	12. パリ祭	
	13. パッシー河岸	
	14. ラマルク通り	
	15. ロシュシュアル通り	
	16. パッシー河岸、雨	
	17. 遊覧船	

	18. グルネル河岸	
	19. アベス通り	
	20. グルネル橋	
	21. 屋根の上で	
	22. ブローニュの森	
	23. コンコルド広場	
	24. イル・ド・シーニュ	
	25. エッフェル塔の中で	
	26. オステルリッツ橋	
	27. フルミエの鹿の陰から(トロカデロ)	
	28. ジャヴェル河岸(鉄道の転轍手の小屋)	
	29. バ・ムードン、古い共同洗濯場	
	30. 塔の中の鉛管工	
	31. パッシィ=シャルボニエール河岸	
	32. バ・ムードンの駅	
	33. 防柵	
	34. トロカデロ公園、秋	
	35. 川船	
	36. 塔の中の塗装工	
	モルガの幸福な朝	1915
	時の仙境シリーズ・薄暮	1901
	時の仙境シリーズ・満月	1901
ジョルジュ・オリオール	最も高い木の上でナイチンゲールが歌った	1895

第3部 ジャポニスムの担い手たち

エドゥアール・マネ	ベルト・モリゾの肖像	1872
ジェームズ・ホイッスラー	ロンドンのオールド・バターシー橋	1879
ジェームズ・ティン	野心を抱く女	1885
フェリックス=アソリ・ブラックモン	ブラックモンによる6枚の腐蝕銅版画	かもめ つばめ 驚いた鴨 朝霧 1887
フェリックス・ピュオ	断崖：サン・マロの入江	1886-90
アンリ=シャルル・ゲラール	日本の装飾の研究	不明
フェリックス・ピュオ	ジャポニスム：10のエッチング	書票：蝶と蜻蛉 木彫りのお面 大黒船 1875-90
アンリ・ムーニエ	モン・サン・ミシエル	不明
ジュール・シャデル	オーヴェルニュのガチョウの番人	不明
アレクサンドル・シャルルティエ	艀權船に乗った若い女性	1895
ウジェーヌ・ドラートル	ユイスマンの肖像	1894
リヒャルト・ランフト	洋装店の女性たち・「エスタンプ・オリジナル」誌より	1894
ジョルジュ・レメン	版画	1908
アドルフ・ジラルドン	日本美術の友	1907
ガストン・ド・ラトネー	狩をする女たち	1895
アンリ・ラシュー	飾り絵	1893
ジョン・エドガー・ブラット	ベニバナトチノキ、No.2	不明
エミール・オルリク	日本の摺師	1900-01
参考資料	『イエロー・ブック』（第1巻から第5巻まで）	1894-95
モーリス・ドニ	アムール（愛）表紙	1892-99
	1. 寓意	
	2. 物腰は優しく清らかな	
	4. それは敬虔な神秘さだった	
フェリックス・エドアル・ガロツ	ラ・ベビニエール	1893
	エドガー・ポーの肖像	1894
	小さな浴女たち	すわる二人の浴女 1893
	小さな浴女たち	水に入る 1893
	怠惰	1896
ピエール・ボナール	パリ生活の諸相	3. 街角 5. 上方から見た街路 6. 大通り 11. 街路、夕暮れ、雨 1895-99
エドゥアール・グエイヤール	風景と室内	2. 大通り 3. 野原を横切る 4. 吊りランプのある室内 5. パラ色の壁紙のある室内I 9. ヨーロッパ橋で 1896-99

ポール=エリー・ランソン	悲しみ、あるいは嫉妬（『ケンタウロス』より）	1896
エミール・ベルナール	サン・ブリアクの収穫	1887
	ポン=タヴェンのぼら色の道	1892
	レゼビアン=サン・ブリアクの小湾	1888

第4部 ジャポニスムの道案内たち（資料から）

林忠正 著	「COLLECTION HAYASHI」（林忠正の売立目録）
ジークフリート・ビング著	「LE JAPON ARTISTIQUE」（藝術の日本）

企 画 展



開館15周年 魅せます！コレクション —新潟県立近代美術館・万代島美術館の名作から—

【趣 旨】

●趣旨及び展覧会構成

開館15周年を迎え、前身の美術博物館時代も含めた41年間分の収蔵品の中から代表的な名品をいくつかの側面から紹介し、コレクションの軌跡を総括・検証し、将来の展望を探ることを狙いとした。

全体は2部構成で、各々を更に3つに分けた。第1部「名品選りすぐり」では、新潟ゆかりの作品から世界的に有名な作品まで、これまでに収集されてきた名品の数々を一堂に紹介した（1-1 新潟の美術／1-2 日本の美術／1-3 世界の美術）。第2部「コレクションの諸相」では、コレクションの特徴を明らかにするため、テーマを設定するよう試みた（2-1 コレクションの中のコレクション／2-2 美術館へのプレゼン／2-3 未来へ引き継ぐ）。

【総 括】

●評価すべき点

作家略歴は付けなかったが、出身地を明示し、作品解説を付け、収蔵品への理解を促すよう心がけた。

展覧会に合わせ、美術館への思いや展示作品中のお気に入り作品を投票するアンケートを実施し、回答は入口付近の掲示板上に掲出した。当初反応は少なかったが、掲示数が増えてきた後半には、掲示された他の観客の意見に触発され、相乗効果で増えていった。小さいものではあるが、一方向的な受動的鑑賞行為に終わらず、相互交流的で能動的な観客の参加を促すことができた点で十分な意味を持ったと思われる。学芸側では思いもしない反応も多く、観客の様々な視線をうかがい知るこ

ともできた。

●検討課題

予定していた観客動員数に達しなかった。効果的な広報の工夫がさらに必要である。

所蔵品について基本的な調査が一通り済んでいる現状では、新たな情報を来館者に提供することは簡単ではない。だが、それに甘んずることなく調査を深め、新たな視点から所蔵作品の魅力を引き出し、伝えていく試みは続けていかなければならない。

【開催日・その他】

＝会期（開催日数）＝

平成20年4月12日(土)～6月15日(日)

(月曜休館、ただし4月28日、5月5日、6月9日を除く) 開催日数実質59日

＊会期中展示替あり

前期4月12日から5月11日まで

後期5月13日から6月15日まで

主 催：新潟県立近代美術館

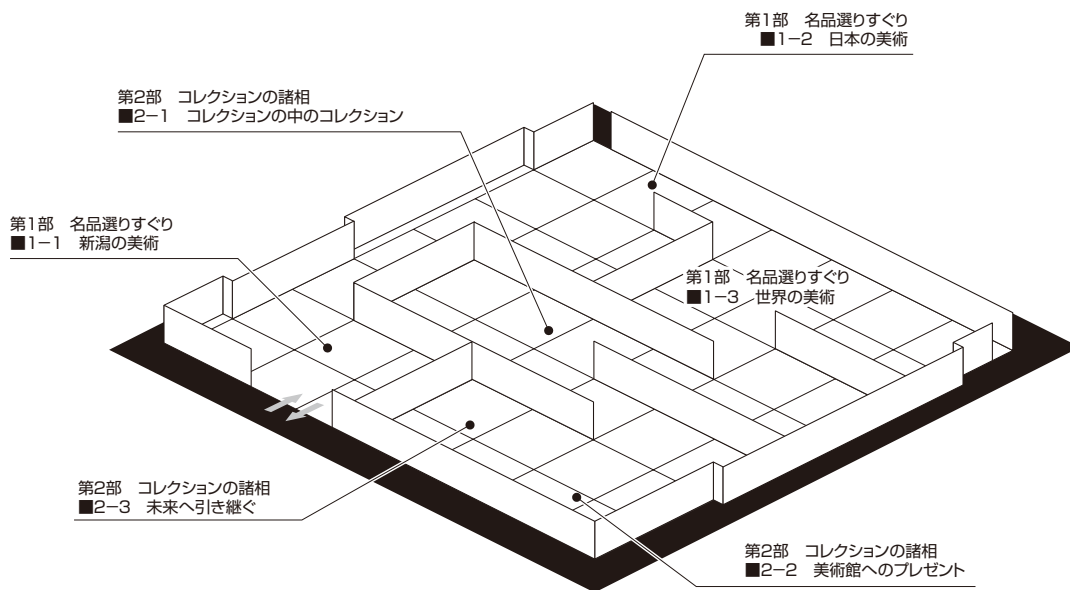
後 援：長岡市、長岡市教育委員会、新潟日报社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか 80.7

観覧料：一 般……………600円（500円）

大学・高校生……………300円（200円）

※小・中学生無料

※（ ）内は20名以上の団体料金



【関連行事】

美術鑑賞講座 聴講無料 当館講堂にて
「話します！コレクションⅠ 西洋美術編」

日 時：4/26(土)午後2時から

講 師：桐原 浩（当館学芸課長代理）

参加者数：31名

「話します！コレクションⅡ 日本美術編」

日 時：5/3(土)午後2時から

講 師：横山秀樹（当館副館長）

参加者数：25名

「地域の美術シリーズ：三浦小平二」

日 時：6/7(土)午後2時から

講 師：宮下東子（当館主任学芸員）

特別ゲスト：三浦竹子氏（三浦小平二夫人）

参加者数：43名

映画鑑賞会 鑑賞無料 当館講堂にて

「お茶漬の味」小津安二郎監督 1952年

日 時：5/10(土)午前10時から/午後2時から

参加者数：90名

ワークショップ 参加無料

「発見！びじゅつかん」「あなたの知らない美術館」

日 時：5/4(日) 参加者数：18名

「発見！びじゅつかん」「クイズで読み解くコレクション」

日 時：5/18(日) 参加者数：10名

「開館15周年 私にとっての美術館」

日 時：5/25(日) 講堂

参加者数：15名

担当 桐原浩、小黒里絵

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	3,591
	前売	なし
無料観覧者数	無料	1,058
	免除	970
総観覧者数		5,619
有料率 (%)		67.3

【出品リスト】

1 名品選りすぐり

1.1 新潟の美術					
1	尾竹竹坡（染吉）	大地円	1925(大正14)年	絹本彩色	前期
2	土田麦僊（金二）	芥子	1926(大正15)年	絹本彩色	前期
3	尾竹国観	巴	1930(昭和5)年	絹本彩色	前期
4	小林古径（茂）	飛鴨	1930(昭和5)年	紙本彩色	前期 6/6-6/15
5	小杉放菴（国太郎）	春秋屏風	1937(昭和12)年	紙本彩色	前期
6	大矢黄鶴（三郎）	はつなつの譜	1960(昭和35)年	紙本彩色	前期
7	津端道彦（為太郎）	うたげの装	1911(明治44)年	絹本彩色	後期
8	桐谷洗鱗（長之助）	釈尊一代記（第一巻「霊夢」「誕生」）	1915(大正4)年	紙本彩色	後期
9	土田麦僊（金二）	春宵舞妓図	1923(大正12)年	絹本彩色	後期
10	恩田耕作	風島弁天の景	1930(昭和5)年	紙本彩色	後期
11	小林古径（茂）	文珠	1931(昭和6)年	紙本彩色	後期
12	土田麦僊（金二）	山茶花	1933(昭和8)年	絹本彩色	後期
13	小林古径（茂）	紫苑	1933(昭和8)年	絹本彩色	後期
14	岩田正巳	浜名を渡る源九郎義経	1936(昭和11)年	絹本彩色	後期
15	岩淵芳華（完）	理科室	1940(昭和15)年	紙本彩色	後期
16	三浦文治	越前国勝山町左義長祭り	制作年不明	紙本彩色	後期
17	横山操	炎々桜島	1956(昭和31)年	布本彩色	前期 後期
18	村山径（勲）	十三湖秋霖	1972(昭和47)年	紙本彩色	前期 後期
19	山崎隆夫	砂丘晩夏	1985(昭和60)年	紙本彩色	前期 後期
20	三輪晃久	明けゆく	1985(昭和60)年	紙本彩色	前期 後期
21	大矢紀	風渡る	1999(平成11)年	紙本彩色	前期 後期
22	小山正太郎	仙台の桜	1881(明治14)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
23	宮芳平	カーテンに	1914(大正3)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
24	高村真夫（正男）	裸婦	1921(大正10)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
25	安宅安五郎	群蝶	1926(大正15)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
26	峰村リツ子	桜井浜江像	1930(昭和5)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
27	佐藤哲三	郵便脚夫宮下君	1931(昭和6)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
28	末松正樹	ボン・ボワイヤージュ	1962(昭和37)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
29	富岡惣一郎	作品	1962(昭和37)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
30	阿部展也（芳文）	R-8	1965(昭和40)年	板、蠟	前期 後期
31	小野末（末吉）	闘牛場	1977(昭和52)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
32	笹岡了一	ウィリアム物語	1978(昭和53)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
33	竹谷富士雄	モンマルトル・屋下り	1978(昭和53)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
34	丸山直文	Kind	1994(平成6)年	綿布、アクリル絵具	前期 後期
35	長沢明	Melodical Note	1995(平成7)年	アクリル絵具、岩絵具、真鍮、麻、木、和紙、鉛、箔	前期 後期
36	深澤索一（作一）	代々木風景	1925(大正14)年	紙 木版画 多色刷り	前期
37	高橋信一	白い道（S）	1969(昭和44)年	紙 木版画 多色刷り	前期
38	星襄一	大樹【PR196】	1974(昭和49)年	紙 木版画 多色刷り	前期
39	深澤索一	〈新東京百景〉柳ばし	1929(昭和4)年	木版画 多色刷り	後期
40	高橋信一	白い道（T）	1970(昭和45)年	木版画 多色刷り	後期
41	星襄一	大樹【PR3】	1974(昭和49)年	木版画 多色刷り	後期
42	武石弘三郎	母	1917(大正6)年	ブロンズ	前期 後期
43	北村四海（直次郎）	すみれ	1920(大正9)年頃	大理石	前期 後期
44	北村正信（友吉）	髪	1966(昭和41)年	大理石	前期 後期
45	千野茂	F嬢	1970(昭和45)年	ブロンズ	前期 後期
46	初代本間琢斎（仁左衛門）	蠟型鑄銅羅漢匂香炉	明治初期	銅 蠟型鑄金	前期 後期
47	佐々木象堂（文蔵）	蠟型鑄銅獣装耳花入	1959(昭和34)年	青銅 蠟型鑄金	前期 後期
48	2代宮田藍堂（實）	蠟型鑄銅ひねり蓮の余情香炉	1972(昭和47)年	青銅 蠟型鑄金	前期 後期
49	3代宮田藍堂（宏平）	指輪 美豆波乃女【2点 CR149, CR150】	1980年代	金 蠟型鑄金	前期 後期
50	三浦小平二	青磁鉢	1978(昭和53)年	青磁	前期 後期
51	5代伊藤赤水	無名異練上鉢	1988(昭和63)年	陶器	前期 後期
52	會津ハ一	対句	1953(昭和28)年頃	紙、墨	前期
53	相馬御風（昌治）	和歌（たけのこの）	制作年不明	紙、墨	後期
1.2 日本の美術					
54	橋本雅邦	秋景山水図	1892(明治25)年頃	絹本墨画	前期
55	下村観山（晴三郎）	入日	1915(大正4)年	絹本彩色	前期
56	小林古径（茂）	雨	1917(大正6)年	絹本彩色	前期
57	川合玉堂（芳三郎）	春苑	1919(大正8)年	絹本彩色	前期
58	横山大観（秀麿）	早春	1924(大正13)年	絹本彩色	前期
59	奥村土牛（義三）	少女図	1926(大正15)年	絹本彩色	前期

60	安田靫彦（新三郎）	佐久良比東	1939(昭和14)	絹本彩色	前期	
61	前田青邨（廉造）	被物	不明	紙本彩色	前期	
62	吉川霊華（準）	逍遙（天平美人）	1904(明治37)年	絹本彩色		後期
63	菱田春草（三男治）	放鶴	1904(明治37)年	絹本彩色		後期
64	小野竹喬（英吉）	黍熟るる島	1917(大正6)年	絹本彩色		後期
65	鍋木清方（健一）	春の夜のうらみ	1922(大正11)年	絹本彩色		後期
66	鍋木清方（健一）	桜姫	1923(大正12)年	絹本彩色		後期
67	郷倉千毅（与作）	豊饒群雀	1928(昭和3)年	絹本彩色		後期
68	竹内栖鳳（恒吉）	睡郷	1930(昭和5)年	絹本彩色		後期
69	山本丘人（正義）	湖上嶺	1951(昭和26)年	絹本彩色		後期
70	香取秀眞（秀治郎）	斑紫銅鑄銅壺	1942(昭和17)年	銅 鑄金	前期	後期
71	津田信夫	鑄銅壺・波光連如	1942(昭和17)年	銅 鑄金	前期	後期
72	柳原義達	坐る	1960(昭和35)年	ブロンズ	前期	後期
73	淀井敏夫	エビダウロス・追想	1984(昭和59)年	ブロンズ	前期	後期
74	中村彝	洲崎義郎氏の肖像	1919(大正8)年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
75	石井柏亭	池	1928(昭和3)年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
76	里見勝蔵	赤と緑の静物	1928(昭和3)年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
77	村井正誠	ものうり	1958(昭和33)年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
78	木村忠太	桜樹のある村	1984(昭和59)年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
79	國領経郎	遠い海	1987(昭和62)年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
80	八木一夫	真珠取りの少女	1969(昭和44)年	銅 鑄金	前期	後期

1.3 世界の美術

81	ルネ・フランソワ・オーギュスト・ロダン	考える人	1880年	ブロンズ	前期	後期
82	ジョン・エヴァレット・ミレイ	アリス・ 그레이の肖像	1859年	板、油絵具	前期	6月1日まで展示
83	ギュスターヴ・クールベ	エトルタ海岸・夕日	1869年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
84	ピエール=エティエンヌ=テオドール・ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	1845頃	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
85	クロード・モネ	コロンプの平原、霜	1873年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
86	ポール=エリール・ランソン	収穫する7人の女性	1895年	キャンヴァス、顔料	前期	後期
87	モーリス・ドニ	夕映えの中のマルト	1892年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
88	ラウル・デュフィ	美しき夏	1941年	毛、糸 織物	前期	後期
89	マックス・エルンスト	鳥=人頭	1934/35年 [1992年鑄造]	ブロンズ	前期	後期
90	ヤーコボ・デ・バルバリ	ヴェネツィア鳥瞰図（第3版）	1500年	木版画	前期	後期
91	アルブレヒト・デューラー	黙示録 3. 四人の騎者	1498年	木版画	前期	6/6-6/15
92	アルブレヒト・デューラー	メレンコリア I	1514年	エングレーヴィング	前期	
93	ジャック・カロ	狩猟図（大）	1619-1620頃	エッチング	前期	
94	アルブレヒト・デューラー	黙示録 6. ラッパを吹く7人の天使	1498年	木版画		後期
95	アルブレヒト・デューラー	ウルリッヒ・ファルンビューラーの肖像	1522年 (1620年頃の刷り)	木版画		後期
96	ジャック・カロ	聖アントニウスの誘惑（第二版）	1635年以前	エッチング		後期
97	16世紀フランドル工房	サヴェージ・ガーデン (アウデナルデのタペストリー)	1580年頃	毛、糸 織物	前期	後期
98	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	戦争の惨禍 2. 理由があるうとなかろうと	1810年代 [1863年初版]	エッチング、ラヴィ、ビュラン、 バーニッシャー	前期	
99	エドゥアル・マネ	マクシミリアンの処刑	1868年	リトグラフ	前期	
100	バンジャマン・ジャン・ピエール・アンリ・リヴィエール	時の仙境シリーズ・薄暮	1901年	カラー・リトグラフ	前期	
101	ジョルジュ・レメン	版画	1908年	カラー・リトグラフ	前期	
102	フェリックス・ヴァロットン	エドガー・ポーの肖像	1894年	木版画	前期	
103	フェリックス・ヴァロットン	怠惰	1896年	木版画	前期	
104	エドゥアル・ヴイヤール	風景と室内 表紙	1896-99年 [1899年刊行]	カラー・リトグラフ	前期	
105	エドゥアル・ヴイヤール	風景と室内 1. チェスの勝負	1896-99年 [1899年刊行]	カラー・リトグラフ	前期	
106	モーリス・ドニ	アムール（愛） 表紙	1892-1899年 [1911年刊行]	カラー・リトグラフ	前期	
107	モーリス・ドニ	アムール（愛） 6. たそがれは古い絵画のような優しさをもつ	1892-1899年 [1911年刊行]	カラー・リトグラフ	前期	
108	ケーテ・コルヴィッツ	自画像	1904年	リトグラフ	前期	
109	オスカー・ココシュカ	自画像——製図用鉛筆を持つ胸像	1914年 [1916年刊行]	リトグラフ	前期	
110	エルンスト・バルラッハ	神の変容 1. 第一日	1920年	木版画	前期	
111	マックス・ベックマン	年の市 1. 呼び込み（自画像）	1921年 [1922年刊行]	ドライポイント	前期	
112	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	カプリチオス 26. 彼女たちはもう席を得た	1788年	エッチング、アクアチント、 バーニッシャー		後期
113	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	カプリチオス 43. 理性の眠りは怪物を生む	1788年	エッチング、アクアチント		後期

114	ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ロンドンのオールド・バターシー橋	1879年	エッチング	後期
115	バンジャマン・ジャン・ピエール・アンリ・リヴィエール	時の仙境シリーズ・満月	1901年	カラー・リトグラフ	後期
116	モーリス・ドニ	アムール（愛） 1. 寓意	1892-99年 [1911年刊行]	カラー・リトグラフ	後期
117	モーリス・ドニ	アムール（愛） 2. 物腰は優しく清らかな	1892-99年 [1911年刊行]	カラー・リトグラフ	後期
118	エドゥアール・ヴュイヤール	風景と室内 5. パラ色の壁紙のある室内 I	1896-99年 [1899年刊行]	カラー・リトグラフ	後期
119	エドゥアール・ヴュイヤール	風景と室内 9. ヨーロッパ橋で	1896-99年 [1899年刊行]	カラー・リトグラフ	後期
120	フェリックス・エドゥアール・ヴァロットン	ラ・ベビニエール	1893年	カラー・リトグラフ	後期
121	エルンスト・ルヴィヒ・キルヒナー	ドルリ	1917年	木版画	後期
122	ライオネル・ファイニンガー	市庁舎 ツォッテルシュテット2	1918年	木版画	後期
123	ヘルマン・マックス・ベヒシュタイン	われらの父よ（主の祈り）扉絵	1921年	木版画	後期
124	ケーテ・コルヴィッツ	戦争 6. 母親	1922-1923年	木版画	後期
125	ケーテ・コルヴィッツ	母と二人の子	1932-1936年 [1988年鑄造]	ブロンズ	前期 後期
126	エルンスト・バルラッハ	ロシアの恋人たち	1908年 [1940年鑄造]	ブロンズ	前期 後期

2 コレクションの諸相

2.1 コレクションの中のコレクション

127	坂本繁二郎	牛	1915(大正4)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
128	岸田劉生	冬枯れの道路（原宿附近写生）	1916(大正5)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
129	萬鉄五郎	木の間風景	1918(大正7)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
130	前田寛治	赤い帽子の女	1925(大正14)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
131	佐伯祐三	広告塔	1927(昭和2)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
132	小出楯重	ソファアの裸体B	1930(昭和5)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
133	安井曾太郎	読書	1942(昭和17)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
134	梅原龍三郎	紫禁城	1942(昭和17)年	キャンヴァス、油絵具、岩絵具	前期 後期
135	藤田嗣治	私の夢	1947(昭和22)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
136	山口薫	夜明けの顔	1954(昭和29)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
137	脇田和	あらそい	1955(昭和30)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
138	海老原喜之助	燃える	1957(昭和32)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
139	加山又造	月と駱駝	1957(昭和32)年	紙本彩色	前期 後期
140	元永定正	作品、ピンク・赤・91	1960(昭和35)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
141	田淵安一	輪舞	1961(昭和36)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
142	東山魁夷（新吉）	森の静寂	1964(昭和39)年	紙本彩色	前期 後期
143	高橋秀	ピンクの中の思考	1971(昭和46)年	キャンヴァス、アクリル絵具	前期 後期
144	川口軌外	静物	1945(昭和20)年頃	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
145	須田国太郎	水辺の草（杜若）	1947(昭和22)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
146	加山又造	白菜と小鳥	1961(昭和36)年	紙本彩色	前期 後期
147	ジェイムズ・アンソール	シノワズリー	1920-1925年頃	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
148	海老原喜之助	市場	1937(昭和12)年	板、油絵具	前期 後期
149	マリノ・マリニー	騎手のための構想・習作	1955(昭和30)年	ブロンズ	前期 後期
150	イサム・ノグチ	女（リシ・ケシュにて）	1956(昭和31)年	鉄	前期 後期
151	ルチオ・フォンタナ	空間概念 期待	1962(昭和37)年	キャンヴァス、油絵具	前期 後期
152	ルーシー・リー	鉢	1960年代	磁器	前期 後期
153	難波田龍起	流動する形象	1962(昭和37)年	紙、水彩絵具、パステル	前期
154	難波田龍起	生	1985(昭和60)年	紙、水彩絵具、インク	前期
155	難波田史男	哲学者	1967(昭和42)年	紙、インク	前期
156	難波田史男	詩人の空	1967(昭和42)年	紙、水彩絵具、インク	前期
157	江口草玄（久男）	雲	1990(平成2)年	紙、墨	前期
158	難波田龍起	心象的形象	1972(昭和47)年	紙、水彩絵具	後期
159	難波田龍起	蒼	1985(昭和60)年	紙、水彩絵具、インク	後期
160	難波田史男	冬の日	1967(昭和42)年	紙、水彩絵具、インク	後期
161	難波田史男	デッサン	1968(昭和43)年	紙、インク	後期
162	江口草玄（久男）	白	1990(平成2)年	紙、墨	後期
163	荒木十畝（悌二郎）	月下飛雁	1936(昭和11)年頃	紙本墨画	前期
164	橋本関雪（成常）	梅溪漁舟図	1941(昭和16)年	紙本彩色	前期
165	富田溪仙（鎮五郎）	鶴の巢籠図	制作年不明	絹本彩色	前期
166	川端龍子（昇太郎）	紅唇図	1941(昭和16)年	紙本彩色	後期
167	松林桂月（篤）	暮色野梅図	1951(昭和26)年	絹本彩色	後期
168	北野恒富（富太郎）	茶々	制作年不明	絹本彩色	後期

2.2 美術館へのプレゼント

169	フィンセント・ファン・ゴッホ	長い棒を持つ農婦 [寄託作品]	1885年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
170	エミール・オルリック	日本の摺師	1900-01年	紙、インク	前期	
171	鍋木清方（健一）	お嬢吉三	1943(昭和18)年頃	紙本彩色	前期	
172	鍋木清方（健一）	鏡獅子	1943(昭和18)年頃	紙本彩色	前期	
173	深澤索一	風景	1925(大正14)年	木版画 多色刷り		後期
174	鍋木清方（健一）	毛剃	1943(昭和18)年頃	紙本彩色		後期
175	鍋木清方（健一）	梅王	1943(昭和18)年頃	紙本彩色		後期
176	山本自炉（次郎）	銅鑪薫香炉	1940(昭和15)年	銅	前期	後期
177	岩田久利	花器	1985(昭和60)年	ガラス	前期	後期

2.3 未来へ引き継ぐ

178	篠原有司男	スパイダーマン	1981(昭和56)年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
179	猪熊弦一郎	犬とネクタイ	1991(平成3)年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
180	丸山直文	DHL	1992(平成4)年	綿布、アクリル絵具	前期	後期
181	李禹煥	コレスポンダンセ	1993(平成5)年	キャンヴァス、岩絵具	前期	後期
182	野見山暁治	いけにえ	1995(平成7)年	キャンヴァス、油絵具	前期	後期
183	宮崎進	黄色い大地	2000(平成12)年	合板、麻布、油絵具、木炭、木工ボンド	前期	後期
184	木下晋	101年の胎動	2001(平成13)年	紙、鉛筆	前期	後期
185	中村一美	死を悼みて濡れた紫の水瀬に立つ者V	2003(平成11)年	綿布、アクリル絵具	前期	後期



マティスとルオー ～素晴らしき芸術への共感～

【趣 旨】

20世紀前半のフランスを代表する画家、アンリ・マティスとジョルジュ・ルオーの間で交わされた一連の往復書簡の存在が近年明らかになった。本展は、これらの手紙から浮かび上がってきた半世紀にわたる二人の深い友情に光を当て、テーマによる章構成で、互いの美への眼差しを対比しながら展観した。

鮮やかな色彩による装飾的な作品で知られるマティスと、精神性の強いテーマを濃密な画面に描いたルオー。その作風は著しく異なるため、これまで二人の芸術を結びつけて論じることがほとんどなかった。しかし、二人の画業を巡る重要なトピックに目を向けると、ギユスターヴ・モローという師のもとで二人が共に学んでいた修業時代、旅芸人やサーカスへの強い関心の共有、美術雑誌『ヴェルヴ』でのテリアードとのコラボレーションなど、生涯にわたって両者を結びつけていたテーマや創作の場が見出される。従来あまり知られてこなかった二人の交流という視点を通して、パリのジョルジュ・ルオー財団及びアルシーヴ・アンリ・マティスの協力を得て、パリ市立近代美術館のコレクションを中心に油彩・水彩・版画・書籍など約130点により、新たな作品の魅力や作家像を紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

イベントではこれまでにない斬新な企画で新たな来館者層を開拓できたものと思われる。

●検討課題

マティスとルオーは一般的に知られた画家だが、新潟では予想外に知名度が低く、広報に苦戦した。

また、両者の代表作を単に並べるのではなく、異色の二人をつなげる視点により新たな解釈を狙ったが、専門性が強く理解が容易ではなかったようだ。

【開催日・その他】

＝2008年7月5日(土)～8月31日(日)＝
(開催日数58日)

主 催：新潟県立近代美術館

後 援：長岡市／長岡市教育委員会／新潟・フランス協会／新潟日报社／朝日新聞新潟総局／毎日新聞新潟支局／読売新聞新潟支局／産経新聞新潟支局／ケーブルテレビエヌ・シー・ティ

観覧料：一 般……………1,200円 (1,100円)
前売券……………1,000円
大学・高校生……900円 (800円)
※中学生以下は無料
※() 内は20名以上の団体料金

観覧者数：18,201人

【関連行事】

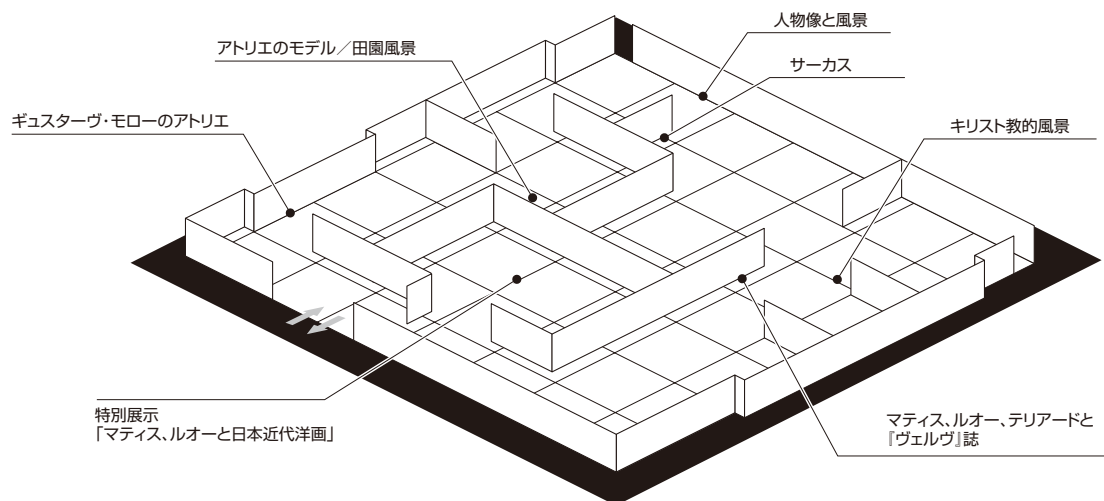
・美術鑑賞講座

「マティスとルオー：巨匠を支えた陰の立役者たち」

7月12日(土)午後2時～4時 美術館講堂
講 師：濱田真由美 (当館美術学芸員)
参加人数：65名

「ジョルジュ・ルオーの魅力：線と色彩」

7月26日(土)午後2時～4時 美術館講堂
講 師：平石昌子 (当館主任学芸員)
参加人数：55名



・コンサート

伝統芸能とジャズの共演「林家正楽、マティスに挑む！ with SATO'S BAND」

7月21日（月・祝）午後2時～3時

美術館講堂

出演：林家正楽、SATO'S BAND

参加人数：192名

ミュージアム・コンサート「シャコンヌ～佐藤博志ヴァイオリン・コンサート」

8月3日（日）午後2時～3時 美術館講堂

出演：佐藤博志、小野道子

参加人数：117名

・ワークショップ

発見！びじゅつかん「ルオーのピエロを探せ」

7月13日（日）午後2時～3時半

美術館講座室

講師：宮下東子（当館主任学芸員）

参加人数：22名

びじゅつ☆体験隊「マティスの彩色切り紙絵に迫る」

7月20日（日）午後2時～3時半

美術館講座室

講師：宮下東子（当館主任学芸員）

参加人数：34名

・作品解説会

会期中の毎週日曜日午後2時～ 企画展示室内

参加人数：

7月6日（日） 20人（担当：平石）

7月20日（日） 20人（担当：立川）

7月27日（日） 15人（担当：桐原）

8月10日（日） 16人（担当：長嶋）

8月17日（日） 28人（担当：長嶋）

8月24日（日） 40人（担当：立川）

8月31日（日） 40人（担当：平石）

【関連記事】

●新聞

3月20日 朝日新聞（全国版）

「異なる作風、重なる軌跡 ルオーとマティス—作品比較・手紙紹介も」

7月4日 産経新聞

「マティスとルオー 心の交流」

7月10日 長岡新聞

「マティスとルオー展開催 すばらしき芸術への共感」（近代美術館 濱田真由美）

7月11日 新潟日報

「異なる作風に感銘」

7月30日 長岡よみうり

「親子がマティスの切り紙絵の世界に挑戦」（ワークショップ）

8月6日 新潟日報

「マティスとルオー（上）異色の2人 精神的交流」（近代美術館 濱田真由美）

8月7日 新潟日報

「マティスとルオー（下）友人と正反対の道を選ぶ」（近代美術館 平石昌子）

8月14日 朝日新聞

「情報BOX マティスとルオー展」

8月19日 長岡新聞

「マティスとルオー展（その1）第一章 ギョスターヴ・モローの教室」（近代美術館 濱田真由美）

8月21日 長岡新聞

「マティスとルオー展（その2） 第二章 アトリエのモデル／田園風景」（近代美術館 平石昌子）

8月23日 長岡新聞

「マティスとルオー展（その3） 第三章 人物像と風景（1912～19）」（近代美術館 濱田真由美）

8月26日 長岡新聞

「マティスとルオー展（その4） 第四章 サーカス」（近代美術館 平石昌子）

8月28日 長岡新聞

「マティスとルオー展（その5） 第五章 キリスト教的風景」（近代美術館 濱田真由美）

8月30日 長岡新聞

「マティスとルオー展（その6・最終回） 第六章 マティス、ルオー、テリヤードと『ヴェルヴ』誌」（近代美術館 平石昌子）

●雑誌

「マティスとルオーの書簡から。」『暮らしの通信』6月21日号

「プライム・トピックス」『新潟情報』6月25日号

「EVENT」『ウィーク』6月27日号

「展覧会情報」『月刊美術』7月号

「Coming Exhibition 6－8月」『アート・トップ』7月号

「ART」『月刊にいがたタウン情報』7月号

「イベント情報」『チャンネルガイド』7月号

「7月のイベント」『なじらび』7月号

「マティスとルオー一堂に 県立近代美術館」

『週刊 朝日だより』7月第2週号

「EXHIBITION INFORMATION」『別冊アトリエ』8月号

「芸術と友情のハーモニー。森の中の美術館へようこそ。」『ドルチェ』8月号

「今月の美術・工芸展」『月刊新潟こまち』8月号

「Carrel selection」『キャレル』8月号

「EXHIBITION PREVIEW」『BM 美術の杜』夏号

●テレビ

2008年7月4日 NST新潟総合テレビ

NSTスーパーニュース「マティスとルオー展」

2008年7月7日～10日 NST新潟総合テレビ

NSTスーパーニュース 特集「マティスとルオー展」（4回シリーズ）

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	10,277
	前売	1,508
無料観覧者数	無料	5,075
	免除	1,341
総観覧者数		18,201
有料率（%）		64.8

担当 濱田真由美、平石昌子

【出品リスト】

第Ⅰ部 ギュスターヴ・モローのアトリエ 1er section L'Atelier Gustave Moreau

作家名	作品名	制作年	所蔵先	図録No.
ギュスターヴ・モロー	ナルキッソス	制作年不明	ギュスターヴ・モロー美術館	1
ギュスターヴ・モロー	ケンタウロス	制作年不明	ギュスターヴ・モロー美術館	2
ギュスターヴ・モロー	エマオでのキリストの十二使徒	制作年不明	ギュスターヴ・モロー美術館	3
ギュスターヴ・モロー	風景	制作年不明	ギュスターヴ・モロー美術館	4
ギュスターヴ・モロー	羊飼	制作年不明	ギュスターヴ・モロー美術館	5
ジョルジュ・ルオー	ゲッセマニ	1892	松下電工汐留ミュージアム	6
ジョルジュ・ルオー	人物のいる風景	1897	ジョルジュ・ルオー財団	7
ジョルジュ・ルオー	風景	1900頃	個人蔵	8
ジョルジュ・ルオー	キリストと弟子たち	1900頃	個人蔵	9
ジョルジュ・ルオー	パリ（セーヌ川）	1901	個人蔵	10
ジョルジュ・ルオー	風景	1901	個人蔵	11
アンリ・マティス	ペル＝イル島	1896	ボンビドー・センター国立近代美術館、 パリ（ポルドー美術館に寄託）	12
アンリ・マティス	ヴィラル＝シュル＝オロンの風景	1901	ボンビドー・センター国立近代美術館、 パリ（ポルドー美術館に寄託）	14
ジョルジュ・ルオー	回想録	1926	パリ市立近代美術館	15
ジョルジュ・ルオー	自画像	1926	パリ市立近代美術館	15-1
ジョルジュ・ルオー	小さな帽子をかぶったギュスターヴ・モロー	1926	パリ市立近代美術館	15-2
ジョルジュ・ルオー	白いひげのギュスターヴ・モロー	1926	パリ市立近代美術館	15-3
ルオー⇔マティス	往復書簡（複製）	1926	パリ市立近代美術館	

第Ⅱ部 アトリエのモデル／田園風景 2ème section Le Modèle dans l'atelier et Pastorales

作家名	作品名	制作年	所蔵先	図録No.
アンリ・マティス	アトリエの裸体	1899頃	県立マティス美術館、ル・カトー＝カンブレジ	16
アンリ・マティス	（無題）立つ裸婦の習作	1900頃	パリ市立近代美術館	17
アンリ・マティス	（無題）座る裸婦	1901-03頃	パリ市立近代美術館	18
アンリ・マティス	（無題）立つ裸婦	1901-03頃	パリ市立近代美術館	19
アンリ・マティス	（無題）裸婦の習作	1901-03頃	パリ市立近代美術館	20
アンリ・マティス	モデル	1901	パリ市立近代美術館	21
ジョルジュ・ルオー	後ろ姿の裸婦	1906	パリ市立近代美術館	22
ジョルジュ・ルオー	娼婦―赤いガーターの裸婦	1906	パリ市立近代美術館	23
ジョルジュ・ルオー	両腕を挙げた裸婦―立つ裸婦	1906	パリ市立近代美術館	24
ジョルジュ・ルオー	裸婦	1906頃	パリ市立近代美術館	25
ジョルジュ・ルオー	裸婦	1906頃	パリ市立近代美術館	26
ジョルジュ・ルオー	立つ裸婦	1906-08頃	パリ市立近代美術館	27
ジョルジュ・ルオー	両腕を挙げた裸婦―髪を結う裸婦	1907	パリ市立近代美術館	28
ジョルジュ・ルオー	裸婦	1917	パリ市立近代美術館	29

田園風景 Pastorales

作家名	作品名	制作年	所蔵先	図録No.
ジョルジュ・ルオー	裸婦の花瓶	制作年不明	マーク・ラロック＝グラノフ・コレクション	30
ジョルジュ・ルオー	（無題）花瓶	1907	パリ市立近代美術館	31
ジョルジュ・ルオー	（無題）水差し	1908	パリ市立近代美術館	32
ジョルジュ・ルオー	シルエット	1906-07頃	パリ市立近代美術館	33
ジョルジュ・ルオー	コンポジション―裸婦たち	1906	パリ市立近代美術館	34
アンリ・マティス	田園風景	1906	パリ市立近代美術館	35
ジョルジュ・ルオー	アラベスク	1906-07頃	パリ市立近代美術館	36
ジョルジュ・ルオー	アラベスク	1907頃	パリ市立近代美術館	37
ジョルジュ・ルオー	ばら色と緑のアラベスク	1910-14	パリ市立近代美術館	38
ジョルジュ・ルオー	正面を向いた裸婦	1902-14	パリ市立近代美術館	39

第Ⅲ部 人物像と風景 3ème section Figures et Paysages (1912-1919)

作家名	作品名	制作年	所蔵先	図録No.
ジョルジュ・ルオー	エクソドゥス	1912	パリ市立近代美術館	40
ジョルジュ・ルオー	冬	1910-17	パリ市立近代美術館	41
ジョルジュ・ルオー	小さな郊外	1910-12頃	パリ市立近代美術館	42
ジョルジュ・ルオー	悩みの果てめ場末	1911	パリ市立近代美術館	43
ジョルジュ・ルオー	母子像―古びた町外れ	1912	パリ市立近代美術館	44
ジョルジュ・ルオー	パリ郊外―セーヌ河畔	1914頃	パリ市立近代美術館	45
ジョルジュ・ルオー	風景―スケートをする人たち	1913	パリ市立近代美術館	46
ジョルジュ・ルオー	木のある風景	1910-12頃	パリ市立近代美術館	47
アンリ・マティス	オリーブの並木道	1919	パリ市立近代美術館	48

第Ⅳ部 サークス 4ème section Le Cirque

作家名	作品名	制作年	所蔵先	図録No.
ジョルジュ・ルオー	タバラン—騒々しい踊り	1905	パリ市立近代美術館	49
ジョルジュ・ルオー	レスラー	1905	パリ市立近代美術館	50
ジョルジュ・ルオー	サーカス	1905	パリ市立近代美術館	51
ジョルジュ・ルオー	アクロバット	1913頃	パリ市立近代美術館	52
ジョルジュ・ルオー	ピエロ	1937	パリ市立近代美術館	53
ジョルジュ・ルオー	女曲馬師	制作年不明	パリ市立近代美術館	54
ジョルジュ・ルオー	流れる星のサーカス (版画集)	1938	パリ市立近代美術館	55
ジョルジュ・ルオー	〔扉絵 見世物小屋の呼び込み〕 流れる星のサーカス1	1934	パリ市立近代美術館	55-1
ジョルジュ・ルオー	〔黒いピエロ〕 流れる星のサーカス2	1935	パリ市立近代美術館	55-2
ジョルジュ・ルオー	〔苦いレモン〕 流れる星のサーカス3	1935	パリ市立近代美術館	55-3
ジョルジュ・ルオー	〔こびと〕 流れる星のサーカス4	1934	パリ市立近代美術館	55-4
ジョルジュ・ルオー	〔曲芸師〕 流れる星のサーカス5	1934	パリ市立近代美術館	55-5
ジョルジュ・ルオー	〔小さな女曲馬師〕 流れる星のサーカス6	1935	パリ市立近代美術館	55-6
ジョルジュ・ルオー	〔ルイゾン夫人〕 流れる星のサーカス7	1935	パリ市立近代美術館	55-7
ジョルジュ・ルオー	〔悲しげな瘦っ骨〕 流れる星のサーカス8	1934	パリ市立近代美術館	55-8
ジョルジュ・ルオー	〔カルメンシータ夫人〕 流れる星のサーカス9	1935	パリ市立近代美術館	55-9
ジョルジュ・ルオー	〔親代々の旅芸人〕 流れる星のサーカス10	1935	パリ市立近代美術館	55-10
ジョルジュ・ルオー	〔アーサー親方〕 流れる星のサーカス11	1934	パリ市立近代美術館	55-11
ジョルジュ・ルオー	〔苦い甘さ〕 流れる星のサーカス12	1934	パリ市立近代美術館	55-12
ジョルジュ・ルオー	〔気むずかし屋〕 流れる星のサーカス13	1935	パリ市立近代美術館	55-13
ジョルジュ・ルオー	〔ピエロ〕 流れる星のサーカス14	1935	パリ市立近代美術館	55-14
ジョルジュ・ルオー	〔バレリーナたち〕 流れる星のサーカス15	1934	パリ市立近代美術館	55-15
ジョルジュ・ルオー	〔オーギュスト〕 流れる星のサーカス16	1935	パリ市立近代美術館	55-16
ジョルジュ・ルオー	〔眠れ、よい子よ〕 流れる星のサーカス17	1935	パリ市立近代美術館	55-17
アンリ・マティス	ジャズ (版画集) タイトル頁	1943-46	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56
アンリ・マティス	〔道化師〕 ジャズ1	1943	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-1
アンリ・マティス	〔サーカス〕 ジャズ2	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-2
アンリ・マティス	〔ロワイヤル氏〕 ジャズ3	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-3
アンリ・マティス	〔白い象の悪夢〕 ジャズ4	1943	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-4
アンリ・マティス	〔馬、曲馬師、道化師〕 ジャズ5	制作年不明	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-5
アンリ・マティス	〔狼〕 ジャズ6	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-6
アンリ・マティス	〔ハート〕 ジャズ7	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-7
アンリ・マティス	〔イカロス〕 ジャズ8	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-8
アンリ・マティス	〔フォルム〕 ジャズ9	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-9
アンリ・マティス	〔ピエロの葬式〕 ジャズ10	1943	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-10
アンリ・マティス	〔コードマ兄弟〕 ジャズ11	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-11
アンリ・マティス	〔水槽を泳ぐ女〕 ジャズ12	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-12
アンリ・マティス	〔剣を飲む男〕 ジャズ13	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-13
アンリ・マティス	〔カウボーイ〕 ジャズ14	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-14
アンリ・マティス	〔ナイフ投げ〕 ジャズ15	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-15
アンリ・マティス	〔運命〕 ジャズ16	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-16
アンリ・マティス	〔礁湖〕 ジャズ17	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-17
アンリ・マティス	〔礁湖〕 ジャズ18	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-18
アンリ・マティス	〔礁湖〕 ジャズ19	1946	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-19
アンリ・マティス	〔トボガン (そり)〕 ジャズ20	1943	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	56-20

第Ⅴ部 キリスト教的風景 5ème section Pastorales chrétiennes

作家名	作品名	制作年	所蔵先	図録No.
ジョルジュ・ルオー	キリストの洗礼	1911	パリ市立近代美術館	57
ジョルジュ・ルオー	エジプトへの逃避	1938	パリ市立近代美術館	58
ジョルジュ・ルオー	黄昏—聖書の風景	1938-39	パリ市立近代美術館	59
ジョルジュ・ルオー	夜景又は聖書の風景	1939	マーク・ラロック・グラノフ・コレクション	60
ジョルジュ・ルオー	秋の終り (5)	1952	個人蔵	61
アンリ・マティス	花模様の背景の聖母子	1950-51	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	62
アンリ・マティス	聖母マリアの習作《顔》	1950-51	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	63

第Ⅵ部 マティス、ルオー、テリアードと『ヴェルヴ』誌 6ème section Matisse / Rouault / Tériade et la revue de Verve

作家名	作品名	制作年	所蔵先	図録No.
アンリ・マティス	肘掛け椅子のオダリスク	1928	パリ市立近代美術館	64
アンリ・マティス	アフリカのピロードを背景にした人物 (アフリカのタバ布を背にした人物)	1929	パリ市立近代美術館	65
アンリ・マティス	(無題) ひざまずく裸婦	1936	パリ市立近代美術館	66
アンリ・マティス	(無題) 斜めを向いた女性半身像	1942	パリ市立近代美術館	67
アンリ・マティス	(無題) 両手を合わせた女性の顔	1943	パリ市立近代美術館	68

アンリ・マティス	(無題)花と果物	1944	パリ市立近代美術館	69
アンリ・マティス	座る踊り子(黄土色の椅子に座る横向きの踊り子)	1942	パリ市立近代美術館	70
アンリ・マティス	パナマ帽の自画像	1945	タヴェ・ドラクール美術館、ポントワーズ	追加出品
アンリ・マティス	頬杖をつく女	1940	タヴェ・ドラクール美術館、ポントワーズ	追加出品
アンリ・マティス	花瓶のバラ	1942-43	タヴェ・ドラクール美術館、ポントワーズ	追加出品
アンリ・マティス	黄色のドレスとチェックのドレスの娘	1941	ボンビドー・センター国立近代美術館、パリ(県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジに寄託)	72
アンリ・マティス	赤い室内の緑衣の娘	1947	ひろしま美術館	73
アンリ・マティス	『暗黒の祭』(版画集)	1963	パリ市立近代美術館	74
ジョルジュ・ルオー	秋	1938頃	ジョルジュ・ルオー財団	75
ジョルジュ・ルオー	『気晴らし』(版画集)	1943	パリ市立近代美術館	76
ジョルジュ・ルオー	優しいベルナール(『気晴らし』のための下絵)	1943	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	77
ジョルジュ・ルオー	頑固者二人(『気晴らし』のための下絵)	1943	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	78
ジョルジュ・ルオー	赤と金色の小姓(『気晴らし』のための下絵)	1943	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	79
ジョルジュ・ルオー	からかい好き(『気晴らし』のための下絵)	1943	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	80
ジョルジュ・ルオー	ラ・ルサルカ(『気晴らし』のための下絵)	1943	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	81
ジョルジュ・ルオー	青い背景の花束	1940-48頃	個人蔵	82
ジョルジュ・ルオー	花束(スタンドグラス)	1949	ジョルジュ・ルオー財団	83

ボードレール『悪の華』 Les Fleurs du mal de Baudelaire

作家名	作品名	制作年	所蔵先	図録No.
アンリ・マティス	『悪の華』(挿絵本)	1947	県立マティス美術館、ル・カトー=カンブレジ	84
ジョルジュ・ルオー	『悪の華』(1926-27年版挿絵本)	1926-27	パリ市立近代美術館	85
ジョルジュ・ルオー	横向きの裸婦 (『悪の華』1936-38年版のための色刷り版画)	1936-38	松下電工汐留ミュージアム	85-1
ジョルジュ・ルオー	自惚れ女 (『悪の華』1936-38年版のための色刷り版画)	1938	ジョルジュ・ルオー財団	85-2
ジョルジュ・ルオー	伏目の娼婦 (『悪の華』1936-38年版のための色刷り版画)	1937	ジョルジュ・ルオー財団	85-3
ジョルジュ・ルオー	生者並みに誇高く、われとわが貴なる姿を誇りつつ… (『悪の華』1936-38年版のための色刷り版画)	1936	松下電工汐留ミュージアム	85-4
ジョルジュ・ルオー	従僕? (『悪の華』1936-38年版のための色刷り版画)	1937	ジョルジュ・ルオー財団	85-5
ジョルジュ・ルオー	三人組 (『悪の華』1936-38年版のための色刷り版画)	1938	ジョルジュ・ルオー財団	85-6
ジョルジュ・ルオー	正面向きのキリスト (『悪の華』1936-38年版のための色刷り版画)	1938	ジョルジュ・ルオー財団	85-7
ジョルジュ・ルオー	われは美しい、おお死すべき人間よ (『悪の華』のための習作)	1930頃	ジョルジュ・ルオー財団	86
ジョルジュ・ルオー	踊る骸骨(『悪の華』のための習作)		ジョルジュ・ルオー財団	87
『ヴェルヴ』誌 第4号、8号、13号、21号、22号				

特別展示 マティス、ルオーと日本近代洋画

『白樺』とフランス近代美術

作家名	作品名	制作年	所蔵先
『白樺』(複製版)			新潟県立近代美術館・万代島美術館
ファン・ゴッホ	長い棒をもつ農婦	1885	寄託作品
ポール・セザンヌ	水浴	1890	寄託作品
オーギュスト・ロダン	考える人	1880	新潟県立近代美術館・万代島美術館
岸田劉生	冬枯れの道路	1916	新潟県立近代美術館・万代島美術館
萬鉄五郎	木の間風景	1918	新潟県立近代美術館・万代島美術館
梅原龍三郎	紫禁城	1942	新潟県立近代美術館・万代島美術館

日本におけるフォーヴィスムの展開

ジョルジュ・ルオー	晩秋No.3	1948-52	新潟県立近代美術館・万代島美術館
ラウル・デュフィ	オーケストラ	1949	寄託作品
小出楢重	ソファの裸体B	1930	新潟県立近代美術館・万代島美術館
前田寛治	赤い帽子の女	1925	新潟県立近代美術館・万代島美術館
林武	帽子の女	1953頃	新潟県立近代美術館・万代島美術館
里見勝蔵	赤と緑の静物	1928	新潟県立近代美術館・万代島美術館
児島善三郎	森と聚落	1958	新潟県立近代美術館・万代島美術館
長谷川利行	風景	1931	新潟県立近代美術館・万代島美術館



国宝との出会い —京都国立博物館収蔵品による—

【趣 旨】

●趣旨及び展覧会構成

本展は、京都国立博物館の館蔵品と寄託作品の中から、国宝7件・重要文化財19件・重要美術品3件を含む、55件（約70点）を紹介するもの。作品内容は、新潟関連の国宝《威奈大村骨蔵器》を含み、飛鳥時代から江戸時代までの各種分野にわたる。

全体構成は8部門からなり、次のとおり：1. 新潟ゆかりの国宝と日本の考古遺物、2. 空海と東寺、3. 公家の信仰と文芸、4. 雪舟・雪村、5. 中国宋元の美、6. 近世京洛の美、7. 若冲、8. 武家の栄華。京都国立博物館の名宝をとおして日本美術の流れをたどりながら、京都の文化ひいては日本文化についての関心や理解を深められるよう構成した。

【総 括】

●評価すべき点

国宝7件・重要文化財19件・重要美術品3件を含む内容は、平成15年度開催の「大倉集古館展」（国宝3件・重要文化財4件）を越える。県内で指定文化財をまとめて見る機会を提供でき、実施意義は大きい。

全作品に作品解説を付し、音声ガイド（有料）も導入し、作品理解を補助した。更に、国宝について、平易なQ&A形式で説明した解説パネルも用意し、好評だった。

●検討課題

本展は京都国立博物館の全面的な協力の下に成り立った展覧会。出品作品の基本選定から、会場構成案、解説キャプション、図録作成まで京都国立博物館に負っている。それだけに作品解説の内

容などがやや専門的で、もう少し一般の鑑賞者に判りやすいものにできるよう、両館で意見交換ができたよかった。

来館者は総じて年齢層が高く、それを予想して題箋、解説等の文字は大きめに作成した。しかし、設置する位置の工夫も含め、さらに研究の余地があった。

新聞社・テレビ局との実行委員会形式で、メディアの積極的な広報活動があった。だが、経済状況の冷え込みによる影響を受け、予定来館者数に達するまで行かず、広報の見直しをせざるを得ない。

【開催日・その他】

＝会期（開催日数）＝

平成20年9月13日（土）～10月19日（日）

会期中無休 開催日数37日

*会期中展示替えあり

前期9月29日（月）まで

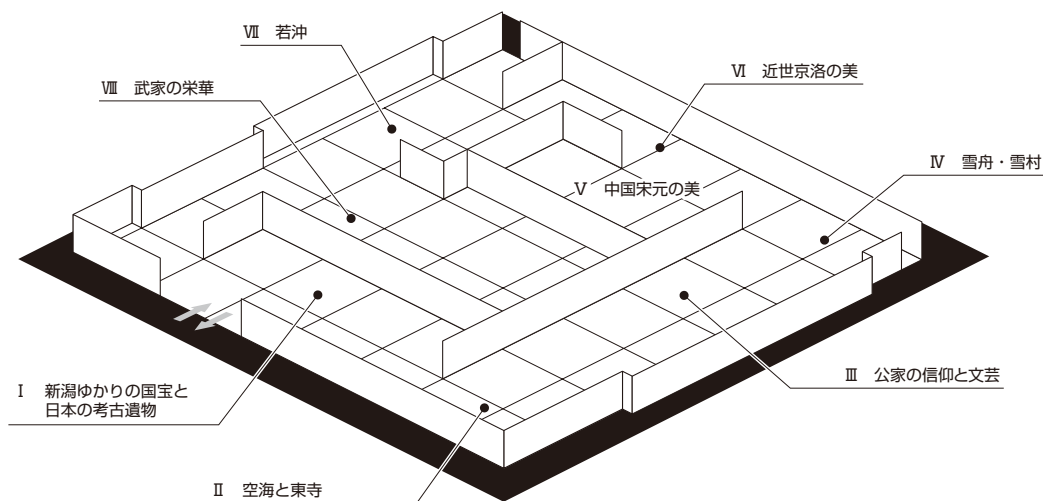
後期9月30日（火）から

主 催：国宝との出会い展実行委員会、新潟県立近代美術館、新潟日報社、NST新潟総合テレビ

特別協力：京都国立博物館

後 援：長岡市、長岡市教育委員会、NHK新潟放送局、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7、新潟県美術家連盟、新潟県書道協会、新潟県考古学会、新潟県文化財保護連盟、新潟県小学校長会、新潟県中学校長会、新潟県高等学校長協会

特別協賛：仏壇・墓石・神輿 トーア



協 力：新潟日報美術振興財団、JR東日本新潟支社

観覧料：一般……

1,200円 (1,100円) 〈900円〉

大学・高校生……

900円 (800円) 〈700円〉

※小・中学生無料

※ () 内は20名以上の団体料金

※ 〈 〉 内は前売料金

【関連行事】

【講演会】 聴講無料 当館講堂にて

「京博の名宝と京文化」

日 時：9月13日(土) 午後2時から

講 師：西上実氏

(京都国立博物館学芸部上席研究員)

参加者数：139名

「妙高市関山神社の菩薩像と飛鳥仏」

日 時：9月20日(土) 午後2時から

講 師：水野敬三郎 (当館名誉館長)

参加者数：113名

「『源氏物語』の流域 ――漂う女君の系譜――」

日 時：10月4日(土) 午後2時から

講 師：石坂妙子氏 (新潟大学教授)

参加者数：121名

「威奈大村骨蔵器銘文が語るもの」

日 時：10月11日(土) 午後2時30分から

講 師：小林昌二氏

(帝京大学教授・新潟大学名誉教授)

参加者数：67名

【ワークショップ】 参加無料

“びじゅつ☆体験隊”「国宝の秘密に迫る」

〈雪舟晩年の大作、国宝《天橋立図》の秘密に鑑賞と制作で迫る〉

日 時：9/28日 午後2時より

講 師：長谷川重雄 (当館学芸課長)

参加者数：6名

美術鑑賞講座 聴講無料 当館講堂にて

「砂浜を描いた洋画家 國領経郎と柏崎」

日 時：10/11(土) 午後2時から

講 師：池上秀敏 (当館学芸課長代理)

参加者数：19名

担当 桐原浩、長嶋圭哉

【図 録】

仕 様：A4版 160頁

監 修：京都国立博物館

編 集：新潟県立近代美術館

デザイン：大向デザイン事務所

印 刷：ニューカラー写真印刷株式会社

発 行：国宝との出会い展実行委員会

新潟県立近代美術館、新潟日报社、NST

新潟総合テレビ

内 容：ごあいさつ

概説

図版

作品解説

出品目録

京都国立博物館施設案内

【関連記事】

●新聞

9/1 新潟日報見開き特集「日本美術の神髄 一堂に たぐいまれな名品堪能」
 9月2週号 週刊朝日だより「京都国立博物館の名品が一堂に『国宝との出会い』展 9月13日から 長岡・県立近代美術館」
 9/13 新潟日報「えりすぐりの名品お目見え『国宝との出会い展』きょう開幕」
 9/13 長岡新聞「日本美術の名品一堂に」
 9/15 十日町新聞「雪舟、空海の国宝も 長岡市、県立近代美術館」
 9/22 新潟日報文化欄「国宝との出会い」展 名品の肖像〈上〉「山越阿弥陀図」京都国立博物館学芸部研究員大原嘉豊
 9/23 新潟日報文化欄「国宝との出会い」展 名品の肖像〈下〉「天橋立図」京都国立博物館美術室長山本英男
 9/26 週報とおかまち「国宝との出会いの場」に」
 9/29 新潟日報「国宝展入場1万人突破」
 10/4 新潟日報投稿欄「窓」「堪能した『国宝との出会い展』」
 10/12 新潟日報「国宝展入場者2万人を突破」

新潟日報「名品を歩く」5回
 (10/7、10/8、10/9、10/10、10/11)
 長岡新聞「近代美術館国宝展名品紹介」2回
 (10/9、10/11)

9/23 北日本新聞

●雑誌

8/20 キャレル 9月号
 9/5 新潟WEEK！
 8/25 月刊にいがたタウン情報 9月号
 8/25 月刊新潟Komachi 9月号
 美術の窓10月号
 9/13 まるごと生活情報
 9/17 新潟情報

●テレビ・ラジオ

9/13 FMにいがた「FMインフォメーション」
 9/26 NST新潟総合テレビ「NSTスーパーニュース」

【観覧者数】

有料観覧者数	当 日	15,884
	前 売	4,625
無料観覧者数	無 料	4,421
	免 除	1,246
総 観 覧 者 数		26,176
有 料 率 (%)		78.3



【出品リスト】

0	指定	作品名、作者名	数量	時代	寸法	備考
1	国宝	金銅威奈大村骨蔵器 こんどう い なのおおむらこつそうき	一合	飛鳥時代慶雲4年（707）	高24.2cm	大阪 四天王寺蔵
2	重要美術品	流水文 銅鐸 りゅうすいもん どうたつ	一口	弥生時代中期	高46.1cm	
3		銅剣 どうけん	一口	弥生時代中期	長40.7cm	
4		銅矛 どうぼ	一口	弥生時代中期	長60.7cm	
5	重要文化財	銅戈 どうか	一口	弥生時代中期	長39.7cm	
6		石製模造品 せきせいもぞうひん 短甲・盾・鏡・有孔円盤・刀子等 たんこう・たず かがみ ゆうこうえんぱん どうす とう	一括	古墳時代中期（5世紀）	盾形石製品の最大品 長17.1cm	
7	重要文化財	画文帝四仏四獣鏡 がもんたいし ぶつ し しゆわうきよう	一面	古墳時代中期（5世紀）	径24.1cm	
8		神人画像鏡 しんじん が ぞうきよう	一面	古墳時代中～後期（5～6世紀）	径20.9cm	
9	重要文化財	緑釉経筒 りよくゆうきようづつ	一合	平安時代（11世紀）	総25.9cm	
10	国宝	金剛般若経開題残巻 空海（弘法大師）筆 こんかうはんにやうかいだいざんかん こうかい こうぼうだいし	一巻	平安時代（9世紀）	縦27.6cm 横202.4cm	
11	重要文化財	十二天面 七面のうち 梵天・帝釈天・自在天・火天 じふにてんめん しちめんのうち ぼんてん ていしゃくてん じざいてん かつてん	四面	平安時代（10世紀）	面長32.5cm	
12	国宝	十二天像 十二幅のうち 日天・地天・伊舎那天・閻魔天 じふにてんざう じふにふくのうち にってん ちてん いしかでん えんまてん	四幅	平安後期大治2年（1127）	(各幅) 縦144.3cm 横126.5cm	
13	国宝	山水屏風 さんすいびやうぶ	六曲一隻	平安後期（11世紀）	(各扇) 縦146.1cm 横42.6cm	
14		金銅六器「東寺」銘 こんどうろくき「とうじ」めい	一組	鎌倉時代（14世紀）	鏡／高3.5cm 口径7.1cm 托／高1.6cm 口径6.8cm	
15	重要美術品	金銅五鈺鈴 こんどうごだくすず	一口	平安時代（11世紀）	総高18.5cm 鈴身高7.3cm 口径6.8	
16	重要美術品	金銅三鈺杆 こんどうさんだくかん	一口	鎌倉時代（13世紀）	総長15.1cm 把長5.7cm 鈺長3.0cm	
17	国宝	山越阿弥陀図 やまごし あみだず	一幅	鎌倉時代（13世紀）	縦120.6cm 横80.3cm	
18	重要文化財	一字蓮台法華経 如来神力品第二十一 いちじれんだいほうけきよう にょらいじんりきほんだいに にじゅういち	一巻	平安時代中～後期（11～12世紀）	縦28.8cm 横102.1cm	
19		柿本人麻呂像 中御門宣秀賛 かきのひとまろ ちのみかど のりひでさん	一幅	鎌倉時代（14世紀）	縦91.8cm 横45.1cm	
20	国宝	芦手絵和漢朗詠抄 あしで え わかんらうえいしやう	二巻のうち下巻	平安時代後期永暦元年（1160）	縦27.9cm 横1367.9cm	
21	重要文化財	公家別影図 こうけ べつえいず	一巻	鎌倉時代（13世紀）	縦36.2cm 長521.6cm	
22	重要文化財	倣梁楷黄初平図 雪舟筆 ほうりやうかいこうしへいず せつしゆ	一幅	室町時代（15世紀）	縦30.3cm 横31.4cm	
23	国宝	天橋立図 雪舟筆 あまのはしだてず せつしゆ	一幅	室町時代（16世紀）	縦89.5cm 横169.5cm	
24		雪舟像（探幽縮図） 狩野探幽筆 せつしゆざう（たんしゆしゆくず） かのうたんしゆ	一幅	江戸時代寛文2年（1662）	縦13.3cm 横22.0cm	
25	重要文化財	琴高仙人・群仙図 雪村筆 かみこうせんじん ぐんせんず せつまん	三幅	室町時代（16世紀）	(各幅)縦122.0cm 横(中) 55.0cm (左右) 56.5cm	
26		雪景山水図 雪村筆 せつけいさんすいず せつまん	一幅	室町時代（16世紀）	縦154.7cm 横107.4cm	
27		玳瑁軸飛鳥折枝文碗（龍蓋） たいぼく けいあうせつし ちもんわん べっさん	一口	南宋時代（12～13世紀）	高5.1cm 口径15.3cm 高台径3.5cm	
28	重要文化財	維摩居士像 じまいきそ じぞう	一幅	南宋時代（13世紀）	縦91.5cm 横51.3cm	
29	重要文化財	遠浦帰帆図 牧谿筆 えんほ かいはんず ぼくせき	一幅	南宋時代（13世紀）	縦32.5cm横 112.3cm	
30	重要文化財	白衣観音図 正悟筆 雲外雲岫賛 びやくくわんのんず せいご 雲がいうんしやう	一幅	元時代（14世紀）	縦127.2cm 横54.2cm	
31	重要文化財	草虫図 そうちゆうず	二幅	元時代（14世紀）	(各)縦97.2cm 横40.8cm	
32		幽篁枯木図 郭昇筆 ゆうこうこぼくず かくひ	一巻	元時代（14世紀）	縦33.0cm 横106.6cm	
33		柳橋水車図屏風 りやうきやうすいしや せつしやうぶ	六曲一双	桃山時代（17世紀）	(各)縦151.5cm横 336.0cm	
34		祇園祭礼図屏風 ぎおんさいれいず せつしやうぶ	六曲一双	江戸時代（17世紀）	(各)縦152.5cm 横336.0cm	
35		源氏物語図 土佐光吉筆 げんしものがたりず 土さみつきち	四帖のうち一帖	桃山時代（17世紀）	(各)縦25.7cm 横22.7cm	
36		本阿弥光悦消息 ほんあみみつえくしき	一幅	江戸時代（17世紀）	縦28.1cm 横40.7cm	
37	重要文化財	色絵釘隠 伝野々村仁清作 いろえくぎかくし だんの の のらにんせい	二十一個のうち八個	江戸時代（17世紀）	(菊形)縦5.7～6.0cm 横11.0 ～11.5cm 厚1.2cm (扇形)縦6.7～7.2cm 横15.5 ～16.4cm 厚1.0～1.3cm	
38		双鹿図 円山応挙筆 そうろくず まるやまおうきや	二曲一隻	江戸時代天明3年（1783）	縦157.2cm 横160.8cm	
39		群鶏図 伊藤若冲筆 ぐんけいず いとうじやくちゆう	九面のうち一面	江戸時代 天明9年（1789）	縦176.5cm 横179.0cm	
40		百犬図 伊藤若冲筆 ひゃくけんず いとうじやくちゆう	一幅	江戸時代 寛政11年（1799）	縦142.7cm 横84.2cm 個人蔵	
41		果疏涅槃図 伊藤若冲筆 かそ ねはんず いとうじやくちゆう	一幅	江戸時代（18世紀）	縦182.4cm 横96.3cm	
42		石灯籠図屏風 伊藤若冲筆 いしどうろうず せつしやうぶ	六曲一双	江戸時代（18世紀）	(各)縦159.0cm 横363.0cm	
43		石峰寺境内図 伊藤若冲筆 せきほうじけいだいず いとうじやくちゆう	一幅	石峰寺境内図 伊藤若冲筆	縦71.6cm 横101.8cm	
44	重要文化財	騎馬武者像 きばむしゃざう	一幅	南北朝時代（14世紀）	縦99.9cm 横53.2cm	
45	重要文化財	太刀 菊御作 たち ぎくごさく	一口	鎌倉時代（13世紀）	刃長78.1cm 反り2.2cm	

0	指定	作品名、作者名	数量	時代	寸法	備考
46	重要文化財	縹糸威胴丸 兜・大袖付 ひょうたいいとおどしき まる かんづ 兜おそでうき	一領	室町時代（15世紀）	胴高29.0cm 草摺長26.5cm 兜鉢高14.0cm	
47		堀江物語絵巻 岩佐又兵衛筆 ほりえものがたり えまき いわさまたへえ	一巻	江戸時代（17世紀）	縦33.8cm 長1347.8cm	
48		豊臣秀吉消息 とよとみひでよしのおそく	一幅	桃山時代天正13年（1585）	縦17.8cm 横88.3cm	個人蔵
49	重要文化財	後陽成天皇宸翰女房奉書 こうやうぜいてんのうのみかんたのうぼうほうしよ	一幅	桃山時代文禄元年（1592）	縦45.8cm 横131.0cm	
50	重要文化財	桐矢襖文様胴服 豊臣秀吉所用 きりやうもんよう ぶく せうした ぎ とよとみひでよししよ	一領	桃山時代（16世紀）	丈115.2cm 衿57.9cm	前期展示
51		桐文様具足下着 徳川家康所用 きりもんよう ぐ ぞくした ぎ とくがわいえきましよう	一領	桃山時代（16世紀）	丈98.5cm 衿55.5cm	後期展示
52		桔梗蝶菊桐紋時絵広蓋 ききやうてふぎくきりもんまき えひろふた	一面	桃山～江戸時代（17世紀）	縦24.0cm 横26.8cm 高3.5cm	
53		賀茂競馬文様小袖 かもうきやうまもんよう こそで	一領	江戸時代（18世紀）	丈128.0cm 衿64.7cm	前期展示
54		貝桶文様打掛 かいだくもんよう うちかけ	一領	江戸時代（18世紀）	丈166.0cm 衿63.0cm	後期展示
55	重要文化財	坂本龍馬関係資料 一括のうち 坂本龍馬柱小五郎遺墨 さかもとりょうま ばんぽんりやうまかんけいしりょう ひとくちのうち さかもとりょうまかづの こ しょう い ぼく	一巻	江戸時代（19世紀）	全長1146.5cm	



西洋の美 東洋の美

ピカソ、ロートレックから東山魁夷まで

富山県立近代美術館・富山県水墨美術館名品展

【趣 旨】

富山県立近代美術館は1981年に開館し、「20世紀美術」を最大の特徴とするそのコレクションは、ピカソ、ミロ、ウォーホルといった欧米作家たちの代表作を中心に、20世紀初頭から現在にいたるまでの多様な美術の流れを紹介する内容となっている。一方、富山県水墨美術館は、日本の風土にはぐくまれた伝統的な水墨画を広く紹介することを目的として設置され、1999年の開館以来、日本文化を発信する美術館として注目を受けている。

本展では、富山県立近代美術館と水墨美術館のコレクションから精選した現代美術、日本画、水墨画の名品約150点を、「西洋の美」「東洋の美」の二部構成によって展示した。

【総 括】

●評価すべき点

新潟県では、近隣県との文化交流の一環として、これまで群馬・福島・長野・石川の県立美術館のコレクション展を開催してきたが、今回は富山を代表する県立美術館2館との間に友好な協力関係を築き、両館のコレクションを代表作品によって紹介することができた。特に、欧米の20世紀美術の歴史を展示できた点は有意義であり、シュルレアリスムや椅子のデザインを含む多彩な内容に來館者の満足度も高かった。また水墨という東洋の伝統美を見つめ直す機会としても喜ばれた。

富山県立近代美術館は先進的な普及活動で高く評価されており、今回は同館が開発した現代美術のアートキットを会期中の土日に使用できるコーナーを開設した。創造的な体験をしながら芸術への理解を深める試みとして、多くの利用者があった。その他、作品鑑賞のための補助資料として、主要作品を平易に解説したセルフガイドを配布した。

●検討課題

20世紀美術は著作権の関係で広報に制約があり、十分な広報展開ができなかった。

【開催日その他】

＝2008年10月25日(土)～12月14日(日)実質48日間＝

休館日：10月27日(月)、11月10日(月)、11月17日(月)

主 催：西洋の美 東洋の美実行委員会／新潟県立近代美術館／新潟日报社／UX新潟テレビ21

後 援：長岡市・長岡市教育委員会／NHK新潟放送局／ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ／エフエムラジオ新潟／FM PORT 79.0／FMながおか80.7

観覧料：一般……………800円(700円)

大学・高校生……………600円(500円)

中学・小学生……………無料

* () 内は20名以上の団体料金

【関連行事】

・講演会

日 時：11月22日(土)午後2時～

内 容：「ふたつの美術館の物語」

講 師：柳原正樹氏(富山県水墨美術館副館長)

参加人数：30名

・ワークショップ

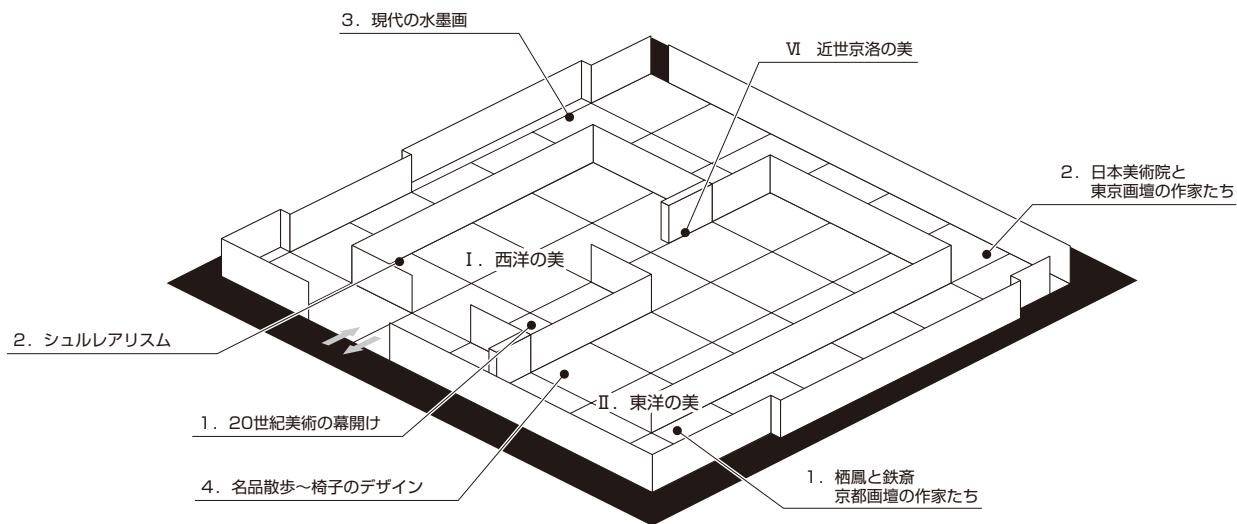
日 時：11月3日(月・祝)午後2時～

内 容：「アート・キットであそぼう」

講 師：中川美彩緒氏

(富山県立近代美術館副主幹)

参加人数：14名



・学芸員による作品解説会
毎週日曜午後2時～ 計6回
延べ参加人数：129名

・びじゅつ☆体験隊

- ①日 時：10月26日(日)午後2時～
内 容：「水墨画に挑戦」
講 師：山本真也氏（新潟大学教授）
参加人数：15名
- ②日 時：11月23日(日)午後2時～
内 容：「日本画の印章、てん刻に挑戦」
講 師：高橋和作氏（てん刻家・毎日展会員）
参加人数：14名

・その他

- ①映像資料（DVD）の放映
「富山県立近代美術館常設展紹介」（13分・企画前口ビー）
- ②「アートキットであそぼう」
（11／3以降の土・日・祝 午前10時～午後3時 企画前口ビー）

担当 平石昌子、長嶋圭哉

【関連記事】

・新聞

10月21日(火) 新潟日報
特集記事「前衛 伝統 個性の共演」／平石昌子

10月26日(日) 新潟日報
東西の名作 一堂に展示

11月14日(金) 新潟日報
心通じる2つの芸術世界／平石昌子・長嶋圭哉

12月6日(土) 新潟日報
ガウディのいす座って 東西の美楽しむ展覧会

その他：新潟日報(1/3(水)、9/14(日)、10/1(水)、

10/31(金)、11/14(金)、11/15(土)、11/18(火)、
11/19(水)、11/20(木)、12/1(月)、12/2(火)、
12/12(金)
長岡新聞11/12(水)、十日町タイムス11/8(土)、
魚沼新報11/21(金)
Komachi12月号

・テレビ

10/28(火)、29(水)、31(金)、11/4(火)、6(木)
UX新潟テレビ21

スーパーJチャンネルにいがた／平石昌子・長嶋圭哉

・ラジオ

12/10(水) FMながおか「さとちんの縁側日記」
トークコーナー

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	5,858人
	前売	1,211人
無料観覧者数	無料	1,870人
	免除	1,143人
総観覧者数		10,082人
有料率(%)		70.1

I 西洋の美 *作品はすべて富山県立近代美術館所蔵

No.	作家名	題名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	
1	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	マンズィの肖像	1901	木板、油彩	85.9×59.3	
2	バプロ・ピカソ	貧しき食事	1904	紙、エッチング	46.3×37.7	
3	バプロ・ピカソ	座る女	1960	キャンパス、油彩	100.0×80.5	
4	ジョルジュ・ブラック	バス	1911	紙、エッチング、ドライポイント	46.5×33.0	
5	ホワン・グリス	ピカソの肖像	不詳	紙・エッチング、ドライポイント	25.5×20.5	
6	フェルナン・レジェ	抽象的なコンポジション	1953	ブロンズ	61.0×40.0×14.0	
7	アントワーヌ・ベヴスナー	フェニックス	1957	ブロンズ	98.5×30.5×27.0	
8	アンリ・マティス	白狐の毛皮	1929	紙、リトグラフ	51.5×36.8	
9	アンドレ・ドラン	褐色の座裸婦	1929	木板、油彩	73.1×59.4	
10		赤色の前の二人の騎手	1911	多色木版	10.5×15.7	
11		即興25からのモチーフ	1911	木版	21.8×22.0	
12		乗馬婦人と子供	1907	木版	5.5×8.3	
13	ワシリー・カンディンスキー	散文詩画集「響き」 (1913)より	赤、青、黒の中の三人の騎手	1911	多色木版	22.0×22.2
14			ボート漕ぎ	1911	多色木版	22.0×22.1
15			山々	1911	多色木版	11.9×17.7
16			万聖節	1911	多色木版	22.0×21.8
17			大いなる復活	1911	多色木版	21.9×21.8

18	サルバドール・ダリ	アメリカのクリスマスのアレゴリー	1934	パネル、油彩	40.5×30.5
19	ポール・デルヴォー	夜の汽車	1947	木板、油彩	153.0×210.0
20	マン・レイ	イジドール・デュカスの謎	1920	ゼラチンシルバープリント	23.0×29.0
21	マン・レイ	銅版プレス機のメレット・オッペンハイム	1933	ゼラチンシルバープリント	40×29
22	マン・レイ	不滅のオブジェ	1923	メトロノーム、写真、クリップ	23.0×11.0
23	マルセル・デュシャン	トランクの箱（普及版）	1955-68		41.2×38.6×9.6
24	メレット・オッペンハイム	りす	1969	グラス、スポンジ、毛皮、金属棒	23.0×17.5×8.0
25	ジョゼフ・コーネル	ホテル・フロレンス（ベニー・アーケード・シリーズ）	1960s後半	ボード、コラージュ	29.2×39.4
26	ジョアン・ミロ	瀧口修造へのオマージュⅠ	1970	和紙、グワッシュ	49.0×68.0
27		瀧口修造へのオマージュⅡ	1970	和紙、グワッシュ	各49.0×68.0
28		瀧口修造へのオマージュⅢ	1970	和紙、グワッシュ	各49.0×68.0
29	ルネ・ロラン	アンドレ・ブルトン、瀧口修造、東野芳明	1958	写真	16.0×24.6
30	ルネ・ロラン	アンドレ・ブルトン、瀧口修造、東野芳明	1958	写真	16.0×23.6
31		詩人の肖像			
32					
51	瀧口修造	「私の心臓は時を刻む」より	I. “わたしにさわってはいけない”（20点）	1962	紙、透明水彩絵具
52			V. “巣立つスフィンクス”（20点）		額寸20×15
71					
72	瀧口修造	マルセル・デュシャン語録	1968		35.0×27.5
73	瀧口修造	ミロの星とともに	1978	紙、リトグラフ	37.7×18.0
74	瀧口修造	「ミロ」	1940		

75	フランシス・ベーコン	自画像のための3つの習作	1980	紙、リトグラフ	32.5×93.0
76	ルーチョ・フォンタナ	空間概念	1953	キャンバス、油彩、ガラス	55.0×70.0
77	ジャン・デュビュッフェ	都会生活	1961	キャンバス、油彩	161.3×130.3
78	ピエール・スーラージュ	絵画	1966	キャンバス油彩	130.0×162.0
79	サム・フランシス	ブルー・イン・モーション 3	1960-62	キャンバス、油彩	180.0×200.0
80	ハンス・ハルトゥンク	T.1962-U.6	1962	キャンバス、油彩	162.0×110.0
81 ～ 90	ジャスパー・ジョーンズ	黒の数字シリーズ (10点組) 全点	1968	紙、リトグラフ	94.0×76.2
91 ～ 96	ロバート・ラウシェンバーク	版画集『ソヴェエ ト／アメリカン・ア レー』(7点組)より I, II, III, IV, V, VI (6点)	1988-91	紙、銅版	225×133
97 ～ 106	アンディ・ウォーホル	マリリン (10点組) 全点	1967	紙、シルクスクリーン	92.0×92.0
107	ホルスト・アンテス	室内	1975-80	キャンバス、アクリル	103×123
108	ヴィクトル・ヴァザルリ	シリウス	1965-66	キャンバス、油彩	175.0×175.0
109	アレクサンダー・カルダー	小さな銀河	1973	金属板、針金	228.6×213.3

4. 名品散歩～椅子のデザイン～

110	チャールズ・R.マッキントッシュ	〈ヒルハウス〉ラダーバック・チェア	1902	トネリコ材、ベルベット張り	141.0×41.0×39.0
111	ヘリット・T.リートフェルト	アームチェア〈レッド・アンド・ブルー〉	1934	サクラ材	74.0×37.0×43.0
112	ル・コルビュジエ、P.ジャンヌレ、C.ペリアン	アームチェアLC-1	1928	スチールパイプ、皮革	60×65×64
113	マリオ・ペリーニ	アームチェア〈キャブ〉	1976-77	スチールフレーム（エナメル塗装）、皮革	80×60×52
114	マリオ・ボッタ	アームチェア〈クインタ〉	1986	スチールパイプ、パンチング、スチールプレート	93×45×57
115	ハンス・J.ウエグナー	ザ・チェア	1949	オーク材、籐	63×52×76
116	フランク・O.ゲーリー	ウィグル・サイド・チェア	1977	段ボール	86×34×61
117	アントニオ・ガウディ	カーサ・パトリヨのベンチ	1952	オーク材	103×170×81
118	ジョージ・ナカシマ	コノイド・ダイニング・チェア	1960	ウォルナット材	90×54×57
119	倉俣史朗	アームチェア〈シング・シング・シング〉	1985	スチールパイプ、スチールエキスパンドメタル	86×45×50

Ⅱ 東洋の美

*作品はすべて富山県水墨美術館所蔵

1 栖鳳と鉄斎——京都画壇の作家たち

	作家名	題名	制作年	技法・材質	寸法
120	竹内栖鳳	烏図屏風	1899頃	絹本墨画	171.0×188.0
121	榊原紫峰	竹鳥	1930頃	紙本墨画	67.5×30.5
122	入江波光	帰り来る舟	1938	紙本墨画	52.5×62.2
123	堂本印象	山晴煙雨後	1937頃	紙本墨画淡彩	64.0×85.0
124	富岡鉄斎	普陀落迦山	1887	紙本墨画	63.3×71.5
125	小松均	大原風景	1965頃	紙本墨画	206.4×126.5
126	石崎光瑤	花鳥の図	1935	絹本着彩	77.7×149.7
127	村上華岳	不動尊	1938	紙本淡彩	29.0×20.0
128	小野竹喬	竹	1960頃	紙本墨画	29.0×20.1
129	小野竹喬	青柳	1961頃	紙本墨画	175.0×364.0

2 日本美術院と東京画壇の作家たち

130	菱田春草	竹林	1909頃	紙本墨画淡彩	168.7×174.4
131	横山大観	木立に白鷺	1904	紙本墨画淡彩	48.8×59.6
132	今村紫紅	山路	1911頃	絹本墨画淡彩	28.8×43.6
133	前田青邨	古塔遠望	1925頃	絹本墨画	141.5×51.5
134	前田青邨	風神雷神	1945頃	紙本墨画淡彩	51.0×65.0
135	堅山南風	鳩沼	1929	紙本墨画	71.0×49.0
136	奥村土牛	巢籠	1941	紙本墨画淡彩	106.0×42.0
137	中村岳陵	奔浄	1925頃	絹本墨画	47.0×51.0
138	近藤浩一路	溪流	不詳	紙本墨画	65.0×86.8
139	松林桂月	溪山（千巖競秀觀せんがんしゅうえいをきそう）	1955頃	紙本墨画	61.8×84.3
140	東山魁夷	山・海	1940頃	紙本着彩	40.0×28.0
141	小林古径	牛	1941	絹本墨画	76.0×76.0
142	小林古径	牡丹（白）	1944頃	紙本墨画着彩	44.0×52.0
143	郷倉千靱	初冬	1924	絹本着彩	108.0×120.0
144	郷倉和子	薄日	1991	紙本着彩	168.0×369.0
145	小杉放庵	漁翁図	1940頃	紙本墨画	166.0×174.0
146	小茂田青樹	初冬風景	1921頃	紙本墨画淡彩	169.0×260.0

3 現代の水墨画

147	下保 昭	天昏暈月	1985	紙本着彩	174.0×359.0
148	加山又造	凍れる月光	1981	紙本墨画	43.8×75.4
149	石本正	舞妓立像	1972	紙本彩色	83.5×124.0
150	高山辰雄	郷	1998	紙本着彩	140.5×62.0
151	伊藤 彬	星月山水	1998	紙本墨画	116.7×90.9
152	横山操	月明	1960	布本墨画着彩	97.0×145.5
153	横山操	火の山	1960	布本墨画着彩	180.0×240.0



開場25周年記念 国立能楽堂コレクション展 —能の雅 狂言の妙—

【趣 旨】

国立能楽堂は、日本国内における能楽の普及と発展、演能者の育成を目的に1983年に設立され、以来四半世紀の間、能楽研究のために関係資料の収集にも努めてきた。そのコレクションはこれまでも小規模には公開されてきたが、本展は、国立能楽堂所蔵・寄託の能・狂言面、能・狂言装束、謡本、楽器、絵画・文献資料など約180件を一室に展示する初の機会となり、全国6会場を巡回する(当館は4会場目)。特別展示として重要文化財に指定されている岐阜・春日神社所蔵の能装束を展示した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・本県は世阿弥にゆかりの深い佐渡を擁し、県内や長岡市内には能楽関連の団体が複数存在するものの、一般の県民が日ごろ能楽に直接親しむ機会とはさほど多くないと思われる。入場者のアンケートからは、本展が初心者にとって能楽の世界への入口となり、能楽への潜在的な関心に応えるものだったことが読み取れる。
- ・能楽関連の展示会は過去にも県内で開催されているが、本展では展示物の質の高さが好評であった。
- ・本展は巡回展であったが、当館で独自に用語解説のパネルを多数作成し、わかりやすい内容となるよう配慮できた。
- ・地元の能楽愛好者団体の協力を得てイベントを開催することができた。
- ・入場者数は本展のこれまでの県立美術館を会場とする巡回先とほぼ同程度であった。当初目標を大きく下回ったものの、展示会内容や冬期開

催という条件を考えれば、ますますの成果であったといえる。

●検討課題

- ・本展では地元メディアとの共催によって、テレビ・ラジオでの広報展開が実現したが、当館で共催することの多い民放局とは得意とする広報形態が異なることが多かった。よりよくメディアの特性をふまえて広報計画を練る必要がある。
- ・能楽関連のイベントを開催している他の文化施設との共同広報など、もっと協力体制を密にする必要があった。

【開催日・その他】

＝2009年1月24日(土)～3月1日(日) (36日)＝

主 催：新潟県立近代美術館、NHK新潟放送局、NHKプロモーション

後 援：文化庁、長岡市、長岡市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、株式会社エヌ・シー・ティ、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7、新潟県能楽連盟

協 賛：三井住友海上火災保険株式会社、日本写真印刷株式会社

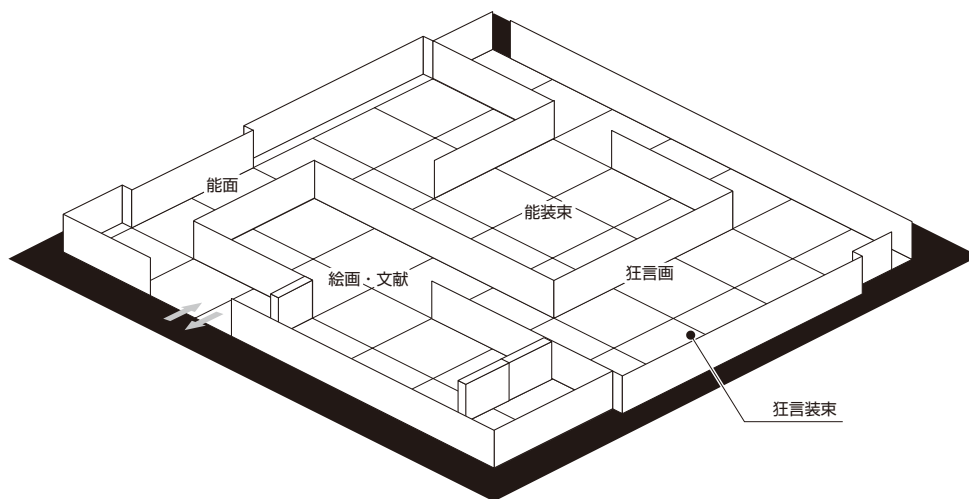
特別協力：独立行政法人日本芸術文化振興会 国立能楽堂

観覧料：一般……………800円(700円)

大学・高校生……………600円(500円)

※中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金



【関連行事】

- ・能の実演
「能楽一謡・仕舞・囃子」
2月8日(日)14時～ 当館講堂
出 演：長岡金春会、長岡観世流観水会
参加人数：250名
- ・ワークショップ
「能のうごきに挑戦」
2月1日(日)14時～ 当館県民ギャラリー
講師：舩岡武雄氏（新潟県能楽連盟理事）
参加人数：29名
- ・映画鑑賞会
「能と狂言シリーズ」 当館講堂
第1回
日 時：2月7日(土)10時～/14時～
内 容：「能入門・隅田川をみる」「能面」「能装束」
参加人数：129名
第2回
日 時：2月14日(土)10時～/14時～
内 容：「能の囃子」「能の謡」「狂言入門・太郎冠者の日々」
参加人数：129人
第3回
日 時：2月21日(土)10時～/14時～
内 容：「世阿弥の能」「狂言・野村万蔵一技とこころ」
参加人数：119名



- ・作品解説会 企画展示室
1月25日(日)14時～ 参加人数：20名
2月 8日(日)14時～ 参加人数：18名
2月15日(日)14時～ 参加人数：50名
2月22日(日)14時～ 参加人数：40名
3月 1日(日)14時～ 参加人数：35名

担当 長嶋圭哉、宮下東子

【図 録】

販売部数：301部
無料配布部数：30部
仕 様：29.8×22.5cm 本文218頁
編 集：NHKプロモーション
発 行：NHKプロモーション
内 容：ごあいさつ・開催に寄せて
能・狂言とその面（田邊三郎助）
能装束と狂言装束（長崎巖）
図版（能面、能装束、狂言面、狂言装束、
能の楽器、絵画・文献）
国立能楽堂の資料（門脇幸恵）
国立能楽堂資料展示室特別展一覧
作品解説・関連年表・謡本の流れ
用語解説
出品目録

【関連記事】

- 新聞
- 1月1日(休) 十日町タイムス
「国立能楽堂コレクション展」
- 1月9日(金) 魚沼新報
「能楽を知る貴重な資料」
- 1月25日(日) 新潟日報
「伝統の舞台彩る品々 長岡で東京・国立能楽堂展」
- 1月29日(木) 長岡新聞
「近代美術館 能楽のコレクションを一堂に」
- 2月2日(月) 新潟日報
「能の奥深さ体で学ぶ」
- 2月3日(火) 朝日新聞 第2新潟
「国立能楽堂が収集 面や装束を一堂に」
- 2月4日(水) 長岡よみうり
「日本の伝統芸能『能・狂言』の面・装束など真近に」
- 2月6日(金) 新潟日報
「国立能楽堂コレクション展 夢幻の世界広がる装束」(近代美術館美術学芸員 長嶋圭哉)
- 2月11日(水) 長岡よみうり
「能の独特の動き『運び』『構え』など体験」〈連載〉
- 長岡新聞「近代美術館 能楽堂コレクション展 展示品紹介」
- ①「紅地雪持柳揚羽蝶模様縫箔」(新潟県立近代美術館学芸員 宮下東子)(2/7(土))
- ②「紅地雪持椿模様唐織」(新潟県立近代美術館学芸員 長嶋圭哉)(2/17(火))



【観覧者数】

有料観覧者数	当日	4,829
	前売	469
無料観覧者数	無料	1,563
	免除	362
総観覧者数		7,223
有料率(%)		74

【出品リスト】

所蔵欄に表記のないものはすべて国立能楽堂所蔵
 所蔵欄に「寄託品」とあるものは、国立能楽堂へ寄託されているもの

No.	分類	作品名	制作年代	所蔵
1	能面	小面	江戸時代 17世紀	
2		万媚	江戸時代 16～17世紀	寄託品
3		泣増	江戸時代 17世紀	寄託品
4		曲見	江戸時代 17～18世紀	
5		瘦女	江戸時代 17～18世紀	
6		老女	江戸時代 18世紀	
7		老女	室町時代 15～16世紀	寄託品
8		山姥	江戸時代 17～18世紀	
9		真蛇	室町時代 16世紀	寄託品
10		安達女	江戸時代 17～18世紀	寄託品
11		般若	江戸時代 18世紀	
12		赤般若	江戸時代 18～19世紀	
13		大喝食	江戸時代 19世紀	寄託品
14		小喝食	室町時代 16世紀	寄託品
15		邯鄲男	江戸時代 18世紀	
16		中将	江戸時代 17世紀	
17		敦盛	江戸時代 18～19世紀	
18		猩々	江戸時代 18世紀	寄託品
19		二十余	江戸時代 18世紀	寄託品
20		靈怪士	桃山時代 16世紀	寄託品
21		小癡見	江戸時代 19世紀	
22		大癡見	室町時代 15～16世紀	寄託品
23		猿癡見	江戸時代 18世紀	寄託品
24		泥小飛出	室町時代 15～16世紀	寄託品
25		黒髭	江戸時代 18世紀	
26		獅子口	室町時代 15～16世紀	
27		小天神	江戸時代 18世紀	
28		神祓	江戸時代 17～18世紀	
29		白色尉	桃山～江戸時代 16～17世紀	
30		父尉	室町時代 15～16世紀	
31		黒色尉	桃山～江戸時代 16～17世紀	
32		髭阿癪尉	江戸時代 17～18世紀	
33		小尉	江戸時代 17世紀	
34		大悪尉	江戸時代 16～17世紀	寄託品
35		茗荷悪尉	室町時代 15～16世紀	寄託品
36		鷲鼻悪尉	江戸時代 18世紀	
37		癡見悪尉	江戸時代 18世紀	寄託品
38		髭癡見	室町～桃山時代 15～16世紀	
参考出品		節木増		
39	能装束	浅葱地竹鶴模様袷狩衣	江戸時代 19世紀	寄託品
40		紫地桐鳳凰模様袷狩衣	江戸時代 19世紀	寄託品
41		紺地石畳法螺貝模様袷狩衣	江戸時代 19世紀	寄託品
42		紫地松皮菱繋浮線綾模様袷狩衣	江戸時代 19世紀	寄託品
43		白地丁字立涌桐唐松模様単狩衣	江戸時代 18～19世紀	
44		萌黄地霞梅花模様単狩衣	江戸時代 19世紀	寄託品
45		萌黄地卍唐花模様袷法被	江戸時代 19世紀	
46		萌黄地卍唐花模様袷法被	江戸時代 19世紀	
47		白地菊花模様袷法被	江戸時代 18世紀	
48		縹地朝鮮錦単法被	江戸時代 18世紀	
49		紺地雲龍模様側次	江戸時代 18～19世紀	寄託品
50		萌黄地蜀江牡丹模様側次	江戸時代 18世紀	寄託品
51		紫地桐鳳凰丸模様側次	江戸時代 19世紀	寄託品
52		紺地龍嶮山模様側次	江戸時代 18～19世紀	寄託品
53		水浅葱地入子菱丸紋散模様厚板	桃山時代 16～17世紀	
54		茶地青海波源氏車模様厚板	江戸時代 18世紀	
55		紺紅段花入亀甲繋桐打板模様厚板	江戸時代 18世紀	
56		紺紅段花入亀甲繋桐打板模様厚板	江戸時代 18世紀	
57		茶納戸段毘沙門亀甲繋獅子丸模様厚板	江戸時代 18世紀	
58		紅白段腰替桐巴格子模様厚板	江戸時代 18～19世紀	
59		白萌黄段格子鶯模様厚板	江戸時代 19世紀	
60	紅地亀甲繋火焰太鼓模様半切	江戸時代 19世紀	寄託品	
61	白地唐花入丁字立涌模様半切	江戸時代 19世紀	寄託品	

No.	分類	作品名	制作年代	所蔵
60		萌黄地松皮菱唐松模様半切	江戸時代 19世紀	寄託品
61		紫地梅花唐草入鱗模様半切	江戸時代 19世紀	寄託品
62		紺地龍嶮山模様半切	江戸時代 19世紀	寄託品
63		紅萌黄茶段青海波洲浜模様唐織	江戸時代 18～19世紀	
63		紅萌黄茶段青海波洲浜模様唐織	江戸時代 18～19世紀	
64		紅白段花茂模様唐織	江戸時代 18世紀	
65		紅地火焰太鼓菊蜻蛉模様唐織	江戸時代 18～19世紀	
66		白地七宝繫唐松櫓扇模様唐織	江戸時代 18～19世紀	
67		紅地雪持椿模様唐織	江戸時代 18～19世紀	
68		金紅段枝垂桜尾長鳥模様唐織	江戸時代 18世紀	
69		薄紅地籠目花丸模様唐織	江戸時代 19世紀	
70		白地藤色紙模様肩裾縫箔	桃山時代 16世紀	寄託品
71		白地草花禽獸模様肩裾縫箔	桃山時代 16世紀	寄託品
72		白地花茂模様縫箔	江戸時代 17世紀	
73		紺地立浪水犀桶模様縫箔	江戸時代 19世紀	
74		白地青海波花熨斗模様縫箔	江戸時代 18世紀	
75		紅地麻葉繫花車模様縫箔	江戸時代 19世紀	
76		紺地紋散模様縫箔	江戸時代 19世紀	
77		白地青海波紅葉模様箔	江戸時代 18世紀	
78		浅葱地青海波松入松皮菱模様箔	江戸時代 18世紀	寄託品
79		紅薄黄萌黄白段入子菱桐唐草露芝蝶模様箔	江戸時代 18～19世紀	寄託品
80		水浅葱地花菱桐菱繫模様箔	江戸時代 18～19世紀	
81		白地幸菱繫模様箔	江戸時代 19世紀	
82		紅地鱗模様箔	江戸時代 18～19世紀	寄託品
83		樺色地枝垂桜鉄線模様長絹	江戸時代 18～19世紀	
84		萌黄地扇地紙牡丹模様長絹	江戸時代 18～19世紀	
85		紫地竹梅若松模様長絹	江戸時代 18～19世紀	
86		浅葱地枝垂柳流水模様長絹	江戸～明治時代 19世紀	
87		紫地扇地紙松模様長絹	江戸時代 19世紀	
88		紅地牡丹銀杏草模様舞衣	江戸時代 19世紀	
89		紫地菱青海波若松梅模様舞衣	江戸時代 18～19世紀	寄託品
90		濃萌黄地紅葉賀模様舞衣	江戸時代 18～19世紀	寄託品
91		紅地桐鳳凰模様舞衣	江戸時代 18～19世紀	寄託品
92		浅葱地糸圭水衣	江戸時代 19世紀	寄託品
93		水浅葱地縷水衣	江戸時代 19世紀	
94		紫地糸圭水衣	江戸時代 19世紀	寄託品
95		茶地縷水衣	江戸時代 19世紀	寄託品
重要文化財		紅白段菊桐山吹模様肩裾縫箔	桃山時代 16世紀	岐阜・春日神社
重要文化財		紅地雪持柳揚羽蝶模様縫箔	桃山時代 16世紀	岐阜・春日神社
参考出品		被	江戸時代	
参考出品		白地鱗模様箔	江戸時代 19世紀	
参考出品		白地桐源氏香模様大口	江戸時代 18～19世紀	
96	狂言面	登髭	江戸時代 17世紀	
97		祖父	江戸時代 18世紀	寄託品
98		通門	江戸時代 18世紀	
99		尼	江戸時代 18世紀	
100		ふくれ	江戸時代 18世紀	
101		乙	江戸時代 16世紀	寄託品
102		武悪	江戸時代 18世紀	
103		空吹	江戸時代 19世紀	寄託品
104		賢徳	江戸時代 19世紀	寄託品
105		智猿	江戸時代 18世紀	
106		白蔵主（伯蔵主）	江戸時代 17世紀	寄託品
107		狐	江戸時代 17世紀	寄託品
108	狂言装束	縹地源氏車青海波模様素襖上下	江戸時代 19世紀	
109		黒地菊花模様素襖上下	江戸時代 19世紀	
110		薄黄地雲丁子丸模様素襖上下	江戸時代 19世紀	
111		海老茶地折鶴模様素襖上下	江戸時代 19世紀	
112		鼠地空目模様素襖上下	江戸時代 19世紀	
113		浅葱地松皮菱葉模様素襖上下	江戸時代 19世紀	
114		茶地斜縞模様素襖上下	江戸時代 19世紀	
115		染分地観世水模様素襖上下	江戸時代 18～19世紀	
116		浅葱地稲穂福良雀模様素襖	江戸時代 18世紀	
117		白地鱗模様素襖	江戸時代 18～19世紀	
118		茶地雨龍模様長袴	江戸時代 19世紀	寄託品

No.	分類	作品名	制作年代	所蔵
119		紺地碇繫模様長袴	明治時代 19世紀	
120		紺地菊菱繫模様肩衣	江戸時代 19世紀	
121		茶地菊輪繫模様肩衣	江戸時代 19世紀	
122		黒地流水鷺模様肩衣	江戸時代 18世紀	寄託品
123		浅葱地枝垂柳霞模様肩衣	江戸時代 19世紀	
124		縹地砵模様肩衣	江戸時代 19世紀	寄託品
125		紺地桐模様肩衣	江戸時代 18～19世紀	寄託品
126		紺地光琳桐模様肩衣	江戸時代 18～19世紀	寄託品
127		紺地鶴模様肩衣	江戸時代 18～19世紀	
128		白地青海波網桜花模様肩衣	江戸時代 18～19世紀	
129		浅葱地月不如帰模様肩衣	江戸～明治時代 19世紀	
130		浅葱地芭蕉蝸牛模様肩衣	江戸時代 18～19世紀	
131		黄地若鮎模様肩衣	江戸時代 19世紀	寄託品
132		薄桃地芭蕉模様肩衣	江戸時代 19世紀	寄託品
133		浅葱地光琳松笹模様肩衣	江戸時代 18世紀	寄託品
134		白地波帆掛舟模様肩衣	江戸時代 19世紀	寄託品
135		黄地碇模様肩衣	江戸時代 18世紀	寄託品
136		藍鼠地菊菱丸文散模様半袴	江戸時代 19世紀	
137		濃茶地丸文散模様半袴	江戸時代 19世紀	
138		濃萌黄地丸文散模様半袴	江戸～明治時代 19世紀	
139		縹地丸文散模様半袴	江戸時代 19世紀	
140		鼠地丸文散模様半袴	江戸時代 19世紀	寄託品
141		萌黄地丸文散模様半袴	江戸時代 19世紀	
142		黒地丸文散模様半袴	江戸時代 19世紀	
143		縹地丸文散模様半袴	江戸時代 19世紀	寄託品
144		茶地縹編綴	江戸～明治時代 19世紀	寄託品
145		紅地雲龍模様唐人衣裳	江戸時代 18～19世紀	
146		紅地龍丸模様唐人衣裳	江戸時代 18世紀	寄託品
147		萌黄地石畳宝尽模様唐人衣裳	江戸時代 18世紀	寄託品
148-1	楽器	能管「騎馬武者図」・那智紅葉蒔絵能管筒	江戸時代 19世紀	
148-2		柴垣梅折枝蒔絵小鼓胴	江戸時代 19世紀	
148-3		碇纏蒔絵大鼓胴	江戸時代 19世紀	
148-4		文箱蒔絵大鼓胴	江戸時代 19世紀	
148-5		火焰宝珠蒔絵太鼓胴	江戸時代 19世紀	
149	絵画・文献	古能楽図	江戸時代初期	
150		古能狂言之図	江戸時代初期	
151		能楽図帖	桃山時代	
152		能之図 狩野柳雪筆	江戸時代 18世紀	
153		能楽手鑑	江戸時代中期	
154		能絵鑑	江戸時代中期	
155		能楽図屏風	江戸時代中期	
156		演能図屏風 土佐光孚筆	江戸時代 18～19世紀	
157		狂言古図	江戸時代初期	
158		狂言古画帖	江戸時代初期	
159		宮中能楽図 狩野栄信筆	江戸時代 19世紀	
160		翁・三番三・千歳 狩野栄信筆	江戸時代 19世紀	
161-1		錦絵「東海道名所之内」御能拝見之図 落款 応需 惺々狂斎 築地大黒屋板	文久3年（1863）5月	
161-2		錦絵「東海道名所之内」御能拝見朝番 落款 応需 狂斎、芳虎画 築地大黒屋板	文久3年（1863）5月	
161-3		錦絵「東海道名所之内」御能拝見昼番 落款 応需 惺々狂斎、芳虎画 築地大黒屋板		
162		弘化勸進能絵巻		
163		雷 河鍋狂斎筆	慶応3年（1867）	
164		能装図	江戸時代	
165		宝生流能装束付	江戸時代後期	
166		能演目番付	嘉永時代元年（1848）	
167		謡本「さくら川」	室町時代末期書写	
168		光悦謡本上製本「班女」	江戸時代初期	
169		光悦謡本特製本「姨棄」	江戸時代初期	
170		光悦謡本本色替り本「東岸居士」		
171		光悦謡本袋綴別製普通本「江口」「杜若」	江戸時代初期書写	
172		謡本「浮舟」	江戸時代初期書写	
173		観世身愛奥書謡本「大原御幸」	江戸時代初期	
174		観世流一番綴紺表紙本	江戸時代初期書写	
175		観世流一番綴縹色表紙謡本	江戸時代初期書写	
参考出品		勸進能興行場所略図	弘化5年（1848）	

共 催 展

第63回新潟県美術 展覧会長岡展

【趣旨及び総括】

県民の日頃の創作活動の発表の場を提供し、併せて新潟県の芸術文化の振興に寄与することを目的に開設され、63回展を迎えた。

日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真の7部門に3,080人4,414点の応募があり、入賞作品54点、入選作品989点が選ばれた。長岡展では7部門の県展賞・奨励賞・新潟日報美術振興賞の入賞作品、長岡市とその周辺地域の入選作品、ならびに審査員、委員、無鑑査作品を展示した。多数の来館者があり盛況の内に終了した。

【開催日・その他】

=2008年6月19日(木)～6月29日(日)=

主 催：新潟日报社・新潟県・新潟県教育委員会・
新潟市・長岡市・上越市教育委員会・村
上市教育委員会・佐渡市教育委員会
後 援：新潟市教育委員会・長岡市教育委員会・
上越市・村上市・佐渡市・新潟日報美術
振興財団

観覧料：一般450円 大学生以下無料

審査員：日本画 大野 百樹
(日本美術院評議員)
宮 いつき
(多摩美術大学教授)
洋 画 高田 光治
(行動美術協会会員)
渡辺 恂三
(新制作協会会員)
版 画 吹田 文明
(日本版画協会理事)
柳澤 紀子
(武蔵野美術大学教授)
彫 刻 瀬戸 剛 (日展理事)
米林 雄一
(東京芸術大学教授)
工 芸 大角 勲 (日展理事)
服部 峻昇 (日展評議員)
書 道 西林 昭一
(跡見学園女子大学名誉教授)
星 弘道 (日展会員)
写 真 白川 義員 (写真家)
吉野 信 (動物・自然写真家)

長岡展作品解説会

6月20日(金) 村山 徳成 (洋画)
6月21日(土) 深澤三枝子 (彫刻)
平澤実知雄 (写真)
浦上 義昭 (日本画)
石丸 雨虹 (書道)
6月22日(日) 目黒 煌人 (書道)
渡辺 寿 (洋画・版画)
菊地 美秋 (日本画)
6月24日(火) 倉茂 義隆 (写真)
山田 初枝 (工芸)
6月26日(木) 今井 厚 (洋画)

担当 立川厚生



第39回新潟県ジュニア 美術展覧会 長岡展

【趣旨及び総括】

園児、児童、生徒を対象とした全県規模のコンクール。今回で39回目を迎えた。

県内766の幼稚園、小・中学校、特別支援学校などから38,702点の応募があり、県内外の審査員により選ばれた2,060点を新潟市、長岡市、柏崎市、上越市の4カ所で巡回展示した。長岡展は当館で開催され、土・日曜日には親子連れの観覧者も多かった。

【開催日・その他】

新潟展 2008年11月29日(土)～12月11日(木)
(新潟県民会館ギャラリー)

長岡展 2009年1月4日(日)～1月15日(木)
(新潟県立近代美術館)

柏崎展 2009年1月21日(水)～1月26日(月)
(柏崎市ソフィアセンター)

上越展 2009年1月29日(木)～2月3日(火)
(上越大和)

主 催：新潟日報社・新潟県教育委員会・新潟県立近代美術館・新潟県美術教育連盟・新潟市教育委員会・長岡市教育委員会・上越市教育委員会・柏崎市教育委員会

後 援：新潟日報美術振興財団

入場無料

審査員

幼稚園・保育園（3～5歳）

富田 徹（新潟医療福祉大学講師）

小学校（1年）

春日明夫（東京造形大学教授）

小学校（2年）

橋本光明（信州大学教授）

小学校（3年）

大泉義一（横浜国立大学准教授）

小学校（4年）

佐藤哲夫（新潟大学教授）

小学校（5年）

水島尚喜（聖心女子大学教授）

小学校（6年）

丹治嘉彦（新潟大学准教授）

中学校（1年～3年）

福岡奉彦（上越教育大学教授）

特別支援学校

山田芳明（鳴門教育大学大学院准教授）

応募点数 幼児 5,049点

特賞3点 優秀賞26点

奨励賞253点 佳作4,767点

小学校 29,867点

特賞18点 優秀賞143点

奨励賞1,397点 佳作28,309点

中学校 3,059点

特賞9点 優秀賞16点

奨励賞156点 佳作2,878点

総合計 38,702点

特賞30点 優秀賞190点

奨励賞1,840点 佳作36,642点

担当 池上秀敏

第12回新潟県立美術館 友の会作品展

【趣旨及び総括】

友の会会員の制作した作品を募集し、美術館のギャラリーに展示することで、会の結束を図りながら、美術館の運営について理解する機会を提供するとともに、美術館の活動に協力することを目的として、平成9年度より開催している。会員15名による29点と長岡市美術協会の賛助作品4点を展示した。

賛助出品については、友の会が発足10周年を迎えた平成16年度第8回展より、会の発足時に支援のあった長岡市美術協会への感謝の意を表し、記念の展示としている。

また、会員の要望により、作品制作の楽しさを、広く身近に感じてもらうため、同時開催として、会場の一角で、平成20年3月、佐渡市相川で開催された『第8回全国高等学校版画選手権大会「はんが甲子園」』本選大会の高校生による版画作品を展示紹介した。

【開催日・その他】

2008年11月1日(土)～9日(日) 9日間

会 場：新潟県立近代美術館ギャラリー

主 催：新潟県立美術館友の会、新潟県立近代美術館

入場無料

担当 佐藤和子（新潟県立美術館友の会事務局）

第10回亀倉雄策賞 受賞記念 佐藤卓展

【趣旨及び総括】

JAGDAの活動の一環である「亀倉雄策賞」、
「JAGDA新人賞」の受賞作家の作品展を開催し、
鑑賞者にグラフィックデザインの創造性と面白さ
を感じてもらい、デザインへの理解と親近感を醸
成することを趣旨とする。トークイベントも含め、
多くの市民や学生などが来館した。

【開催日・その他】

2008年9月27日(土)～10月5日(日)

会 場：新潟県立近代美術館ギャラリー

主 催：新潟県立近代美術館、長岡造形大学、社
団法人日本グラフィックデザイナー協会
(JAGDA)

協 力：長岡デザインフェア2008実行委員会、
新潟県立美術館友の会、長岡デザイン
フォーラム、クリエイションギャラリー
G8、亀倉雄策賞事務局、株式会社北斗
社、株式会社キラ・コーポレーション、
富士ゼロックス株式会社、有限会社ウォ
ンバット

入場無料

開催記念トークイベント

10月5日(日)13：30～16：45

パート1 JAGDA新人賞トーク

岡室 健・小杉幸一・福岡南央子・丸橋 桂

パート2 亀倉雄策賞トーク

佐藤 卓・福田 毅

同時開催（同期間・同会場にて開催）

JAGDA新人賞受賞作家作品展2008

岡室 健・小杉幸一・福岡南央子・丸橋 桂

担当 長谷川重雄

第12回長岡市中学校 美術部作品展

【趣旨及び総括】

活動の成果を披露する場の少ない美術部に作品
発表の機会を提供しようと始まった。生徒が伸
び伸びと制作した作品を発表できる場を目指し、
テーマや賞などは設けていない。親子連れなど、
多くの観覧者があった。

【開催日・その他】

2008年11月15日(土)・16日(日)

会 場：新潟県立近代美術館ギャラリー

主 催：長岡悠久ライオンズクラブ

共 催：新潟県立近代美術館

後 援：長岡市教育委員会・長岡造形大学

参加校

東中・宮内中・東北中・西中・江陽中・山本中・

大島中・青葉台中・旭岡中・中之島中・三島中・

山古志中・小国中・秋葉中

入場無料

担当 池上秀敏

企 画 展



東京都写真美術館コレクションによる 写真・昭和の肖像1945～1989ーレンズが視た戦後の日本

【趣 旨】

昭和から平成へと時代が変わり、すでに20年が経過しようとしている現在、昭和はもはや多くのの人々にとって遠い存在になりつつあるのかもしれない。この展覧会は、戦後の昭和という時代に焦点をあてて、豊富な写真コレクションを誇る東京都写真美術館から日本社会の様々な諸相をとらえた約250点の写真作品を借りて、戦後の日本の姿を振り返ろうというものである。

昭和30・40年代の高度経済成長期を中心に、敗戦直後の占領下からバブル経済期までの日本の姿を、4章に分けて構成。壊滅的な敗戦を出発点に、政治的な民主化と奇跡的な経済復興を成し遂げた戦後の日本社会の諸相を捉えた写真および時代を象徴する人物写真も交えて、この激動の戦後昭和が時代肖像として浮かび上がることを企図した。平成19年度に東京都写真美術館で4期に分けて開催した「昭和 写真の1945～1989」展を新たに再構成した展覧会である。

【総 括】

●評価すべき点

- ・所蔵先の東京都写真美術館と比較し余裕のある会場スペースを生かす形で展覧会を再構成し、内容豊かに数多くの優れた写真作品を紹介することができた。
- ・近年の昭和を見直す気運の中で、社会の明暗の両面を鋭く切り取った写真をたどることによって、昭和という時代性をより強く認識できる機会が提供できた。

●検討課題

- ・写真に撮影された光景が東京中心となり、地方

からの視点とのバランスに偏りが見られた。

- ・作品の選択肢に限度はあったが、新潟を撮影した作品をもう少し増やすなど、中央と地方の両方の視点から戦後の日本を振り返るような工夫が必要だったかと考える。

【開催日・その他】

＝2008年5月24日(土)～7月27日(日) (56日間)＝

主 催：新潟県立万代島美術館

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、メディアッティ新潟、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

企画協力：東京都写真美術館

観覧料：一般……800円 (700円) (600円)

大学・高校生……500円 (400円)

中学・小学生……無料

※ () 内は20名以上の団体料金

※ く 内は前売り券料金

【関連行事】

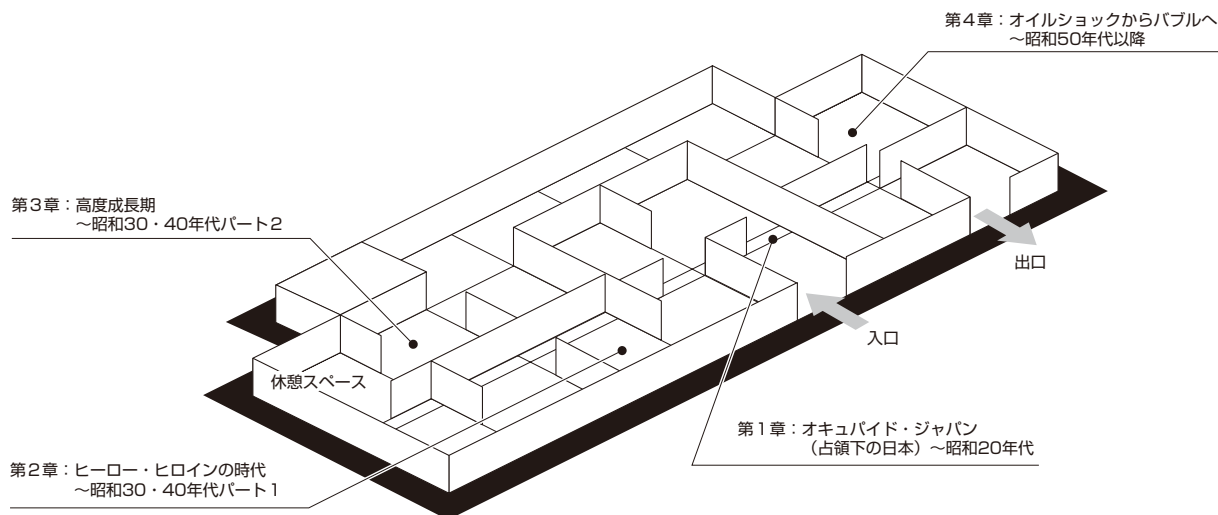
・講演会

「『昭和』を視るー戦後写真の軌跡」

7月5日(土)14:00～15:50

万代島ビル11階NICOプラザ会議室にて

講師：金子隆一氏 (東京都写真美術館専門調査員)



- 参加者数：25名
- ・ギャラリー・トーク
5月24日(土)14：00～15：00
美術館展示室にて
講師：藤村里美氏（東京都写真美術館学芸員）
参加者数：47名
 - ・美術鑑賞講座
「昭和戦後の写真」
6月21日(土)14：00～15：40
万代島ビル11階NICOプラザ会議室にて
講師：澤田佳三（当館主任学芸員）
参加者数：19名
 - ・作品解説会
会期中の土・日・祝日（ただし他のイベントがある日は除く）14：00より、美術館展示室にて

担当 澤田佳三、高畠竣

【関連記事】

- ・新聞
6月16日(月) 新潟日報
よみがえる昭和の息吹 新潟で「レンズが視た戦後の日本」展／澤田佳三
6月21日(土) 朝日新聞（全国版）
be art 美の履歴書062 林忠彦「太宰治」／古賀太
- その他
十日町新聞（5/30金）
読売新聞（新潟版）（6/6金）

- ・雑誌
月刊にいかたタウン情報2008年5月号,p.152
レンズを通して見た、激動の「戦後の昭和」
新潟WEEK!2008年5.16号,p.75
写真を通して「昭和」という時代の日本の姿を振り返る
月刊キャレル2008年6月号,p.70
Niigata English Journal, 245 (June. 2008)
Snapshot: "Japan During the Showa Era" Photo Exhibition
モンモ夏号2008年No.16,p.100
写真に切り取られた「昭和」を再び体験する

- ・テレビ
5月19日(月) NHK新潟放送局 新潟ニュース 610／澤田佳三
7月13日(日) NHK教育 新日曜美術館 アートシーン

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	4,006
	前 売	291
無料観覧者数	無 料	1,320
	免 除	448
総 観 覧 者 数		6,065
有 料 率 (%)		70.8

【出品リスト】

■第1章：オキュパイド・ジャパン（占領下の日本）～昭和20年代

番号	作家名	作品名	制作年
1	濱谷浩	敗戦の日の太陽、高田	1945.8.15
2	石川光陽	東京大空襲	1945.3.10
3	山端庸介	焼死体のわきに、茫然と立ちつくす若い女性（浜口町付近、南500m）	1945.8.10午後1時過ぎ
4	山端庸介	防空壕に避難して助かった女性（中町天主堂付近、南南東2.6km）	1945.8.10朝
5	林重男	相生橋東詰め北側の広島商工会議所屋上から広島市内を見わたす（360°のパノラマ）	1945
6	師岡宏次	東京大空襲後の銀座4丁目交差点	1945.5.25
7	菊池俊吉	国会議事堂	1945-46
8	林忠彦	復員（品川駅）	1946
9	林忠彦	引き揚げ（上野駅）	1946
10	三木淳	シベリアからの引き揚げ船 高砂丸の舞鶴入港「赤軍故郷に帰る」より	1949
11	三木淳	シベリアからの引き揚げ船（「四方武」の母）「赤軍故郷に帰る」より	1949
12	中村立行	白衣の勇士	1954
13	木村伊兵衛	露天、新宿	1945
14	木村伊兵衛	東京駅	1945
15	林忠彦	配給を受ける長蛇の列（銀座）	1946
16	菊池俊吉	浮浪者収容所施設の栄養失調児	1945
17	菊池俊吉	浮浪者収容所施設の栄養失調児	1945
18	福島菊次郎	遺族の家	1945
19	福島菊次郎	「敗戦・飢餓の島」より	1946
20	林忠彦	女の子や娘の靴みがきもふえた（有楽町）	1947
21	林忠彦	浮浪児（上野）	1946
22	田村茂	浮浪児	1945
23	土門拳	路傍 銀座	1954
24	土門拳	橋の上	1945-55
25	細江英公	乞食の父子、銀座四丁目付近	1954
26	細江英公	乞食の母子、銀座数寄屋橋上	1952
27	中村立行	戸越公園駅	1946
28	林忠彦	骨董品を貫う進駐軍兵士	1946
29	木村伊兵衛	銀座	1947
30	木村伊兵衛	上野公園	1945
31	笹本恒子	米軍専用車「昭和・あの時・あの人」より	1946
32	笹本恒子	銀座4丁目 P.X.	1946頃
33	渡部雄吉	デッドエンド、東京・日比谷の米軍施設	1951
34	木村伊兵衛	東京裁判	1948
35	樋口忠男	銀座のこども	1948
36	吉岡専造	運命の子供「現代の感情」より	1952
37	大竹省二	シャンソン歌手、ジョセフィン・ペーカー	1954
38	大束元	総選挙開票速報を見ようと集まる人々（有楽町）	1952
39	吉岡専造	傍聴席「現代の感情」より	1951
40	吉岡専造	記者会見「現代の感情」より	1953
41	田村茂	訴える―三越のストライキ	1951
42	三木淳	血のメーデー、警官隊とデモ隊の乱闘	1952.5.1
43	三木淳	血のメーデー、警官隊とデモ隊の乱闘	1952.5.1
44	林忠彦	ゴミ捨て場のバー（大森）	1950
45	園部澄	新宿聚楽前、新宿区	1951
46	木村伊兵衛	数寄屋橋公園、踊る宗教	1948
47	樋口忠男	銀座 マダム・マサコの店	1945-48
48	笹本恒子	生きたニュールック写真展	1950
49	林忠彦	坂口安吾	1946
50	林忠彦	太宰治	1946
51	稲村隆正	永井荷風を囲んで、浅草常磐座	1948
52	大束元	カジノ座の人々、浅草	1953
53	林忠彦	額縁ショー（新宿、帝都座）	1947
54	杉山吉良	ヌード	1945-49
55	真継不二夫	裸婦「美の生態Ⅱ」より	1951
56	真継不二夫	「美の生態Ⅱ」より	1951
57	福田勝治	光る女体	1948
58	大束元	交通整理、銀座4丁目	1948
59	大辻清司	オブジェ	1953
60	中村立行	ヌード	1955
61	濱谷浩	津軽の男 青森県北津軽郡中里町近郷「裏日本」より	1955
62	濱谷浩	佐渡の雨「裏日本」より	1955

63	濱谷浩	昼休み「裏日本」より	1955
64	濱谷浩	乗合櫓「裏日本」より	1955

■第2章：ヒーロー・ヒロインの時代～昭和30・40年代パート1

番号	作家名	作品名	制作年
65	早田雄二	[スター網引き] (灰田勝彦、笠置シズ子、若山セツ子、古川緑破、宇佐美淳、井川邦子、水島道太郎、日高澄子、森雅之、山口淑子、佐田啓二、浜田百合子、三船敏郎、田中絹代、山根寿子、上原謙)	1950頃
66	早田雄二	原節子	1950頃
67	渋谷龍吉	輝く瞳 原節子	1938頃
68	松島進	高峰秀子	1945
69	松島進	京マチ子	1950
70	木村伊兵衛	岸恵子	1954
71	早田雄二	月丘夢路	1955頃
72	松島進	美空ひばり	1954
73	稲村隆正	池部良と越路吹雪 日劇「越路の春」稽古場にて	1952
74	松島進	三国連太郎	1953
75	松島進	力道山	1951
76	稲村隆正	ジブシー・ローズ (東劇パーレスク劇場楽屋)	1954
77	フィリップ・ハルスマン	マリリン・モンロー	1952
78	早田雄二	シャーリー・マクレーン	1957頃
79	早田雄二	イングリッド・バーグマン	1960頃
80	早田雄二	アルフレッド・ヒッチコック	1965頃
81	小川隆之	ORSON WELLS (オーソン・ウェルズ)	1976
82	高梨豊	[ジョン・レノン] 千代田区 丸の内松竹 ビートルズ映画大会「東京人 1945-65」より	1965
83	ウィリアム・ユージン・スミス	(ボブ・ディラン) ジャズとフォークのミュージシャンたち	1959-1969
84	ジョージ・S・ジンベル	ジャックリーヌ・ケネディとジョン・ケネディ、ニューヨーク	1960
85	三木淳	ユージン・スミス、ニューヨークで「マイ・フレンズ、グレート・フォトグラファーズ」より	1954
86	大竹省二	女優 若尾文子「女優」より	1962頃
87	稲村隆正	太地喜和子17歳	1961
88	佐藤明	[江波杏子]「サイコロピアン」より	1962
89	佐藤明	[岸恵子] おんな	1970
90	秋山庄太郎	吉永小百合「昭和の美女」より	1970頃
91	秋山庄太郎	浅丘ルリ子「昭和の美女」より	1970頃
92	秋山庄太郎	藤純子「昭和の美女」より	1969
93	石元泰博	[高倉健、藤純子] ポートレイト	1968
94	石元泰博	[森進一] ポートレイト	1968
95	森山大道	[加山雄三と松本めぐみ] 赤坂「東京」より	1971
96	秋山庄太郎	山本リンダ「昭和の美女」より	1975頃
97	秋山庄太郎	桜田淳子「昭和の美女」より	1975
98	松本徳彦	越路吹雪「ロングリサイタル」日生劇場	1971
99	大竹省二	歌手 淡谷のり子「歌手」より	1980頃
100	大竹省二	女優 山田五十鈴「女優」より	1980頃
101	藤井秀樹	丘ひろみ「MAX FACTOR」より	1963
102	篠山紀信	カルメン・マキ	1969
103	立木義浩	「舌出し天使」より	1965
104	細江英公	唐十郎、李礼仙夫妻、作家と女優「知人の芸術家たち」より	1966
105	細江英公	澁澤龍彦、作家「知人の芸術家たち」より	1965
106	大竹省二	喜劇俳優、榎本健一	1960頃
107	大竹省二	落語家、古今亭志ん生	1965頃
108	石元泰博	[棟方志功] ポートレイト	1968-69
109	石元泰博	[三島由紀夫] ポートレイト	1968-69
110	野上透	大江健三郎、東大生協店「われらの文学」より	1965
111	林忠彦	石坂洋次郎「文士の時代」より	1975頃
112	林忠彦	有吉佐和子「文士の時代」より	1960頃
113	林忠彦	安部公房「文士の時代」より	1965頃
114	林忠彦	五木寛之「文士の時代」より	1970頃
115	林忠彦	遠藤周作「文士の時代」より	1965頃
116	林忠彦	開高健「文士の時代」より	1970頃
117	操上和美	野坂昭如「ポートレイト・シリーズ (1970s)」より	1977
118	操上和美	井上陽水「ポートレイト・シリーズ (1970s)」より	1976
119	操上和美	沢田研二「ポートレイト・シリーズ (1970s)」より	1978
120	木之下晃	マリア・カラス	1974
121	木之下晃	アルフレート・ブレンデル	1974
122	石井幸之助	池田勇人	1960-64
123	石井幸之助	佐藤栄作	1969
124	石井幸之助	田中角栄	1972
125	斎藤康一	土光敏夫	1974

126	斎藤康一	松下幸之助	1975
127	斎藤康一	黒澤明	1975
128	林忠彦	王貞治（野球・巨人軍）	1970頃
129	奈良原一高	古橋広之進、東京、日本大学理学部プール「肖像の風景」より	1982
130	奈良原一高	森英恵、東京、港区、「ハナエモリ」ビル「肖像の風景」より	1982
131	奈良原一高	堤清二、東京、池袋、サンシャインビル会長「肖像の風景」より	1983

■第3章：高度成長期～昭和30・40年代パート2

番号	作家名	作品名	制作年
132	園部澄	浅草六区の興行街・台東区「忘れえぬ戦後の日本」より	1960
133	長野重一	5時のサラリーマン「ドリームエイジ」より	1959
134	長野重一	通勤電車2「ドリームエイジ」より	1961
135	高梨豊	新宿区 新宿駅「東京人 1964～65」より	1964-65
136	園部澄	分譲地「忘れえぬ戦後の日本」より	1962
137	長野重一	自動車ショー2「ドリームエイジ」より	1960
138	長野重一	テレビ開局1「ドリームエイジ」より	1959
139	長野重一	テレビを見る人たち1「ドリームエイジ」より	1959
140	長野重一	ブームの中の赤ちゃん「ドリームエイジ」より	1960
141	石元泰博	子供	1958頃
142	長野重一	団地の道「ドリームエイジ」より	1956
143	臼井薫	風呂屋の子	1957
144	長野重一	学習塾の幼稚園児「ドリームエイジ」より	1964
145	園部澄	岬の分校「忘れえぬ戦後の日本」より	1963
146	田沼武能	落書き遊びも危険になった 東京、台東	1959
147	北井一夫	新潟県山古志「村へ」より	1978
148	英伸三	出稼ぎの留守家族「農村からの証言」より	1965
149	英伸三	集団就職・名古屋駅に着いた少年少女たち「一生懸命の時代」より	1971
150	英伸三	集団就職・出発「一生懸命の時代」より	1971
151	田村茂	砂川闘争	1956頃
152	田村茂	安保闘争	1960頃
153	長野重一	安保に反対する学生1「ドリームエイジ」より	1960
154	大束元	安保の夜0時、国会議事堂前	1960
155	熊切圭介	「東大紛争」より	1969
156	熊切圭介	「学生闘争」より	1969
157	英伸三	国労のストライキ 2「一生懸命の時代」より	1969
158	英伸三	米価闘争2「農村からの証言」より	1967
159	英伸三	農業散布「農村からの証言」より	1967
160	桑原史成	水俣病 ⁽⁵⁾ 元網元の漁師の手「水俣病」より	1970
161	桑原史成	水俣病 ⁽⁹⁾ 上村智子を抱く父親「水俣病」より	1977
162	田村茂	サリドマイドの惨禍	1966頃
163	東松照明	公害の源流「足尾銅山」より	1970
164	園部澄	廃棄物の山「忘れえぬ戦後の日本」より	1960
165	北井一夫	少年行動隊 結成の日「三里塚」より	1970
166	北井一夫	念仏講の日「三里塚」より	1970
167	石元泰博	街、東京	1958頃
168	石元泰博	街、東京	1957頃
169	石元泰博	街で見たもの、東京	1970-88
170	東松照明	万国博覧会	1970
171	常盤とよ子	赤線地帯6「危険な毒花」より	1955-58
172	常盤とよ子	赤線地帯5「危険な毒花」より	1956
173	常盤とよ子	女子プロレス2 横浜野毛山プール「危険な毒花」より	1956
174	奈良原一高	人間の土地、緑なき島#3「人間の土地」より	1954-57
175	奈良原一高	人間の土地、火の山の麓「人間の土地 第2部 火の山の麓」より	1954-57
176	奈良原一高	王国、沈黙の園「王国 第1部 沈黙の園」より	1958
177	奈良原一高	王国、沈黙の園「王国 第1部 沈黙の園」より	1958
178	奈良原一高	王国、壁の中「王国 第2部 壁の中」より	1956
179	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1961
180	東松照明	「チューインガムとチョコレート」より	1966
181	川田喜久治	ヒロシマ・太田川・ドーム「地図」より	1959-65
182	川田喜久治	原爆ドームと太陽 爆心地「地図」より	1959-65
183	丹野章	虎「サーカス」より	1956-57
184	丹野章	ミスティク「サーカス」より	1956-57
185	細江英公	おとこと女「おとこと女」より	1960
186	細江英公	薔薇刑「薔薇刑」より	1961
187	佐藤明	冷たいサンセット（高島三枝子）	1960
188	佐藤明	冷たいサンセット（高島三枝子）	1960
189	高梨豊	杉並区 環状七号線「東京人 1964～65」より	1964-65

190	高梨豊	新宿区 伊勢丹「東京人 1964~65」より	1965
191	森山大道	にっぽん劇場（戸波龍太郎一座）「にっぽん劇場」より	1966
192	荒木経惟	「センチメンタルな旅」より	1971
193	荒木経惟	「センチメンタルな旅」より	1971
194	深瀬昌久	洋子、九段	1964
195	深瀬昌久	洋子とその母、松原団地	1970
196	柳沢信	「都市の軌跡」より	1964-71
197	柳沢信	新宿「都市の軌跡」より	1964
198	牛腸茂雄	「日々」より	1967-70
199	牛腸茂雄	「日々」より	1967-70
200	内藤正敏	酒を飲む浮浪者、銀座「東京」より	1970
201	内藤正敏	笑う老婆、青森県久渡寺「婆、バクハツ！」より	1969

■第4章：オイルショックからバブルへ～昭和50年代以降

番号	作家名	作品名	制作年
202	石内都	「APARTMENT」より	1977-78
203	石内都	「APARTMENT」より	1977-78
204	高梨豊	新宿区 白銀町 コインランドリー「東京人 1978~83」より	1982
205	高梨豊	豊島区 池袋 西武百貨店「東京人 1978~83」より	1979
206	渡辺兼人	「既視の街」より	1979
207	渡辺兼人	「既視の街」より	1979
208	児玉房子	「東京 1970-1977」より	1976/77
209	児玉房子	「東京 1970-1977」より	1976/77
210	土田ヒロミ	「砂を数える」より	1981
211	土田ヒロミ	「砂を数える」より	1981
212	大西みつぐ	根津 1980. 4 「ワンダーランド 1980-1989」より	1980
213	大西みつぐ	東砂 1984. 8 「ワンダーランド 1980-1989」より	1984
214	飯田鉄	学校 「街区の眺め《東京を巡る》」より	1984
215	飯田鉄	盛り場 「街区の眺め《東京を巡る》」より	1984
216	山内道雄	新宿区 歌舞伎町 1984「東京」より	1984
217	山内道雄	東京 六本木 1984年10月「人へ」より	1984
218	山内道雄	東京 阿佐ヶ谷 1985年8月「街」より	1985
219	島尾伸三	「生活 1980-1985」より	1980-85
220	島尾伸三	「生活 1980-1985」より	1980-85
221	大島洋	川井「春と修羅」より	1979-83
222	大島洋	金ヶ崎「春と修羅」より	1979-83
223	橋口譲二	元山浩一「十七歳の地図」より	1987
224	橋口譲二	大村百世「十七歳の地図」より	1987頃
225	橋口譲二	原田佳明「十七歳の地図」より	1987頃
226	鬼海弘雄	行政書士「王たちの肖像」より	1985
227	鬼海弘雄	日本舞踊教授「王たちの肖像」より	1986
228	鬼海弘雄	浮浪者「王たちの肖像」より	1985
229	築地仁	「写真像」より	1981-83
230	築地仁	「写真像」より	1981-83
231	伊奈英次	文京区 後楽園 1982「IN TOKYO」より	1982
232	伊奈英次	新宿区 西新宿 1983「IN TOKYO」より	1983
233	小林のりお	東京都八王子市別所「ランドスケープ」より	1984
234	小林のりお	横浜市港北ニュータウン「ランドスケープ」より	1986
235	柴田敏雄	福島県南会津郡田島町「日本典型」より	1989
236	宮本隆司	日比谷映画劇場、東京「建築の黙示録」より	1984
237	宮本隆司	筑波科学博覧会パヴィリオン、筑波「建築の黙示録」より	1985
238	雑賀雄二	「軍艦島一棄てられた島の風景」より	1985/86
239	雑賀雄二	「軍艦島一棄てられた島の風景」より	1985/86
240	雑賀雄二	「軍艦島一棄てられた島の風景」より	1985/86
241	伊奈英次	在日米空軍三沢基地第6920電子保安軍 青森県三沢市「ZONE」より	1987
242	伊奈英次	KDD八俣送信所 茨城県猿島郡三和町「ZONE」より	1986
243	畠山直哉	「ライム・ヒルズ」より	1988
244	畠山直哉	「ライム・ヒルズ」より	1987
245	林隆喜	上野動物園、東京都「ZOO」より	1986
246	林隆喜	伊豆バイオパーク、静岡県「ZOO」より	1986
247	荒木経惟	「写真論 1988-1989」より	1988-89
248	荒木経惟	「写真論 1988-1989」より	1988-89
249	荒木経惟	「写真論 1988-1989」より	1988-89
250	荒木経惟	「写真論 1988-1989」より	1988-89
251	川田喜久治	昭和最後の太陽「ラスト・コスモロジー」より	1989

■雑誌資料

	書名	巻号
1	カメラ	1947年9月号 (303号)
2	カメラ	1950年1月号 (330号)
3	アサヒカメラ	1949年10月号 (194号)
4	カメラ毎日	1965年4月号 (134号)
5	カメラ毎日	1966年1月号 (143号)
6	太陽	1968年11月号 (65号)
7	PROVOKE	2号 (1969年3月)
8	PROVOKE	3号 (1969年8月)
9	季刊写真映像	1巻1号 (1969年5月)





巨匠の名画 ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからマティス、ピカソまで

【趣 旨】

2002年9月、箱根仙石原に開館したポーラ美術館は、印象派を中心とした西洋絵画と黒田清輝ら日本の洋画や日本画など、約9500点にもおよぶ日本最大級のコレクションを収蔵している。

中でも西洋絵画は、印象派からセザンヌ、ゴッガン、ゴッホなどの後期印象派、モディリアーニやシャガールなどエコール・ド・パリの画家たちの絵画、ピカソ、マティスら20世紀絵画に至るまで、体系的に収集されており、美術史を語るうえで重要な時代や作家たちの作品を網羅している。ポーラ美術館コレクションの特筆すべきことは、ただ単に網羅しているだけではなく、巨匠の生涯にとっても重要な意味のある、いわゆる「名画」ばかりを収蔵している点である。これらの作品群はポーラ・グループのオーナーであった鈴木常司氏が40年以上にわたって収集されたもので、作品の歴史や時代背景を研究したうえで、ヨーロッパの近代美術の流れがわかるような収集を心懸けたと言われている。コレクションの多くが言わば「巨匠の名画」ばかりである背景にはそういった理由もある。

本展ではこのコレクションの中から、モネの《睡蓮》、《グラン・ジャット島》、《セーヌ河の日没、冬》、ルノワールの《水浴の女》、セザンヌ《4人の水浴の女たち》、ゴッホの《ヴィゲラ運河にかかるグレーズ橋》など、ポーラ美術館が所蔵する作品の中でも最も人気があり、かつそれぞれの作家を代表する作品とも言える名画73点を紹介した。

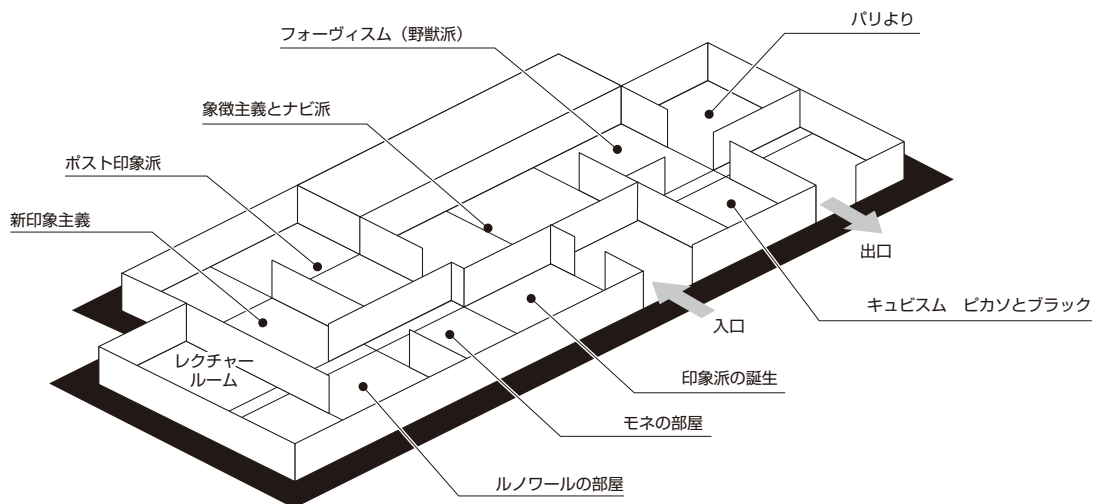
【総 括】

●評価すべき点

- ・鑑賞者がキャプションを読み、滞留時間が長くなることでの混雑を想定し、作品間隔や配置を考慮した。
- ・展示構成では造作物を工夫し、展示が引き立つよう考慮した。展示構成、作品解説、作家略歴について、ポーラ美術館学芸部の協力を得て、全てに目を通して頂くことができた点でも良い形になったと考えている。
- ・73点の作品全てが名画と言える作品群であったこともあり、絵画展としては当館の新記録である5万人を超える来館者を得た。
- ・会場内に特設レクチャールームを用意して解説会を行ったことで、大勢の入館者がおられても、解説に親しんでもらうことができた。

●検討課題

- ・キャプションの大きさについて、小さいというアンケート結果が見られた。作品鑑賞の妨げにならない大きさについては常に考慮しているが、まだ最適の大きさを見つけれられていない。
- ・鑑賞中のおしゃべりや靴音について、他の鑑賞者の妨げになるので注意すべきだとの意見がある一方で、靴音は不可抗力であり、きつく注意しすぎであるという意見もあった。



【開催日・その他】

2008年8月9日(土)～10月5日(日) (58日間)
 主 催：新潟県立万代島美術館／新潟日报社／B
 SN新潟放送／ポーラ美術館展新潟展実
 行委員会／財団法人ポーラ美術振興財団
 ／ポーラ美術館／新潟日報美術振興財団
 後 援：新潟市／新潟市教育委員会／NHK新
 潟放送局／エフエムラジオ新潟／FM
 PORT 79.0／FM KENTO／ラジ
 オチャット・エフエム新津／エフエムしば
 た／燕三条エフエム放送株式会社
 協 賛：三井ホーム 新潟中央ホーム株式会社
 協 力：日本通運／JR東日本支社
 企画制作：TBS
 企画協力：デモアン
 観覧料：一 般……1,000円(900円)〈800円〉
 大学・高校生……500円(400円)
 ※中学生以下は無料
 ※ () 内は20名以上の団体料金
 ※ 〈 〉 内は前売券料金

【関連行事】

- ・ 展覧会特別講演会
 「フランス近代美術の歓びーポーラ美術館コレ
 クション展から」
 9月28日(日)14:00～15:30
 万代島ビル11階NICOプラザ会議室
 講 師：荒屋鋪透(ポーラ美術館学芸部長)
 参加者数：70名
- ・ 美術鑑賞講座
 「印象派の誕生と近代絵画」
 8月23日(土)14:00～15:30
 万代島ビル11階NICOプラザ会議室
 講 師：藤田裕彦(当館業務課長代理)
 参加者数：80名
- ・ 作品解説会
 会期中の土・日・祝日の午後2時より(全19回)
 万代島美術館展示室内レクチャールーム
 参加者数：延べ1309名
- ・ 入館者1万人達成
 8月21日(木)15:05
- ・ 入館者3万人達成
 9月19日(金)11:00
- ・ 入館者5万人達成
 10月5日(日)13:10

担当 藤田裕彦、高晟竣



【図 録】

製作部数：3会場で制作

販売部数：1130冊

無料配布部数：160冊

仕 様：A4版変形 本文163頁

編 集：財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館

執 筆：木島俊介（当展監修者）

荒屋鋪透（財団法人ポーラ美術振興財団
ポーラ美術館）

松本猛（長野県信濃美術館）

藤田裕彦（新潟県立万代島美術館）

岩崎余帆子（財団法人ポーラ美術振興財団
ポーラ美術館）

島本英明（財団法人ポーラ美術振興財団
ポーラ美術館）

写真撮影：亀村俊二、矢澤一之

デザイン：馬面俊之

制 作：インターパブリカ

印 刷：ピーオーメディアサービス

発 行：TBSテレビ

内 容：ポーラ美術館のコレクションと鈴木常司
ーコレクターが残した言葉から／荒屋鋪
透

印象派、あるユートピアの終焉／木島俊
介

画家たちの足跡をたずねてー南フランス
の旅／松本猛

クロード・モネの《セーヌ河の日没、冬》
（1880年）ーモネとヴェトゥイユ／岩
崎余帆子

キュビスムの誕生ーピカソとブラックの
蜜月時代／藤田裕彦

カタログ

I モネと印象派の光

II マティスと色彩の画家

III ピカソと絵画の実験

関連地図／島本英明

関連年表／岩崎余帆子

出品リスト

【関連記事】

●新聞

7月3日(木) 新潟日報

「印象派から20世紀美術まで 画風の変遷見ど
ころ」／藤田裕彦

8月9日(土) 新潟日報

「100年の歳月 変革をたどる マネ、モネか
らピカソまで」／荒屋鋪透（ポーラ美術館学芸
部長）

新潟日報「私のお薦めポーラ美術館コレクショ
ン」

①作品の質高く見応え／杉森企観明（9/25(木)）

②奥深い「自然の写生」／池山阿有（9/26(金)）

③華麗な西洋絵画堪能／近藤直行（9/26(金)）

④美しい夢の森の世／伊藤栄一（9/30(火)）

⑤新鮮な色彩とタッチ／富田徹（10/1(水)）

その他

新潟日報

（1/3、6/17、6/5、7/1、7/3、7/4、7/6、
7/9、7/12、7/21、7/25、7/28、8
/1、8/5、8/6、8/14、8/17、8/20、
8/22、9/22、8/26、8/28、9/1、9/9、
9/12、9/18、9/26）

週刊「朝日だより」（7月第4週号）

新美術新聞（8月1・11日合併号）
十日町新聞（7/5(土)）
北日本新聞（8/26(火)）

●雑誌

白い国の詩 6月号
ASSH 7月号・9月号
とっときガイド 7・8月号
月刊キャレル 7月20日／8月20日号
新潟WEEK！ 7月25日／8月8日号
TV ウィークリー 8月9日号
月刊にいがたタウン情報 8月号
きなせや新潟情報 8月20日号
Komachi 9月号
ザ・マイカー 10月号

●テレビ

7月21日（月・祝）BSN新潟放送
「光と色彩の魔術師たち」～印象派の足跡をたどって～
BSN新潟放送
8月5日(火) 「イブニング王国Ⅱ部」
「BSNニュース」
8月8日(金) 「イブニング王国Ⅱ部」
8月9日(土) 「JNN NEWS」
「報道特集NEXT内BSNニュース」
8月21日(木) 「イブニング王国Ⅱ部」
9月19日(金) 「イブニング王国Ⅱ部」

●ラジオ

BSN新潟放送
7月30日(火) 13：35～「ゴゴラク！」
8月9日(土) 11：40～「ランチバスケット」
出演：藤田裕彦

「ゴゴラク！」内「そこはプロに聞いてみよう」
ポーラ美術館コレクション特集 全4回
出演：藤田裕彦（9/4(木)、9/18(木)）
高畠峻（9/11(木)）
荒屋鋪透
（ポーラ美術館学芸部長、9/25(木)）

その他

8月17日(日) FM PORT「Q職ザ・ウェーブ」
出演：藤田裕彦
8月19日(火) 燕三条エフエム放送
出演：藤田裕彦

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	27,579
	前売	17,380
無料観覧者数	無料	7,139
	免除	2,630
総観覧者数		54,728
有料率（%）		82.1%



【出品リスト】

第1室 印象派の誕生

1	エドゥアール・マネ	サラマンカの学生たち	1860年	油彩・キャンバス
2	ウジェーヌ・ブーダン	ダウラスの海岸と船	1870-1873	油彩・キャンバス
3	アルフレッド・シスレー	マルリーの水飼い場	1873年	油彩・キャンバス
4	アルフレッド・シスレー	セーヴルの跨線橋	1879年	油彩・キャンバス
5	アルフレッド・シスレー	サン＝メメスのロワン河	1885年	油彩・キャンバス
6	アルフレッド・シスレー	ロワン河畔、朝	1891年	油彩・キャンバス
7	アルマン・ギヨマン	ロバンソンの散歩	1878年頃	油彩・キャンバス

第2室 モネの部屋

8	クロード・モネ	貨物列車	1872年	油彩・キャンバス
9	クロード・モネ	セーヌ河の支流からみたアルジャントゥイユ	1872年	油彩・キャンバス
10	クロード・モネ	睡蓮	1907年	油彩・キャンバス
11	クロード・モネ	サン＝ラザール駅の線路	1877年	油彩・キャンバス
12	クロード・モネ	グランド・ジャット島	1878年頃	油彩・キャンバス
13	クロード・モネ	セーヌ河の日没、冬	1880年	油彩・キャンバス
14	クロード・モネ	国会議事堂、バラ色のシンフォニー	1900年	油彩・キャンバス

第3室 ルノワールの部屋

17	ビエール・オーギュスト・ルノワール	ロバに乗ったアラブ人たち	1881/1882年頃	油彩・キャンバス
18	ビエール・オーギュスト・ルノワール	アネモネ	1883-1890年頃	油彩・キャンバス
19	ビエール・オーギュスト・ルノワール	水浴の女	1887年	油彩・キャンバス
20	ビエール・オーギュスト・ルノワール	レースの帽子の少女	1891年	油彩・キャンバス
21	ビエール・オーギュスト・ルノワール	エッソワの風景、早朝	1901年	油彩・キャンバス
22	ビエール・オーギュスト・ルノワール	休息	1916-1917年	油彩・キャンバス

第4室 新印象主義

21	カミーユ・ピサロ	エラニーの村の入口	1884年	油彩・キャンバス
22	カミーユ・ピサロ	エラニーの花咲く梨の木、朝	1886年	油彩・キャンバス
23	ジョルジュ・スーラ	グランカンの干潮	1885年	油彩・キャンバス
24	ポール・シニャック	オーセールの橋	1902年	油彩・キャンバス
25	アンリ・ウジェーヌ・ル・シダネル	三本のバラ	1925年	油彩・キャンバス
26	アンリ・エドモン・クロス	森の風景	1906-1907年	油彩・キャンバス
27	イボリート・ブティジャン	草上の裸婦	1895年	油彩・キャンバス
28	イボリート・ブティジャン	髪をすく裸婦	1903年	油彩・キャンバス

第5室 ポスト印象派

29	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	ヴィゲラ運河にかかるグレース橋	1888年	油彩・キャンバス
30	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	草むら	1889年	油彩・キャンバス
31	ポール・ゴーギャン	白いテーブルクロス	1886年	油彩・板
32	ポール・ゴーギャン	ボン＝タヴェンの木陰の母と子	1886年	油彩・キャンバス
33	ポール・ゴーギャン	小屋の前の犬、タヒチ	1892年	油彩・キャンバス
34	ポール・セザンヌ	オーヴェール＝シュール＝オワーズの墓墓きの家	1872-1873年	油彩・キャンバス
35	ポール・セザンヌ	アントニー・ヴァラブレグの肖像	1874-1875年頃	油彩・キャンバス
36	ポール・セザンヌ	4人の水浴の女たち	1877-1878年	油彩・キャンバス
37	ポール・セザンヌ	プロヴァンスの風景	1879-1882年	油彩・キャンバス

第6室 フォーヴィスム（野獣派）

38	アンリ・マティス	中国の花瓶	1922年	油彩・キャンバス
39	アンリ・マティス	室内：二人の音楽家	1923年	油彩・キャンバス
40	アンリ・マティス	襟巻の女	1936年	油彩・キャンバス
41	アンリ・マティス	リュート	1943年	油彩・キャンバス
42	ラウル・デュフィ	五重奏	1948年頃	油彩・キャンバス
43	ラウル・デュフィ	ドーヴィルの競馬場	1935-1940年	油彩・キャンバス
44	ラウル・デュフィ	パリ	1937年	油彩・キャンバス
45	アンドレ・ドラク	イタリア風景	1920年	油彩・キャンバス
46	アンドレ・ドラク	静物	1932年頃	油彩・キャンバス
47	モーリス・ド・ヴラマンク	画家の父の家	1904-1905年頃	油彩・キャンバス
48	モーリス・ド・ヴラマンク	シャトゥー	1906年頃	油彩・キャンバス
49	モーリス・ド・ヴラマンク	湖	1913	油彩・キャンバス
50	アルベール・マルケ	冬の太陽、パリ	1904年	油彩・キャンバス
51	アルベール・マルケ	パリ、カルーゼル広場	1910年	油彩・キャンバス
52	アルベール・マルケ	ブローニュ＝シュール＝メール港の眺め	1930年	油彩・キャンバス

第7室 象徴主義とナビ派

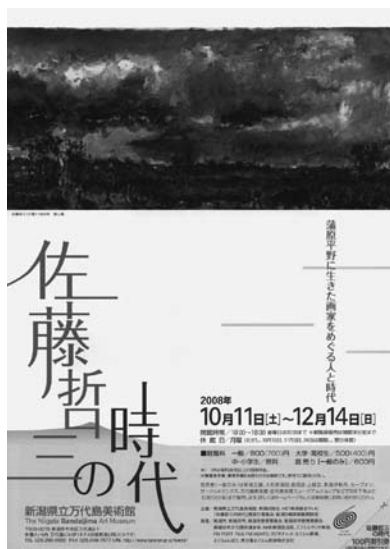
53	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	娼婦	1892年	油彩・キャンバス
54	オディロン・ルドン	日本風の花瓶	1908年	油彩・キャンバス
55	オディロン・ルドン	帆船（寓意的風景）	1907年	油彩・キャンバス
56	エデュアルド・ムンク	犬のいる自画像	1925-1926年頃	油彩・キャンバス
57	ビエール・ボナール	浴槽、ブルーのハーモニー	1917年頃	油彩・キャンバス
58	ビエール・ボナール	ミモザのある階段	1946年頃	油彩・キャンバス

第8室 パリより

59	アンリ・ルソー	エッフェル塔とトロカデロ宮殿の眺望	1896-1898	油彩・キャンバス
60	アンリ・ルソー	ムーラン・ダルフォール	1895年頃	油彩・キャンバス
61	アンリ・ルソー	シャラントン=ル=ボン	1905-1910年頃	油彩・キャンバス
62	アンリ・ルソー	エデンの園のエヴァ	1906-1910年頃	油彩・キャンバス
63	アンリ・ルソー	ライオンのいるジャングル	1904年	油彩・キャンバス
64	マリー・ローランサン	ヴァランティエヌ・テシエの肖像	1933年	油彩・キャンバス
65	マリー・ローランサン	風景のなかの二人の女	1926年頃	油彩・キャンバス

第9室 キュビズム ピカソとブラック

66	ジョルジュ・ブラック	レスタックの家	1907年	油彩・キャンバス
67	ジョルジュ・ブラック	ティー・ローズの花籠	1925年	油彩・板
68	ジョルジュ・ブラック	ギターのある静物（バラ色の背景）	1935年	油彩、砂・キャンバス
69	ジョルジュ・ブラック	パレットのある室内	1941年	油彩、砂・キャンバス
70	パブロ・ピカソ	裸婦	1909年	油彩・キャンバス
71	パブロ・ピカソ	母子像	1921年	油彩・キャンバス
72	パブロ・ピカソ	花売り	1937年	油彩・キャンバス
73	パブロ・ピカソ	帽子の女	1962年	油彩・キャンバス



佐藤哲三の時代

【趣 旨】

展覧会の中心となる第1部では、県出身の洋画家である佐藤哲三の画業を主要作品および素描類計123点でたどった。県内では1995年に近代美術館での開催以来13年ぶりの大規模回顧展となった。

第2部序章では哲三の地元新発田で所蔵されていた山本芳翠の作品3点が新潟に里帰りを果たした。第1章では哲三を育んだ北蒲原の地が生んだ洋画家達の作品を展示し、地域の美術史を概観した。また、哲三が一時期熱心に取り組んだ児童美術教育について一部屋を設け、彼の指導の元に描かれた児童画を展示し、地域とともに生きた哲三の活動についても紹介した。哲三の児童義関わった新発田の文芸誌『土塊』も創刊号から展示した。第2章では梅原龍三郎をはじめ岸田劉生、村山槐多、関根正二など、哲三と関わりがあった中央の作家の作品を展示し、近現代の日本洋画史の名品も合わせて展示することができた。

佐藤哲三を中心に、地方を含めた近現代の洋画史を展覧することのできるヴォリュームのある展覧会となった。

【総 括】

- 評価すべき点
 - ・現時点で可能な限りの佐藤哲三作品を展示することができ、充実した個展となった。
 - ・北蒲原の洋画史についても調査が進み、地域文化の発見に貢献することができた。
 - ・年譜や資料類の充実した、資料性の高い展覧会カタログを作成することができた。また、内部学芸員による論文4本を掲載し、多方面から哲三を捉える内容となった。

- ・実行委員会で制作した絵はがき8種が来館者に好評を博した。

●検討課題

- ・入館者数は目標23,000人に対して、9,397人にとどまった。
- ・児童・生徒に新潟県の美術の歴史を学習する機会としてもらうこともねらいとしたところであり、秋・初冬にかけての会期とせざるを得なかったことを念頭に、学校サイドの意見を聞くなど効果的な対応を予め検討しておくべきであった。

【開催日・その他】

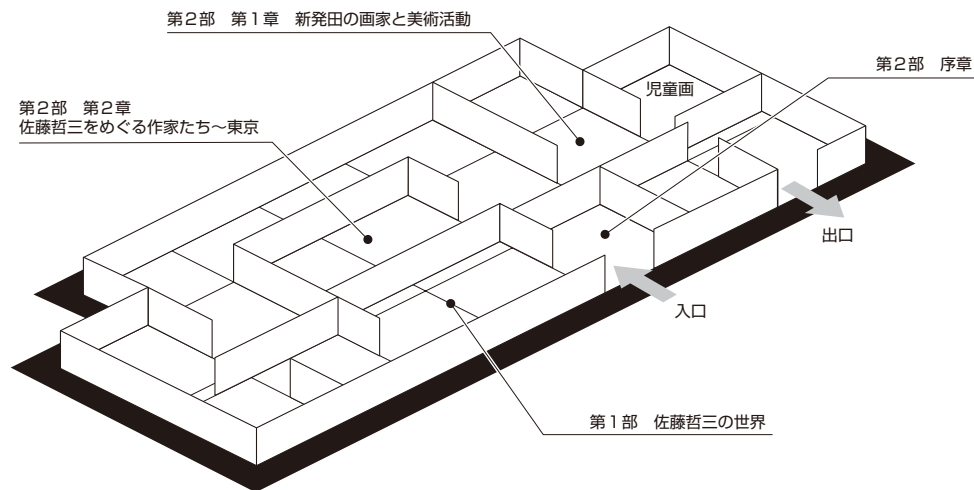
＝2008年10月11日(土)～12月14日(日) (56日)＝

主 催：新潟県立万代島美術館、新潟日報社、NST新潟総合テレビ、「佐藤哲三の時代」展実行委員会、新潟日報美術振興財団
後 援：新潟市、新発田市、新潟市教育委員会、新発田市教育委員会、新発田市文化団体連合会、NHK新潟放送局、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

観覧料：一般……………800円 (700円)
大学・高校生…………500円 (400円)
中学・小学生…………無料
※ () 内は20名以上の団体料金

【関連行事】

- ・講演会
10月11日(土)・万代島ビルNICOプラザ会議室
「父・佐藤哲三を語る」



語り手：佐藤 現（佐藤哲三長男）
早房響子（佐藤哲三長女）
聞き手：小見秀男（当館業務課長）
参加者数：86名

・連続講座「佐藤哲三の肖像」
第1回
10月18日(土)・万代島ビルNICOプラザ会議室
講 師：小見秀男（当館業務課長）
参加者数：30名

第2回
11月8日(土)・万代島ビルNICOプラザ会議室
講 師：小見秀男（当館業務課長）
参加者数：35名

第3回
11月22日(土)・万代島ビルNICOプラザ会議室
講 師：小見秀男（当館業務課長）
参加者数：42名

・美術鑑賞講座「美術のすがた③ー近代の歴史画と絵画館」
11月29日(土)・万代島ビルNICOプラザ会議室
講 師：澤田佳三（当館主任学芸員）
参加者数：15名

・ミュージアムコンサート
11月2日(日)・万代島美術館展示室
演 奏：早房あかね（ヴァイオリン）
参加者数：第1回 95名 第2回 60名

・鑑賞研修会
11月19日(水)・万代島美術館展示室

講 師：小見秀男（当館業務課長）
参加者数：3名

・解説会
他イベント開催日を除く土・日・祝日（全16回）
万代島美術館展示室
当館学芸員
参加者数：延べ383名

担当 小見秀男、藤田裕彦、澤田佳三、池田珠緒

【図 録】

製作部数：1400冊
販売部数：776冊
無料配布部数：594冊
仕 様：A4変形（28.0×22.5cm）版 208頁
編 集：新潟県立万代島美術館
発 行：「佐藤哲三の時代」展実行委員会
内 容：
・「佐藤哲三の時代 モダニズムに向かって」藤田裕彦
・「画家の生きる場所ー佐藤哲三の選択」澤田佳三
・「加治村での日々ー佐藤哲三と児童画教育」池田珠緒
・「佐藤哲三の版画と『土塊』、そして創作版画」松矢国憲
・図版 第1部 佐藤哲三の世界
第2部 佐藤哲三の周辺
・資料 佐藤哲三その他の作品／「佐藤哲三の時代」年譜（小見秀男編）／作家略歴／「佐藤哲三の時代」主要関連文献（小見秀男編）
・出品リスト



【関連記事】

●新聞

10月7日(火) 新潟日報
 11日開幕「佐藤哲三の時代」昭和の蒲原瑞々しく
 「地方の美術」価値確立／小見秀男
 10月17日(金) 越後タイムス
 佐藤哲三の“地平線”／柴野穀実
 10月25日(土) 読売新聞
 風景を温めるもの／芥川喜好
 11月2日(日) 新潟日報
 佐藤哲三の時代展開催中 生き生き語る 人間哲三
 11月29日(土) 朝日新聞
 佐藤哲三回顧展／秋山亮太

新潟日報「蒲原に生きて 佐藤哲三の時代展」
 ①配色絶妙 斬新な構図／小見秀男(11/18(火))
 ②版画のような陰と陽／藤田裕彦(11/19(水))
 ③執拗に迫る写真様式／澤田佳三(11/20(木))
 ④描く喜び子供に伝え／池田珠緒(11/21(金))
 ⑤浮世絵版画を参考か／高晟俊(11/22(土))

その他

新潟日報
 (8/20(水)、10/1(水)、10/11(日)、12/6(土))
 週刊朝日だより(10月1週号)
 十日町新聞(11/5(月))
 北日本新聞(11/18(火))

●雑誌

ウィンド2008年12月号
 どこにも無い場所/過剰なるものについて／鈴木木一

●テレビ

11月30日(日) NHK教育
 新日曜美術館アートシーン

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	5,856
	前売	986
無料観覧者数	無料	1,874
	免除	654
総観覧者数		9,397
有料率(%)		72.8%

【出品リスト】

●第1部 佐藤哲三の世界

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵先
1- 1	佐藤哲三	妹（クニ子）の肖像	1923年	油彩・布	65.0×51.0	個人
1- 2	佐藤哲三	ダリア	1924年	油彩・布	45.5×53.5	新発田市立外ヶ輪小学校
1- 3	佐藤哲三	牛の居る風景	1928年	油彩・ボード	31.0×40.5	個人
1- 4	佐藤哲三	瓦焼場風景	1928年	油彩・布	38.0×45.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 5	佐藤哲三	水蓮のある静物	1928年	油彩・布	45.5×51.7	個人
1- 6	佐藤哲三	第二回習作	1929年	木炭・紙	62.0×48.0	個人
1- 7	佐藤哲三	沼のある風景	1929年	油彩・布	45.5×53.0	個人
1- 8	佐藤哲三	額に手を当てた老婆	1932-33年頃	鉛筆・紙	29.0×33.0	個人
1- 9	佐藤哲三	雪の朝	1930年頃	油彩・布	80.3×45.8	個人
1- 10	佐藤哲三	雪山	1930年	油彩・布	45.5×53.0	個人
1- 11	佐藤哲三	椿	1930年	油彩・布	50.0×60.0	新発田市立図書館
1- 12	佐藤哲三	植木鉢のある部屋	1930年	油彩・布	60.5×50.0	個人
1- 13	佐藤哲三	田端車庫	1930年	木炭・鉛筆・紙	43.7×58.0	板橋区立美術館
1- 14	佐藤哲三	赤帽平山氏	1930年	油彩・布	65.0×53.0	宮城県美術館（洲之内コレクション）
1- 15	佐藤哲三	郵便脚夫宮下君	1931年	油彩・布	87.8×42.2	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 16	佐藤哲三	赤い服の少女	1930-31年	油彩・布	73.8×46.0	個人
1- 17	佐藤哲三	大道商人	1932年	油彩・布	91.0×117.0	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1- 18	佐藤哲三	ひるめし時	1932年	油彩・布	54.0×65.0	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1- 19	佐藤哲三	ひるめし時	1932年	鉛筆・紙	29.5×32.0	個人
1- 20	佐藤哲三	長谷川正巳像	1932年頃	鉛筆・紙	22.8×17.4	個人
1- 21	佐藤哲三	ニュース	1933年	油彩・布	72.5×108.0	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1- 22	佐藤哲三	労働者	1932-33年	鉛筆・紙	59.4×51.3	新潟市美術館
1- 23	佐藤哲三	柿	1933年	油彩・布	30.0×50.0	個人
1- 24	佐藤哲三	クレーン	1933年	ガラス絵	11.5×13.0	個人
1- 25	佐藤哲三	汽車	1933年	油彩・布	14.5×19.0	個人
1- 26	佐藤哲三	汽車	1934年	油彩・板	13.7×17.4	個人
1- 27	佐藤哲三	汽車	1934年	ペン・紙	23.8×33.3	個人
1- 28	佐藤哲三	柿	1934年	油彩・布	23.0×51.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 29	佐藤哲三	柿を持つ女	1934年	油彩・布	74.2×45.2	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 30	佐藤哲三	たき火	1934年	油彩・布	65.0×80.3	個人
1- 31	佐藤哲三	農村託児所	1934年	油彩・布	97.0×130.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 32	佐藤哲三	苦悩	1934-35年	油彩・布	100.0×80.9	新潟市美術館
1- 33	佐藤哲三	農婦	1934年	木炭・紙	36.3×26.3	個人
1- 34	佐藤哲三	農婦	1935-40年頃	鉛筆・紙	38.0×29.3	新潟市美術館
1- 35	佐藤哲三	浜の人	1935年	水彩・鉛筆・紙	24.5×13.5	個人
1- 36	佐藤哲三	漁村の子供（浜の子供）	1935年	油彩・布	79.0×65.0	個人
1- 37	佐藤哲三	越後の晩秋（鴻沼村を望む）	1935年	油彩・布	16.6×31.7	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 38	佐藤哲三	夕焼け（夕景）	1937年	油彩・布	19.3×57.5	宮城県美術館（洲之内コレクション）
1- 39	佐藤哲三	越後の秋	1937年	油彩・布	58.5×117.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 40	佐藤哲三	晩秋	1937年	油彩・布	12.5×28.5	個人
1- 41	佐藤哲三	血の雲（夕雪）	1937年	油彩・布	53.5×117.0	雪梁舎美術館寄託
1- 42	佐藤哲三	長谷川曲松の像	1938年頃	鉛筆・紙	35.5×26.3	個人
1- 43	佐藤哲三	子供	1938年	木炭・紙	36.3×26.2	個人
1- 44	佐藤哲三	日没	1939年	油彩・布	71.5×91.0	雪梁舎美術館寄託
1- 45	佐藤哲三	海	1939年	油彩・布	25.2×60.0	個人
1- 46	佐藤哲三	晩秋	1939年	油彩・布	13.8×42.7	新潟市美術館
1- 47	佐藤哲三	チャップリンの像（街の灯）	1930年代	ガラス絵	27.0×12.0	個人
1- 48	佐藤哲三	婦人像	1930年代	木炭・紙	58.0×38.8	個人
1- 49	佐藤哲三	農婦①	1930年代	コンテ・紙	62.5×48.0	個人
1- 50	佐藤哲三	農婦②	1930年代	木炭・紙	58.5×39.0	個人
1- 51	佐藤哲三	母子像	1930年代	木炭・紙	76.0×53.0	個人
1- 52	佐藤哲三	針仕事	1940年	油彩・布	91.0×73.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 53	佐藤哲三	農婦	1940年	油彩・布	105.6×73.3	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 54	佐藤哲三	自転車屋の職人の肖像	1940年	コンテ・紙	63.0×47.5	個人
1- 55	佐藤哲三	みのり（加治村風景）	1940年	油彩・布	16.7×37.6	個人
1- 56	佐藤哲三	農婦の顔	1940年頃	コンテ・紙	55.5×46.5	新潟市美術館
1- 57	佐藤哲三	加治のみのり	1940年代	鉛筆・紙	46.5×61.0	個人
1- 58	佐藤哲三	子ども	1940年代	鉛筆・紙	26.0×26.0	個人
1- 59	佐藤哲三	稲	1941年	油彩・布	80.5×65.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1- 60	佐藤哲三	少女	1941年	油彩・布	39.0×30.0	個人
1- 61	佐藤哲三	コドモ	1942年	油彩・布	90.0×71.5	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1- 62	佐藤哲三	加治村風景	1942年頃	鉛筆・紙	40.0×55.0	個人

1-63	佐藤哲三	クンセイ	1942年	油彩・布	45.5×80.5	神奈川県立近代美術館
1-64	佐藤哲三	うさぎ	1942年	油彩・布	15.7×22.5	個人
1-65	佐藤哲三	みのり	1943年	鉛筆・紙	26.0×35.0	個人
1-66	佐藤哲三	風景	1943年	木炭・紙	23.5×31.0	個人
1-67	佐藤哲三	コドモと柿の夢	1943年	油彩・布	47.0×75.5	個人
1-68	佐藤哲三	田園の柿	1943年	油彩・布	45.0×80.0	個人
1-69	佐藤哲三	桃	1943年	油彩・布	46.0×61.5	個人
1-70	佐藤哲三	加治川の桜（朝）	1944年	油彩・布	22.5×53.0	個人
1-71	佐藤哲三	切られし桜	1944年	油彩・布	80.0×46.0	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1-72	佐藤哲三	団体交渉	1946年10月22日	鉛筆・紙	22.3×29.2	個人
1-73	佐藤哲三	母の像	1940年代	鉛筆・紙	42.0×48.5	個人
1-74	佐藤哲三	新聞を読める婦人（母・菊乃）	1940年代	木炭・紙	58.5×49.0	個人
1-75	佐藤哲三	風景	1940年代	鉛筆・紙	32.8×51.0	新発田市
1-76	佐藤哲三	こども	1950年頃	油彩・布	32.1×23.0	個人
1-77	佐藤哲三	少年像	1950年	水彩・鉛筆・紙	18×12.5	個人
1-78	佐藤哲三	原野	1950年	油彩・ボード	23.9×32.9	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1-79	佐藤哲三	原野	1950年	油彩・布	16.0×22.5	個人
1-80	佐藤哲三	原野	1951年	油彩・布	96.0×130.5	新潟市美術館
1-81	佐藤哲三	寒い日	1950年	油彩・布	14.5×32.5	個人
1-82	佐藤哲三	原野下絵	1950年3月15日	鉛筆、パステル・紙	29.7×40.0	個人
1-83	佐藤哲三	仙台・広瀬川	1950年3月17日	鉛筆・紙	29.8×42.0	個人
1-84	佐藤哲三	自画像	1950年10月17日	鉛筆・紙	19.6×14.3	個人
1-85	佐藤哲三	驟雨	1951年1月9日	水彩・鉛筆・紙	19.5×27.0	個人
1-86	佐藤哲三	病院の家族	1951年	鉛筆・紙	22.3×29.3	個人
1-87	佐藤哲三	妻の像	1951年頃	ペン・紙	25.3×11.3	個人
1-88	佐藤哲三	天津桃	1951年	油彩・布	14.5×33.0	個人
1-89	佐藤哲三	いちご	1951年	油彩・布	15.5×22.5	個人
1-90	佐藤哲三	牡丹	1951年	油彩・布	33.0×24.0	個人
1-91	佐藤哲三	アネモネ	1951年	油彩・布	30.5×14.5	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1-92	佐藤哲三	残雪	1952年	油彩・布	46.0×80.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1-93	佐藤哲三	秋	1952年	油彩・布	47.0×80.5	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1-94	佐藤哲三	街端れ	1952年頃	鉛筆・紙	55.0×77.0	個人
1-95	佐藤哲三	バラ	1952年	油彩・布	58.5×30.0	個人
1-96	佐藤哲三	みぞれ	1953年	油彩・布	60.5×133.0	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1-97	佐藤哲三	田園夕雲	1953年	油彩・布	47.0×80.5	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1-98	佐藤哲三	蒲原風景	1953年	油彩・布	22.0×52.5	個人
1-99	佐藤哲三	五月風景	1953年	油彩・布	14.5×30.8	新潟県立図書館
1-100	佐藤哲三	夕景	1953年	油彩・布	24.0×50.0	個人
1-101	佐藤哲三	雪景	1953年	油彩・ボード	16.9×30.3	個人
1-102	佐藤哲三	雪景	1953年	油彩・ボード	24.2×33.4	個人
1-103	佐藤哲三	ひょう湖晩秋	1953年	水彩・鉛筆・紙	48.3×71.0	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1-104	佐藤哲三	光射す平野	1953年	コンテ・紙	29.6×62.0	個人
1-105	佐藤哲三	夕モの木風景	1953年	コンテ・紙	20.0×27.5	個人
1-106	佐藤哲三	初夏風景	1953年	パステル・紙	20.3×27.7	個人
1-107	佐藤哲三	風景	1953年頃	油彩・布	27.2×40.8	財団法人 北方文化博物館
1-108	佐藤哲三	風景	1953年頃	油彩・布	33.0×45.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1-109	佐藤哲三	柿	1953年頃	油彩・布	30.5×58.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1-110	佐藤哲三	柿	1953年頃	油彩・布	16.5×22.5	新発田市教育委員会
1-111	佐藤哲三	柿	1953年頃	油彩・布	15.7×22.4	財団法人 北方文化博物館
1-112	佐藤哲三	ふくろう	1953年	油彩・布	41.0×32.5	個人
1-113	佐藤哲三	ふくろう	1953年	鉛筆・紙	27.0×36.5	個人
1-114	佐藤哲三	はと	1953年	水彩・紙	21.5×28.5	個人
1-115	佐藤哲三	裸婦	1953年	油彩・ボード	26.5×19.5	個人
1-116	佐藤哲三	裸婦	1953年	油彩・布	59.0×30.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1-117	佐藤哲三	母子	1953年	油彩・布	34.0×17.0	個人
1-118	佐藤哲三	帰路	1954年	油彩・布	72.5×91.0	個人・神奈川県立近代美術館寄託
1-119	佐藤哲三	帰路	1954年	油彩・布	27.0×60.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1-120	佐藤哲三	鳩	1954年	油彩・布	18.0×24.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館
1-121	佐藤哲三	色紙（幾度でも会い度し心一ぱいで）	1954年（絶筆）	墨・紙	26.0×23.5	個人
1-122	佐藤哲三	ライオン	1950年代	コンテ・紙	26.3×37.6	個人
1-123	佐藤哲三	スケッチブック	—	—	—	個人

●第2部 佐藤哲三の周辺

第2部序章：山本芳翠（裸婦）と新発田

2・序-1	山本芳翠	白勢和一郎肖像	1881年頃	油彩・布	34.5×25.7	東京都現代美術館
2・序-2	山本芳翠	裸婦	1880年頃	油彩・布	83.0×134.7	岐阜県美術館
2・序-3	山本芳翠	若い娘の肖像	1880年頃	油彩・布	61.0×43.7	岐阜県美術館

第2部第1章 新発田の画家と美術活動

2・1-1	相馬其一	フランス郊外	1931年	油彩・布	73.0×91.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・1-2	相馬其一	雪景色	1934年	油彩・布	127.9×157.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・1-3	富樫甚平	怒濤	1935年頃	油彩・布	59.0×70.0	新発田市立御免町小学校
2・1-4	佐藤三郎	パリ郊外	1927-28年頃	油彩・布	60.5×91.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・1-5	佐藤三郎	パリ郊外	1927-28年頃	油彩・布	60.5×91.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・1-6	佐藤三郎	谷川岳残雪	1940年代	油彩・布	70.5×89.0	新発田市立図書館
2・1-7	佐藤三郎	加治川の桜	1940年代	油彩・布	32.0×41.0	新発田市教育委員会
2・1-8	竹田信夫	花（ダリア）	1921年	油彩・布	75.0×65.0	新発田市立外ヶ輪小学校
2・1-9	佐藤重義	雪の校門	1929年頃	油彩・布	77.5×98.0	新潟県立村上桜ヶ丘高等学校
2・1-10	神田豊秋	芥子	1928年	油彩・布	80.0×85.0	新発田市教育委員会
2・1-11	神田豊秋	大連風景	1938年頃	油彩・布	85.5×117.0	株式会社萬盛社
2・1-12	長谷川武雄	新発田尋常高等小学校校舎	制作年不詳	油彩・布	35.5×74.5	新発田市立外ヶ輪小学校
2・1-13	大瀧直平	広島師範キャンパス	1932年頃	油彩・布	63.5×82.0	個人
2・1-14	大瀧直平	安佐地区	1932年頃	油彩・布	72.0×89.0	個人
2・1-15	布川勝三	アネモネ	1920年代中頃	油彩・布	70.0×70.0	新発田市立御免町小学校
2・1-16	布川勝三	焼峰	制作年不詳	油彩・布	73.0×92.0	新発田市
2・1-17	布川勝三	佐渡北端	制作年不詳	油彩・布	97.0×130.0	新発田市
2・1-18	富樫寅平	土管のある風景	1935年頃	油彩・布	80.0×116.0	新発田市立本丸中学校
2・1-19	富樫寅平	農家	1943年	油彩・布	112.4×145.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・1-20	荒井一郎	母と子	1950年	油彩・布	91.0×73.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・1-21	荒井一郎	早春	1960年代	油彩・布	97.0×130.0	新発田市教育委員会
2・1-22	荒井一郎	海	1960年代	油彩・布	97.0×130.0	新発田市教育委員会
2・1-23	内田 豊	築地風景	1943年	水彩・紙	70.0×90.0	新発田市
2・1-24	白勢恒雄	野菜たち	1938年	水彩・紙	33.0×45.5	新発田市立川東中学校
2・1-25	長谷川正巳	佐藤哲三像	1932年頃	鉛筆・紙	22.8×17.4	個人
2・1-26	末松正樹	大工 高野氏の像（素描）	1932年	木炭・紙	28.5×32.0	個人
2・1-27	末松正樹	自画像（素描）	1930年代	木炭・紙	38.0×30.0	個人
2・1-28	末松正樹	作品	1951年	油彩・布	78.0×56.0	個人
2・1-29	桂重英	山	1935年頃	油彩・布	90.0×110.0	新発田市立外ヶ輪小学校
2・1-30	上野省策	岩と海の風景	1935年頃	油彩・布	115.0×150.0	新発田市立外ヶ輪小学校
2・1-31	荒木石三	光一像	1933年	油彩・板	50.0×41.0	個人
2・1-32	荒木石三	父子像	1939年	鉛筆・紙	49.5×38.5	個人
2・1-33	荒木石三	晩秋の暮	1930年代	油彩・布	45.5×61.0	個人
2・1-34	山田夏男	少年像	1938年	油彩・布	80.0×65.0	新潟市立亀田小学校
2・1-35	藤田熊雄	赤谷小学校	1956年	岩彩・紙	59.5×57.5	新発田市立赤谷小学校
2・1-36	浅島益次	炊飯	1942年	油彩・布	115.0×89.5	個人
2・1-37	浅島益次	新発田城表門	1948年	油彩・布	70.0×98.0	新発田市水道局
2・1-38	関川一郎	果実	1940年代後半	油彩・布	65.0×80.0	新発田市
2・1-39	旗野義山	壺（佐藤哲三絵付）	1953年頃	陶器	径25.0 高32.0	新発田市立図書館
2・1-40	旗野義山	壺（佐藤哲三絵付）	1953年頃	陶器	径20.0 高23.0	登録商標庵地焼旗野窯
2・1-41	旗野義山	皿（佐藤哲三絵付）	1953年頃	陶器	径33.0 高7.0	個人
2・1-42	田中道久	舞妓	1934年	油彩・布	61.0×50.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・1-43	田中道久	蓮	1939年	油彩・布	80.5×96.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・1-44	岩川義雄	山羊	1951年	木彫	68.0×75.0×43.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館

第2部第2章 佐藤哲三をめぐる作家たち～東京

2・2-1	梅原龍三郎	裸婦図	1922年頃	油彩・布	117.0×91.0	茨城県近代美術館
2・2-2	梅原龍三郎	山荘夏日	1933年	油彩・布	62.6×77.8	三重県立美術館
2・2-3	梅原龍三郎	紫禁城	1942年	油彩・岩彩・布	82.5×69.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・2-4	岸田劉生	武者小路実篤像	1914年	油彩・布	38.0×36.5	東京都現代美術館
2・2-5	岸田劉生	籠中脂香	1923年	油彩・布	32.1×33.5	茨城県近代美術館
2・2-6	岸田劉生	冬枯れの道路（原宿附近写生）	1916年	油彩・布	60.5×80.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・2-7	矢部友衛	労働者の像	1932年	油彩・布	80.3×60.6	町立湯河原美術館
2・2-8	北川民次	大地	1939年	油彩・布	112.0×162.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・2-9	河野通勢	二人花魁	1935年	油彩・布	91.0×72.8	長野県信濃美術館
2・2-10	芹沢銈介	伊曾保物語四曲屏風	1935年	絹本型絵染	151.5×156.0	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
2・2-11	高島達四郎	少年	1928年	油彩・布	90.0×58.0	宇都宮美術館
2・2-12	村山槐多	庭園の少女	1914年	水彩・紙	61.0×46.4	福島県立美術館
2・2-13	村山槐多	自画像	1916年	油彩・布	60.5×50.0	三重県立美術館
2・2-14	村山槐多	自画像	1915年	木炭・紙	48.9×42.0	宮城県美術館（洲之内コレクション）
2・2-15	村山槐多	裸婦	1916年	木炭・紙	57.5×38.7	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・2-16	椿 貞雄	八重子像	1915年	油彩・布	33.8×24.5	東京都現代美術館
2・2-17	関根正二	神の祈り	1918年頃	油彩・布	68.1×40.8	福島県立美術館
2・2-18	棟方志功	二菩薩釈迦十代弟子の内二菩薩	制作年不詳	木版・紙	各102.0×38.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・2-19	棟方志功	一乗寺裏山	1942年	油彩・布	45.5×53.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
2・2-20	藤牧義夫	鐵	1933年	木版・紙	27.0×31.5	かんらん舎



金GOLD黄金の国ジバングと佐渡金銀山展

【趣 旨】

金—GOLDは、古代から腐食しない金属として王冠や装身具に利用され、仏教の世界では仏像や仏具が金で装飾された。また、桃山時代には金箔を多用した障壁画が数多く制作され、江戸時代からはその貴重性から大判・小判などの貨幣としても利用された。現在においては、工芸作品の素材として使用されるのみならず、情報機器などの工業製品の部品としても用いられている。

このような金を用いた様々な作品と共に、金鉱石や砂金、金の延べ棒といった金そのものも展示した。

さらに、新潟県と佐渡市が世界遺産登録に取り組んでいる、かつて日本一の金産出量を誇った佐渡金銀山の歴史を、資料やパネルにより紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・歴史、自然科学、美術工芸といった様々な切り口から金の魅力に迫るという、これまでにない視点をとり入れた展覧会であった。展示内容は鉱石、金塊、工芸品、絵巻、映像と多岐にわたった。
- ・万代島美術館としては初めて国宝及び重要文化財を展示した。
- ・巡回展に独自の佐渡金銀山展を併設し、両者が相互に補完しあう効果的な展示構成であった。
- ・佐渡金銀山の世界に誇るべき価値をPRし、同遺跡の世界遺産登録に向けた気運醸成の一端を担った。

●検討課題

- ・展示内容は博物館的要素が強く、必ずしも従来

の美術館の客層が期待するものではなかった。
・観覧者数が伸び悩んだ。冬場の悪天候や多忙な年度の変わり目をはさむ会期設定などがその理由として考えられる。

【開催日・その他】

＝2009年2月21日(土)～4月19日(日)＝(58日間)

主 催：新潟県教育委員会、佐渡市教育委員会、新潟日報社、BSN新潟放送、金GOLD黄金の国ジバングと佐渡金銀山展実行委員会

共 催：毎日新聞社

後 援：文部科学省、新潟市、新潟市教育委員会、NHK新潟放送局、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエムしばた、燕三条エフエム放送、佐渡テレビジョン

協 賛：あいおい損害保険、SGC信州ゴールデンキャッスル、DOWAホールディングス、日本写真印刷

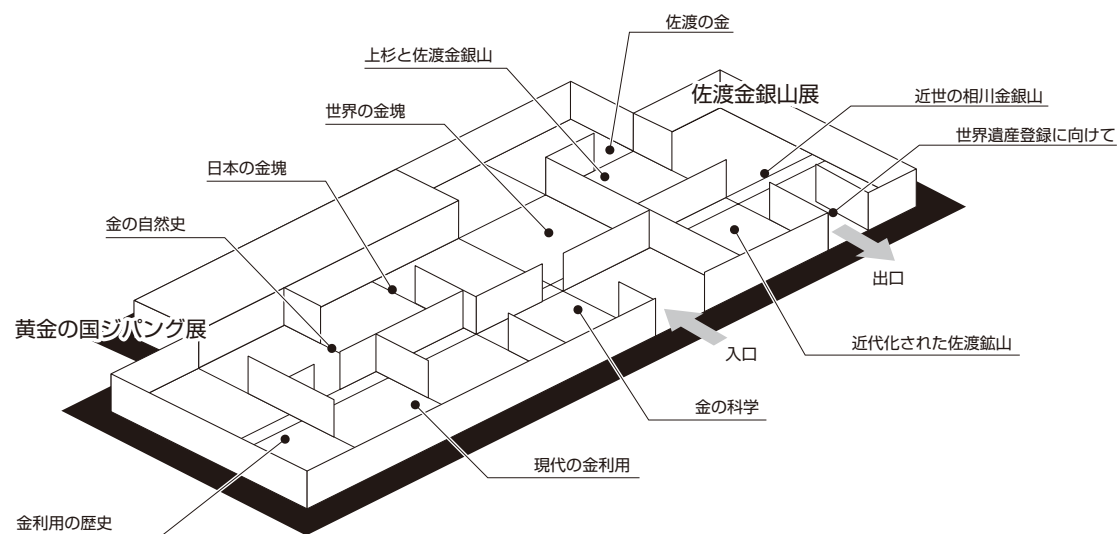
協 力：弥永北海道博物館、ユミカツラインターナショナル

学術協力：国立科学博物館

観覧料：一般…1,100円(1,000円)〈900円〉
大学・高校生……600円(500円)
中学生以下………無料

※()内は20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金



【関連行事】

展示品解説会

土、日 午後2時より
(他のイベントがある日を除く)

鑑賞講座

- ・ 2月28日(土) 14:00-15:30
万代島ビル11階NICOプラザ会議室にて
「現代美術とアメリカ映画」
講 師：藤田裕彦
(新潟県立万代島美術館業務課長代理)
参 加：29名
- ・ 3月1日(日) 14:00-15:30
万代島ビル11階NICOプラザ会議室にて
「黄金の国ジパングー日本の自然金と金利用の歴史」
講 師：横山一己
(国立科学博物館地学研究部鉱物科学研究グループ長)
参 加：30名
- ・ 3月14日(土) 14:00-15:30
万代島ビル11階NICOプラザ会議室にて
「ビザンティン美術における「金」」
講 師：高晟俊
(新潟県立万代島美術館主任学芸員)
参 加：26名
- ・ 3月28日(土) 14:00-15:30
万代島ビル11階NICOプラザ会議室にて
「描き継がれた佐渡金銀山絵巻」
講 師：渡部浩二
(新潟県立歴史博物館主任研究員)
参 加：45名



シンポジウム「佐渡金銀山遺跡を世界遺産に」

3月20日(祝) 13:00-15:30

朱鷺メッセ マリンホールにて

基調講演

「産業遺産の価値とその捉えかた」

講 師：小風秀雅

(お茶の水女子大学大学院教授)

パネルディスカッション

「佐渡金銀山遺跡を世界遺産に」

パネリスト：小風秀雅

星野知子(女優、エッセイスト)

永松武彦

(ゴールデン佐渡取締役社長)

高野宏一郎(佐渡市長)

コーディネーター：上杉建夫

(新潟日報社佐渡支局長)

参 加：300名

担当 文化行政課世界遺産登録推進室、高晟俊

【図 録】

○黄金の国ジパング展図録

仕 様：A4判、144頁

編 集：国立科学博物館、毎日新聞社

発 行：国立科学博物館、毎日新聞社、NHKブ

ロモーション

内 容：1 金利用の歴史

2 金の科学

3 現代の金利用

○佐渡金銀山展
仕 様：A4判、40頁
編 集：新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室、佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課
発 行：金GOLD黄金の国ジパングと佐渡金銀山展実行委員会
内 容：1 佐渡の金
2 上杉と佐渡金銀山
3 近世の相川金銀山
4 近代化された佐渡鉱山
5 世界遺産登録に向けて

【関連記事】

○新聞
2月17日(火) 毎日新聞
特集「歴史と技術の奥深さ」
3月3日(火) 新潟日報
「人間国宝6人の作品—科学・歴史 総合的に理解を—」
3月4日(水) 新潟日報
「国内の鉱山をリード—技術と変遷紹介—」

新潟日報 連載「輝き魅せられて」

①3/4(水)黄金の茶室、②3/5(木)自然金塊、③3/6(金)紺紙金字一切経、④3/7(土)金銅製棘葉形杏葉、⑤3/10(火)西三川砂金山稼方図、⑥3/11(水)金掘絵馬

毎日新聞 連載「輝さいまも」

①2/23(月)黄金の茶室、②2/24(火)天正長大判、③2/25(水)世界第2の金塊、④3/9(月)日本の自然金、⑤3/28(土)人間国宝の技、⑥3/31(火)ウエディングドレス

その他

新潟日報

(2/21(土)、3/1(日)、3/25(水)、3/29(日))

毎日新聞

(2/21(土)、2/22(日)、3/2(月)、3/29(日))

○テレビ

・BSN新潟放送

【ニュース】

2/18(水)陳列作業、2/20(金)開場式・内覧会、2/21(土)公開初日、2/25(水)WBC金メダル、3/20(金)GOLD展賑わう、3/25(水)祝優勝WBC金メダル、3/28(土)金銀銅アルミ延べ棒重さ比べ

【イブニング王国】

特集2/25(水)展覧会の魅力紹介

インフォメーション2/20(金)

【県政ナビ】

3/8(日)

・NHK新潟

2/22(日)、2/24(火)

○ラジオ

・BSN新潟放送

2/6(金)、2/23(月)、3/3(火)、3/5(木)、3/12(木)、3/19(木)、3/26(木)

・FM PORT

3/22(日)

・エフエムしばた

2/26(木)

○情報誌等

・月刊新潟Komachi2月号

・新潟WEEK！2/6号

・新潟情報2/18号

・週刊朝日だより2/24号

・月刊にいがたタウン情報3月号

・月刊キャレル3月号

・トツときガイド1・2月号、3・4月号

【観覧者数】 年度末3/31までのデータ

有料観覧者数	当 日	5,769
	前 売	1,069
無料観覧者数	無 料	1,387
	免 除	558
総 観 覧 者 数		8,783
有 料 率 (%)		77.9



黄金の国ジパング展展示品一覧

第1部 金利用の歴史

No.	指定	資料名	出土地、作者等	時代	数	所蔵
1		金印（複製）	原品福岡市志賀島	原品弥生時代1世紀	1個	福岡市博物館
4		金環	新潟県上越市高士古墳群出土	古墳時代	6個	上越市教育委員会
5	国宝	金銅製棘葉形杏葉	奈良県生駒郡斑鳩町藤ノ木古墳出土	古墳時代6世紀	2個	国（文化庁）
6		金銅製棘葉形杏葉（復原）	原品藤ノ木古墳出土	原品古墳時代6世紀	1個	奈良文化財研究所
7		金銅製歩揺付尻繫飾金具（復原）	原品藤ノ木古墳出土	原品古墳時代6世紀	1個	奈良文化財研究所
8		金銅製鍔金具（復原）	原品藤ノ木古墳出土	原品古墳時代6世紀	1個	奈良文化財研究所
9		金、銀延板	飛鳥寺出土（塔心礎仏舎利容器内）	飛鳥時代6世紀	各2枚	奈良文化財研究所
10		金、銀、銅片	飛鳥池工房群跡出土	飛鳥時代7世紀	各2個	奈良文化財研究所
13		金銅薬師如来像	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山出土	奈良時代8世紀	1軀	東京国立博物館
15		開基勝宝金錢（模造）	原品奈良市西大寺出土 加納夏雄彫刻、名越弥五郎鑄造	原品奈良時代8世紀	1枚	東京国立博物館
16		万年通宝銅錢		奈良時代8世紀	1枚	東京国立博物館
18	重文	三島廃寺塔舍利容器 （金・銀箱、銅蓋碗、石櫃）	大阪府茨木市三島廃寺出土	奈良時代8世紀	1具	東京国立博物館
19		紫紙金字金光明最勝王經（模写）	福島久幸模写	原品奈良時代8世紀	10巻	静岡市
21		金銅瓶鎮柄香炉		平安時代12世紀	1柄	東京国立博物館
23		金銅迦陵頻伽文華鬘（模造）	原品若手県中尊寺金色院、山脇洋二模造	原品平安時代12世紀	1面	東京国立博物館
24	国宝	紺紙金字一切経		平安時代12世紀	1巻	中尊寺
25		宋版一切経		中国・宋12世紀	2帖	中尊寺
26	重文	金製阿弥陀如来坐像	奈良県吉野郡金峯山出土	平安時代	1軀	大峯山寺
27	重文	金製菩薩坐像	奈良県吉野郡金峯山出土	平安時代	1軀	大峯山寺
29		金銅孔雀文磬		鎌倉時代13世紀	1面	東京国立博物館
33		東方見聞録（復刻本）	原品フランス国立図書館蔵	原本1400年代	1冊	国立科学博物館
34		小型宝塔（金、銀、金銅、銅、鉄）	埼玉県美里町広木上宿遺跡出土	南北朝時代	5基	埼玉県教育委員会
37		金箔瓦（複製）	原品安土城跡出土	原品安土桃山時代16世紀	1点	滋賀県立安土城考古博物館
38	重文	金箔瓦	聚楽第跡出土	安土桃山時代16世紀	10点	京都府教育委員会
40		黄金の茶室		原品安土桃山時代16世紀	一式	SGC信州ゴールデンキャッスル
42		天正長大判		安土桃山時代16世紀	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
43		慶長大判		江戸時代	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
45		享保大判		江戸時代	1枚	東京大学大学院経済学研究科
46		天保大判		江戸時代	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
47		万延大判		江戸時代	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
48		慶長小判		江戸時代	1枚	東京大学大学院経済学研究科
49		元禄小判		江戸時代	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
50		宝永小判		江戸時代	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
51		正徳小判		江戸時代	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
52		享保小判		江戸時代	1枚	個人蔵
53		元文小判		江戸時代	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
54		文政小判		江戸時代	1枚	個人蔵
55		天保五両判		江戸時代	1枚	個人蔵
56		天保小判		江戸時代	1枚	個人蔵
57		安政小判		江戸時代	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
58		万延小判		江戸時代	1枚	日本銀行金融研究所貨幣博物館
59		金幣銘花図		江戸時代	2巻	国立科学博物館
61		梨地菊桐紋時給糸巻太刀拵		江戸時代19世紀	1口	東京国立博物館
62		弓箭具図三所物	後藤即乗作	江戸時代17世紀	1揃	個人蔵
63		花鳥図大小揃金具	石黒政美作	江戸時代19世紀	1揃	個人蔵
64		孔雀図鐙縁頭	松尾月山作	江戸時代19世紀	1揃	個人蔵
66		秋景時給硯箱		江戸時代18世紀	1合	東京国立博物館
68		佐州金銀採製全図		江戸時代	1巻	国立科学博物館
69		佐渡金山祝絵図		江戸時代	1幅	国立科学博物館
70		北陸道佐渡州賀茂郡金山掘子之図		江戸時代	1枚	佐渡博物館

第2部 金の科学

自然金

NO.	資料名	産地、鉱山	点数	重量、大きさ（約）	所蔵
71	金塊「バニヤップ・ナゲット」 Bunyip nugget	オーストラリア Australia	1	1.6 kg	ビクトリア博物館 Museum Victoria
72	自然金「ウェルカム・ストレンジャー」の一部 a part of Welcome Stranger	オーストラリア Australia	1	3cm	ビクトリア博物館 Museum Victoria
73	自然金	オーストラリア Australia	1	5cm	ビクトリア博物館 Museum Victoria
74	自然金	オーストラリア Australia	1	3cm	ビクトリア博物館 Museum Victoria

75	自然金	オーストラリア	Australia	1	6cm	ビクトリア博物館 Museum Victoria
76	自然金	オーストラリア	Australia	1	6cm	ビクトリア博物館 Museum Victoria
77	自然金	オーストラリア	Australia	1	3cm	ビクトリア博物館 Museum Victoria
78	金塊「ゴールドサウルス」 Goldasaurus	オーストラリア	Australia	1	4.4 kg	バララット黄金博物館 Gold Museum Ballarat
79	金塊「ライオン・ハート」 Lion's heart	オーストラリア	Australia	1	1.9kg	バララット黄金博物館 Gold Museum Ballarat
80	金塊「アーチビショップ」 Archbishop	オーストラリア	Australia	1	3.2 kg	バララット黄金博物館 Gold Museum Ballarat
81	金塊複製 ウェルカム・ストレンジャー Welcome Stranger	オーストラリア	Australia	1	原品75kg	バララット黄金博物館 Gold Museum Ballarat
82	金塊「ニューモント・ノルマンディー・ナゲット」 Newmont's Normandy nugget	オーストラリア	Australia	1	25kg (金23kg) 高さ28cm 幅18cm	ニューモント社 Newmont Australia Limited
83	金塊	オーストラリア	Australia	1	750g	個人蔵
84	金塊	オーストラリア	Australia	1	10cm	国立科学博物館
85	自然金	米国カリフォルニア	California,USA	1	9cm	国立科学博物館
86	自然金	米国カリフォルニア	California,USA	1	14cm	フォッサマグナミュージアム
87	金塊	朝鮮半島		1	638g	
88	金塊	シベリア		1	216g	
89	含金鉱物 カラベラス鉱 Calaverite	オーストラリア	Australia	1	10cm	南オーストラリア博物館 South Australian Museum
90	含金鉱物 ペッツ鉱 Petzite	オーストラリア	Australia	1	10cm	南オーストラリア博物館 South Australian Museum
91	含金鉱物 ナギャグ鉱 Nagyagite	ルーマニア	Romania	1	10cm	南オーストラリア博物館 South Australian Museum
92	含金鉱物 クレンネル鉱 Krennerite	オーストラリア	Australia	1	10cm	南オーストラリア博物館 South Australian Museum
93	含金鉱物 シルバニア鉱 Sylvanite	オーストラリア	Australia	1	10cm	南オーストラリア博物館 South Australian Museum
94	含金鉱物 カラベラス鉱 Calaverite	米国 USA		1	20cm	合同資源産業
95	自然金	北海道千歳鉱山		1	10cm	国立科学博物館
96	自然金	宮城県女川鉱山		1	25cm	国立科学博物館
98	自然金	宮城県大谷鉱山		1	10cm程度	合同資源産業
99	自然金	宮城県大谷鉱山		1	5cm	国立科学博物館
100	自然金	埼玉県秩父鉱山		1	10cm程度	合同資源産業
101	自然金	埼玉県秩父鉱山		3	数cm	国立科学博物館
102	自然金	群馬県天沼鉱山		1	15cm	国立科学博物館
103	自然金	群馬県天沼鉱山		2	最大10cm	国立科学博物館
104	自然金	静岡県奥山金山		1	6cm	茨城県自然博物館
105	自然金	岐阜県六蔵大湧鉱山		3	7cm	国立科学博物館
106	自然金	兵庫県中瀬鉱山		4	10cm程度	日本精鉱
107	自然金	兵庫県中瀬鉱山		3	10cm程度	国立科学博物館
108	自然金	兵庫県中瀬鉱山		1	20cm	国立科学博物館
109	自然金	兵庫県朝日金山		6		茨城県自然博物館
110	自然金	兵庫県朝日金山		1	15cm	国立科学博物館
111	自然金	大分県馬上金山		1	5cm	個人蔵
112	自然金	鹿児島県山ケ野鉱山		1	15cm	国立科学博物館
113	自然金	鹿児島県山ケ野鉱山		1		国立科学博物館
114	自然金	鹿児島県山ケ野鉱山		1	4cm	茨城県自然博物館
115	自然金	鹿児島県山ケ野鉱山		6		合同資源産業
116	金塊	金塊模型 (北海道全域)		24		国立科学博物館
117	金塊	赤井川 (ウソタン川支流)		1	248g	弥永北海道博物館
118	金塊	ウソタン川		1	161.1g	弥永北海道博物館
119	金塊	占冠		1	71.13g	弥永北海道博物館
120	金塊	松前千軒		1	26.87g	弥永北海道博物館
121	金塊	温根別		1	3.07g	弥永北海道博物館
122	金塊	歴船川		1	2.69g	弥永北海道博物館
123	砂金	雨龍三叉		1		弥永北海道博物館
124	砂金	下頓別 19線		1		弥永北海道博物館
125	砂金	沙流川 (日高)		1		弥永北海道博物館
126	砂金	志文内		1		弥永北海道博物館
127	砂金	岡田の沢		1		弥永北海道博物館
128	砂金	今金 瀬棚海岸		1		弥永北海道博物館
129	砂金	宇津		1		弥永北海道博物館
130	砂金	新十津川 (石喰)		1		弥永北海道博物館
131	砂金	ベーチャン川		1		弥永北海道博物館
132	砂金	小平海岸		1		弥永北海道博物館

133	砂金	小平シベ川	1		弥永北海道博物館
134	砂金	内大部（更新世）	1		弥永北海道博物館
135	砂金	内大部	1		弥永北海道博物館
136	砂金	多度志本流	1		弥永北海道博物館
137	砂金	敏音知	1		弥永北海道博物館
138	砂金	珍古辺川 利別川支流	1		弥永北海道博物館
139	砂金	ニセイナイ滝の下	1		弥永北海道博物館
140	砂金	上興部	1		弥永北海道博物館
141	砂金	ウソタン砂金公園	1		弥永北海道博物館
142	砂金	夕張川	1		弥永北海道博物館
143	砂金	知内川	1		弥永北海道博物館
144	砂金	知内川	1	石英つき	弥永北海道博物館
145	砂金	天塩浜	1		弥永北海道博物館
146	砂金	雄信内	1		弥永北海道博物館
147	砂金	物間内	1		弥永北海道博物館
148	砂金	犬牛別5線	1		弥永北海道博物館
149	砂金	カクレ原野	1		弥永北海道博物館
150	砂金	オロロップ 鶴川上流	1		弥永北海道博物館
151	砂金	和寒 剣和	1		弥永北海道博物館
152	砂金	鷹栖	1		弥永北海道博物館
153	砂金	夕張太郎沢	1		弥永北海道博物館
154	砂金	ペーチャン川（中頓別）	1		弥永北海道博物館
155	砂金	枝幸ウソタン川	1		弥永北海道博物館
156	砂金	松前千軒岳	1		弥永北海道博物館
157	砂金	歴船川 支流中の川	1		弥永北海道博物館
158	砂金	歌登	1		弥永北海道博物館
159	砂金	鹿児島県薩摩郡宮之城町屋地	1		茨城県自然博物館
160	砂金	岐阜県大野郡荘川村六蔵	1		国立科学博物館
161	砂金	静岡県静岡市日影沢	1		国立科学博物館
162	砂金	鹿児島県枕崎市鹿籠鉱山	1		国立科学博物館
163	砂金	東京、埼玉、茨城、神奈川、群馬、栃木	7		国立科学博物館
164	砂金	福井（福井市、横浜海岸）	2		福井市自然史博物館
165	砂金	岩手県乙部川	1		岩手県立博物館
166	砂金	山形県立谷沢川	1		個人蔵
167	砂金	山梨県富士川水系	1		個人蔵
168	砂金	茨城県久慈川水系	1		個人蔵
169	砂金塊	福島県石川町	2		国立科学博物館
170	砂金塊	茨城県大沢川	1	8 g	個人蔵
171	砂金	東海、四国、九州	3		国立科学博物館
172	砂金	北陸、近畿、四国	4		個人蔵
173	砂金	北陸～九州、青森、三重	16		個人蔵
174	砂金	京都、大阪、滋賀、兵庫	4		個人蔵
175	砂金	姫川（新潟県）	1		フォッサマグナミュージアム
176	砂金	佐渡西三川産（新潟県）	1		個人蔵
177	砂金	涌谷（宮城県）	1		弥永北海道博物館
178	砂金	大月、浅利川（山梨県）	1		弥永北海道博物館
179	砂金	桂川（京都府）	1		弥永北海道博物館
白金資料					
180	白金塊	白金川上流	1	1.12g	弥永北海道博物館
181	砂白金	白金川 大夕張	1		弥永北海道博物館
182	砂白金	大夕張 シュバロ川	1		弥永北海道博物館
183	白金塊	鷹栖	1	9.41g	弥永北海道博物館
184	砂白金	沼田	1		弥永北海道博物館
金に似た鉱物					
185	黄鉄鉱	新しいものと古く腐食したもの	2	15cm	国立科学博物館
186	黄銅鉱	新しいものと古く腐食したもの	2	15cm	国立科学博物館
金鉱石					
No.	資料名	鉱山名	点数	大きさ（最大幅）	所蔵
187	金鉱石	鴻之舞鉱山	1	18cm	国立科学博物館
188	金鉱石	珊瑚鉱山	1	30cm	合同資源産業
189	金鉱石	光竜鉱山	1	30cm	合同資源産業
190	金鉱石	大当鉱山	1	25cm	国立科学博物館
191	金鉱石	高玉鉱山	1	20cm	合同資源産業
192	金鉱石	佐渡鉱山	1	60cm	ゴールデン佐渡
193	金鉱石	佐渡鉱山	1	50cm	佐渡市教育委員会
194	金鉱石	河津鉱山	1	20cm	国立科学博物館

195	金鉱石	持越・清越鉱山	1	20cm	国立科学博物館
196	金鉱石	土肥鉱山	1	20cm	国立科学博物館
197	金鉱石	生野鉱山	1	18cm	国立科学博物館
198	金鉱石	串木野鉱山	1	40cm	国立科学博物館
199	金鉱石	菱刈鉱山	1	60cm	国立科学博物館
200	金鉱石	菱刈鉱山カット標本	1	20cm	国立科学博物館
201	金鉱石	菱刈鉱山	1	30cm	住友金属鉱山
202	金鉱石	馬上鉱山	1	15cm	国立科学博物館
203	金鉱石	春日鉱山	1	30cm	国立科学博物館

金の科学（金製品）

No.	資料名	数量	重量、大きさ等	所蔵
205	金塊	1	120kg 長35cm、幅16cm、高14cm	SGC信州ゴールデンキャッスル
206	金塊（複製）	1	原品250kg 長45.5cm、幅22.5cm、高17cm	土肥マリン観光
207	金の延べ棒	1	約12.5kg 長24cm、幅7.5cm、高3.5cm	三菱マテリアル
208	銀の延べ棒	1	金と同形	三菱マテリアル
209	銅の延べ棒	1	金と同形	三菱マテリアル
210	アルミの延べ棒	1	金と同形	三菱マテリアル
211	金線	1	0.1g	日鉄マイクロメタル
213	金箔（純金）	1		石川県箔商工業協同組合
214	金箔（4号色）	1		石川県箔商工業協同組合
215	金コロイド	1 瓶		首都大学東京、国立科学博物館
216	金泥	1 瓶		国立科学博物館
217	金液（水金）	1 瓶		ヘレウス
218	ボーンチャイナ（焼成前後皿）	2	径10cm	ニッコー
219	宝飾品の金合金		イエロー、ホワイ、ピンク、グリーンゴールド イヤリング、カフスボタン、ネックレス	石福金属興業
220	金赤ガラス（江戸切子）	2	金、銅	東京カットグラス工業協同組合、三晃硝子工業
222	金、銀、銅、鉄、アルミニウム箔			名古屋科学館

第3部 現代の金利用

No.	作品、資料名	作者等	数	技法、大きさ等	所蔵
223	四神壺	鹿島一谷	1	彫金 高25.5cm、幅20.0cm	SGC信州ゴールデンキャッスル
224	秋の月	奥山峰石	1	鍛金 23.8cm×20.8cm	SGC信州ゴールデンキャッスル
225	截金彩色まり盒子「陽光」 截金彩色まり香盒	江里佐代子	3	截金 盒子 高10.2cm、径10.6cm 香盒（大）高6.0cm、径6.0cm 香盒（中）高5.5cm、径5.5cm	平安仏所
226	牡丹唐草舞蝶図大皿	吉田美統	1	釉裏金彩 径58.0cm、高8.5cm	作家蔵
228	蒔絵万年筆「鈴蘭」	田口善国	1	蒔絵 長17.3cm、径1.97cm	パイロットコーポレーション
229	七宝赤透花瓶		1	高36.0cm、胴径24.7cm	七宝町七宝焼アートヴィレッジ
230	西陣織仏画		1		西陣美術織工房
231	黄金のウェディングドレス	桂由美デザイン	1		ユミカツラインターナショナル
232	黄金の打掛	桂由美デザイン	1		ユミカツラインターナショナル
233	2004アテネオリンピック金メダル	北島康介	1		本人蔵
234	世界競泳2007インジャパン金メダル	北島康介	1		本人蔵
235	パラリンピック金メダル（1996アトランタ、2000シドニー、2004アテネ）	河合純一	3		本人蔵
236	2006ワールド・ベースボール・クラシック金メダル	王貞治	1		本人蔵
237	オリンピック金メダル（1968メキシコ、1972ミュンヘン、1976モントリオール）	加藤澤男	3		本人蔵
238	金箔と製作道具				石川県箔商工業協同組合
239	歯科利用				日本歯科材料工業協同組合、 日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館
240	金コロイド		1 瓶		首都大学東京
241	金のリサイクル				DOWAホールディングス
242	金メッキセラミック基板		1	10×10cm	ニッコー

佐渡金銀山展展示品一覧

番号	指定	資料名	出土地、作者等	時代	数	所蔵
1		金鉱石	佐渡鉱山	平成		ゴールデン佐渡
2		金インゴット (5 g)			2	ゴールデン佐渡
3		砂金 (0.5 g)				国立科学博物館
4		砂金 (0.1 g)				個人
5		制札		安土桃山	1	引田部神社
6		西三川砂金山稼方図	西三川砂金山	江戸	1	新潟県立歴史博物館
7		つるはし	西三川砂金山	江戸	1	佐渡博物館
8		カッチャ	西三川砂金山	江戸	1	佐渡博物館
9		かご	西三川砂金山	江戸	1	佐渡博物館
10		ねこだ	西三川砂金山	江戸	1	佐渡博物館
11		ゆり板	西三川砂金山	江戸	1	佐渡博物館
12		秤	西三川砂金山	江戸	1	佐渡博物館
13		上相川絵図	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
14		上相川遺跡出土遺物	相川金銀山	戦国～江戸		佐渡市教育委員会
15		金銀山大概書	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
16		てへん	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
17	佐渡市	たがね	相川金銀山	江戸	2	相川郷土博物館
18	佐渡市	鎚	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
19	佐渡市	上田はし	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
20	佐渡市	灯明皿	相川金銀山	江戸	2	相川郷土博物館
21	佐渡市	釣	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
22		480方位羅針盤	相川金銀山	江戸	1	佐渡市教育委員会
23		佐州相川惣銀山敷岡高下振矩絵図	相川金銀山	江戸	1	ゴールデン佐渡
24		佐渡の国金掘ノ巻	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
25		銀山勝場稼方諸図	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
26		丸木はしご	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
27		釣瓶	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
28		滑車	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
29		電吐水	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
30		水上輪	相川金銀山	江戸	1	佐渡博物館
31		水上輪 (内部模型)	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
32		扣石	相川金銀山	江戸	4	佐渡博物館
33		石磨 (上磨)	相川金銀山	江戸	2	佐渡博物館
34		石磨 (下磨)	相川金銀山	江戸	2	佐渡博物館
35	新潟県	鉛板	相川金銀山	江戸	3	佐渡市教育委員会
36		ふいご	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
37		天秤	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
38		羽口	相川金銀山	江戸	2	相川郷土博物館
39	新潟県	盤状土製品	相川金銀山	江戸	3	佐渡市教育委員会
40	新潟県	棒状土製品	相川金銀山	江戸	3	佐渡市教育委員会
41		佐渡小判 (複製)	相川金銀山		1	相川郷土博物館
42		佐字一分金	相川金銀山	江戸	1	個人
43		印銀	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
44		印銀	相川金銀山	江戸	1	個人
45		一分銀	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
46		佐渡銭 (寛永通宝)	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
47	佐渡市	金掘絵馬	相川金銀山	江戸	1	相川郷土博物館
48	佐渡市	相川八景 道遊秋月	山尾定政	江戸	1	大安寺
49		六十余州名所図会佐渡金やま	二代広重	江戸	1	佐渡博物館
50		諸国六十八景 佐渡金やま	二代広重	江戸	1	長岡市立中央図書館
51		諸国名所百景佐渡金やま奥穴の図	二代広重	江戸	1	佐渡博物館
52		絵はがき	佐渡鉱山	明治～昭和	14	相川郷土博物館
53		御料佐渡鉱山製鉱所之図	佐渡鉱山	明治	1	相川郷土博物館
54		御料佐渡鉱山之図	佐渡鉱山	明治	1	相川郷土博物館
55		佐渡鉱山全景案内	佐渡鉱山	昭和	1	相川郷土博物館
56		鉱山模型	佐渡鉱山	明治	1	佐渡市教育委員会
57		御料局瓦	佐渡鉱山	明治	1	相川郷土博物館
58		三菱瓦	佐渡鉱山	明治	1	相川郷土博物館
59		削岩機	佐渡鉱山	昭和	1	ゴールデン佐渡
60		アセチレン燈	佐渡鉱山	明治～大正	2	ゴールデン佐渡
61		発破器	佐渡鉱山	昭和	1	ゴールデン佐渡
62		作業着	佐渡鉱山	昭和	1	ゴールデン佐渡
63		ヘルメット	佐渡鉱山	昭和	1	ゴールデン佐渡

所蔵品展



そばにおきたい絵—相澤コレクション

【趣 旨】

旧寺泊町(現・長岡市)の相澤美術館は、1989年の開館以来、黒を基調とした瀟灑な建物と、日本海に臨むロケーションとともに愛されてきたが、2004年11月に閉館した。翌年、そのコレクション1,088点が当館に寄贈され、相澤直人館長が長年に渡って育んできた、美術に対する情熱の結晶ともいべき作品群が、当館の新たな所蔵品となる。

国内外の近現代作家作品から構成される相澤コレクションは、私的な蒐集という意味で、公立美術館のコレクションとはその成り立ちや目的が異なっている。相澤氏の眼によって選ばれ、集められた作品は、仰々しく大空間に展示して鑑賞するよりも個人的な空間で親密に眺めるのに相応しいこと、華やかさや派手さよりも抑制の効いた静けさを持つ作品が好まれていること、ひとこと言うならば「そばにおきたくなるような」作品が多いことが、その特徴としてあげられよう。

コレクションの核となった長崎莫人、難波田龍起・史男父子、江口草玄の作品を含む約90作家200点の作品で構成した本展は、身構えることなく、美術作品をより身近に感じてもらうことをめざした。鑑賞者にとっては、新たな作家を発見し、新たな作品と巡り合う機会ともなった。

【総 括】

●評価すべき点

- ・相澤コレクションのよい意味での「偏り」を分かりやすくするために、相澤氏の自伝などを基に後半部分に特定画家の特集コーナーを設けた。作家自身や遺族に來館して頂き、高評価を得た。

- ・相澤氏の美意識を追究することを念頭に企画したことから、寄贈者である相澤氏ご本人にとっても満足のいく展示になったようである。

●検討課題

- ・相澤美術館で発行した様々な資料類も保管してはあるが、それらを整理して展覧会で紹介できなかったことは残念である。

【開催日・その他】

＝2008年4月5日(土)～5月11日(日) (33日間)＝

主 催：新潟県立万代島美術館

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日报社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルネット新潟、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

観覧料：一般……………310円 (250円)
大学・高校生…………150円 (120円)
小中学生……………無料

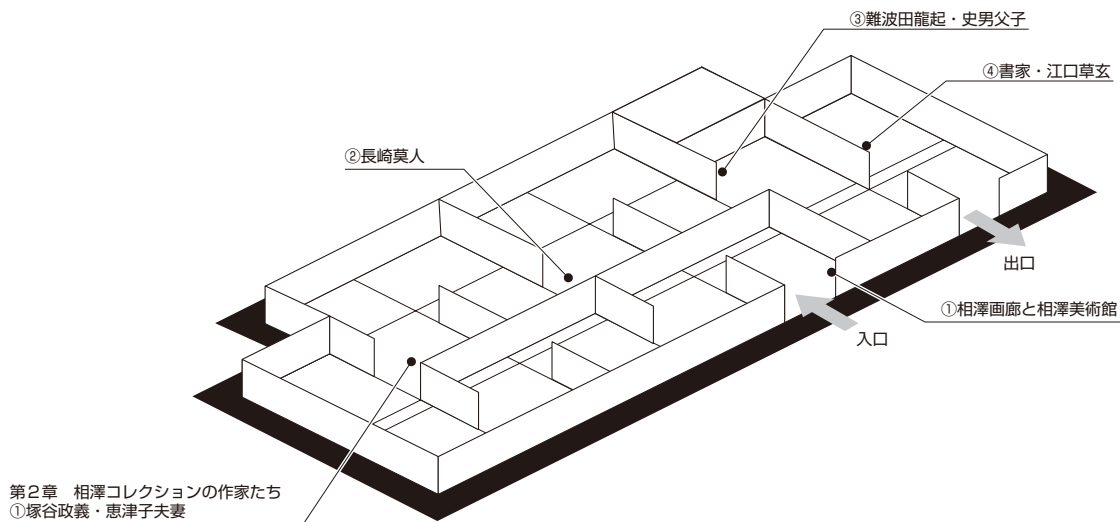
※ () 内は20名以上の団体料金

【関連行事】

作品解説会

会期中の土・日・祝日 (ただし他にイベントがある日は除く) 14:00より、美術館展示室にて

担当 高晟俊、池田珠緒



【関連記事】

●新聞

越後タイムス（4/11(金)）
日曜随想—持って帰りたくなる絵／柴野毅実

新潟日報（4/12(土)）
人肌伝える生きた筆致—抽象画、書など200
点紹介／高晟俊

その他：読売新聞（3/28(金)）、朝日新聞（3
/29(土)）、新潟日報（4/5(土)）

●雑誌

新潟Week2007年4.18号
週刊朝日だより 4月第2週号
新潟情報 3/26号
maga 2008年春号

【観覧者数】

有料観覧者数	当 日	1,871
	前 売	—
無料観覧者数	無 料	758
	免 除	180
総 観 覧 者 数		2,772
有 料 率 (%)		67.5

【作品リスト】

【第1章】相澤画廊と相澤美術館

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
1	浅井 忠	洋館風景	制作年不詳	水彩・紙	17.5×23.3
2	浅井 忠	海辺夕景	制作年不詳	水彩・紙	22.3×33.3
3	古賀春江	花	制作年不詳	水彩・紙	24.2×33.0
4	古賀春江	初秋の水辺	制作年不詳	水彩・紙	28.6×38.8
5	萬鉄五郎	湖山遊舟図	1920年代	墨・紙	33.0×23.5
6	安井曾太郎	風景	1911年	鉛筆・紙	10.0×17.0
7	梅原龍三郎	静物	制作年不詳	鉛筆・紙	18.5×25.5
8	里見勝蔵	りんご	制作年不詳	鉛筆・紙	29.0×39.0
9	谷中安規	花	1933年	木版・紙	13.3×18.0
10	谷中安規	戦争版画集 7 万歳	1933年	木版・紙	14.1×18.4
11	谷中安規	少年画集 7 盆踊り	1933年	木版・紙	15.3×17.6
12	谷中安規	少年画集 8 朝鮮	1933年	木版・紙	12.7×18.2
13	前田寛治	ネックレスの女	制作年不詳	水彩・紙	21.0×17.9
14	村山槐多	裸婦	1916年	木炭・紙	57.5×38.7
15	長谷川利行	ナイトハウス	制作年不詳	鉛筆・紙	21.5×17.6
16	長谷川利行	抱イテ寝モセズ	制作年不詳	鉛筆・紙	21.0×17.5
17	長谷川利行	浅草界限	制作年不詳	水彩・紙	47.4×63.0
18	清水登之	観覧席	制作年不詳	コンテ・紙	31.5×43.6
19	清水登之	南方風景	制作年不詳	水彩・紙	37.7×40.5
20	牧野虎雄	藤棚春紅葉	1940年	油彩・布	40.9×53.0
21	上野山清貢	百合	1930年代	油彩・布	22.6×15.8
22	野口謙蔵	湖辺	制作年不詳	油彩・板	31.1×39.0
23	高島達四郎	嵐	制作年不詳	グワッシュ・紙	32.6×40.2
24	鶴田吾郎	与板風景	1935年	コンテ・水彩・紙	25.5×37.0
25	矢部友衛	上越国境	制作年不詳	水彩・紙	21.6×32.3
26	今西中通	弟の通夜	1937年	パステル・ペン・紙	20.5×14.0
27	今西中通	裸婦	制作年不詳	鉛筆・紙	25.5×15.5
28	松本峻介	風景	制作年不詳	ペン・紙	12.2×20.8
29	麻生三郎	佃島	1956年	ペン・紙	29.0×35.5
30	海老原喜之助	少年と馬	1954年	ペン・紙	23.1×25.0
31	海老原喜之助	バイオリン奏者	制作年不詳	鉛筆・紙	16.2×26.2
32	阿部展也	ドイツの男	1948年頃	鉛筆・紙	30.2×23.5
33	阿部展也	なめくじ夜曲	1947年	ペン・水彩・紙	23.6×33.7
34	牛島憲之	水門	制作年不詳	鉛筆・紙	16.2×27.8
35	駒井哲郎	庭の一隅	1966年	シュガーアクアチント・紙	32.2×49.2
36	瑛九	森の太陽	1956年	リトグラフ・紙	38.0×26.0
37	浜田知明	ボス	1980年	エッチング・セピア・アルシュ紙	26.5×18.9
38	鶴岡政男	回転	制作年不詳	パステル・紙	36.3×25.3
39	大沢昌助	乾いた風景	制作年不詳	水彩・紙	26.5×32.6
40	寺田政明	人	制作年不詳	パステル・紙	35.7×22.4
41	寺田政明	カレイとカニ	1976年	リトグラフ・紙	41.7×36.7
42	北川民次	バツタと三人の女	1971年	エッチング・紙	17.5×14.0
43	北川民次	女と鬼	1970年	エッチング・紙	17.7×13.7
44	北川民次	メキシコインディアン部落の楽士たち	1970年	油彩・布	41.0×31.7
45	鳥海青児	闘牛士	1958年頃	パステル・紙	37.6×23.5
46	鳥海青児	ピカドール	1958年頃	パステル・紙	35.7×27.0
47	鳥海青児	フラメンコ	1958年頃	パステル・紙	42.0×30.0
48	脇田 和	ふたり	制作年不詳	水彩・紙	27.6×28.9
49	脇田 和	母と子	制作年不詳	水彩・鉛筆・紙・紙	43.0×27.5
50	伊藤久三郎	作品	制作年不詳	パステル・紙	33.3×24.0
51	伊藤久三郎	精子	制作年不詳	パステル・紙	33.1×23.5
52	伊藤久三郎	舌 (tang)	制作年不詳	パステル・ペン・紙	33.5×23.8
53	伊藤久三郎	作品	1966年	油彩・布	27.3×22.0
54	山口長男	作品	制作年不詳	墨・紙	38.0×27.0
55	山口長男	作品	1980年	水彩・墨・紙	38.0×26.8
56	山口長男	作品	制作年不詳	水彩・墨・紙	38.0×26.7
57	末松正樹	島の記憶	制作年不詳	モノタイプ	50.2×65.7
58	永瀬義郎	女体に咲く花	1957年	木版・紙	41.2×18.8
59	野間仁根	舞踏する男女	1965年	水彩・鉛筆・紙	37.6×52.5
60	大野五郎	六月の風 トレド風景	1971年	油彩・布	60.8×91.2
61	大野五郎	裸婦	制作年不詳	木炭・パステル・水彩・紙	50.7×31.8
62	中村忠二	寒月と矢C	1968年	モノタイプ・紙	16.6×13.5

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
63	中村忠二	黒	1965年	モノタイプ・紙	28.0×19.0
64	中村忠二	昼の昆虫	1959年	モノタイプ・紙	21.1×37.4
65	中村忠二	四ツの黒	1968年	モノタイプ・紙	97.4×66.0
66	坂本善三	構成 '80 (紋)	1980年	リトグラフ・紙	39.0×53.7
67	坂本善三	構成 '87	1987年	リトグラフ・紙	32.0×45.0
68	柳原義達	鳩	1973年	サインペン・紙	38.5×31.5
69	舟越保武	女の顔	1990年	コンテ・紙	33.0×32.5
70	森 芳雄	人物素描	1980年	コンテ・紙	41.6×31.5
71	富川潤一	かぼちゃとれんこん	制作年不詳	墨・顔料・紙	25.5×30.0
72	富川潤一	男の顔 女の顔	制作年不詳	墨・顔料・紙	21.5×31.6
73	芹沢銈介	釈迦十大弟子 大迦葉	1982~84年	型染絵・強製紙	100.0×59.1
74	芹沢銈介	釈迦十大弟子 阿那律	1982~84年	型染絵・強製紙	83.0×52.7
75	桑原 実	エルジェム闘技場の外側	1977年	油彩・布	53.0×45.6
76	中村直人	緑衣	制作年不詳	油彩・紙	22.7×15.8
77	小山田二郎	鳥女	制作年不詳	水彩・紙	37.7×26.5
78	峰村リツ子	花	制作年不詳	油彩・布	33.6×24.4
79	古茂田守介	けしの花	制作年不詳	油彩・板	20.0×27.0
80	萩原英雄	伝説	1959年	木版・紙	77.2×44.3
81	三上 誠	凍結の生理シリーズ	1965~68年	インク・紙	60.5×45.0
82	三上 誠	作品B	1968年	顔料・紙	91.7×60.8
83	三上 誠	作品	1965~68年頃	インク・紙	61.0×87.8
84	菅井汲	青い太陽	1965年	リトグラフ	73.5×53.5
85	杉全 直	きっこう	1960年	混合素材・布	60.6×72.6
86	野見山暁治	ホントのこと	1993年	リトグラフ・紙	61.0×82.0
87	野見山暁治	みんな嘘	1993年	リトグラフ・紙	61.0×82.0
88	野見山暁治	ドジな約束	1993年	リトグラフ・紙	61.0×82.0
89	宮崎 進	風	1996年	コラグラフ・紙	69.9×49.2
90	宮崎 進	布によるボディ・シリーズ Corps 1	1996年	コラグラフ・紙	67.2×51.5
91	白髪一雄	水精	1991年	リトグラフ・紙	82.0×60.0
92	元永定正	だんだんちいさく	1971年	シルクスクリーン・紙	71.3×55.4
93	鰐 嘸	作品	1985年	シルクスクリーン・布	15.5×22.5
94	鰐 嘸	素描	制作年不詳	水彩・紙	23.0×17.0
95	鰐 嘸	影の前の群衆	1955年	リトグラフに着色	17.5×23.3
96	鰐 嘸	素描	1955年	アクリル・紙	47.2×31.9
97	坂倉新平	楽しみがくる	1983年頃	水彩・紙	15.8×23.4
98	池田満寿夫	窓辺のイブ	1963年	ドライポイント・エッチング・紙	39.0×34.0
99	木下 晋	裸婦	1985年	鉛筆・紙	33.0×24.9
100	相笠昌義	マドリッドのこども達・夏	1984年	エッチング・紙	19.5×39.0
101	井上有一	無題	1954年	墨・紙	28.1×52.1
102	李 禹煥	AVEC L'ESPACE 1	1992年	リトグラフ・紙	56.0×76.0
103	李 禹煥	AVEC L'ESPACE 2	1992年	リトグラフ・紙	56.0×76.0
104	李 禹煥	AVEC L'ESPACE 3	1992年	リトグラフ・紙	56.0×76.0
105	宮崎喜三	ファンタジー	1974年	油彩・板	72.3×116.5
106	河内成幸	亀裂No.9	1986年	木版・紙	97.0×67.0
107	清水 伸	作品	1992年	油彩・布	55.3×24.8
108	関川正七	ポリネシア	1980~2年	水彩・タバクロス	42.3×48.6
109	栗津杜子	ゴンドラ	1990年頃	油彩・紙	26.2×29.2
110	小柏龍太郎	緑のマグマ	2000年	油彩・布	36.0×25.4
111	黒田征太郎	鳥	1998年	油彩・布	25.4×25.4
112	ミロ, ホアン	太陽の賛歌6	1975年	エッチング・アクアチント・紙	35.5×50.2
113	ミロ, ホアン	太陽の賛歌9	1975年	エッチング・アクアチント・紙	35.5×50.2
114	ミロ, ホアン	太陽の賛歌12	1975年	エッチング・アクアチント・紙	35.5×50.2
115	ミロ, ホアン	太陽の賛歌25	1975年	エッチング・アクアチント・紙	35.5×50.2
116	ミロ, ホアン	太陽の賛歌30	1975年	エッチング・アクアチント・紙	35.5×50.2
117	カポグロッシ, ジョゼッペ	CAPOGROSSI	1966年	シルクスクリーン・紙	15.3×10.3
118	野田哲也	Diary : Aug.10th, '79	1979年	木版・シルクスクリーン・紙	35.4×50.6
119	野田哲也	Diary : July 11th, '80	1980年	木版・シルクスクリーン・紙	43.4×64.8
120	野田哲也	Diary : Feb.11th, '95	1995年	木版・シルクスクリーン・紙	62.6×125.0
121	野田哲也	Diary : April 18th, '99	1999年	木版・シルクスクリーン・紙	47.7×77.8
122	シャガール, マルク	作品	制作年不詳	リトグラフ・紙	61.0×45.5
123	デュビュッフェ, ジャン	大地の果実	1959年	リトグラフ 紙	53.9×39.8
124	タマヨ, ルフィーノ	作品	制作年不詳	リトグラフ・紙	53.0×70.2
125	タマヨ, ルフィーノ	女シリーズ	制作年不詳	リトグラフ・紙	71.8×44.4
126	タマヨ, ルフィーノ	女シリーズ	制作年不詳	リトグラフ・紙	69.4×53.5

【第2章】相澤コレクションの作家たち

① 塚谷政義・恵津子夫妻

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
127	塚谷政義	A氏像	1952年	油彩・布	32.7×23.7
128	塚谷政義	裸婦	1978年	油彩・布	72.8×50.0
129	塚谷政義	素描2	制作年不詳	鉛筆・紙	29.2×40.0
130	塚谷政義	素描1	制作年不詳	鉛筆・紙	40.0×29.2
131	塚谷政義	樹	1983年	油彩・布	41.0×27.3
132	塚谷政義	浮子	1983年	油彩・布	50.0×72.8
133	塚谷政義	十月	1959年	油彩・布	53.0×72.8
134	塚谷政義	自画像 (風)	1967年	油彩・布	100.0×80.3
135	塚谷政義	唐招提寺	1948年	油彩・布	65.2×91.0
136	塚谷恵津子	静物 凍豆腐のある (2)	1972年	油彩・布	80.3×100.0
137	塚谷恵津子	静物 凍豆腐のある (1)	1972年	油彩・布	80.3×100.0
138	塚谷恵津子	一隅2	1989年	油彩・布	80.3×100.0
139	塚谷恵津子	紙袋のある静物	1965年	油彩・布	80.3×100.0
140	塚谷恵津子	静物 器のある	1991年	油彩・布	80.3×100.0
141	塚谷恵津子	静物 がまの穂のある	1992年	油彩・布	80.3×100.0
142	塚谷恵津子	静物 茗荷のある	1989年	油彩・布	80.3×100.0
143	塚谷恵津子	静物 のぐさ (毒だみ) のある	1985年	油彩・布	80.3×100.0
144	塚谷恵津子	静物 野の花と2	1988年	油彩・布	80.3×100.0

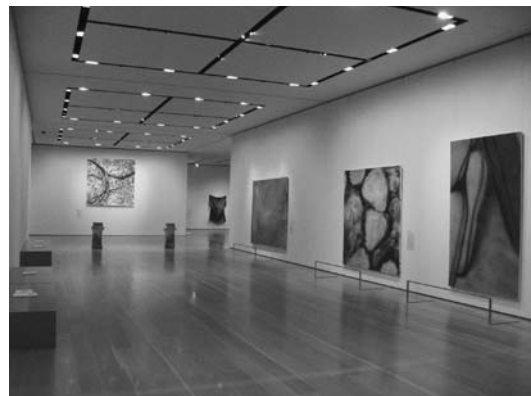
② 長崎真人

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
145	長崎真人	森と太陽	1952年	油彩・板	15.6×22.5
146	長崎真人	顔	1962年	墨・顔料・紙	54.9×45.6
147	長崎真人	街の煙突	1958年	墨・顔料・紙	54.5×92.1
148	長崎真人	蛭谷風景	1955年頃	墨・紙	55.0×93.2
149	長崎真人	寒村と樹	1965年	墨・紙	91.2×151.3
150	長崎真人	雪の親不知	1975年	岩彩・紙	125.8×162.0
151	長崎真人	波	1975年	彩色・墨・紙	138.6×179.8
152	長崎真人	雲崗石仏1	1978年	墨・顔料・紙	89.8×159.8
153	長崎真人	雲崗飛天1	1978年	彩色・墨・紙	89.8×159.8
154	長崎真人	敦煌石窟 北魏交脚弥勒	1979年	墨・顔料・紙	162.8×90.0
155	長崎真人	石碑―甘肅省博物館	1980年	墨・顔料・紙	159.2×91.0
156	長崎真人	龍門石仏1 奉先寺主仏	1981年	墨・紙	113.0×82.0
157	長崎真人	ハイデルベルグ	1966年	墨・クレパス・紙	31.0×45.4
158	長崎真人	ベニス	1966年	鉛筆・紙	16.7×19.4
159	長崎真人	ローマ テペエレ川	1966年	墨・クレパス	24.0×27.1
160	長崎真人	畑と太陽	1969年	彩色・墨・紙	90.8×132.6
161	長崎真人	紅葉の山	1982年	墨・顔料・紙	134.7×91.3

③ 難波田龍起・史男父子

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
162	難波田龍起	線の遊びH	1954年	水彩・インク・紙	29.1×41.5
163	難波田龍起	三角と円B	1957年	水彩・紙	51.8×37.5
164	難波田龍起	三角と円A	1957年	水彩・紙	52.2×37.8
165	難波田龍起	黄色い家	1987年	リトグラフ	72.5×53.5
166	難波田龍起	野の瞑想	1987年	リトグラフ	71.5×53.3
167	難波田龍起	水のある風景	1987年	水彩・紙	22.5×32.5
168	難波田龍起	石窟のなかの群像	1988年	水彩・紙	38.0×53.5
169	難波田龍起	人と自然6	1989年	水彩・和紙	59.7×81.6
170	難波田龍起	人と自然7	1989年	水彩・和紙	56.6×76.0
171	難波田龍起	凝集	1984年	水彩・ペン・紙	37.6×53.3
172	難波田史男	鳥	1961年	水彩・インク・紙	35.6×24.1
173	難波田史男	無題	1962年	水彩・インク・紙	30.0×46.6
174	難波田史男	レジスタンスの日々	1962年	水彩・インク・紙	76.7×109.0
175	難波田史男	彩色画 いてまいます	1965年	水彩・インク・紙	18.5×31.7
176	難波田史男	少年と海の神話	1967年	水彩・インク・紙	20.3×31.5
177	難波田史男	花の精のおどり	1968年	水彩・インク・紙	21.4×28.4
178	難波田史男	無題	1973年	水彩・インク・紙	20.6×31.7
179	難波田史男	無題	1972年	水彩・インク・紙	20.3×31.5
180	難波田史男	無題	1974年	水彩・インク・紙	20.5×31.5
181	難波田史男	無題	1972年	水彩・インク・紙	20.5×31.7
182	難波田史男	無題	1971年	水彩・インク・紙	20.8×24.7
183	難波田史男	白い月	1973年	水彩・インク・紙	20.7×31.7
184	難波田史男	白い太陽	1970年	水彩・インク・紙	31.3×20.3
185	難波田史男	ある日の幻想 作品19	1971～73年	ドライポイント・紙	18.2×29.7

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
186	難波田史男	ある日の幻想 作品36	1973年	エッチング・紙	18.0×15.0
④ 書家・江口草玄					
No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
187	江口草玄	刻野	1955年	墨・紙	63.8×115.0
188	江口草玄	己	1960年	墨・紙	122.5×162.3
189	江口草玄	瞬	1965年	墨・紙	180.0×241.0
190	江口草玄	刻	1963年	墨・紙	179.0×119.5
191	江口草玄	地	1965年	墨・紙	120.5×179.0
192	江口草玄	水	1966年	墨・紙	121.7×179.7
193	江口草玄	風	1967年	墨・紙	124.0×179.0
194	江口草玄	光	1968年	墨・紙	123.5×179.8
195	江口草玄	雨まで寝て戻る仲人	1989年	墨・紙	56.4×70.3
196	江口草玄	畳の上の蝶は振り袖	1990年	墨・紙	65.7×67.8
197	江口草玄	抱きつくまでが恋の道行	1990年	墨・紙	64.2×66.6



現代の美術表現 —素材と技法

【趣 旨】

2003年7月に開館した新潟県立万代島美術館は、1945年以降の「現代の美術」における新しい価値を積極的に発掘し、チャレンジする美術館をめざしており、ますます多様化していく美術を新しい視点でとらえていくことを目標にしている。本展覧会は、万代島美術館の開館にあわせて収蔵した、日本画・洋画・平面、版画、彫刻・立体、工芸の諸分野にわたる1960年代後半から現在までの作品を通して、多様化し複雑化する現代の美術表現の一端を実感してもらおうという趣旨。作品に用いられたさまざまな素材と技法を糸口にして、新しい表現に挑戦しつつける現代の美術家たちの感性や思考、技巧などを感じ取り、その豊かな造形美の世界を楽しむ良い機会になることを目指した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・万代島美術館所管作品のみにもかかわらず、5つの章立てを作り、美術館コレクションの特徴をうまく見せることができた。
- ・ゆったりとした展示構成にしたため、快適な鑑賞空間を作り出すことができた。

●検討課題

- ・「素材と技法」とのテーマに即し、各作品の素材や技法についての解説を加えた方がよかった。
- ・今回は万代島美術館の所管作品で構成したが、近代美術館の所管作品も含め、同じテーマで展覧会を企画してみる価値がある。

【開催日・その他】

＝2008年12月23日(火)～2009年1月29日(木)
(27日間)＝

主 催：新潟県立万代島美術館

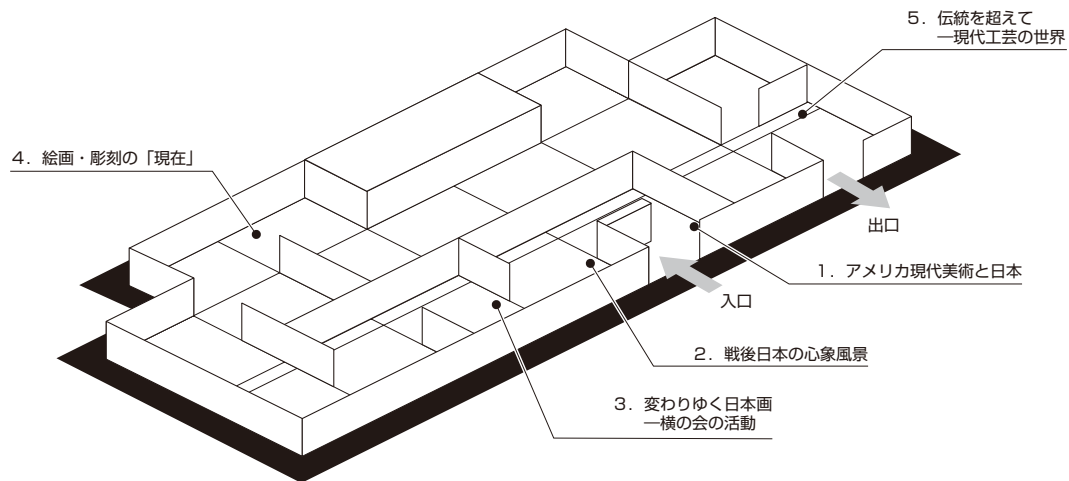
後 援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、メディアッティ新潟、エフエムラジオ新潟、FM PORT79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

観覧料：一般……………310円(250円)

大学・高校生…………150円(120円)

小中学生……………無料

※()内は20名以上の団体料金、小・中学生の観覧料は無料。



【関連行事】

作品解説会

会期中の土・日・祝日14：00より、美術館展示室にて

【関連記事】

●新聞

朝日新聞 1/15(木)

美の履歴書092 横山操「TOKYO」—なぜ、うら寂しげなのか／大西若人

その他：新潟日報夕刊（12/24(水)、1/5(月)、1/16(金)、読売新聞（1/16(金)）

●雑誌等

週刊朝日だより1月第1週号

新潟よみうり 216号

Assh 160号

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	1,555
	前売	—
無料観覧者数	無料	519
	免除	68
総観覧者数		2,142
有料率(%)		72.1

担当：高晟竣、藤田裕彦

【出品リスト】

1. アメリカ現代美術と日本

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法
1	ロイ・リキテンスタイン	睡蓮と柳	1992年	スチール板にスクリーンプリント
2	ロバート・ラウシェンバーグ	乱闘（白霜シリーズ）	1975年	観賞用ファブリックに溶剤複写、厚紙コラージュ
3	アンディ・ウォーホル	花	1970年	シルクスクリーン、紙
4	キース・ヘリング	花	1990年	シルクスクリーン、紙
5	篠原有司男	スパイダーマン	1981年	アクリル、カンヴァス
6	篠原有司男	コカコーラ・プラン	2002年	混合材料
7	郭徳俊	フォードと郭	1975年	リトグラフ、紙

2. 戦後日本の心象風景

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法
8	星野真吾	赤い心象	1963年	紙本彩色
9	星野真吾	消えてゆく	1987年	紙本彩色
10	横山操	T O K Y O	1968年	紙本彩色
11	宮崎進	黄色い大地	2000年	麻布、木工ボンド、木炭、油絵具、合板
12	宮崎進	ナナエツの少女	1996年	石膏、油絵具
13	野見山曉治	いけにえ	1995年	油彩、カンヴァス

3. 変わりゆく日本画―横の会の活動

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法
14	林功	綱引き	1998年	紙本彩色
15	米谷清和	街・朝	1986年	紙本彩色
16	米谷清和	街・夕方	1986年	紙本彩色
17	林潤一	緑韻再々	1985年	紙本彩色
18	竹内浩一	降	2000年	紙本彩色
19	大野俊明	宵の星	1999年	紙本彩色
20	畠中光享	散華Ⅳ	1996年	紙本彩色
21	中野嘉之	野火	2000年	紙本彩色
22	堀泰明	雲南賛歌	1988年	紙本彩色
23	青山巨幹	夏	1998年	紙本彩色
24	中島千波	空※'98-9五蘊皆空	1998年	紙本彩色
25	渡邊信喜	牡丹図	1989年	紙本彩色
26	八田哲	夜のカテドラル	1989年	紙本彩色
27	平松礼二	ノルマンディの夢の季	1998年	紙本彩色
28	箱崎睦昌	瀬	1999年	紙本彩色
29	村田茂樹	雲南丘の村	1986年	紙本彩色
30	八木幾朗	魚図	1980年	紙本彩色
31	伊藤彬	山水―くするる2	1997年	紙本彩色

4. 絵画・彫刻の「現在」

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法
32	千住博	WATERFALL	2000年	紙本彩色
33	菅原健彦	円形のジャングルジム	1993年	箔、岩絵具、顔料、膠、木製パネル
34	斉藤典彦	Rites of Passage	1993年	岩絵具、膠、麻紙、絹、パネル
35	丸山直文	KIND	1994年	アクリル、コットン
36	丸山直文	DHL	1992年	アクリル、コットン
37	小林正人	画く力	1994年	油彩、カンヴァス
38	中村一美	死を悼みて濡れて紫の水瀬に立つ者Ⅴ	2003年	アクリル、綿布
39	日高里恵子	空との距離Ⅱ	2002年	岩絵具、麻紙
40	福田美蘭	ブッシュ大統領に話しかけるキリスト	2002年	アクリル、パネル
41	福田美蘭	ぶれちゃった写真 (アムステルダム国立美術館)	2003年	アクリル、パネル
42	森村泰昌	Death of Father	1991年	カラー写真、透明メディウム
43	岡村桂三郎	泉	2003年	岩絵具、板
44	舟越直木	chuckwill's window	1993年	ブロンズ

5. 伝統を超えて―現代工芸の世界

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法
45	坂爪勝幸	阿吽	1994年	陶、焼き締め
46	熊井恭子	DRAPE・G	1989年	ステンレス・スチール
47	熊井恭子	DRAPE・S	1989年	ステンレス・スチール
48	八木一夫	環境の表裏	1967年	黒陶
49	八木一夫	真珠取りの少女	1969年	銅、鍍金

巡回ミュージアム

【趣旨及び総括】

巡回ミュージアムは、新潟県立近代美術館・万代島美術館の収蔵作品の中から作品を選定し、県内を巡回展示するもので、県立美術館の収集活動の成果を披露するとともに、広く県民に美術鑑賞の機会を提供し、文化振興をはかることを目的としている。

本年度は2館の博物館施設を会場に開催、それぞれの会場の個性を生かしながらの展示となった。会場の条件が大きく異なったため、会場ごとに出品リストを設定し、関川村では21点の風景画を中心とした作品を、柏崎市では49点の作品を地元作家や工芸作品のコーナーも設けながらの展示となった。

例年どおり、主要作品の解説を掲載した「鑑賞の手引き」を製作し、鑑賞者に無料配布して教育普及効果を図るほか、会期中に当館職員による作品解説会を実施した。

それぞれの地域で特徴ある展示となり、観覧者数にも開きがあるように見えるが、それぞれの地域の人口に対する比率を考えると2館とも健闘したといつてよい入場者数であった。

【開催地・開催期日・その他】

関川村会場 せきかわ歴史とみちの館
7月8日(火)～8月19日(火) (37日間)
休館日：7月14・22・28日、8月4・11・18日
開館時間：9：00～16：30
主 催：新潟県立近代美術館、新潟県教育委員会、関川村教育委員会
後 援：新潟日报社、NHK新潟放送局、エフエムラジオ新潟、FM PORT79.0
作品解説会：7月29日(火)午後2時～(参加者35名)、午後3時～(参加者14名)
出品点数：21点
入場者数：644名(対人口比9.7%)

柏崎市会場 ソフィアセンター(柏崎市立図書館)
8月22日(金)～9月10日(水) (20日間)
会期中無休
平 日：9：30～18：00、
土・日・祝：9：30～17：00
主 催：新潟県立近代美術館、新潟県教育委員会、柏崎市教育委員会
後 援：新潟日报社、NHK新潟放送局、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、
柏崎日报社、越後タイムス社、柏崎新報社、柏崎コミュニティ放送、柏崎文化協会、柏崎美術会
作品解説会：8月24日(日)午後2時～(参加者80名)、8月31日(日)午後2時～(参加者80名)
出品点数：49点
入場者数：3,208名(対人口比3.5%)

【出品リスト】

No	分野	作家名	作品名	制作年	関川	柏崎
1	日本画	麻田鷹司	雪景色	C1965	○	○
2	日本画	岩田正巳	緑扇	1969		○
3	日本画	大矢紀	北に花咲く	1973		○
4	日本画	加山又造	白い華	1995	○	○
5	日本画	加山又造	烈風	不明	○	○
6	日本画	川合清	白粧	1983	○	○
7	日本画	工藤甲人	夜	1963		○
8	素描	小林古径	髻	不明		○
9	日本画	柴田 長俊	涅槃西風	1983		○
10	素描	土田麦僊	舞妓素描	1919		○
11	素描	土田麦僊	熊野風景1(写生)	C1905		○
12	日本画	三輪晃勢	朱いトキ	1977		○
13	日本画	三輪晃久	啼	1986		○
14	日本画	村山径	浅春	1983		○
15	日本画	村山径	十三湖秋霖	1972		○
16	日本画	村山径	朝の火山	1978		○
17	日本画	山崎隆夫	雨	1993		○
18	日本画	横山操	親不知夜雨	1970		○
19	日本画	横山操	暉	不明		○
20	日本画	横山操	春近し	1969		○
21	日本画	青木大乗	聖境の朝	不明		○
22	日本画	富川大塊	林間秋興	不明		○
23	日本画	中村岳陵	嵐山朝陽・東山夕照	1926		○
24	日本画	横山大観	朝暉	1954		○
25	洋画	糸園和三郎	鳩	1958		○
26	洋画	岩下尊弘	浄水場	2001		○
27	洋画	小野末	一峯	1970	○	○
28	洋画	小野末	闘牛場(潮騒B)	1977		○
29	洋画	國領経郎	千原氏像	1948		○
30	洋画	阪本文男	バラの座	1981		○
31	洋画	笹岡一	外川港の夕釣	1964		○
32	洋画	須田国太郎	三輪附近	1934	○	○
33	洋画	竹谷富士雄	村の市	1976	○	○
34	洋画	田嶋広助	箱根の富士	不明	○	○
35	洋画	富岡惣一郎	富士雪景	不明	○	○
36	洋画	中村彝	洲崎義郎氏の肖像	1919		○
37	洋画	牧野虎雄	サンルーム	1929		○
38	洋画	三芳悌吉	雪景の中の静物(戦場ヶ原)	1971	○	○
39	洋画	森芳雄	バレリーナ	1972		○
40	洋画	安井曾太郎	読書	1942	○	○
41	洋画	萬鉄五郎	雪の景(土沢)	1915	○	○
42	洋画	J. デュプレ	羊飼	1883	○	○
43	洋画	J. アンソール	シノワズリー	C1920-25		○
44	洋画	金昌烈	水滴	1974		○
45	工芸	伊藤豊	鍍銅花器・沓	1971		○
46	工芸	伊藤豊	陶板画・雪山松籟	1969		○
47	工芸	佐々木象堂	鍍銀馬置物	1933	○	○
48	工芸	二代 宮田監堂	銅型鍍銅ひねり一瞬置物	1976	○	○
49	工芸	原直樹	鍍銅花壺・銘花苑	1954		○
50	工芸	原正樹	曲面の斜角柱	1970		○
51	工芸	原正樹	プラスのトルソー	1988		○
52	工芸	原益夫	式分の沓	1987		○
53	工芸	原益夫	エンドレス	1997		○
54	彫刻	A. ロダン	疲れ	C1887	○	○

イベント

コンサート・講演会等

種 別	開 催 日	時 間	関連展覧会名	演 題 等	講 師 等	内 容	対象・定員他	会 場	参加者数
コンサート等	7月21日(月)	午後2時～	マティスとルオー	林家正楽、マティスに挑む！ with SATO'S BAND	林家正楽氏 SATO'S BAND	伝統芸能「紙切り」の実演とジャズ演奏と、二者のコラボレーションを楽しむ	一般 聴講無料	当館講堂	192名
	8月3日(日)	午後2時～		シャコンヌ～佐藤博志ヴァイオリン・コンサート	佐藤博志氏	マティス自身親しんだヴァイオリンの演奏を楽しむ音楽と美術のつながりを体感する			117名
講演会	9月13日(土)	午後2時～	国宝との出会い	京博の名宝と京文化	京都国立博物館上席学芸員 西上美氏	企画展の出品作品についての見どころや詳しい解説、京都とのかかわりを紹介			139名
	9月20日(土)	午後2時～		妙高市関山神社の菩薩像と飛鳥仏	当館名誉館長 水野敬三郎	百済からの請来仏と思われる菩薩像からわかる飛鳥仏の制作のあり方を紹介			113名
	10月4日(土)	午後2時～		『源氏物語』の流域－漂う女君の系譜－	新潟大学 石坂妙子氏	紫式部や和泉式部や浮舟を取り上げ源氏物語前後の文学とのかかわりを紹介			121名
	10月11日(土)	午後2時～		威奈大村骨蔵器銘文の語るもの	帝京大学・新潟大学 小林昌二氏	飛鳥時代の越後国主の火葬骨を納めた国宝に記された銘文を読み解く			67名
	11月22日(土)	午後2時～	西洋の美 東洋の美	ふたつの美術館の物語	富山県水墨美術館副館長 柳原正樹氏	富山を代表する二つの美術館の成り立ちや作品、収集のエピソード等を紹介			30名
実演	2月8日(日)	午後2時～	国立能楽堂コレクション展	能の実演	長岡金春会長岡観世流観水会	能楽の謡・仕舞・囃子の実際にふれ体験する	一般 事前申込聴講無料		約260名

計1039名

講 座

種 別	回	開 催 日	時 間	関連展覧会名	演 題 等	講 師 等	内 容	対象・定員他	会 場	参加者数
美術鑑賞講座	第1回	4月26日(土)	午後2時～3時30分	魅せます！コレクション	話します！コレクションの成り立ちⅠ 西洋美術編	桐原浩 (当館学芸課長代理)	企画展に即し西洋美術の所蔵品を中心に収集方針とコレクションの成り立ちと作品の背景について紹介	一般 聴講無料	当館講堂	31名
	第2回	5月3日(土)			話します！コレクションの成り立ちⅡ 日本美術編	横山秀樹 (当館副館長)	日本美術の所蔵品について収集のいきさつ、エピソード等を紹介			25名
	第3回	6月7日(土)		新収蔵品展	佐渡の人間国宝 三浦小平二～人と作品～	宮下東子 (当館主任学芸員)	小平二の当館所蔵作品を中心に履歴・作品を紹介、竹子夫人による旅の思い出の話も披露			43名
	第4回	7月12日(土)		マティスとルオー	マティスとルオー：巨匠を支えた陰の立て役者たち	平石昌子 (当館主任学芸員)	両者の作品ははじめ画商・コレクター・美術評論家等とマティスとのかかわりを紹介			65名
	第5回	7月26日(土)			ジョルジュ・ルオーの魅力：線と色彩	濱田真由美 (当館主任学芸員)	ルオーの作風の変遷、特徴的な輪郭線や色調を生み出した技法について紹介			55名
	第6回	9月6日(土)			長岡出身の洋画家 小山正太郎	長谷川重雄 (当館学芸課長)	不同舎での後進の育成、岡倉天心との論争、美術教育とのかかわりについて紹介			24名
	第7回	10月11日(土)			砂浜を描いた洋画家 國領経郎と柏崎	池上秀敏 (当館学芸課長代理)	当館所蔵作品の作風の異なりと砂丘を描くようになったいきさつと作品等を紹介			13名
	第8回	11月15日(土)		彩発見！新潟の日本画	日本画家 岩田正巳と新興大和絵の画家たち	長嶋圭哉 (当館美術学芸員)	戦前の作者の大和絵や新興大和絵の画家たちとのかかわりや作品、その後等を紹介			34名
	第9回	3月21日(土)	午後2時～3時40分	東海道五十三次とジャポニスム	ジャポニスムと浮世絵版画	立川厚生 (当館主任学芸員)	近代西洋絵画に影響を与えた浮世絵版画とジャポニスムの作家や作品を紹介			28名

計318名

ワークショップ

種 別	開催日	時 間	関連展覧会名	演 題 等	担当者or講師名	内 容	対象・定員他	会 場	参加者数
発見！びじゅつかん	5月4日(日)	午後2時～3時30分		あなたの知らない美術館	立川厚生 (当館主任学芸員)	美術館バックヤード等を見学し、作品展示を体験し、常設展を鑑賞する	一般・親子自由参加	当館内、周 辺	18名
発見！びじゅつかん	5月18日(日)	午後2時～3時30分	魅せます!コレクション	クイズで読み解くコレクション	宮下東子(当館主任学芸員)	企画展で作品を探しながらクイズに答え、作品について楽しく学ぶ	一般・親子自由参加	当館企画展示室	10名
	5月25日(日)	午後2時～3時30分		トークショー「開館15周年私にとっての美術館」	安達昭 友の会前会長ほか話題提供者8名長谷川重雄(当館学芸課長)	過去の美術館や企画展や気に入った作品等について参加者も交え語り合う	一般・自由参加	当館講堂	15名
びじゅつ☆体験隊	7月6日(日)	午後2時～3時30分		野外彫刻であそぼう	立川厚生(当館主任学芸員)	野外彫刻を鑑賞し野外彫刻を使ってあそび、身近な材料から発想した作品をつくる	子ども・親子自由参加	野外彫刻展示場ほか	5名
	7月13日(日)	午後2時～3時30分	マチスとルオー	ルオーのピエロを探せ	宮下東子(当館主任学芸員) 平石昌子(当館主任学芸員)	企画展で作品を探しながらクイズに答え、作品について楽しく学ぶ	一般・親子自由参加	当館企画展示室 同ホール	9名
	7月20日(日)	午後2時～3時30分		マチスの切り絵に迫る	宮下東子(当館主任学芸員) 濱田真由美(当館主任学芸員)	マチスの《ジャズ》の形の切り絵をつくり追体験するとともに鑑賞する		当館企画展示ホール	34名
	7月27日(日)	午後2時～3時30分		ロダンのポーズに迫る	立川厚生(当館主任学芸員)	展示中のロダン作品のポーズをまね、作品を鑑賞するとともにロダン体操を行う	子ども・親子自由参加	当館ギャラリー	3名
	8月10日(日)	午後2時～3時30分	こどもの世界	親子でアートⅠ①「夢が生まれる石コウのタマゴ」	長谷川重雄(当館学芸課長)	風船に色つき石膏を流し込み「夢が生まれる石コウのタマゴ」をつくる		当館講座室	82名
	8月10日(日)	午後2時～3時30分		親子でアートⅠ②「ならべてつくる」	池上秀敏(当館学芸課長代理)	スチロール容器や色つきの紙チップをならべて発想した形を貼り合わせてつくる		当館ギャラリー	47名
	8月17日(日)	午後2時～3時30分		親子でアートⅡ「ならべてつくる」	池上秀敏(当館学芸課長代理)	スチロール容器や色つきの紙チップをならべて発想した形を貼り合わせてつくる		当館ギャラリー	35名
	9月14日(日)	午後2時～3時30分		ギャラリートーク こどもの世界	池上秀敏(当館学芸課長代理)	常設展のこどもにかかわる作品を見て思いや感想を発表したり話し合う	親子・一般自由参加	当館常設展示室	8名
	9月28日(日)	午後2時～3時30分	国宝との出会い	国宝の秘密に迫る	長谷川重雄(当館学芸課長)	出品作品の雪舟「天橋立図」のコピーをつなぎ合わせ秘密を探り、作品鑑賞を行う	一般事前申込	当館講座室	6名
	10月26日(日)	午後2時～3時30分	西洋の美 東洋の美	水墨画に挑戦	山本真也氏(新潟大学) 長谷川重雄(当館学芸課長)	墨の扱いや和紙への描き方を学び、描き方の練習の後、色紙に小品を仕上げる		当館講座室	15名
	11月23日(日)	午後2時～3時30分	彩発見!新潟の風景	日本画の印章、てん刻に挑戦	高橋和作氏(毎日展覧会・創玄展審査員)宮下東子(当館主任学芸員)	篆刻についての講義の後、各自が決めた思いの文字を石に彫る		当館講座室	13名
	12月14日(日)	午後2時～3時30分		みんなで飾る美術館	立川厚生(当館主任学芸員)	色チップ・セロファンや色紙を使いモバイルやスタンドグラス風の飾りをつくる	子ども・親子自由参加	当館ホール	36名
	2月1日(日)	午後2時～3時30分	国立能楽堂コレクション展	能のうごきに挑戦	舩岡武雄氏(新潟県能楽連盟理事) 宮下東子(当館主任学芸員)	能のうごきや足の運びの講義の後、摺り足やかまえ等、能の動きを体験する	一般事前申込	当館ギャラリー	29名
	3月8日(日)	午後2時～3時30分	東海道五十三次とジャポニスム	浮世絵版画の色摺に挑戦	立川厚生(当館主任学芸員)	浮世絵の対象作品を鑑賞し、模刻の木版を使った数版の色摺を体験する	親子・一般事前申込	当館講座室	23名
特別	11月3日(月)	午後2時～3時30分	西洋の美 東洋の美	アートキットで遊ぶ	中川美彩緒(富山県立近代美術館副館長)平石昌子(当館主任学芸員)	展示作品にかかわる「指令」を解きながら企画展を巡り作品を観察、対話する	親子・一般事前申込	当館企画展示室	14名

計402名

映画鑑賞会

回	開催日	時間	関連展覧会名	タイトル	内容	対象・定員他	特記事項	参加者数
第1回	5月10日(出)	午前10時～ 午後2時～		お茶漬の味	松竹 1952年 116分 モノラル 16mmフィルム	一般 鑑賞無料		午前40名 午後50名 計90名
第2回	1月10日(出)	午前10時～ 午後2時～		チャップリン初期傑作作品「成功争ひ」他	「成功争ひ」1914年、「ヴェニスにおける子供自転車競争」「タ立」「もつれタンゴ」「幻燈会」「チャップリンの総理大臣」「つらあて」「衝突」付録「大列車強盗」(全85分)		LD 新潟県立生涯学習推進センター 共催	午前20名 午後23名 計43名
第3回	1月31日(出)	午前10時～ 午後2時～	にいがたの風景	特集・新潟の工芸	「越後のしな布」(34分) 1987年 「五泉平の染色技術」(25分) 1977年 「玉川堂の鎚起銅器」(30分) 1976年		新潟県立生涯学習推進センター 共催	午前20名 午後29名 計49名
第4回	2月7日(出)	午前10時～ 午後2時～	国立能楽堂コレクション展	能と狂言シリーズ①	国立劇場自主企画映画 「能入門・隅田川を見る」(34分) 「能面」(35分)「能装束」(35分)			午前37名 午後92名 計129名
第5回	2月14日(出)	午前10時～ 午後2時～	国立能楽堂コレクション展	能と狂言シリーズ②	国立劇場自主企画映画 「能の囃子」(35分)「能の謡」(33分) 「狂言入門・太郎冠者の日々」(36分)			午前53名 午後76名 計129名
第6回	2月21日(出)	午前10時～ 午後2時～	国立能楽堂コレクション展	能と狂言シリーズ③	ポーラ伝統文化振興財団制作 「世阿弥の能」(49分) 「狂言・野村万蔵一技とこころ」(50分)			午前48名 午後71名 計119名
第7回	3月7日(出)	午前10時～ 午後2時～	東海道五十三次とジャポニスム	浮世絵入門	「日本の絵画のよさ その美しさと表現の多様性」 1997年 20分 16mmフィルム 「浮世絵」 1969年 25分 16mmフィルム 「浮世絵と歌川広重」 1992年 22分 16mmフィルム		新潟県立生涯学習推進センター 共催	午前28名 午後17名 計45名
第8回	3月14日(出)	午前10時～ 午後2時～		映像の世紀「JAPAN世界が見た明治・大正・昭和」	映像の世紀「JAPAN世界が見た明治・大正・昭和」2000年 75分 DVD			午前24名 午後13名 計37名

計641名

体験コーナー

実施期間	関連展覧会名	コーナー名	内容	設置場所	点数等
4月12日(出)～ 7月6日(日)	魅せます！コレクション	パズルでアート	出品された所蔵作品のモノの「コロンブの平原、霜」のパズルを楽しむ	企画展示室入口ロビー机上	2セット
		マイ・アートコレクション	全国の美術館からのチラシの中から、テーマや内容を決めて美術作品の写真を小冊子に貼り付けて、自分だけのアート・コレクションをつくる	企画展示室ホール机上	1セット
		「魅せます！コレクション」ベスト1投票	展示された作品の中から、お気に入りの1点を投票し、随時投票結果をベスト10まで発表するとともに、寄せられた作品の感想や「私にとっての美術館」についてのコメントを合わせて掲示する	企画展示室ホール壁面	1276票
4月12日(出)～ 6月15日(日)	新収蔵品展	パズルでアート	出品された所蔵作品の横山操の「春近し」のパズルを楽しむ	常設展示室入口机上	2セット
		マイ・スケッチ	展示された作品から得たイメージや春の景色・風物をはがきサイズで表し特設パネルに展示する	常設展回廊北側机上	1セット
		メールアート募集	春の季節のイメージや今の思いや願いをはがきサイズにかきとめて郵送で応募し、届いた作品を特設パネルに展示する	常設展示室入口特設パネル	スケッチと合わせ78点
7月10日(木)～ 10月19日(日)	こどもの世界	パズルでアート	これまでの展覧会の作品や所蔵作品の中からつくったパズルを楽しむ	常設展示室特設棚・机上	20セット
		ご石でアート	正方形の木の板の上に、白黒のご石を思いのままにならべ新たな形を楽しむ	常設展回廊北側机上	2セット
		かたちといろのくみあわせ	円や正方形や長方形の色チップを色画用紙の上にならべ構成を楽しむ	常設展示室特設棚・机上	1セット
		つんで つくる	発泡スチロール容器や組み木細工の木片を机や床の上につんだりならべたりして新たな形を楽しむ	常設展示室特設棚・机上	1セット
		いろいろつくる	展示作品から受けたイメージをもとに、スケッチやフロッタージュやコラージュをして楽しむ	常設展示室特設棚・机上	応募267点

実施期間	関連展覧会名	コーナー名	内容	設置場所	点数等
10月25日(土)～ 1月15日(木)	彩発見!新潟の 日本画	パズルでアート	出品された所蔵作品の岩田正巳の「春日垂迹」のパズルを楽しむ	常設展示室入口机上	2セット
		マイ・スケッチ	秋から冬への季節や風物をとらえ、はがきサイズの用紙にかいて、特設パネルに展示する	常設展回廊北側机上	1セット
		ならべて、つんで	色、形のちがう組み木細工の木片を思いのままにならべたり、つんだりして新たな形を楽しむ	常設展回廊北側机上	2セット
		メールアート募集	展示された作品から受けたイメージや、秋から冬への季節や風物をとらえ、はがきサイズの用紙にかいて、郵送し特設パネルに展示する	常設展示室入口特設パネル	スケッチと合わせ48点
1月24日(土)～ 4月19日(日)	にいがたの風景	パズルでアート	出品された所蔵作品の三浦文治の「佐渡のイカ干し」のパズルを楽しむ	常設展示室入口机上	2セット
		マイ・スケッチ	冬から春への季節や風物をとらえ、はがきサイズの用紙にかいて、特設パネルに展示する	常設展回廊北側机上	1セット
		ならべて、つんで	色、形のちがう組み木細工の木片を思いのままにならべたり、つんだりして新たな形を楽しむ	常設展回廊北側机上	2セット
		メールアート募集	新潟の風景や、冬から春への季節や風物をとらえ、はがきサイズの用紙にかいて、郵送し特設パネルに展示する	常設展示室入口特設パネル	スケッチと合わせ32点
3月7日(土)～ 4月5日(日)	東海道五十三次 とジャポニスム	パズルでアート	出品された所蔵作品の歌川広重の《東海道五十三次之内 日本橋・朝之景》のパズルを楽しむ	企画展示室入口机上	2セット
		学習コーナー	出品作品のカラーコピーと解説文をファイリングし、調べ学習等に活用してもらう	企画展示室入口机上	ファイル3冊
		東海道五十三次すごろく	サイコロとコマを用意し、五十三次を網羅したA3大図版すごろくを楽しむ	企画展示室入口机上	1セット
		東海道五十三次投票	五十三次のお気に入りの図版を選び投票し、赤シールを貼るとともに選んだ理由をノートに書き記すとともに、拡大吹き出しにして掲示する。ワークショップの模刻版3版色摺り体験の作品（《神奈川冲浪裏》葛飾北斎作）も同時掲示。	企画展示室入口机上	1セット

その他のイベント

種別	開催日	時間	関連展覧会	タイトル等	内 容	対象・ 定員他	会場	参加者数
展示	8月9日(土)～ 13日(水)	午前9時～ 午後5時	こどもの世界	こどもアート ミュージアム	常設展に関連して、子どもを中心とした「みる楽しみ、ふれる楽しみ」をテーマに「見方・考え方」を広げた児童・生徒の表現作品の展示やワークショップを行う	一般・ 子ども・ 親子	当館ギャ ラリー	17企画 208名 来場

刊行物

刊行物

刊行物名	概要	仕様	発行部数	発行日	内容
平成20年度展覧会案内リーフレット	平成20年度の企画展と常設展の日程及び内容、年間のイベント予定などをまとめたもの。	A3変形版 観音四ツ折り 4色×4色	40,000部		
新潟県立近代美術館だより「雪椿通信」15周年記念号	開館15周年を記念して、刊行したもので、開館以来の美術館の歩みと今後の方向性を示した。	A4版16頁	3,000部	2008年 7月15日	・データによる15年のあゆみ これまでの近代美術館 ・コレクションの歴史を振り返る ・企画展のあゆみ ・多彩な美術館事業・近代美術館の今 外部評価とさまざまな取組 ・館長ごあいさつ 県民に親しんでもらえる美術館づくり ・これからの近代美術館 明るく楽しい美術館に向けて ・平成20年度の企画展 ・平成20年度の常設展 ・MUSEUM INFORMATION
「国宝との出会い」図録	企画展覧会カタログ	298×225mm 160頁		2008年 9月13日	・ごあいさつ ・京博の紹介と展覧会の趣旨／西上実 ・威奈大村の墓誌銘を読む／宮川禎一 ・京都国立博物館の仏画—国宝 十二天像・山水屏風を中心に—／大原嘉豊 ・下絵で国宝—雪舟筆「天橋立図」／山本英男 ・若冲の年齢加算ルール／山下善也 ・桃山武将の伊達なる装い—天正18年と下賜された辻が花／山内麻衣子 ・図版 - I 新潟ゆかりの国宝と日本の考古遺物 - II 空海と東寺 - III 公家の信仰と文芸 - IV 雪舟・雪村 - V 中国宋元の美 - VI 近世京洛の美 - VII 若冲 - VIII 武家の栄華 ・作品解説 ・出品目録 ・京都国立博物館施設案内

鑑賞資料

資料名	概要	仕様	内容
マティスとルオー キッズガイド	企画展「マティスとルオー」の内容とポイントを、二人の往復書簡の形式でわかりやすく記したセルフガイド	A5版カード6 枚+表紙	上質紙にリソグ ラフにて印刷
西洋の美 東洋の美	企画展「西洋の美 東洋の美」の各章ごとに主要作品についてわかりやすく解説したセルフガイド	A3版二折り(A 4版4ページ) 4色×4色	20,000部
歌川広重《東海道五十三次》の地図 ／エッフェル塔36 景地図（パリ市）	企画展「東海道五十三次とジャポニスム」の出品作品が描かれている場所の地図	A3版裏表	上質紙にリソグ ラフにて印刷

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるように、学芸員による作品解説会を行った。

常設展は毎週土曜日の午前11時から、企画展は毎週日曜日の午後2時から、それぞれの会場で行った。他事業と重なった場合も、会場が重ならない等支障がない限り行った。参加者のない解説会については、記録から除いた。

「マティスとルオー」「国宝との出会い」では、音声ガイドも導入したが、作品解説会も行った。

企画展

展覧会名

魅せます！コレクション

期日（曜）	人数
4月13日(日)	6
4月20日(日)	10
4月27日(日)	5
5月 4日(日)	12
5月11日(日)	10
6月 1日(日)	7
6月 8日(日)	12
6月15日(日)	15
小 計	77

マティスとルオー

7月 6日(日)	20
7月20日(日)	20
7月27日(日)	15
8月10日(日)	16
8月17日(日)	28
8月24日(日)	40
8月31日(日)	40
小 計	179

国宝との出会い

9月14日(日)	30
9月21日(日)	60
9月28日(日)	40
10月 5日(日)	30
10月12日(日)	50
10月19日(日)	40
小 計	250

西洋の美 東洋の美

10月26日(日)	8
11月 2日(日)	16
11月 9日(日)	20
11月16日(日)	20
11月23日(日)	20
12月 7日(日)	15
12月14日(日)	30
小 計	129

国立能楽堂コレクション展

1月25日(日)	20
2月 8日(日)	18
2月15日(日)	50

2月22日(日)	40
3月 1日(日)	35
小 計	163

企画展合計 798

常設展

画家たちの青春

4月 5日(土)	5
小 計	5

新収蔵品展

4月12日(土)	5
4月19日(土)	1
4月26日(土)	3
5月 3日(土)	7
5月17日(土)	7
5月24日(土)	1
5月31日(土)	7
6月 7日(土)	5
6月14日(土)	1
6月28日(土)	6
7月5日(土)	1
小 計	44

こどもの世界

7月12日(土)	14
7月19日(土)	2
7月26日(土)	4
8月 2日(土)	7
8月 9日(土)	6
8月16日(土)	7
8月23日(土)	7
8月30日(土)	8
9月13日(土)	10
9月20日(土)	3
9月27日(土)	5
10月11日(土)	9
10月18日(土)	14
小 計	96

彩発見!新潟の日本画

10月25日(土)	10
11月 1日(土)	3
11月 8日(土)	8
11月15日(土)	5
11月22日(土)	6
11月29日(土)	15
12月 6日(土)	1
12月13日(土)	13
12月20日(土)	2
1月10日(土)	3
小 計	66

にいがたの風景

1月24日(土)	6
1月31日(土)	7
2月 7日(土)	2
2月14日(土)	7

2月21日(土)	1
2月28日(土)	12
3月14日(土)	2
3月21日(土)	4
3月28日(土)	2
4月 4日(土)	2
4月18日(土)	1
小 計	46

収蔵品展

東海道五十三次とジャポニスム

3月 8日(日)	3
3月15日(日)	20
3月22日(日)	30
3月29日(日)	10
4月 5日(日)	13
小 計	76

常設展・収蔵品展合計

333

団体解説一覧

魅せます!コレクション

期日(曜)	団体名	人数
5月20日(火)	野菊の会	20名

常設Ⅰ 新収蔵品展

6月19日(木)	長岡市国際交流協会(フォートワース市中学生・高校生、教師グループ)	27名
----------	-----------------------------------	-----

マティスとルオー

7月13日(日)	新潟大学 スタディスキルス	25名
7月17日(木)	大島コミュニティーセンター	30名
7月17日(木)	三条市市民部 生涯学習課	32名
7月19日(土)	新潟フランス協会	37名
7月23日(火)	三条市市民部 生涯学習課	32名
7月24日(水)	三条市市民部 生涯学習課	32名
8月21日(木)	南魚沼市女性学級	31名

常設Ⅱ こどもの世界

8月 5日(火)	西山町公民館	38名
8月 7日(木)	国立病院機構 さいがた病院	28名

国宝との出会い

9月25日(木)	榎の会(長岡保健所)	20名
10月 1日(水)	新潟教弘	50名
10月 2日(木)	新潟教弘	50名
10月17日(金)	三条市大島公民館	27名

西洋の美 東洋の美

11月 9日(日)	笠岡市竹喬美術館友の会	30名
11月11日(火)	長岡市教育センター	49名
11月13日(木)	宇都宮美術館友の会	45名
12月 7日(日)	阿賀町公民館	20名
12月11日(木)	長岡市三島郡美術教育研究会	20名

常設Ⅲ 彩発見!新潟の日本画

11月11日(火)	長岡市教育センター	49名
-----------	-----------	-----

学校教育との連携

●展覧会の鑑賞

・展覧会の解説

開館15周年 魅せます!コレクション

期日	学校名	人数
5月 2日	清心女子中	29
5月 7日	大鷲小	32
5月14日	小千谷小	70
5月15日	小千谷小	70
5月16日	小千谷小	35
5月16日	新潟青陵短大	50
5月22日	小出中	124
6月 5日	日吉小	26
6月11日	長岡東中	72

マティスとルオー

期日	学校名	人数
7月10日	和泉小	23
7月11日	小千谷片貝小	48
7月25日	十日町南中	20
7月29日	朝日中	12
7月30日	関原中	18
8月 1日	湯沢中	14
8月 6日	大潟町中	21
8月11日	長岡工業高	21
8月15日	新潟中央高	9
8月18日	京ヶ瀬中	14
8月19日	十日町高	10
8月28日	堀之内中	8

こどもの世界

期日	学校名	人数
9月 9日	東小千谷・東山小	85
9月11日	長岡フレンドリールーム	9

国宝との出会い

期日	学校名	人数
9月17日	岩沢・吉谷小	27
9月19日	山谷・千田小	32
9月26日	太田小	12
9月29日	真人・川井・塩殿小	26
9月30日	新潟赤塚小	25
9月30日	山谷沢小	20
10月9日	燕中	38

西洋の美 東洋の美

期日	学校名	人数
10月28日	新町小	100
10月31日	柏崎養護学校	1
11月 7日	黒田小	35
11月 7日	西川竹園高	89
11月 7日	日越小	165
11月11日	出雲崎高	53
11月11日	上通小	34
11月16日	秋葉中	17
11月18日	上林小	24

11月26日	上郷小	14
12月 2日	燕東小	50
12月10日	中島小	46

能楽堂コレクション

期日	学校名	人数
2月 4日	裏館小	41
2月17日	笠木小	14

・作品鑑賞のみ

開館15周年 魅せます！コレクション

期日	学校名	人数
5月23日	川西高	95
6月10日	附属長岡中	20
6月10日	長岡江陽中	32

マティスとルオー

期日	学校名	人数
7月27日	新発田東中	11
7月29日	湯之谷中	18
7月30日	燕西小	18
7月31日	上越城東中	26
8月 5日	巻西中	24
8月 8日	十日町東小	10
8月16日	小千谷中	21
8月21日	広神中	16

国宝との出会い

期日	学校名	人数
10月 1日	井栗小	73
10月 8日	長岡附属中	11
10月11日	長岡東中	11
10月16日	川治小	1

西洋の美 東洋の美

期日	学校名	人数
11月 6日	長岡工業高	37
11月15日	新潟中央高	7

彩発見！新潟の日本画

期日	学校名	人数
1月14日	須原小	19
1月14日	栄北小	18

●職場体験の受入

期日	学校名	人数
5月7日	東石山中	4
8月19～21日	長岡東中	3
9月30～2日	見附中	1

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の児童・生徒及びその引率者、心身障害者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

月	期 間	日数	開催企画展名称	企 画 展							常 設 展								月計	
				中、小 無料	障害者	介助	学 校 等				合計	中、小 無料	障害者	介助	学 校 等					合計
							校数	中小	高	引率					校数	中小	高	引率		
4	1～8	7									10	9	1		0	0	0	20	135	
	12～30	17	魅せます!コレクション	42	62	11					115	0	0	0		0	0	0	0	
5	1～31	28	魅せます!コレクション	117	127	51	6	364	95	25	779	0	1	0		0	0	0	1	780
6	1～15	14	魅せます!コレクション	30	57	20	4	148	0	10	265	0	1	0		0	0	0	1	319
	17～29	13									0	3	17	3		18	14	8	63	
7	1～4	4									0	0	1	0		0	0	0	1	958
	5～31	27	マティスとルオー	490	170	63	9	179	0	30	932	25	0	0		0	0	0	25	
8	1～31	31	マティスとルオー	1,657	204	81	11	140	23	18	2,123	82	19	2		0	0	0	103	2,226
9	2～12	10									0	8	7	0	3	94	0	11	120	963
	13～30	18	国宝との出会い	276	290	119	10	139	0	14	838	5	0	0		0	0	0	5	
10	1～19	19	国宝との出会い	455	367	146	5	158	0	13	1,139	20	1	1		0	0	0	22	1,327
	25～31	6	西洋の美 東洋の美	18	31	12	2	100	0	5	166	0	0	0		0	0	0	0	
11	1～30	28	西洋の美 東洋の美	200	209	86	10	289	175	38	997	2	0	0		0	0	0	2	999
12	1～14	14	西洋の美 東洋の美	79	76	22	2	96	0	4	277	0	0	0		0	0	0	0	301
	16～27	11									0	13	9	2		0	0	0	24	
1	4～15	11									0	10	18	7	2	60	0	9	104	155
	24～31	8	国立能楽堂コレクション展	8	29	11		0	0	0	48	0	2	1		0	0	0	3	
2	1～28	27	国立能楽堂コレクション展	73	177	67	2	54	0	5	376	12	6	3		0	0	0	21	397
3	1	1	国立能楽堂コレクション展	10	12	7		0	0	0	29	0	0	0		0	0	0	0	189
	3～6	4									0	0	2	1		0	0	0	3	
	7～31	21	東海道五十三次とジャポニスム	0	0	0		0	0	0	0	76	65	16		0	0	0	157	
合 計		319		3,455	1,811	696	61	1,667	293	162	8,084	266	158	37	5	172	14	28	675	8,749

夏休み期間 観覧料免除者数

月	期 間	日数	開催企画展名称	高校生	中学生	小学生	合 計	月計
7	19～31	13	マティスとルオー	63	0	0	63	63
8	1～31	31	マティスとルオー	377	0	0	377	377

アートボランティア

1 アートボランティア設立の目的

来館者（お客様）に対する生涯学習機会の増大とサービスの向上を図るため、アートボランティアを募集し、活動を推進する。

2 アートボランティア登録人数

年度当初20名が応募、登録
途中辞退2名
年度末辞退3名

3 主な活動内容

- (1) 当館で行った展覧会やワークショップ等の各地域でのポスター掲示やチラシ配布を行った。
- (2) 年間スケジュールに基づいて、ワークショップや講演会・美術鑑賞講座・映画鑑賞会等の補助をした。
- (3) 当館所蔵作品や未整理作品の収集カードの記入・整理を行った。
- (4) 「ボランティアの一押し作品」の紹介を行った。
- (5) 「学芸員とのあれこれトーク」を実施し、展覧会等についてのワンポイント解説会を学芸員とともに実施した。
- (6) キャプション・展示ケース等の清掃・整備を行った。
- (7) 当館ホームページでの「ボランティア」欄の登録・更新作業を行った。

4 活動方法

アートボランティアの都合のつく日、都合のつく時間に活動を行った。

5 成果

- アートボランティアの皆さんが意欲的に活動に取り組み、自分たちの活動に充実感・満足感を感じていた。
- これまで学芸課職員だけで行っていたポスターの掲示・チラシの配布が、より幅広い地域まで可能となった。
- ポスター・チラシの振り分け作業やキャプションの整理にもお手伝いいただいたことで、学芸課職員がそれ以外の業務に振り向けられる時間を確保できるようになった。
- ビデオテープの背表紙作成等、学芸課職員がこれまで手つかずだった作業も実施
- 収集カードの記入、特に「相澤コレクション」の記入が大いに進み、所蔵作品の整理が進んだ。

6 次年度の課題

- アートボランティア同士の横の繋がりがあまりなく、ボランティア同士の情報交換が積極的に実施できなかった。
- 学芸課職員の下請的な作業が多かった。次年度は、アートボランティアの主体的な活動が促進されるよう、体制を整えていく必要がある。
- 収集カードの記入を除き、継続的な活動ができなかった。継続してでき、かつ当館の事業に十分活用できる活動を計画的に推進していく必要がある。
- 作品解説会へのアートボランティアの参加等、20年度に実施できなかった活動にも積極的に取り組んでいく。その際は、学芸課職員の協力体制を整備する必要がある。



博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生のための博物館実習を実施し、11名の実習生を受け入れた。基本的な講義の他、各分野での作品の取り扱いについての実習を行った。さらに当館の所蔵品の中から約10点の作品を実際に展示する実習や、常設展示室に展示されている作品について一般向けと小学生向けの解説を試みるなど、実践的な学芸員の活動を体験させるよう試みた。

担当：長嶋圭哉、桐原浩

実習期間 7月28日(月)～8月8日(金)
ただし、土・日曜日は除く

実習生の所属大学および受入人数		
新潟大学	3名	
長岡造形大学	3名	
群馬県立女子大学	1名	
専修大学	1名	
江戸川大学	1名	
横浜美術短期大学	1名	
東京造形大学	1名	合計11名

実習カリキュラム

月日	時限	内 容
7月28日(月)	1	開講式・オリエンテーション
	2	館内見学
	3	講 義：学芸課の業務／展覧会の企画から礼状まで
	4	展覧会鑑賞（企画展／常設展）
7月29日(火)	1	講 義：博物館運営に関わる法律・現在の博物館を取り巻く状況
	2	講 義：作品の修復
	3	講 義：総務課の業務／施設管理・安全対策
	4	講 義：美術館の教育・普及
7月30日(水)	1	実 習：作品の取り扱い・展示（軸・屏風）
	2	
	3	講 義：美術館の広報
	4	講 義：美術館のサービスと来館者の視点
7月31日(木)	1	実 習：作品の取り扱い・展示（彫刻）
	2	講 義：美術館の地域連携（ボランティアと友の会）
	3	実 習：作品の取り扱い・展示・点検（平面作品）
	4	
8月1日(金)	1	実 習：作品の取り扱い（工芸）
	2	講 義：作品の収集・分類・保管
	3	他館見学：県立歴史博物館
	4	
8月4日(月)	1	実 習：二次資料・ポジフィルムの保管
	2	実 習：作品の調査・撮影
	3	実 習：収蔵庫の整理
	4	
8月5日(火)	1	実 習：図書の整理
	2	
	3	実 習：展覧会計画（リスト、図面、開催要項、パネル作成）
	4	

月日	時限	内 容
8月6日(水)	1	作品搬入
	2	展示
	3	
	4	展示講評・撤収
8月7日(木)	1	実 習：作品解説会準備
	2	
	3	講 義：学校教育と美術館教育
	4	実 習：ギャラリートーク（小学生向け）
8月8日(金)	1	実 習：収蔵庫整理、作品撮影、広報作業
	2	
	3	実 習：作品解説会（一般向け）
	4	実習のまとめ・反省会・閉講式

8時50分出勤
① 9：00～10：20（80分）
② 10：40～12：00（80分）
③ 13：10～14：30（80分）
④ 14：50～16：10（80分）
実習場所：会議室を拠点とする

イベント

講演会等

開催日	時 間	関連展覧会名	演 題 等	講 師 等	内 容	対象・定員他	会場	参加者数
7月5日(土)	午後2時～	写真・昭和の肖像 1945～1989-レンズが視た戦後の日本	「昭和」を視る-戦後写真の軌跡	金子隆一 (東京都写真美術館専門調査員)	展覧会の内容に合わせ、昭和の写真史を語る	一般 聴講無料	NICOプラザ(11F)	25名
9月28日(日)	午後2時～	ポーラ美術館コレクション展 モネ、ルノワールからマティス、ピカソまで	フランス近代美術の遊び-ポーラ美術館コレクション展から	荒屋謙透 (ポーラ美術館学芸部長)	フランス近代美術のコレクションについて解説する			70名
10月11日(土)	午後2時～	佐藤哲三の時代	父・佐藤哲三を語る	語り手：佐藤現 (佐藤哲三長男)、早房響子 (佐藤哲三長女) 聞き手：小見業務課長	父親としての哲三や、家庭でのエピソードなどを語る			86名
3月20日(金・祝)	午後1時～	金GOLD 黄金の国ジバングと佐渡金銀山展	シンポジウム「佐渡金銀山遺跡を世界遺産に」	基調講演 小風秀雅 (お茶の水女子大学大学院教授) パネルディスカッション コーディネーター上杉建夫 (新潟日報社佐渡支局長) パネリスト小風秀雅 (お茶の水女子大学大学院教授) 星野知子 (女優・エッセイスト) 永松武彦 (ゴールデン佐渡取締役社長) 高野宏一郎 (佐渡市長)	佐渡金銀山の世界遺産登録推進について、基調講演およびパネルディスカッションを行う		マリンメッセ	300名
2009年4月11日(土)	午後2時～		佐渡金銀山の開発と支配-上杉・豊臣・徳川氏と「佐渡」	長谷川伸 (新潟県歴史博物館学芸員)	佐渡金銀山の開発について、歴史的な見地から解説する		朱鷺メッセ中会議室301	93名

計574名

講座

開催日	時 間	関連展覧会名	演 題 等	講 師 等	内 容	対象・定員他	会場	参加者数
5月10日(土)	午後2時～	相澤コレクション そばにおきたい絵	世界遺産をめぐる旅④中世ローマ美術散歩	高晟峻 (当館主任学芸員)	ローマの歴史を追いながら建築物を紹介、解説する	一般 聴講無料	NICOプラザ(11F)	17名
6月21日(土)	午後2時～	写真・昭和の肖像1945～1989-レンズが視た戦後の日本	昭和戦後の写真	澤田佳三 (当館主任学芸員)	展覧会に合わせ、戦後写真史について解説する			19名
7月19日(土)	午後2時～		日本画家の生涯と作品① 小林古径	池田珠緒 (当館主任学芸員)	日本画家を一人取り上げ、生涯と作品を追うシリーズの第1回目			16名
8月23日(土)	午後2時～	ポーラ美術館コレクション展 モネ、ルノワールからマティス、ピカソまで	印象派の誕生と近代美術	藤田裕彦 (当館業務課長代理)	展覧会に合わせ、印象派の成り立ちとその後について解説する			80名
10月18日(土)	午後2時～	佐藤哲三の時代	佐藤哲三の肖像 第1回「新進画家誕生 国画家デビュー」	小見秀男 (当館業務課長)	佐藤哲三の生涯を語る3回シリーズの第1回			30名
11月8日(土)	午後2時～		佐藤哲三の肖像 第2回「内なる風景の発見 郷土の画家へ」	小見秀男 (当館業務課長)	佐藤哲三の生涯を語る3回シリーズの第2回			35名
11月22日(土)	午後2時～		佐藤哲三の肖像 第3回「戦後の足取り 44歳の早すぎる死まで」	小見秀男 (当館業務課長)	佐藤哲三の生涯を語る3回シリーズの第3回			42名
11月29日(土)	午後2時～		美術のすがた③-近代の歴史画と絵画館	澤田佳三 (当館主任学芸員)	美術の様々な側面を紹介するシリーズの3回目			15名
1月17日(土)	午後2時～	現代の美術表現 -素材と技法	現代の日本画「横の会」の作家たちを中心に	池田珠緒 (当館主任学芸員)	展覧会に合わせ、現代日本画家とその作品を紹介する			13名
2月28日(土)	午後2時～	金GOLD 黄金の国ジバングと佐渡金銀山展	現代美術とアメリカ映画-コンセプトアートとアメリカン・ニュー・シネマ	藤田裕彦 (当館業務課長代理)	現代美術とアメリカ映画との関わりを解説する			29名
3月1日(土)	午後2時～		黄金の国ジバング-日本の自然金と金利用の歴史	横山一己 (国立科学博物館地学研究部鉱物科学グループ長)	科学的な立場から金について解説する			30名
3月14日(土)	午後2時～		ビザンティン美術における金	高晟峻 (当館主任学芸員)	ビザンティン美術と金との関わりを解説する			26名
3月28日(土)	午後2時～		描き継がれた佐渡金銀山 絵巻	渡部浩二 (新潟県立歴史博物館主任学芸員)	数多く描かれてきた佐渡金銀山絵巻について解説する			45名

計397名

コンサート

開催日	時 間	関連展覧会名	演 題 等	演 奏 者	内 容	対象・定員他	会場	参加者数
11月2日(日)	午後2時、午後3時	佐藤哲三の時代	ミュージアムコンサート	早房あかね (ヴァイオリン・佐藤哲三孫)	J.S.バッハ：無伴奏バイオリンのためのパルティータ第3番	一般 聴講無料	当館展示室	95名 / 60名

その他のイベント

種 別	開催日	時 間	関連展覧会名	講師等	内 容	対象・定員他	会場	参加者数
ギャラリー・トーク	5月24日(土)	午後2時～	写真・昭和の肖像	藤村里美 (東京都写真美術館学芸員)	展覧会場にて作品、作家について解説する	一般 参加無料	当館展示室	47名
鑑賞研修会	11月19日(水)	午後2時～	佐藤哲三の時代	小見秀男 (当館業務課長)	教員に向けた鑑賞会	教員 参加無料		3名

刊行物

刊行物名	概要	仕様	発行部数	発行日	内容
平成20年度展覧会案内リーフレット	平成20年度の展覧会の日程及び内容、年間のイベント予定などをまとめたもの。	A4版 観音4つ折り 日英2カ国語表記	50,000部	平成20年 3月27日	・展覧会予定 ・美術鑑賞講座案内／観覧料免除／乳幼児・障害者向け施設案内 ・友の会案内／市内美術館紹介 ・駐車場案内／交通案内
新潟県立万代島美術館便り「B-island」	美術館からの情報発信として一般来館者向けに編集したもの。	A4版 4頁	5,000部	平成20年 3月27日	・展覧会予定 ・アンケートの声紹介／イベント報告／ばんびから一言 ・駐車場無料／小中学生観覧無料／所蔵品紹介／近代美術館の企画展
「佐藤哲三の時代」展図録	自主企画展の図録。	A4版変形 本文210頁	1,400部	平成20年 10月11日	・佐藤哲三の時代 モダニズムに向かって／藤田裕彦 ・画家の生きる場所—佐藤哲三の選択／澤田佳三 ・加治村での日々—佐藤哲三と児童画教育／池田珠緒 ・佐藤哲三の版画と『土塊』、そして創作版画／松矢国憲 ・図版 第1部 佐藤哲三の世界 第2部 佐藤哲三の周辺 序章 山本芳翠《裸婦》と新発田 第1章 新発田の画家と美術活動／特集1 同人文芸誌『土塊』所収版画作品／特集2 佐藤哲三の児童美術館 第2章 佐藤哲三をめぐる作家たち—東京 ・資料 佐藤哲三その他の作品、「佐藤哲三の時代」年譜／小見秀男編、作家略歴、「佐藤哲三の時代」主要関連文献／小見秀男編、出品リスト

作品解説会

企画展		9月21日(日)	80	3月15日(日)	12
特記事項がない場合、午後2時から展示室において解説会を行った。		9月23日(火)	70	3月20日(金)	12
写真・昭和の肖像		9月27日(土)	70	3月21日(土)	25
日時	人数	10月 4日(土)	80	3月22日(日)	8
5月25日(日)	7	10月 5日(日)	100	3月28日(土)	12
5月31日(土)	0	※3/9は展示室内に設けたレクチャールームで解説会を行った		3月29日(日)	20
6月 1日(日)	5			所蔵品展	
6月 7日(土)	11	佐藤哲三の時代		午後2時から展示室において解説会を行った。	
6月 8日(日)	12	10月12日(日)	12	相澤コレクション	
6月14日(土)	8	10月13日(月)	20	4月 5日(土)	10
6月15日(日)	15	10月19日(日)	15	4月 6日(日)	15
6月22日(日)	8	10月25日(土)	15	4月12日(土)	7
6月28日(土)	15	10月26日(日)	8	4月13日(日)	9
6月29日(日)	15	11月 1日(土)	6	4月19日(土)	4
7月 6日(日)	10	11月 3日(月)	12	4月20日(日)	7
7月12日(土)	8	11月 9日(日)	10	4月26日(土)	5
7月13日(日)	14	11月15日(土)	20	4月27日(日)	6
7月20日(日)	14	11月16日(日)	10	4月29日(火)	14
7月21日(月)	8	11月23日(日)	30	5月 3日(土)	20
7月26日(土)	10	11月24日(月)	25	5月 4日(日)	10
7月27日(日)	20	11月30日(日)	30	5月 5日(月)	6
ポーラ美術館コレクション		12月 6日(土)	30	5月 6日(火)	6
8月 9日(土)	33	12月 7日(日)	30	5月11日(日)	10
8月10日(日)	50	12月13日(土)	30		
8月16日(土)	70	12月14日(日)	80	現代の美術表現	
8月17日(日)	86	※12/14は解説会を11時と14時2回開催		12月23日(火)	8
8月24日(日)	60	金GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展		12月27日(土)	3
8月30日(土)	70	2月21日(土)	10	1月 4日(月)	10
8月31日(日)	65	2月22日(日)	10	1月10日(土)	8
9月 6日(土)	50	2月28日(土)	18	1月11日(日)	20
9月 7日(日)	20	3月 1日(日)	22	1月12日(月)	5
9月13日(土)	80			1月18日(日)	20
9月14日(日)	80	3月 7日(土)	20	1月24日(土)	5
9月15日(月)	65	3月 8日(日)	20	1月25日(日)	6
9月20日(土)	100	3月14日(土)	14		

団体への解説

相澤コレクション		
日時	団体名	人数
4月25日(金)	柏崎市立博物館友の会	28
4月30日(水)	美容学校ジャパン・ビューティ・アカデミー	

写真・昭和の肖像		
日時	団体名	人数
6月13日(金)	小千谷市社会教育課（鑑賞ツアー）	20
6月21日(土)	いわき光洋高等学校PTA	32
7月 3日(水)	JAうおづ下野方梨組合	12

ポーラ美術館コレクション		
日時	団体名	人数
8月19日(火)	胎内市教育委員会図工・美術部会	8
8月20日(水)	二市北蒲中教研美術部会	8
8月22日(金)	日報趣味の会	25
9月 8日(月)	県立精神医療センター社会復帰部	24
9月18日(水)	新潟デザイン専門学校	44
9月19日(金)	和洋女子大学	23
9月22日(月)	胎内市教育委員会	43
9月26日(金)	三条市小学校研究協議会図工部門	27
9月30日(火)	三条市大崎公民館	26

佐藤哲三の時代		
日時	団体名	人数
10月29日(水)	西蒲区西川介護支援センター	22
10月30日(木)	新発田市観光振興課（鑑賞ツアー）	27
11月 7日(金)	岡山県美術館友の会	32
11月 9日(日)	新潟大学・新潟医療福祉大学	26
11月12日(水)	宇都宮美術館友の会	46
11月18日(火)	新発田市観光振興課（鑑賞ツアー）	27
12月 2日(火)	東北電力中学生作文コンクール見学会	33

現代の美術表現		
日時	団体名	人数
1月14日(水)	新潟市小学校研究会図工部	120

金GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展		
日時	団体名	人数
3月17日(火)	新潟大学工学部機能材料工学科	19
3月19日(木)	関川村生涯学習課	46

学校教育との連携

●展覧会の鑑賞 ・展覧会の解説 相澤コレクション			
日時	学校名	学年	人数
		総計	0

写真・昭和の肖像			
日時	学校名	学年	人数
6月10日(火)	新潟市立舟栄中学校	1・2・3年	14
6月10日(火)	新潟市立岩室中学校	1・2・3年	13
6月26日(水)	阿賀町立三宝分小学校	5・6年	5
7月 8日(火)	新潟大学教育学部附属新潟中学校	3年	35
7月15日(火)	新潟大学教育学部附属新潟中学校	3年	35
7月17日(木)	新潟大学教育学部附属新潟中学校	3年	37
7月25日(金)	新潟市立臼井中学校	1・2・3年	11
		総計	150

ポーラ美術館コレクション			
日時	学校名	学年	人数
8月11日(月)	五泉市立愛宕中学校	1・2・3年	12
8月18日(月)	五泉市立五泉中学校	1・2・3年	13
8月18日(月)	阿賀野市立京ヶ瀬中学校		14
8月19日(火)	新潟市立木戸中学校	美術部	5
8月19日(火)	新潟市立東新潟中学校	美術部	24
8月20日(水)	燕市立燕中学校	1・2年	8
8月20日(水)	新発田市立本丸中学校	1・2・3年	7
8月26日(火)	燕市立吉田中学校	1・2・3年	19
9月 3日(水)	新潟市立上所小学校	5年	141
9月10日(水)	新潟市立横越小学校	5年	101
9月24日(水)	五泉市立十全小学校	6年	9
9月26日(金)	新潟市立亀田西小学校	6年	99
9月30日(火)	新潟市立横越小学校	6年	146
		総計	598

佐藤哲三の時代			
日時	学校名	学年	人数
10月16日(水)	小千谷西高等学校	3年	148
11月 6日(水)	柏崎高等学校	美術部	14
11月11日(火)	新潟市立入舟小学校	6年	8
12月10日(火)	新発田市立菅谷小学校	6年	16
		総計	186

現代の美術表現			
日時	学校名	学年	人数
		総計	0

金GOLD黄金の国ジパングと佐渡金銀山展			
日時	学校名	学年	人数
		総計	0

・作品鑑賞のみ

相澤コレクション

日時	学校名	学年	人数
4月16日(※)	村上市立神納中学校	2年	1
4月22日(※)	新潟市立大形中学校	2年	96
4月23日(※)	喜多方第一中学校		10
4月24日(※)	猪苗代町立東中学校		5
4月29日(※)	三条市立第三中学校	2年・3年	9
5月 1日(※)	燕市立分水中学校		22
5月 3日(※)	新潟中央高等学校		9
5月 8日(※)	新潟市立小須戸中学校	2年	14
5月 8日(※)	燕市立小池中学校		17
	総計		183

写真・昭和の肖像

日時	学校名	学年	人数
5月27日(※)	新潟市立小合中学校	2年	5
5月28日(※)	見附市立見附西中学校	2年	10
5月28日(※)	新潟市立内野小学校希望が丘分校	5年	11
5月28日(※)	新潟市立内野中学校希望が丘分校	1・2年	
5月28日(※)	新潟大学特別支援学校高等部	1・2年	3
5月30日(※)	阿賀町立阿賀津川中学校	2年	13
5月30日(※)	新発田市立豊浦中学校	2年	5
6月 6日(※)	新発田市立猿橋中学校	2年	57
6月20日(※)	新潟市立山の下中学校	1・2・3年	7
6月20日(※)	新潟市立明鏡高等学校	2年	62
6月25日(※)	阿賀野市立京ヶ瀬中学校	2年	4
6月28日(※)	新潟市立五十嵐中学校	1・2・3年	32
7月 3日(※)	新潟大学特別支援学校中学部	3年	5
7月10日(※)	新潟市立万代高等学校	1・2年	20
7月15日(※)	福島県金山町立横田中学校	1年	3
7月17日(※)	県立高等養護学校		8
7月21日(※)	黒竜江省佳木斯市第十九中学校		12
	総計		257

ポーラ美術館コレクション

日時	学校名	学年	人数
8月11日(※)	新発田市立猿橋中学校	1・2・3年	24
8月11日(※)	新潟市立岩室中学校		11
8月11日(※)	新潟工業高等学校	美術部	9
8月19日(※)	新潟市立下山中学校	1・2年	15
8月21日(※)	新潟市立新津第二中学校	1・2年	11
8月23日(※)	新発田市立東中学校	1・2・3年	12
9月 5日(※)	柏崎市立石地小学校	1～5年	16
9月 9日(※)	新潟市立万代高等学校		5
9月16日(※)	はまぐみ養護学校中学部	2・3年	4
9月21日(※)	胎内市立中条中学校	1・2年	6
9月22日(※)	長岡市立越路小学校	5年	91
9月23日(※)	新潟中央高等学校	1・2年	6
9月24日(※)	新潟市立下山中学校	3年	18
9月28日(※)	新潟市立新津第一中学校	1・2年	10
10月 2日(※)	阿賀野市立水原中学校	1年	13
10月 4日(※)	新潟市立関屋中学校	1・2・3年	13
	総計		264

佐藤哲三の時代

日時	学校名	学年	人数
10月15日(※)	新潟市立坂井輪中学校		4
10月15日(※)	阿賀野市立笹神中学校	2年	17
11月 6日(※)	小千谷西高等学校	美術部	6
11月11日(※)	柏崎翔洋中等教育学校		78
11月14日(※)	小千谷市立東小千谷中学校		2
11月27日(※)	胎内市立築地中学校	1年	5
12月 9日(※)	新潟市立下山中学校	3年	15
12月10日(※)	新潟市立万代高等学校	3年	29
	総計		156

現代の美術表現

日時	学校名	学年	人数
1月16日(※)	新潟第一高等学校		11
	総計		11

金GOLD黄金の国ジバングと佐渡金銀山展

日時	学校名	学年	人数
2月23日(※)	新発田市立米倉小学校	5年	10
2月24日(※)	村上市立神納中学校	1・2年	3
3月21日(※)	新潟中央高等学校	1・2年	11
	総計		24

●職場体験の受入

日時	学校名	学年	人数
10月 2日(※)	新発田市立猿橋中学校	3年	2
	総計		2

●その他の活動

日時	学校名	学年	内容	人数
5月27日(※)	新潟市立巻西中学校	2年	班別訪問学習	16
7月17日(※)	白根市立白根北中学校	1年	地域をもっと知ろう	26
10月16日(※)	南魚沼市立大和中学校	1年	職場見学	11
	総計			53

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及びその引率者、心身障害者及びその介護者に対し、観覧料を免除した。また、学校からの要請があった場合、その内容に応じた解説・案内・レクチャーなどを行った。

展 覧 会 名	会 期	免除総数	学 校 等			障害者数	介助者数
			申請校数	生徒数	引率者数		
相澤コレクション そばにおきたい絵	平成20年4月5日～5月11日	111	1	9	13	73	16
写真・昭和の肖像1945～1989 レンズが視た戦後の日本	平成20年5月24日～7月27日	403	3	111	56	180	56
ポーラ美術館コレクション展	平成20年8月9日～10月5日	1,919	3	714	64	832	309
佐藤哲三の時代	平成20年10月11日～12月14日	633	5	275	27	263	68
現代の美術表現－素材と技法	平成20年12月23日～平成21年1月29日	42	0	0	0	35	7
金GOLD 黄金の国ジバングと佐渡金銀山展	平成21年2月21日～3月31日	414	1	11	3	302	98
合 計		3,522	13	1,120	163	1,685	554

博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生のための博物館実習を実施し、6名の実習生を受け入れた。各分野についての講義の他、作品の点検・取り扱いの指導、他館見学も行った。最終日には各自に所蔵品展を使った展覧会企画を発表してもらい、学芸員の仕事について学んだ実習の総まとめとした。

担当 池田珠緒



実習カリキュラム

月 日	時限	内 容
8月19日 (火)	1	開校式・オリエンテーション・施設案内
	2	万代島美術館概要・美術館をめぐる状況
	3	業務課の仕事…学芸
	4	展覧会の企画・開催・運営
8月20日 (水)	1	企画展見学
	2	研究課題（課題説明、資料収集）
	3	業務課の仕事…庶務
	4	研究課題（テーマ決定、構成検討）
8月21日 (木)	1	所蔵品展、教育普及活動等について
	2	作品の点検・取り扱い（日本画）
	3	受付・監視の仕事
	4	研究課題（リスト・図面作成）
8月22日 (金)	1	
	2	他館見学（長岡）
	3	新津美術館
	4	新潟県立近代美術館
8月26日 (火)	1	所蔵品管理について
	2	情報管理、刊行物作成等について
	3	企画展、広報活動等について
	4	作品の点検・取り扱い（工芸）
8月27日 (水)	1	作品収集、著作権処理、資料整理等について
	2	作品の点検・取り扱い（平面）
	3	研究課題（発表資料作成）
	4	研究課題（発表準備）

8月28日 (木)	1	他館見学（新潟） 新潟市美術館 新潟市歴史博物館
	2	
	3	
	4	
8月29日 (金)	1	課題発表準備（機材準備、資料配布等）
	2	課題発表・講評
	3	
	4	閉校式

- ①10：10～11：20（70分）
- ②11：40～12：50（70分）
- ③14：10～15：20（70分）
- ④15：40～16：50（70分）

実習期間8月19日(火)～29日(金)まで全8日間

実習生の大学および受入人数

長岡造形大学	2名
東洋大学	1名
都留文科大学	1名
山梨英和大学	1名
京都女子大学	1名

インターンシップの受入

11月14日(金)～21日(金) 全5日

上田女子短期大学 1名

新潟県立近代美術館

【研 修】

長嶋圭哉「保存担当学芸員研修」／2008年7月
14日～25日、東京文化財研究所
立川厚生「美術館連絡協議会 2008年度学芸員
研修セミナー」／2009年1月20日～
21日、宮城県美術館

【調 査】

横山秀樹「土田麦僊調査」2008年4月23～25
日／佐渡市、個人宅、佐渡市新穂歴史博
物館

【展覧会図録執筆】

平石昌子・濱田真由美『マティスとルオー』展図
録 作品解説、論文翻訳

【新聞・雑誌等への寄稿】

横山秀樹「横山操、もうひとつの顔」『新潟日報』
2008年4月21日
横山秀樹「現代的な表現、造形美—あすから新
潟で東日本伝統工芸展」『新潟日報』
2008年5月13日
横山秀樹「美の魁たち—横山操」『白い国の詩』
2008年夏号
横山秀樹「アイヌへの暖かいまなざし—中野雅友
展」『新潟日報』2008年7月15日
濱田真由美「公募作品加えて規模大きく—日本水
彩画会新潟県下越支部展」『新潟日報』
2008年9月23日
長嶋圭哉「日本人の自然観 美的に昇華—浦上義
昭展」『新潟日報』2008年10月9日
横山秀樹「ペール脱ぐ新津コレクション」『新潟
日報』2008年10月6日
長嶋圭哉「横山操《雪峽》—墨のある風景」『趣
味の水墨画』2009年2月号
横山秀樹「画面からあふれる命の活力—吉田志麻
展」『新潟日報』2009年3月17日
濱田真由美「改訂新版 和英対訳・日本美術用語
辞典」項目執筆

【講演会、講義、展覧会監修等】

横山秀樹「絵画のみかた・楽しみ方」新潟中央ロー
タリークラブでの卓話 2008年4月
15日
桐原 浩「連続講座 キャリア形成」（新潟大学
人文学部）2008年7月9日、16日、
30日
横山秀樹「第4回にいがたみちまち絵画展」審査
2008年7月16日
桐原 浩「美術史概説A」（新潟大学人文学部、
2008年）
④ルネサンス期イタリア美術（11月12

日）
⑤ルネサンス期北方美術（11月19日）
⑥イタリア美術 盛期ルネサンス、マニ
エリスム、バロック（11月26日）
⑦バロック スペイン、フランドル、オ
ランダ（12月7日）
平石昌子「美術史概説A」（新潟大学人文学部、
2008年）
⑧「ロココから新古典主義まで」（12月
17日）
⑨「ロマン主義から印象派まで」（12月
24日）
⑩「後期印象派から世紀末まで」（12月
24日）
濱田真由美「美術史概説A」（新潟大学人文学部、
2008年）
⑪「モダニズムの歴史」（12月25日）
⑫「戦後の美術」（12月25日）
長谷川重雄「アートなたまご実演講習」／新潟県
立月ヶ岡養護学校、2008年10月9
日
横山秀樹 新潟田市美術展覧会 審査員／2008
年10月14日
横山秀樹「阿賀北の日本画家たち」（新潟田市
所蔵アートコレクション展）講演会
2008年11月24日
宮下東子 大倉喜八郎の会 講演会／2008年11
月30日
横山秀樹 富山県水墨美術館収蔵美術品選定委
員（2008年12月1日～2010年11
月30日）
横山秀樹「水野美術館コレクションの名品より
近代日本画 美の系譜」（新春三大美術
展 水野美術館展 作品解説）、2009
年1月4日
横山秀樹 第64回「県展」ポスター等デザイン
公募審査委員

新潟県立万代島美術館

【展覧会図録執筆】

藤田裕彦「キュビズムの誕生ーピカソとブラックの蜜月時代」『ポーラ美術館コレクション展』図録

藤田裕彦「佐藤哲三の時代 モダニズムに向かって」『佐藤哲三の時代』展図録

澤田佳三「画家の生きる場所ー佐藤哲三の選択」『佐藤哲三の時代』展図録

池田珠緒「加治村での日々ー佐藤哲三と児童画教育」『佐藤哲三の時代』展図録

高 晟俊『浦塩とよばれた街』（新潟市美術館企画展）図録原稿翻訳（露文和訳）

【新聞・雑誌等への寄稿】

澤田佳三「活気ある佐渡 印象づけーアートギャラリー万代島 吉田志麻展」『新潟日報』（2008年4月3日）

澤田佳三「花のことばに耳をすませてー新潟大和杉森企観明展」『新潟日報』（2008年6月20日）

池田珠緒「あーとびっくす たゆまぬ努力 画面ににじむー小野塚美術館「美是實」記念展」『新潟日報』（2008年8月25日）

高 晟俊「『民衆の鼓動ー韓国美術のリアリズム 1945-2005』展の開催にいたるまで」『あいだ』152号（2008年9月20日）

池田珠緒「新潟が生んだ日本の石油王・新津恒吉 新津コレクション展」（作品解説：新潟大和2008年10月8～14日）

高 晟俊「心地よいリズムカルな構図ー北方文化博物館 李聖洙展」『新潟日報』（2008年10月23日）

藤田裕彦「次世代の才能に会える喜びー第3回県伝統工芸作家展・公募展」『新潟日報』（2008年11月15日）

小見秀男「あーとびっくす 現代芸術の作家たちー大山治郎・美との出会い」『新潟日報』（2009年3月6日）

【講演会・講座、学会発表、審査員等】

高 晟俊「亀倉雄策旧蔵アイコン「キリストの復活と十二大祭」について」（口頭発表：第6回日本ビザンツ学会全国大会 大阪市立大学、2008年4月6日）

高 晟俊「1980年代民衆美術と韓国リアリズム美術の流れ」（講師：西宮市大谷記念美術館、2008年6月7日）

高 晟俊「中世シチリアのモザイク壁画」（講師：朝日カルチャーセンター新宿、2008年7月17日）

高 晟俊「1980年代民衆美術と韓国リアリズム美術の流れ」（講師：府中市美術館、2008年7月20日）

高 晟俊「コーカサスの世界遺産 中世グルジア壁画」（講師：朝日カルチャーセンター横浜、2008年8月1日）

高 晟俊「アイコンのあゆみ ビザンティンからロシアへ」（講師：朝日カルチャーセンター横浜、2008年8月29日）

藤田裕彦「第3回新潟県伝統工芸展〈公募〉」（審査員：雪梁舎美術館、2008年10月22日）

池田珠緒「成川美術館所蔵 初春 花 輝き」（講師：大和デパート、2009年1月6日）

高 晟俊「国際コロキウムー芸術とプロパガンダ」（シンポジウムパネラー：首都大学東京、2009年1月12日）

澤田佳三「銅像から見る日本の美術」（講師：新潟青陵大学、2008年7月7日）

澤田佳三「第24回デザイン展ー新潟デザイン専門学校 卒業・修了制作展ー」（審査員：新潟デザイン専門学校、2009年2月6日）

池田珠緒 論文査読：山中夕起子「落谷虹児、さまざまな「抒情画」のかたち」（立命館大学大学院先端総合学術研究科紀要『コア・エシックス』第5巻、2009年3月）

高 晟俊「トルコの世界遺産をめぐるーイスタンブールとカッパドキア」（講師：朝日カルチャーセンター新宿、2009年3月5日）

小見秀男・高晟俊「2008年中央展出品作家展交流会」（コメンテーター：雪梁舎美術館、2009年3月8日、29日）

高 晟俊 美術史学会 美術館・博物館委員会専門委員（2008年度）

高 晟俊「美術史概説A」（非常勤講師：新潟大学人文学部、2008年度後期）

①「イントロダクションー「美術史」事始め」（10月8日）

②「古代ギリシア・ローマの美術」（10月15日）

③「西洋中世の美術」（10月22日）

④「近現代ロシア美術」（2009年1月7日）

⑤「中国の美術と美術史」（1月14日）

⑥「朝鮮半島の美術と美術史」（1月21日）

美術品の収集

平成20年度収集作品一覧

分 野	各 領 域 点 数	合計点数
世界の美術		0
日本の美術	日本画3 素描1 デザイン29 (うち分類替え27) 資料2	35
新潟の美術	日本画2 油彩画他4 書1 工芸1 素描2	10
総合計		45

日本の美術

分 野	作家名 (生歿年)	作 品 名	制作年	寸 法 (cm)	素材・技法・形状	購入先・寄贈者 (代表者名)
日本画	土田麦僊 (つちだ・ばくせん) 1887-1936	山茶花	大正中期	139.8×36.1	絹本彩色 軸装	柳本雄司氏寄贈
	小林古徑 (こばやし・こけい) 1883-1957	紅梅	1927頃	128.7×41.8	絹本彩色 軸装	
	伊東深水 (いとう・しんすい) 1898-1972	ジャカルタの踊り子	1943	44.4×52.8	紙本彩色・墨書 額装	寄贈
素描		浄洗 (大下絵)	1943	69.4×73.0	紙本彩色 軸装	
資料	川合玉堂 (かわい・ぎょくどう) 1873-1957	雪無き国	1943-44頃	29.5×41.2	紙本淡彩・墨書 軸装	
		春の訪れ	1943	27.4×22.8	紙本淡彩・墨書 軸装	
デザイン	佐藤卓 (さとう・たく) 1955-	water展のためのポスター	2007	各145.5×103.0	オフセットまくり (2点1組)	作家寄贈

新潟の美術

分 野	作家名 (生歿年)	作 品 名	制作年	寸 法 (cm)	素材・技法・形状	購入先・寄贈者 (代表者名)
日本画	行田魁庵 他 (なめた・かいあん ほか) 1812-1874	新潟年中行事絵巻	江戸末期	1 / 41.7×56.0 2 / 41.7×73.5 3 / 37.0×58.5 4・5 / 36.2×295.1 6 / 41.6×96.0 7 / 36.2×87.6 8 / 37.0×56.0 9 / 37.0×58.5	紙本彩色・卷子	辻保次氏寄贈
	大矢十四彦 (おおや・としひこ) 1940-	明けゆく	2001	212.8×167.7	紙本彩色 額装	作家寄贈
油彩画他	末松正樹 (すえまつ・まさき) 1908-1997	作品	1951	78.0×56.0	油彩・キャンバス	作家遺族寄贈
	早津剛 (はやつ・つよし) 1938-	小出の家 (中魚沼郡中里村小出にて)	1979	73.5×91.0	油彩・キャンバス 額装	作家寄贈
		倉俣の家 (中魚沼郡中里村倉俣にて)	1981	91.8×116.6	油彩・キャンバス 額装	
	池山阿有 (いけやま・あゆう) 1939-	炉ばた	1993	130.8×162.5	油彩・キャンバス 額装	作家寄贈
書	良寛 (りょうかん) 1758-1831	なすすけ	文化文政期	23.5×18.0	紙本墨書 軸装	佐山富榮氏・ 佐山美智子氏寄贈
工芸	細野實 (ほその・みのる) 1938-2008	雲の標	2002	70.5×55×16.5	樺	細野茂樹氏寄贈
素描	末松正樹 (すえまつ・まさき) 1908-1997	大工 高野氏の像	1932	32.0×28.5	鉛筆・紙	作家遺族寄贈
		自画像	1930年代	38.0×30.0	コンテ・紙	

分類替え作品（資料から作品へ） *平成13、19年度収蔵の亀倉資料より

分野	作家名（生歿年）	作品名	制作年	寸法（cm）	素材・技法・形状	
デザイン	亀倉雄策 （かめくら・ゆうさく） 1915-1997	Nippon Kogaku K.K. 1953	1953年	51.2×36.2	オフセット	分類替え
		ニッコールクラブ写真展	1953年	36.6×51.9	オフセット	
		Nippon Kogaku 1954	1954年	51.9×36.6	オフセット	
		第2回 ニッコールクラブ写真展	1954年	36.3×51.7	オフセット	
		Nippon Kogaku K.K. 1955	1955年	51.2×36.5	オフセット	
		ニッコールによる写真募集	1955年	73×51.7	オフセット	
		ニッコールフォトコンテスト	1956年	72.8×51.8	オフセット	
		Nikon F（白バージョン）	1959年	51.3×36.3	シルクスクリーン	
		Nikon F（青バージョン）	1959年	51.3×36.3	シルクスクリーン	
		Nikon F（赤バージョン）	1959年	51.3×36.3	シルクスクリーン	
		この色と柄が秋のメンズモードを創る！ ミリオンテックス展	1953年	34.8×51.5	オフセット	
		ミリオンテックス創作展のお知らせ	1954年	35.7×51.0	オフセット	
		一流美術工芸家のデザインによるミリオンテックス創作展	1954年	37.9×51.7	オフセット	
		第9回羊彩会 1955年 秋冬物新作発表展示会	1955年	72.8×51.5	オフセット	
		第11回羊彩会 1956年 秋冬物新作発表会	1956年	72.9×51.8	オフセット	
		ミリオンテックス 高級紳士服地 ちかづく春に	1956年	33.4×51.2	オフセット	
		冬 羊毛の暖い感触が生きてくる！ ミリオンテックス	1956年	36.5×51.3	オフセット	
		贈って喜ばれ、着て、また喜ばれる！ ミリオンテックス	1956年	39.1×51.9	オフセット	
		豊満なしなやかさ・程よい重量感・自然の防水性・型くづれせぬ保温性・確かに生きている！ ミリオンテックス	1956年	36.5×51.4	オフセット	
		春 羊毛の爽やかな感触が生きてくる ミリオンテックス	1957年	36.4×51.4	オフセット	
		多彩な色柄しかも渋く落ち着いた高級紳士服地ミリオンテックス	1957年	36.5×51.7	オフセット	
		冬 羊毛の季節 ミリオンテックス	1959年	36.6×51.5	オフセット	
		羊毛の感触が暖かく生きてくる！ ミリオンテックス	1959年	36.5×51.9	オフセット	
		東レテトロンを生かした新製品！ ダイドーポップス	1959年	36.5×51.4	オフセット	
		東レテトロンを生かした大同毛織の新製品ダイドーポップス	1959年	37.5×50.7	シルクスクリーン	
		服地ならミリオンテックス（横）	不明	36.3×51.3	オフセット	
		服地なら！ ミリオンテックス（縦）	不明	72.7×51.5	オフセット	

新収蔵品

日本の美術



日本画
土田麦僊《山茶花》



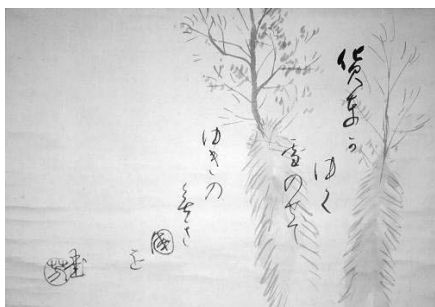
日本画
小林古徑《紅梅》



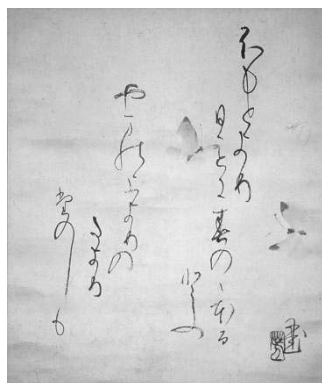
日本画
伊東深水《ジャカルタの踊り子》



素描
伊東深水《浄洗 (大下絵)》



資料
川合玉堂《雪無き国》



資料
川合玉堂《春の訪れ》



デザイン
佐藤卓《water展のためのポスター》



新潟の美術



日本画
行田魁庵他《新潟年中行事絵巻》1



日本画
行田魁庵他《新潟年中行事絵巻》2



日本画
行田魁庵他《新潟年中行事絵巻》3



日本画
行田魁庵他《新潟年中行事絵巻》4.5 (部分)



日本画
行田魁庵他《新潟年中行事絵巻》8



日本画
行田魁庵他《新潟年中行事絵巻》9



日本画
行田魁庵他《新潟年中行事絵巻》6



油彩画他
大矢十四彦《明けゆく》



油彩画他
末松正樹《作品》



日本画
行田魁庵他《新潟年中行事絵巻》7



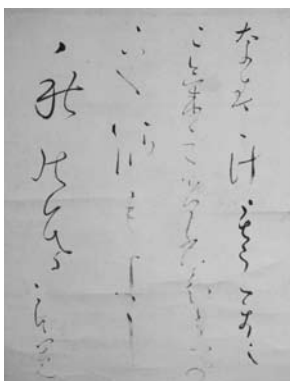
油彩画他
早津剛
《小出の家（中魚沼郡中里村小出にて）》



油彩画他
早津剛
《倉俣の家（中魚沼郡中里村倉俣にて）》



油彩画他
池山阿有《炉ばた》



書
良寛《なすすけ》



工芸
細野實《雲の標》



素描
末松正樹《大工 高野氏の像》



素描
末松正樹《自画像》

分類替え作品



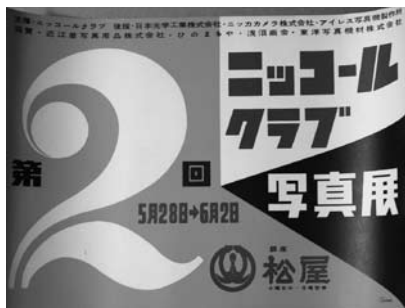
デザイン
亀倉雄策
《Nippon Kogaku K.K.1953》



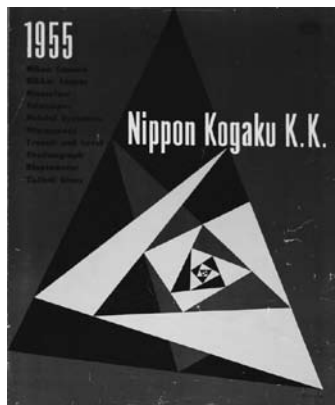
デザイン
亀倉雄策《ニッポークラブ写真展》



デザイン
亀倉雄策
《Nippon Kogaku 1954》



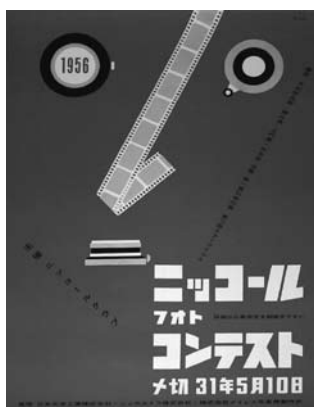
デザイン
亀倉雄策《第2回 ニッコールクラブ写真展》



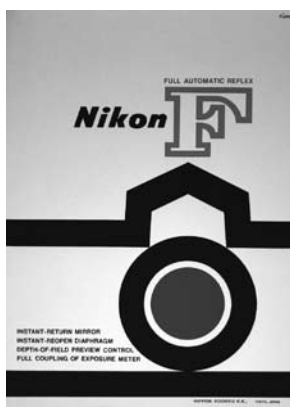
デザイン
亀倉雄策
《Nippon Kogaku K.K. 1955》



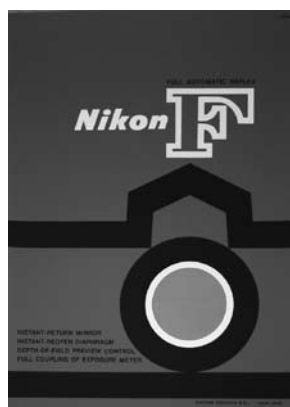
デザイン
亀倉雄策《ニッコールによる写真募集》



デザイン
亀倉雄策《ニッコールフォトコンテスト》



デザイン
亀倉雄策《Nikon F (白バージョン)》



デザイン
亀倉雄策《Nikon F (青バージョン)》



デザイン
亀倉雄策《Nikon F (赤バージョン)》



デザイン
亀倉雄策《この色と柄が秋のメンズモードを創る! ミリオンテックス展》



デザイン
亀倉雄策《ミリオンテックス創作展のお知らせ》



デザイン
亀倉雄策《一流美術工芸家のデザインによるミリオンテックス創作展》



デザイン
亀倉雄策《第9回羊彩会 1955年秋冬物新作発表展示会》



デザイン
亀倉雄策《第11回羊彩会 1956年秋冬物新作発表会》



デザイン
亀倉雄策《ミリオンテックス 高級紳士服地 ちかづく春に》



デザイン
亀倉雄策《冬 羊毛の暖い感触が生きてくる！ ミリオンテックス》



デザイン
亀倉雄策《贈って喜ばれ、着て、また喜ばれる！ ミリオンテックス》



デザイン
亀倉雄策《豊満なしなやかさ・程よい重量感・自然の防水性・型くづれせぬ保湿性・確かに生きている！ ミリオンテックス》



デザイン
亀倉雄策《春 羊毛の爽やかな感触が生きてくる ミリオンテックス》



デザイン
亀倉雄策《多彩な色柄しかも深く落着いた高級紳士服地ミリオンテックス》



デザイン
亀倉雄策《冬 羊毛の季節 ミリオンテックス》



デザイン
亀倉雄策《羊毛の感触が暖かく生きてくる！
ミリオンテックス》



デザイン
亀倉雄策《東レテトロンを生かした新製品！ダ
イドーポップス》



デザイン
亀倉雄策《東レテトロンを生かした大同毛織
の新製品ダイドーポップス》



デザイン
亀倉雄策《服地ならミリオンテックス（横）》



デザイン
亀倉雄策《服地なら！ミリオン
テックス（縦）》

美術品の修復

平成20年度 修復作品一覧

分野	作家名	作品名	制作年	修復内容	修復者	修復期間
工芸	三浦小平二	青磁飾り壺「インド虎」	2003年	修理、クリーニング、復元、彩色	北日本工芸（新潟県）	平成20年 4月18日～平成20年 6月 7日
		志野麦文皿	1963年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		鉄絵汲出「D51」（3客）	1967年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		焼きしめ花瓶「マサイ」	1970年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		焼きしめマサイ文皿	1970年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		焼きしめマサイ文カップ	1970年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		鈞窯花瓶	1973年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		鈞窯急須	1973年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		釉裏紅大皿「魚文」	1975年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		紫紅釉茶	1983年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		青磁豆彩 茶入れ 中国舞姫文	1987年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		青磁花瓶「バオバブの木」	1991年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
		青磁蓋物「ラジャスタン文」	1991年	桐箱新調	北日本工芸（新潟県）	平成20年10月17日～平成20年11月10日
日本画	長谷川嵐溪	溪山重翠	1846年	片側の軸頭の曲がり修正	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
	伊東深水	浄洗下絵	1943年	片側の軸頭接着	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
	牧野虎雄	柿	1924年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
	尾竹越堂	竹図	1931年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
		浜辺図	明治後期	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
	尾竹竹坡	鳳凰	1914年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
		百福図	1892年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
書	竹内臨川	漢詩	1973年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
		和氣満堂	1972年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
	増村朴斎	漢詩	1931年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
	弦巻松蔭	精華	1976年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
		毛沢東詩	1972年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
		強靱	1976年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
	江口草玄	野ばら	1950年	軸箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
工芸	齋藤三郎	白磁連弁文陰刻蓋付壺	1977年	桐箱新調	神尾萬正堂（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月13日
平面	木下晋	101年の胎動	2001年	額装	はにわ（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月16日
版画	ジョージ・グロス	神は共にあり	1920年	ブックマット新調（9点）	はにわ（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月16日
日本画	藤田熊雄	とむらい	1959年	アクリル外し	はにわ（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月16日
		またぎ	1960年頃	アクリル外し	はにわ（新潟県）	平成21年 3月 2日～平成21年 3月16日

美術品の貸出

平成20年度 作品貸与一覧（近代美術館所管作品）

展覧会名	貸出先	会期	作家名	作品名
日展100年 富山の作家たち展	富山県水墨美術館	(平成20年 4月12日～ 5月18日)	尾竹竹坡	梧桐
雪梁舎設立15周年記念 横山操展	雪梁舎美術館	(平成20年 4月 5日～ 5月11日)	横山操	母子 十勝岳
三輪晃勢・晃久 日本画二人展	奈良県立万葉文化館	(平成20年 3月20日～ 5月25日)	三輪晃勢	海女 アダチオ 黄色い椅子 トキ 樹 遊 菖蒲
				おおぞら 遙 峻 暁霞 秋気
			三輪晃久	おおぞら 遙 峻 暁霞 秋気
				おおぞら 遙 峻 暁霞 秋気
				おおぞら 遙 峻 暁霞 秋気
				おおぞら 遙 峻 暁霞 秋気
				おおぞら 遙 峻 暁霞 秋気
				おおぞら 遙 峻 暁霞 秋気
				おおぞら 遙 峻 暁霞 秋気
				おおぞら 遙 峻 暁霞 秋気
日展100年展	国立新美術館	(平成19年 7月25日～ 9月 3日)	佐々木象堂	錆銅色絵鸚哥置物
	宮城県美術館	(平成19年 9月23日～11月 4日)		
	広島県立美術館	(平成20年 2月19日～ 3月30日)		
	富山県立近代美術館	(平成20年 4月12日～ 5月18日)		
静かなる情熱—藤川勇造とロダンの美	香川県歴史博物館	(平成20年 4月 5日～ 5月18日)	オーギュスト・ロダン	疲れ
越後の花鳥風月展	まつだい農舞台ギャラリー	(平成20年 4月 5日～ 7月 6日)	横山操	中央公論表紙「春」 中央公論表紙「十五夜」
			村山径	溜 吹割
			三輪晃久	森 山川悠遠
			山崎隆夫	新雪 茄子
			佐藤哲三	鳩 瓦焼場風景
			矢部友衛	泉・農民百態39 蒲原で
			布川勝三	蒲原風景
			岡鹿之助	朝の城
			フェリックス＝アンリ・ブラックモン	ブラックモンによる6枚の腐食銅版画
			ジェームズ・ティン	夏の夕べ 新聞 野心を抱く女
田園讃歌 —近代日本画に見る自然と人間展	埼玉県立近代美術館	(平成19年10月27日～12月16日)	牧野虎雄	麦扱く農婦等
	ひろしま美術館	(平成20年 2月23日～ 4月 6日)	浅井忠	農人
	山梨県立美術館	(平成20年 4月19日～ 6月 1日)	ジュリアン・デュプレ エミール・ベルナール	羊飼いの サン・ブリアクの収穫
マティスとボナール—絵画への賛歌展	川村記念美術館	(平成20年 3月15日～ 5月25日)	ビエール・ボナール	バリ生活の諸相
雪梁舎設立15周年記念 宮田亮平・琴 親子展	神奈川県立近代美術館	(平成20年 5月31日～ 7月27日)	宮田亮平	ゲルからの移行Ⅲ
ジョン・エヴァレット・ミレイ展	北九州市立美術館	(平成20年 6月 7日～ 8月17日)	ミレイ	アリス・グレイの肖像
	Bunkamura ザ・ミュージアム	(平成20年 8月30日～10月26日)		
明治の洋画—解説から鑑賞へ展	茨城県近代美術館	(平成20年 8月 2日～ 9月23日)	浅井忠 小山正太郎	農人 仙台の桜
川合玉堂展	水野美術館	(平成20年 8月 2日～ 8月31日)	川合玉堂	春苑
富岡惣一郎 白の世界『幽玄に遊ぶ』展	トミオカホワイト美術館	(平成20年10月 4日～11月 4日)	麻田鷹司	緒那智
近代日本画の巨匠 速水御舟展	平塚市美術館	(平成20年10月 4日～11月 9日)	速水御舟	浦津（舟人） 夕茜（越後出雲崎展望） 紅唇図
川端龍子×横山操 ～青龍社の系譜～展	小松市立本陣記念美術館	(平成20年10月11日～ 11月24日)	川端龍子	港 炎々桜島 波濤 伊豆
			横山操	港 炎々桜島 波濤 伊豆
			横山操	港 炎々桜島 波濤 伊豆
			横山操	港 炎々桜島 波濤 伊豆
			横山操	港 炎々桜島 波濤 伊豆

川端龍子×横山操 ～青龍社の系譜～展	小松市立本陣記念美術館	(平成20年10月11日～ 11月24日)	横山操	ふるさと 林 湖映 燈台
福田たね 青木繁のロマン展	芳賀町総合情報館	(平成20年10月3日～ 11月23日)	小山正太郎	男の肖像 婦人 中等臨画 (第1・2)
コロー 光の変奏曲展	国立西洋美術館	(平成20年 6月14日～ 8月31日)	青木繁	妙義山
	神戸市立博物館	(平成20年 9月13日～12月 7日)	ジャン＝バティスト トカミーユ・コロー	ビブリ
日本彫刻の近代	鹿児島市立美術館	(平成20年 7月18日～ 9月 3日)		
	呉市立美術館	(平成20年 9月13日～10月19日)	北村四海	空想に耽り居る女
	横須賀美術館	(平成20年10月28日～12月21日)		
新潟が生んだ人間国宝展	新潟大和	(平成21年 2月 5日～ 2月16日)	佐々木象堂	銅色絵鸚哥置物 蛸型銅獸装耳小花入 銅銀柵文香炉 銅銀馬置物 銅銀鼎式香炉
			三浦小平二	青磁鉢 青磁絵皿シルクロード 染付釉裏紅「船窓」 鉄絵土瓶・汲出D51 焼きしめ花瓶「マサイ」 釉裏紅大皿「魚文」 青磁花瓶「バオバブの木」 青磁蓋物「ラジャスタン文」 青磁飾り壺「シルクロード」
			五代伊藤赤水	無名異壺 無名異練上鉢
山口薫展	群馬県立近代美術館	(平成20年 9月 6日～10月28日)	山口薫	夜明けの顔
	世田谷美術館	(平成20年11月 3日～12月23日)		林と動物
	三重県立美術館	(平成21年 1月 4日～ 2月22日)		
安吾を育んだ新潟・人・歴史	新潟市歴史博物館	(平成21年 2月14日～ 3月 8日)		北越詩話文人書画貼屏風

万代島美術館所管作品 貸与一覧

展 覧 会 名	貸 出 先	会 期	作 家 名	作 品 名
キース・ヘリング生誕50周年記念展	中村キース・ヘリング美術館	(平成20年 4月25日～ 6月 9日)	キース・ヘリング	花 (Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
岡村桂三郎展	神奈川県立近代美術館	(平成20年 9月13日～11月24日)	岡村桂三郎	泉
特別企画展 滝をめぐる	トミオカホワイト美術館	(平成20年10月 4日～11月 4日)	千住博	WATERFALL

管 理 ・ 運 営



新潟県立近代美術館

常設展観覧者数（常設展のみの観覧者）

期 間 (企画展名)		第1期				第2期			第3期		第4期			合計 (年間316日) (7/7～7/9企画 展のみ)
		H20年4/1～7/6 (85日間)				H20年7/10～10/19 (100日間)			H20年10/25～ H21年1/15 (70日間)		H21年1/24～H21年3/31 (61日間)			
		4/1～ 4/8 7日間 (常設展 のみ)	4/12～ 6/15 59日間 (魅せます! コレクション)	6/17～ 7/4 17日間 (常設展 のみ)	7/5～ 7/6 2日間 (マティス とルオー)	7/10～ 8/31 53日間 (マティス とルオー)	9/2～ 9/12 10日間 (常設展 のみ)	9/13～ 10/19 37日間 (国宝との 出会い)	10/25～ 12/14 48日間 (西洋の美、 東洋の美)	12/16～ 21年1/15 22日間 (常設展 のみ)	H21年 1/24～ 3/1 36日間 (国立能楽堂コ レクション展)	H21年 3/3～ 3/6 4日間 (常設展 のみ)	H21年 3/7～ 3/31 21日間 (東海道五十三次 とジャポニスム)	
個	一般 大学・高校生	122 5	77 2	243 9	4 2	236 6	178 19	83 7	81 2	325 18	239 17	36 3	1,131 66	2,755 156
	人 小 計	127	79	252	6	242	197	90	83	343	256	39	1,197	2,911
		464				529			426		1,492			
団	一般 大学・高校生	6 0	41 0	54 0	0	44 0	10 0	55 0	13 0	30 0	23 0	3 0	120 0	399 0
	体 小 計	6	41	54	0	44	10	55	13	30	23	3	120	399
		101				109			43		146			
無 料		22	12	38	0	153	13	40	4	37	21	0	136	476
免 除		10	2	61	0	28	112	2	0	105	12	3	81	416
合 計		165	134	405	6	467	332	187	100	515	312	45	1,534	4,202
		710 (6,896)				986 (44,796)			615 (10,697)		1,891 (9,114)			4,202
														(71,503)

*企画展開催中は、その観覧者数が常設展観覧者と重複する。

* () 内は企画展観覧者数をあわせた人数。

企画展観覧者数

企画展名		開館15周年 魅せます!コレクション 4/12～6/15 (59日間)	マティスとルオー ～素晴らしき芸術への共感～ 7/5～8/31 (58日間)	国宝との出会い ～京都国立博物館収蔵品による～ 9/13～10/19 (37日間)	西洋の美東洋の美 ピカソ、ロートレックから 東山魁夷まで 10/25～12/14 (48日間)	国立能楽堂コレクション展 ～能の雅狂言の妙～ H21年1/24～3/1(36日間)	合 計
期 間	区 分						
個 人	一 般	3,213	9,058	14,600	5,310	4,461	36,642
	大学・高校生	146	492	397	143	118	1,296
	小 計	3,359	9,550	14,997	5,453	4,579	37,938
団 体	一 般	186	647	811	374	249	2,267
	大学・高校生	46	80	76	31	1	234
	小 計	232	727	887	405	250	2,501
前 売		－	1,508	4,625	1,211	469	7,813
無 料		1,058	5,075	4,421	1,870	1,563	13,987
免 除		970	1,341	1,246	1,143	362	5,062
合 計		5,619	18,201	26,176	10,082	7,223	67,301

企画展名	マティスとルオー	国宝との出会い	国立能楽堂コレクション展	合 計
図録販売数 (冊)	639	1,033	301	1,973
音声ガイド使用数 (台)	1,449	3,719	795	5,963

共 催 展

展 覧 会 名	会 期	日 数	観覧者数
県 展	6／19～6／29	11	4,878
第10回亀倉雄策賞受賞 佐藤卓展ならびにJAGDA新人賞受賞作家作品展2008	9／27～10／5	9	1,448
第12回友の会作品展	11／1～11／9	9	520
第12回長岡市中学校美術部作品展	11／15～11／16	2	645
第39回ジュニア展	1／4～1／15	11	4,521
計		42	12,012

巡回ミュージアム

開催地	会 場 名	会 期	日 数	観覧者数
関川村	せきかわ歴史とみちの館	7／8～8／19	37	644
柏崎市	ソフィアセンター（柏崎市立図書館）	8／22～9／10	20	3,208
計			57	3,852

総入館者数

	常 設 展	企 画 展	共 催 展	巡回ミュージアム	イベント参加	合 計
入館者数	4,202	67,301	12,012	3,852	2,608	89,975

新潟県立万代島美術館

所蔵品展・企画展 観覧者数

展 覧 会 名		相澤コレクション	写真・昭和の肖像	ポーラ美術館 コレクション	佐藤哲三の時代	現代の美術表現	黄金の国ジパング と佐渡金銀山展	合 計
期 間		4/5～5/11 (33日間)	5/24～7/27 (56日間)	8/9～10/5 (58日間)	10/11～12/14 (56日間)	12/23～1/29 (27日間)	2/21～3/31 (39日間)	
個 人	一 般	1,652	3,584	24,943	5,214	1,178	5,300	41,871
	大学・高校生	81	124	1,723	134	258	259	2,579
	小 計	1,733	3,708	26,666	5,348	1,436	5,559	44,450
団 体		138	298	913	508	108	210	2,175
前売（一般のみ）		0	291	17,380	986	0	1,069	19,726
無 料		509	874	4,507	1,689	488	1,048	9,115
免 除		392	894	5,262	866	110	897	8,421
合 計		2,772	6,065	54,728	9,397	2,142	8,783	83,887

*団体の数には「友の会」も含まれる。

総入館者数

	所蔵品展・企画展 観覧者数	イベント参加	合 計
入 館 者 数	83,887	1,176	85,063

講堂・ギャラリーの貸出 新潟県立近代美術館

県民の文化活動の促進に資するため、新潟県立近代美術館講堂及びギャラリー使用要項に則り、講堂は1日につき26,400円、ギャラリーは1日につき17,300円で貸し出した。

講堂使用状況

使用日	行 事 名	内 容
4/2	カワイ音楽教室音研究会	ピアノ講座
6	ファミリーフェスティバル	講演会・発表会
15	カワイ音楽教室音研究会	ピアノ講座
29	ルヴェールピアノ発表会	ピアノ発表会
5/1	ファミリーフェスティバル	講演会
11	ファミリーフェスティバル	講演会・発表会
6/1	ファミリーフェスティバル	講演会・発表会
15	ピアノ発表会	ピアノ発表会
29	ベスト音楽教室発表会	音楽教室発表会
7/5	ピアノ発表会	研修会
6	Piano Concert 2008	ピアノ教室発表会
20	ピアノ発表会	ピアノ発表会
27	ピアノ発表会	ピアノ発表会
9/14	ピアノ発表会	ピアノ発表会
17	カワイ音楽研究会	ピアノ講座
21	トレーニングofアナリーゼin長岡	研修会
23	ピアノ発表会	発表会
28	外国人による日本語コンテストスピーチ	スピーチコンテスト
10/5	第10回亀倉雄策賞受賞 佐藤卓展ならびにJAGDA新人賞作家作品展2008	トークイベント
12	音楽発表会	発表会
26	ピアノ発表会	ピアノ発表会
28	講師研修会	指導研修
11/16	ピアノ発表会	ピアノ発表会
23	ピアノ発表会	ピアノ発表会
24	フィリアの会 ピアノ発表会	ピアノ発表会
28	講師研修会	指導研修
12/6.7	ファミリージャムコンサート	ピアノ発表会
H21.1/11	ピアノスタジオ アンダンテ発表会	ピアノ発表会
2/6	連続フォーラム第6回長岡市会議	基調講演等
2/12	音楽研究会	ピアノ講座
3/17	音楽研究会	ピアノ講座
29	おさらい会	ピアノ発表会

以上32件（延べ日数……33日）

ギャラリー使用状況

期 間	日数	展 示 会 名	内 容
4/29～5/4	6	若林溪竹展	書展
5/8～5/15	7	シックスアート展	絵画展覧会
6/19～6/29	11	県展	作品展示
9/19～9/23	5	佐川忠則写真展	写真の展示
9/27～10/5	9	第10回亀倉雄策賞受賞 佐藤卓展ならびにJAGDA新人賞作家作品展2008	作品展示
10/7～10/13	7	日本風景写真協会新潟支部 写真展	写真の展示
10/17～10/19	3	新潟県競書大会優秀作品展	書道作品の展示
11/1～11/9	9	第12回友の会作品展	作品展示
11/15～11/16	2	第12回長岡市中学校美術部作品展	作品展示
2/20～2/23	4	新潟県書き初め大会	展覧会
3/22	1	演劇 ねこはしる	演劇

以上11件（延べ日数……64日）

講座室使用状況

期 間	日数	行 事 名	内 容
6/23	1	ビジョンぶれ	会議
7/25	1	マイステージ説明会	会議
8/26	1	長岡給油所全面改造工事	会議
9/20	1	研修会	発表会
9/26	1	ライフアップセミナー	教室
10/16	1	労務費調査研究会	説明会
12/6	1	フラワーアレンジ教室	教室
12/26	1	中教研美術部会	中間報告書

以上8件（延べ日数……8日）

新潟県立近代美術館

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
魅せます！コレクション展	4月12日～6月15日	5,633	166	2.95%
マティスとルオー展	7月5日～8月31日	18,031	346	1.92%
国宝との出会い展	9月13日～10月19日	25,745	391	1.52%
西洋の美東洋の美展	10月26日～12月14日	9,990	163	1.63%
国立能楽堂コレクション展	1月24日～3月1日	7,223	93	1.29%
東海道五十三次とジャポニスム展	3月7日～4月5日	1,804	27	1.50%
合計		68,426	1,186	1.73%

I 企画展覧会の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答	合計
魅せます！コレクション展	70	82	6	4	4	166
マティスとルオー展	138	161	27	8	12	346
国宝との出会い展	180	170	28	8	5	391
西洋の美東洋の美展	61	80	17	0	6	164
国立能楽堂コレクション展	23	15	3	0	5	46
東海道五十三次とジャポニスム展	13	9	0	1	4	27
合計	485	517	81	21	36	1,140
構成比	60%	30%	7%	1%	2%	100%

II 企画展覧会のきっかけ

展覧会名	新聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑誌	インターネット	友の会だより	知人	たまたま来て	その他	無回答	合計
魅せます！コレクション展	29	19	0	27	6	12	5	16	52	19	6	191
マティスとルオー展	57	130	4	84	18	22	6	31	35	69	9	465
国宝との出会い展	151	141	17	80	20	10	10	38	15	43	15	540
西洋の美東洋の美展	51	43	0	47	6	11	5	14	13	26	10	226
国立能楽堂コレクション展	22	30	1	13	3	4	6	6	6	14	10	115
東海道五十三次とジャポニスム展	8	3	0	2	2	2	0	0	6	4	3	30
合計	318	366	22	253	55	61	32	105	127	175	53	1567
構成比	55%	63%	4%	44%	9%	10%	6%	18%	22%	30%	9%	270%

III 常設展の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答	合計
魅せます！コレクション展	47	72	4	5	38	166
マティスとルオー展	71	114	19	8	128	340
国宝との出会い展	66	122	28	5	170	391
西洋の美東洋の美展	37	42	11	0	73	163
国立能楽堂コレクション展	29	28	1	0	35	93
東海道五十三次とジャポニスム展	9	8	2	0	8	27
合計	259	386	65	18	452	1,180
構成比	22%	33%	6%	2%	38%	100%

IV 普段の情報源

展覧会名	新聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑誌	インターネット	友の会だより	知人	たまたま来て	その他	合計
魅せます！コレクション展	82	96	9	32	33	40	6	9	15	4	326
マティスとルオー展	170	236	33	58	74	134	11	27	14	13	770
国宝との出会い展	253	250	51	77	39	88	10	29	6	16	819
西洋の美東洋の美展	99	97	23	32	32	44	4	12	5	10	358
国立能楽堂コレクション展	49	57	9	15	12	19	8	3	3	5	180
東海道五十三次とジャポニスム展	17	15	2	9	7	7	1	0	1	0	59
合計	670	751	127	223	197	332	40	80	44	48	2,512
構成比	115%	129%	22%	38%	34%	57%	7%	14%	8%	8%	432%

Ⅴ当館への来館回数

展覧会名	初めて	2回以上	5回以上	10回以上	無回答	合計
魅せます！コレクション展	31	30	31	7	4	103
マティスとルオー展	67	90	94	85	10	346
国宝との出会い展	73	88	102	116	12	391
西洋の美東洋の美展	16	31	42	68	6	163
国立能楽堂コレクション展	14	16	16	36	11	93
東海道五十三次とジャポニスム展	1	8	5	13	0	27
合計	202	263	290	325	43	1123
構成比	20%	26%	20%	28%	6%	100%

Ⅵ展覧会ジャンルの希望

展覧会名	日本画	洋画 (日本)	西洋絵画	彫刻	版画	工芸	書	写真	デザイン	現代美術	その他	無回答	合計
魅せます！コレクション展	70	62	62	28	26	23	23	35	39	30	16	5	419
マティスとルオー展	111	76	135	69	42	51	30	79	102	101	24	20	840
国宝との出会い展	199	78	97	29	45	76	65	89	52	54	48	29	861
西洋の美東洋の美展	64	48	69	28	27	36	22	28	28	36	14	10	410
国立能楽堂コレクション展	44	26	29	19	12	18	11	23	14	13	8	14	231
東海道五十三次とジャポニスム展	16	6	3	4	5	5	3	3	5	9	4	2	65
合計	504	296	395	177	157	209	154	257	240	243	114	80	2,826
構成比	87%	51%	68%	30%	27%	36%	27%	44%	41%	42%	20%	14%	486%

Ⅶボランティア

展覧会名	参加しない	参加したい					合計
		展示 作業	作品 解説	ポスター掲示・ チラシ配り	ワークショップ の手伝い	その他	
魅せます！コレクション展	125	16	6	9	13	5	174
マティスとルオー展	269	30	11	20	31	8	369
国宝との出会い展	330	39	8	17	11	8	413
西洋の美東洋の美展	139	11	4	5	6	2	167
国立能楽堂コレクション展	81	4	0	5	3	0	93
東海道五十三次とジャポニスム展	25	2	0	1	1	0	29
合計	969	102	29	57	65	23	1245
構成比	167%	18%	5%	10%	11%	4%	214%

(性別)

展覧会名	男性	女性	無回答	合計
魅せます！コレクション展	20	15	10	45
マティスとルオー展	42	57	8	107
国宝との出会い展	61	180	18	259
西洋の美東洋の美展	9	14	3	26
国立能楽堂コレクション展	7	19	4	30
東海道五十三次とジャポニスム展	58	46	10	114
合計	197	331	53	581
構成比	34%	57%	9%	100%

(お住まい)

展覧会名	長岡市	市外	市内/市外 の選択なし	県外	無回答	合計
魅せます！コレクション展	8	12	2	15	8	45
マティスとルオー展	32	40	13	9	13	107
国宝との出会い展	84	104	36	11	24	259
西洋の美東洋の美展	11	7	1	4	3	26
国立能楽堂コレクション展	6	11	7	0	6	30
東海道五十三次とジャポニスム展	36	49	6	13	10	114
合計	177	223	65	52	64	581
構成比	31%	38%	11%	9%	11%	100%

(年代)

展覧会名	小・中学生	高・大生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答	合計
魅せます！コレクション展	3	2	3	2	3	6	8	6	3	9	45
マティスとルオー展	8	3	18	8	15	11	23	7	7	7	107
国宝との出会い展	82	9	2	23	40	34	33	18	3	15	259
西洋の美東洋の美展	0	1	0	3	7	2	4	3	2	4	26
国立能楽堂コレクション展	3	0	0	1	2	2	9	3	6	4	30
東海道五十三次とジャポニスム展	5	7	0	8	13	19	24	18	9	11	114
合計	101	22	23	45	80	74	101	55	30	50	581
構成比	17%	4%	4%	8%	14%	13%	17%	9%	5%	9%	100%

新潟県立万代島美術館

平成20年度開催展覧会名	会 期	入館者数	アンケート回収数	アンケート回収率
相澤コレクション：そばにおきたい絵	平成20年4月5日～5月11日	2,772	36	1.3%
写真・昭和の肖像1945～1989	平成20年5月24日～7月27日	6,024	64	1.1%
ポーラ美術館コレクション展	平成20年8月9日～10月5日	54,728	325	0.6%
佐藤哲三の時代	平成20年10月11日～12月14日	9,397	129	1.4%
現代の美術表現－素材と技法	平成20年12月23日～平成21年1月29日	2,142	31	1.4%
黄金の国ジパングと佐渡金銀山展	平成21年2月21日～3月31日	8,783	87	1.0%
合 計		83,846	672	0.8%

お客様ご自身について

(1) 性別

	男	女	(不明)	計
相澤コレクション：そばにおきたい絵	17	15	4	36
写真・昭和の肖像1945～1989	36	27	1	64
ポーラ美術館コレクション展	113	202	10	325
佐藤哲三の時代	50	77	2	129
現代の美術表現－素材と技法	13	18	0	31
黄金の国ジパングと佐渡金銀山展	49	36	2	87
合 計	278	375	19	672
構 成 比	41.4%	55.8%	2.8%	100.0%

(2) 年代

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	(不明)	計
相澤コレクション：そばにおきたい絵	2	6	3	8	5	4	4	4	36
写真・昭和の肖像1945～1989	10	9	4	11	11	14	4	1	64
ポーラ美術館コレクション展	80	37	37	48	58	36	20	9	325
佐藤哲三の時代	8	3	6	15	29	38	28	2	129
現代の美術表現－素材と技法	1	13	3	6	3	3	2	0	31
黄金の国ジパングと佐渡金銀山展	8	6	5	13	17	17	20	1	87
合 計	109	74	58	101	123	112	78	17	672
構 成 比	16.2%	11.0%	8.6%	15.0%	18.3%	16.7%	11.6%	2.5%	100.0%

(3) お住まい

	新潟市内	新潟市以外の 下越地区	佐渡地区	中越地区	上越地区	県外・ 海外	(不明)	計
相澤コレクション：そばにおきたい絵	20	1	0	6	1	4	4	36
写真・昭和の肖像1945～1989	40	8	1	6	0	7	2	64
ポーラ美術館コレクション展	174	36	3	53	16	35	8	325
佐藤哲三の時代	66	22	5	8	3	22	3	129
現代の美術表現－素材と技法	20	2	0	2	0	7	0	31
黄金の国ジパングと佐渡金銀山展	43	6	11	15	6	6	0	87
合 計	363	75	20	90	26	81	17	672
構 成 比	54.0%	11.2%	3.0%	13.4%	3.9%	12.1%	2.5%	100.0%

(4) 当館へは主としてどんな交通手段でおいでになりますか。すべてお答えください。

	徒歩	バス	タクシー	自家用車	貸切バス	J R	自転車	その他	(不明)	計
相澤コレクション：そばにおきたい絵	7	8	2	18	2	5	3	0	2	47
写真・昭和の肖像1945～1989	13	23	1	28	2	5	5	1	1	79
ポーラ美術館コレクション展	22	72	8	189	3	36	21	5	7	363
佐藤哲三の時代	17	38	9	59	1	28	6	7	1	166
現代の美術表現－素材と技法	5	8	1	17	0	5	2	1	0	39
黄金の国ジバングと佐渡金銀山展	5	33	5	33	2	8	0	9	0	95
合 計	69	182	26	344	10	87	37	23	11	789
構 成 比	8.7%	23.1%	3.3%	43.6%	1.3%	11.0%	4.7%	2.9%	1.4%	100.0%

(5) 駐車券に関するお問い合わせ

	総入館者数	美術館	ショップ	合 計	問合せ率
相澤コレクション：そばにおきたい絵	2,772	33	3	36	1.3%
写真・昭和の肖像1945～1989	6,024	121	8	129	2.1%
ポーラ美術館コレクション展	54,728	884	254	1,138	2.1%
佐藤哲三の時代	9,397	132	50	182	1.9%
現代の美術表現－素材と技法	2,142	20	5	25	1.2%
黄金の国ジバングと佐渡金銀山展	8,783	103	12	115	1.3%
合 計	83,846	1,293	332	1,625	1.9%

組織及び業務

新潟県立美術館の業務【20年4月現在】

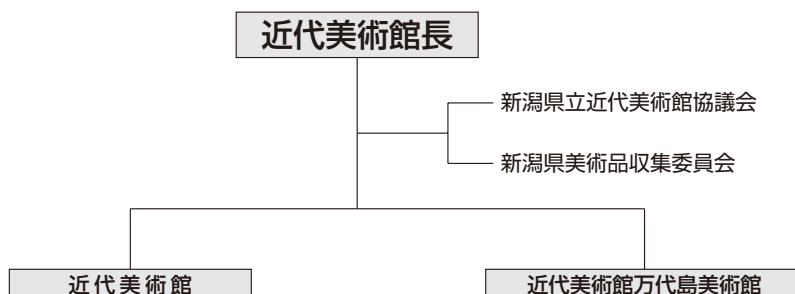
■新潟県立近代美術館条例（平成5年3月31日 新潟県条例第24号）（抜粋）

（設置）第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、新潟県立美術館（以下「美術館」という。）を長岡市千秋3丁目に設置する。

2 前項に規定する美術館には、教育委員会の定めるところにより、分館として新潟県立万代島美術館（以下「万代島美術館」という。）を設置する。

（事業）第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- （1）美術品、美術に関する資料等（以下「美術品等」という）の収集、保管及び展示
- （2）美術品等の利用に関し必要な説明、助言、指導等
- （3）美術品等の調査及び研究
- （4）美術品等に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助
- （5）前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な事業



職 員

新潟県立近代美術館

	館長 副館長	徳永 健一 横山 秀樹
●総務課	総務課長 主任 主事 主事 非常勤職員 非常勤職員	山口 巖 三津田美香 星野 豊彰 野本真奈美 富永 有子 深井 尚子 (H21.1.21～)
●学芸課	学芸課長 学芸課長代理 学芸課長代理 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 美術学芸員 臨時的任用職員 臨時的任用職員	長谷川重雄 池上 秀敏 桐原 浩 立川 厚生 宮下 東子 平石 昌子 今井 有 濱田真由美 長嶋 圭哉 小黑 里絵 平賀 麻子 (H21.3.16～)
	嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員	五十嵐絵美 星野真由美 (～H20.12.31) 小杉弥和子 山本 緑 山本 咲恵 土田 亜美 北沢 里枝 池乗 進 林 美穂子 (H21.1.23～)

新潟県立万代島美術館

近代美術館万代島美術館長	小田島久高
●業務課	参事・業務課長 業務課長代理 業務課長代理 主任 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 臨時的任用職員
	小見 秀男 丸山 久枝 藤田 裕彦 斎藤 陽子 澤田 佳三 池田 珠緒 高 晟俊 早川 裕巳 (～20.4.30)
	嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員 嘱託員
	畠山 怜子 (～20.5.31) 佐藤 則子 山崎希子 松原 亜子 小林 祐子 (～20.5.31) 小原 有子 岡 裕巳 (20.6.1～) 早川 幸絵 (20.6.1～) 相馬

新潟県立近代美術館

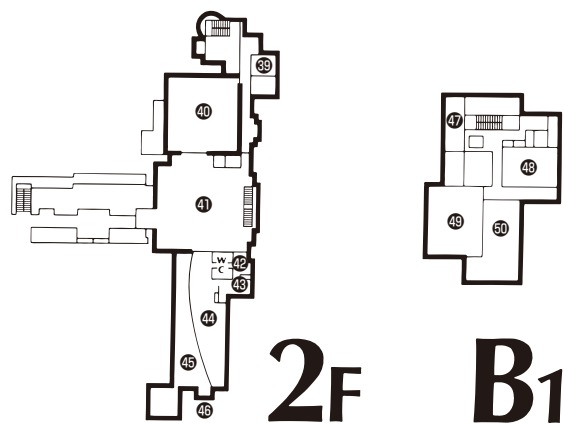
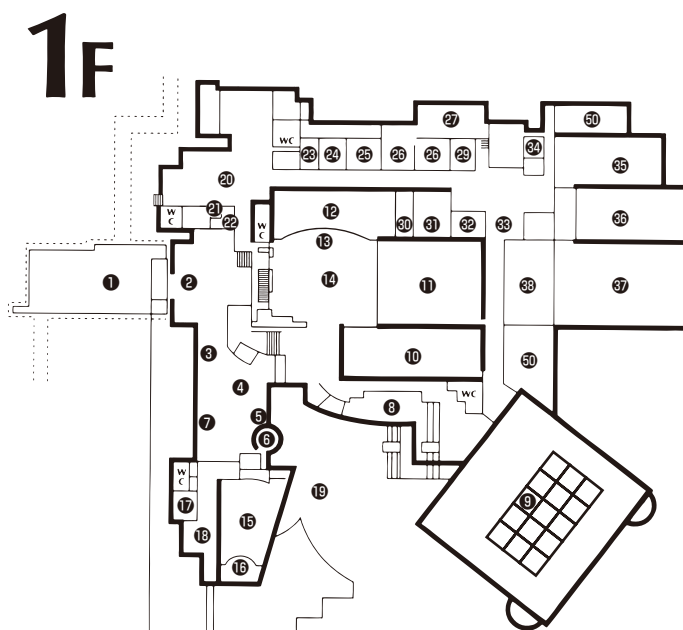
【施設概要】

〈名 称〉	新潟県立近代美術館
〈所 在 地〉	新潟県長岡市千秋3丁目278-14
〈設 計〉	(株)日本設計
造園設計	(株)日本設計・(株)日本造園
設計期間	1990年9月～1991年2月
〈監 理〉	新潟県土木部都市整備局営繕課 (株)日本設計
〈施 工〉	大成・吉原・小杉特定共同企業体
電気工事	六興・大原・長岡特定共同企業体
空調工事	三建・日立・越後特定共同企業体
衛生工事	ナカムラ・北陸特定共同企業体
ガス工事	北陸瓦斯(株)
昇降機工事	日本オーチスエレベーター
備品工事	(株)高島屋
植栽工事	北陸緑化、ニューガーデン、 長生園、宮川苑、吉茂造園、 鈴木造園、新潟造園土木、 長岡ガーデン、川崎農園、 クリーン産業、松本造園
工事期間	1991年7月29日～1993年5月31日
〈総工事費〉	9,859,851千円
支出内訳	
建築工事費	7,442,809千円
造園工事費	1,216,187千円
電気工事費	79,654千円
展示工事費	1,121,201千円
〈主体構造〉	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、 プレストレストコンクリート梁
基礎・地業	PHC抗
〈規 模〉	地下1階、地上2階、塔屋1階 軒高 13.0m 最高高 19.250m 主なスパン 3.9m 階高 5.7m
〈面 積〉	敷地面積 33,800㎡ 建築面積 9,133㎡ 延床面積 10,723㎡ 地下—機械室・電気室 716㎡ 1階—展示室・収蔵庫・講堂・ 事務室・他 8,873㎡ 2階—レストラン・県民ギャラリー 1,064㎡ 屋階—ELV機械室
〈面積配分〉	地域地区 市街化調整区域
導入部門	1,356㎡ (エントランスホール636㎡、 ロビー576㎡、ほか)
展示部門	2,674㎡ (常設展示室391㎡+472㎡+265㎡、 企画展示室1,332㎡、ほか)
教育普及部門	384㎡ (講堂234㎡、講座室53㎡、 ハイビジョン67㎡、ほか)
収蔵部門	1,746㎡ (収蔵庫第一292㎡、第二575㎡、 第三267㎡、作業室49㎡、ほか)
調査研究部門	272㎡ (研究室83㎡、資料保管室61㎡、 書庫128㎡)
管理事務部門	416㎡ (事務室133㎡、会議室70㎡、 館長室55㎡、ほか)
設備・機械	1,017㎡ (熱源機械室、電気室、空調機械室、ほか)
他共用部門	2,858㎡ (廊下、階段、ほか)

〈展示室の環境〉	
室の明るさ	70～150lux+局部照明
照明方法	全体照明(ダウンライト・間接) スポットライトによる局部照明
光源の種類	ハロゲンランプ(熱線カット) 美術館用蛍光灯
温度・湿度	夏季/26℃・50% 冬季/22℃・55%
〈主な設備〉	
空調方法	個別式(単一ダクト方式・FCU方式) 熱源:ガス・電気 熱源機器/ガス冷温水発生機2台 冷房能力/240USRT 暖房能力/52,000kCal/h 冷却塔/2,810,000kCal/h 空調機器/全空気方式 空冷ヒート ポンプエアコンファン
給排水衛生	給水/上水直結 給湯/中央式(ガス)、 個別式(電気) 排水/屋内合流、屋外下水道放流
給排水	B1F床上受水槽(FRP40㎡) 排水槽/有効0.76㎡
電気	受電/3相3線 50Hz 6.6kV 660kW 発電機/3φ3W 50Hz 6.6kV 375kVA 非常保安動力/300kVA 非常保安電灯(スコット)/50kVA 変圧器/1,400kVA 7台
防災	消火/屋内消火栓、屋外消火栓、 ハロゲン化物消失 排煙/自然排煙 屋内消火栓 粉末消火器 ハロン 消火設備 ハロン消火器 連結散 水設備 屋外消火栓
昇降機	乗用ELV/750kg積 (30m/分) 1台 人荷用ELV/3,000kg積 (30m/分) 1台
駐車場	屋内2台、屋外165台
〈主な外部仕上〉	
屋 根	アルミクラッド鋼板立ハゼ葺
外 壁	四丁掛精珪質タイル(割肌) 二丁掛精珪質タイル
建 具	アルミサッシュ電解二次着色 ステンレスサッシュH.L.仕上
外 構	御影石ブロック+陶製ブロック舗装
〈主な内部仕上〉	
エントランスホール	天井/コンクリート打放し 壁/御影石こぶ出し仕上 床/御影石ジェットバーナー仕上
展示室	天井/P.B.E.P. 壁/ガラスクロスE.P. 床/タイルカーベット
収蔵庫	天井・壁/スプルース 床/ナラ緑甲板張
講堂	壁/四丁掛精珪質タイル+P.B.E.P 床/カーベット
研究室・事務室	天井/岩綿吸音板 壁/ビニールクロス貼 床/タイルカーベット

【施設の配置】

- | | |
|---------------|-------------|
| ① キャンピー | ②⑥ 研究室 |
| ② エントランスホール | ②⑦ 書庫 |
| ③ ロビー | ②⑧ 資料保管室 |
| ④ ミュージアムショップ | ②⑨ 倉庫 |
| ⑤ データベース室 | ③⑩ ファイル保管室 |
| ⑥ ハイビジョンギャラリー | ③⑪ 撮影室 |
| ⑦ レファレンス | ③⑫ 作業室 |
| ⑧ 企画展示室ロビー | ③⑬ 荷解室 |
| ⑨ 企画展示室 | ③⑭ 燻蒸室 |
| ⑩ 展示室 1 | ③⑮ 収蔵室 1 |
| ⑪ 展示室 2 | ③⑯ 収蔵室 3 |
| ⑫ 展示室 3 | ③⑰ 収蔵室 2 |
| ⑬ 常設展示室ロビー | ③⑱ 展示備品倉庫 |
| ⑭ 中庭 | ③⑲ ガラリー控室 |
| ⑮ 講堂 | ④⑩ ガラリー |
| ⑯ ステージ | ④⑪ アトリウム上部 |
| ⑰ 講座室 | ④⑫ レストラン事務室 |
| ⑱ 講堂ロビー | ④⑬ 厨房 |
| ⑲ 屋外展示スペース | ④⑭ レストラン |
| ⑳ 事務室 | ④⑮ 吹抜 |
| ㉑ 乳児室 | ④⑯ テラス |
| ㉒ ロッカー室 | ④⑰ ドライエリア |
| ㉓ 応接室 | ④⑱ 電気室 |
| ㉔ 館長室 | ④⑲ 熱源機械室 |
| ㉕ 会議室 | ⑤⑩ 空調機械室 |



新潟県立万代島美術館

【施設概要】

〈機能別延床面積〉

	内 訳	用 途 等	面 積
展示 1,400㎡	第一展示室	美術館所蔵の美術品等の展示	420㎡
	第二展示室	国内外の美術品等の企画展示	980㎡
収蔵 134㎡	収蔵庫	美術品等の保管	106㎡
	収蔵庫前室	収蔵庫の温室度を安定させる	28㎡
専用エレベーター 29㎡		地下1階より美術品を搬入	29㎡
管理 559㎡	事務室	学芸員、一般事務の執務室	63㎡
	資材倉庫	文書・書籍カタログ等の収納	33㎡
	準備室	展示作業用の作品移動ケース置場等	95㎡
	荷解室	美術品の開梱・点検場所	93㎡
	救護室	来館者の救護、職員の休憩等	22㎡
	給湯室	給水、湯沸かし等	3㎡
	トイレ	職員・来館者用	84㎡
	空調機械室	美術館専用の空調機械設置	120㎡
	ボンベ庫	ハロン消化設備用ボンベ庫（予）	46㎡
共通 649㎡	ロビー	来館者の導入、休憩及びインフォメーション等	271㎡
	廊下等	来館者の通路、避難経路など	359㎡
	乳児室	乳児のために使用	6㎡
	ロッカー・ルーム	来館者の利便のために手荷物を保管	13㎡
その他 159㎡	専用エレベーター（B1F）	美術品の搬入用	25㎡
	専用エレベーター機械室	専用エレベーター用の機械設置	14㎡
	専用荷捌スペース	美術品の荷捌スペース	120㎡
合 計			2930㎡

〈建築概要〉

1. 全体概要

種 別／複合ビル内包型 公立美術館
所 在 地／新潟県新潟市万代島5番1号
工事期間／平成12年10月3日～
平成15年3月30日
敷地面積／103,128.93㎡
（万代島一団地認定敷地全体）

建築面積／6,017.37㎡
延床面積／52,585.54㎡
（うち、美術館2930.00㎡）

構造種別／鉄骨鉄筋コンクリート造
階 高／美術館フロア6.3m

2. 建築主体

設 計／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
監 理／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
施 工／鹿島・大成・福田・五洋・本間・東
亜共同企業体

3. 仕上げ（美術館部分のみ）

屋 根／鉄筋コンクリート下地外断熱アス
ファルト防水押えコンクリート鋼製
根太組天然スレート敷
外 壁／プレキャストコンクリート下地アル
ミスバンドレル張り、アルミカーテ
ンウォールふっ素樹脂焼付塗装、プ
レキャストコンクリートカーテン
ウォールふっ素樹脂常乾塗装
内 装／（設備概要を参照のこと）

4. 電気設備

電力引込／3相3線6.6Kv50Hz, 2回線受電,
地中引込
受 変 電／1階サブ変電所。キュービクル式受
変電設備
非常用電源／発電機1台、ディーゼル1000KVA,
蓄電池400AH
電話設備／電話配管（機器、配線は別）
放送設備／非常放送兼用アンプ 1160W,
130回線。美術館業務用アンプ
80w, 5回線

5. 空調設備

熱 源／全体熱源：冷温水発生器（ガス焚）
240RT×2台,
収蔵庫：空冷ヒートポンプ
空 調 機／コンパクトエアハンド7台
単一ダクト
換 気／個別換気
給気ファン1台、排気ファン15台
制御機構／24時間中央温湿度管理システム

6. 昇降機

乗 用／ロープ式 210m／分 定員20名
1,350kg 4基（うち、車椅子仕様1基）
荷 物 用／油圧式
15m／分 3,000kg 1基
テーブルリフター／
リフト0.9m
テーブル2.0m×2.0m 3,000kg

〈設備概要〉

1. 展示室概要

壁 仕 上／不燃プラスターボード、ガラスクロ
ス表面仕上げ。
床 仕 上／フローリング
可 動 壁／不燃プラスターボード、ガラスク
ロス表面仕上げ。L4.0mxH4.5m:
30枚, L2.0mxH4.5m: 26枚,
L2.4mxH4.5m: 4枚。

固定展示ケース／2箇所

（外側）スチール製・高透過ガラス・スチール
製・アクリル焼付塗装、高透過ガラス・
重量キャスター・アジャスター付、シ
リンダー錠付
（内側）低ホルマリン合板、クロス張り。エア
タイト。寸法D18.0m, W 1.2m, H
4.5m。

照 明／全て美術館用UV/IRカットフィルター付
ベース照明：ハロゲンウォール
ウォッシャー200W
展示照明：ローボルトハロゲン
（12V50W）、
ケース内照明：高効率照明器具
（32W）およびローボルトハロゲン
（12V50W）

設定温湿度／春・夏期：23℃，60%，
秋・冬期：20℃，50%
(変動率±3℃，±10%以内)

2. 収蔵庫概要

床 仕 上／フローリング
壁 仕 上／ゼオライトパネル（天井共）
内部寸法／L 11.5m, W 7.5m, 天井 H 3.5m
入口寸法／H 3.0m, W 3.0m
収蔵庫内作品固定方法／収蔵棚
収蔵庫扉の構造及び仕様／スチール製
耐火2時間扉

照 明／高効率照明器具（32W）。美術館用
UV/IRカットフィルター付。

空 調／恒温恒湿パッケージ2台 単一ダクト（VAV）

設定温湿度／春・夏期：20℃，60%，
秋・冬期：20℃，60%
(変動率±2℃，±5%以内)

3. 搬入口関連概要

専用搬入口寸法／H 3.8m, W 5.0m
高位置の接岸ドック／地上からの高さ0.7m
可動接岸ドック／0～0.9mレベルまで
油圧式リフト／最大重量 3000kg
クレーン／最大重量 3000kg
搬入可能なクレートの最大サイズ／
H 3.0m, W 3.0m, D 3.0m
セキュリティ／画像センサー機械警備

荷解室への立入管理／カードリーダー方式電気錠
昇降機内部寸法／L3.6m, W3.0m, 天井H 3.0m

4. 防災設備

消火設備／湿式スプリンクラー（全体）

展示室、準備室、荷解室及び収蔵庫
はハロン消火

感知器の種類／自動煙感知

火災警報への伝達／発信機，非常電話

補助消火栓／搬入場所1基，その他4基

連結送水管／その他2基

消 火 器／搬入場所：粉末ABC

展示室：ハロンガス

その他：粉末ABCおよびハロンガス

5. 防犯設備

監視設備／ITVモニター、ITVカメラ15台

（美術館14台、EV1台）

機械警備設備／画像センサー＋スピーカ

警備会社／SECOM株式会社

使用警報機の種類／画像センサー及び

水銀スイッチ

警報入電場所／館内中央監視盤及び

美術館事務室

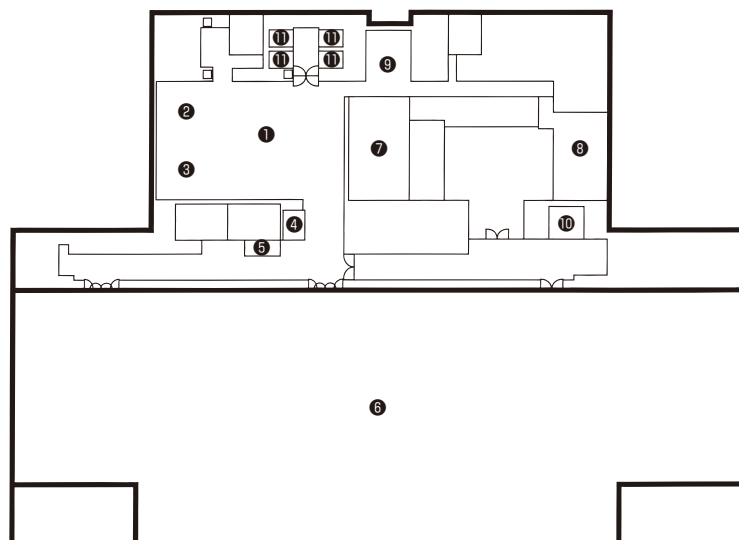
盗難防止ケースの種類／

ガラス・ケースおよび壁面固定ケー

ス全てにシリンダー錠付き

【施設の配置】

- ① エントランスホール
- ② ミュージアムショップ
- ③ ハイビジョンギャラリー
- ④ 情報検索コーナー
- ⑤ 乳児室
- ⑥ 展示室
- ⑦ 収蔵庫
- ⑧ 事務室
- ⑨ ロッカー・自販機
- ⑩ 京作品専用エレベーター
- ⑪ エレベーター



新潟県立近代美術館協議会

【委員】

(平成20年6月1日から平成22年5月31日まで)

●学識経験者

- 市川 政憲 (茨城県近代美術館館長)
- 塚原 正彦 (常磐大学大学院准教授)
- ◎近藤フジエ (新潟大学教育学部教授)
- 本間 ケイ
(新潟県美術家連盟理事・洋画／日展会友)
- 名塚 彰夫
(長岡観光・コンベンション協会事務局長)

●社会教育関係者

- 小林 弘
(長岡市社会教育委員兼公民館運営審議委員会委員／新潟県社会教育協合理事)

●学校教育関係者

- 浅井 俊一
(新潟県中学校教育研究会美術部長／新潟市金津中学校長)
- 三上 祥司
(新潟県高等学校文化連盟美術・工芸専門部委員長／新潟県立小千谷高等学校教諭)

●一般公募

- 渡辺閑晴
(フリー写真家／新潟県医療審議委員会委員／新潟市病院事業運営審議委員会委員)
- 菅原志津子 (主婦)

※◎は委員長、○は副委員長

【日程及び内容】

第1回新潟県立近代美術館協議会

- ・平成20年7月25日午後2時より
- ・近代美術館会議室

委員長、副委員長を選出し、その後、平成20年3月に新潟県美術館外部評価検討委員会より示された報告書「新潟県立近代美術館の経営評価のあり方について」を受けて、県立近代美術館の運営に係わる評価を当該年度より試行的に実施することとなった。それに伴って、近代美術館、万代島美術館の事業運営の概要及び外部評価の経緯等の概要、評価方法、体制、スケジュールなどが説明され、協議の結果、協議会内に評価委員会を設置することが承認された。

第2回新潟県立近代美術館協議会

- ・平成20年11月30日午後2時より
- ・近代美術館会議室

協議会内に設置された評価委員会での実質的な実施方法について検討が行われた。具体的には評価のスケジュールと進め方、自己評価表における指標の目標値の設定、評価報告書の作成、構成と執筆者の選出等が話し合われた。評価報告書の構成としては、近代美術館、万代島美術館の当該年度の自己評価を元に、総括的所見、「1経営に対する評価」「2事業に関する評価」「3利用者満足に関する評価」「4企画展に関する評価」という4分野別に見た自己評価に対する委員評価、そして次年度の事業に対する美術館運営への提言という流れで行うことが了承された。それを受けて、当該年度である平成20年度近代美術館活動実績の中間報告がされ、それぞれ質疑応答が行われた。

新潟県美術品収集委員会

【委員】

- ◎浅野 徹 (名古屋芸術大学教授)
- 尾崎 正明 (東京国立近代美術館特任研究員)
- 草薙奈津子 (平塚市美術館館長)
- 幸福 輝 (国立西洋美術館上席主任研究員)
- 福岡 奉彦 (上越教育大学教授)
- 宮田 亮平 (東京藝術大学学長)
- 本江 邦夫 (多摩美術館大学教授・府中市美術館館長)

*◎は委員長、○は副委員長

【日程及び内容】

平成20年度「新潟県美術品収集委員会」

日 程：平成20年12月25日(木)

内 容：(1) 平成20年度美術品収集について

①収集候補作品の全体説明

- ・近代美術館
- ・万代島美術館

②収集候補作品の内覧

③収集候補作品の協議

(2) その他

新潟県立美術館友の会

新潟県立美術館友の会は、新潟県立近代美術館開館の翌年、平成6年4月8日に「新潟県立近代美術館友の会」として発足。平成15年新潟県立万代島美術館の開館にともない2館共通の友の会組織となり、「新潟県立美術館友の会」と改称した。

会長小柳喜實、以下会員698名。広く美術を愛する人たちを中心として、美術館の活動及び運営に協力するとともに、美術を通じて教養を豊かにし、会員相互の親睦を深め、芸術文化の普及、向上を図ることを目的として活動している。

■会費・会員の種類

一般会員	一般	4,000円	572人
	後期	1,000円	9人
	学生	2,000円	4人
ファミリー会員		10,000円	82人
特別会員	個人	30,000円	1人
	法人	(一口)	30人

■会員の特典

- ・会員証による常設展の無料観覧
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展で使用できる無料観覧券の配布
- ・企画展図録の割引
- ・近代美術館内、万代島ビル内のレストランの割引
- ・友の会会報、美術館便り等の配布
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展開場式への参加

■事業内容

◇友の会だよりの発行

友の会だより…No29：9月5日、No30：1月29日
速報版…4月9日、6月5日、7月2日、9月5日、10月29日、11月27日、1月29日

◇ミュージアムグッズの販売

近代美術館、万代島美術館のミュージアムショップにて、友の会商品を委託販売

◇「ポスター発送作業」近代美術館で開催される 展示会のポスター発送作業への協力

◇「新潟県内博物館等友の会連絡会」加盟団体との連携

◇5月3日～6日「臨時事務局設置」 万代島美術館エントランスロビー

◇5月25日「トークショーに出演」 会場：近代美術館講堂

◇8月9日～13日「こどもアートミュージアムへの参加」

ワークショップ企画：クリエイターに挑戦！
使ってみたいカップとお皿
会場：近代美術館ギャラリー

◇9月9日～23日「290人のクリエイターによるオリジナルカップ&ソーサー展」の開催 会場：朱鷺メッセ アトリウム

◇9月13日～10月19日「植木須美子原画展～友の会会員によるミニ作品展」の開催 会場：近代美術館内レストラン「広告塔」

◇9月18日「バスで行く解説会」の実施 「ポーラ美術館コレクション展」(万代島美術館)「国宝との出会い展」(近代美術館)

◇9月20日「挨拶会～水野名誉館長に伝えたい ありがとうの言葉」 会場：近代美術館 講堂入口

◇9月25日「草取り～美化運動」近代美術館入口

◇9月27日～10月5日「第10回亀倉雄策賞受賞展佐藤卓ならびにJAGDA新人賞作家展への協力」 会場：近代美術館ギャラリー

◇10月15日～16日「富山・石川の美術館巡りの旅」 富山県立近代美術館、富山県立水墨美術館、石川県立美術館、金沢21世紀美術館の4館を鑑賞

◇11月1日～9日「第12回友の会作品展」同時開催「第8回全国高等学校版画選手権大会はんが甲子園」 会場：近代美術館ギャラリー

◇11月3日～12月14日「アートキットであそぼうへの協力」会場：近代美術館企画展示室前ロビー

◇11月15日「朱鷺メッセフリーマーケットへの参加」

◇1月31日～3月6日「グッドデザイン エキシビジョン 千秋通り」(主催：長岡造形大学他)への協力 会場：シネマする街千秋通り特設ギャラリー

自己評価・外部評価報告

●企画展自己評価

【近代美術館】

展覧会名	評点（6点満点）
魅せます！コレクション展	3.9
マティスとルオー	3.6
国宝との出会い	4.7
西洋の美 東洋の美	4.4
国立能楽堂コレクション展	4.6

【万代島美術館】

展覧会名	評点（6点満点）
写真・昭和の肖像	5.1
ポーラ美術館コレクション	5.1
佐藤哲三の時代	6.0

●美術館の自己評価に対する委員評価

第1章 県立近代美術館の自己評価に対する総括的意見

1 平成20年度における美術館運営の全般について

平成20年度は、試行的に実施した評価である。すなわち、目標設定以前に、事業や経営の枠組がすでに決まっていたものである。

それに対して、それぞれの職員が出来る範囲で、事後に設定した使命や目標を勘案しながら、美術館活動の改善が展開された。

評価をすすめるプロセスで、新潟県立近代美術館、万代島美術館ともに、あらゆる職員に、美術館の使命や事業目標の共有は図られたことの意義はきわめて大きなものがある。

その結果、職員の情熱とチームプレーが発揮されることとなり、学芸員を含む美術館職員により、これまで来館者と接しながら各種事業に取り組んだ経験やノウハウが持ち寄られ、人的資源の重要性が明らかにされた。

その一方で、美術館が目指そうとしている使命や社会的役割とそれを達成するために解決すべき課題を発見することができた。

早急に取り組むべき課題としては

- ・先導的な教育コンテンツの創造
- ・地域社会と連携するための組織的対応など
- ・利用者評価の策定

などが明らかになった。

それらの課題を解決するためには、組織の構築や予算化が不可欠であり、それにあわせて、職員の資質の評価とスキルアップを目指す長期的戦略が必要なことが発見させられた。

2 目標設定のあり方について

平成20年度は、美術館が目指すべき使命と社会的な役割と美術館が持っている経営資源を結びつけながら、優先順位を明確にし、事前に設定した目標、計画ではない。

しかし、目標設定のプロセスで、美術館が掲げる使命や社会的な役割があらゆる職員に共有され、いままで見えなかった職員が持っている経験知やノウハウが活かされ、それぞれの事業で改善がはかられたことの意義は大きなものがある。

平成21年度は、今回の目標設定の方法を活かしながらも、今回の評価で明らかになった問題と課題を解決する処方箋を提示したうえで、本来目指そうとしていた評価システムにそって目標を設定することを期待したい。

3 目標に対する達成状況について

評価とは、業績を数値、序列化するために行うものではなく、評価をするプロセスで、経営資源の見直しを行い、未来を創造するヒントを発見するために実施するものである。今回の試行的な評価から発見できた問題と課題について、優先順位を決め、解決にあたり、次年度の経営や事業展開をより良いものに進化成長させていくことを期待したい。

第2章 分野別に見た自己評価に対する委員評価

1 経営に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

「作品鑑賞中心から学びの場、人づくりの場へ」という使命を職員が理解する機会が設定され、それぞれの職員ができる範囲でアイデアを持ち寄り、館をあげて来館者への鑑賞への学習支援が展開された。近代美術館（おおむね4～5）、万代島美術館（5～6）の自己評価であり、達成への道を確実に歩んでいる。中でも、鑑賞活動への支援や分業体制の明確化など学校との連携に大きな成果をあげている。

今後は、引き続き、現場レベルで構築されたノウハウを活かし、来館者の学習支援活動のさらなる進化と成長を目指すためにアンケートの回収率アップの工夫や、来年度に向けてのアウトリーチ活動（現場出張サービス）、予算獲得への長期戦略などの立案体制を構築する必要が望まれる。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

教育普及活動全般の組織的な位置づけが曖昧で、予算づけがされない中において、職員がアイデアを持ち寄り、「作品鑑賞中心から学びの場、人づくりセンターへ」の取組が、効果を上げている。鑑賞活動におけるパワーポイントによるプレゼンテーション（近代美術館）、展示解説、ワークショップなどが自主的に実施されたことは、特筆すべき成果であろう。

また、今までの経験から積みあげてきたノウハウを活かすことで、分業体制を構築し、学校との連携が強化された。その成果として、学校団体数66校、合計2,151人に対する学習支援が実施されたことは、大いに評価することができる。今年度の成果を発展させていくためには、効果的に教員籍の学芸員のコーディネーター機能を活用する組織的な体制を整備する必要がある。万代島美術館にも教育普及を専門とする学芸員の配置が望まれる。

さらには、第二の職員として、友の会やボランティア、ミュージアムショップ、レストランなどの業務スタッフなどを組み入れるなど、今以上に地域社会とより深い関係を築きあげながら、地域社会を美術館に参画させることを視野に入れた取り組みを期待したい。

しかしながら、それらはいずれも職員の情熱や業務改善に期待した取り組みでしかなく、館の意思決定の仕組みや予算づけは、依然として、企画展を中心にした業務構成のままになっている。現在のままで人的資源に依存した経営には限界がある。

来館者の高齢化や固定化が起きており、潜在的な利用者の掘り起しがされていないことは、将来にとって深刻な経営課題である。

それらの課題に対応するためにも、従来の展覧会とは一線を画して、館が丸丸となって、学びや人づくりを目標とした新規事業を構築に努める必要がある。それに対する専門的なスキルや資質を持った人の配置や研修体制の整備、学びや人づくり事業に対する独自の予算付けをするなどの経営システムの改善に着手することが緊要である。

(3) 自己評価に対する総括

美術館の使命として設定した「県民に親しまれる」「学びの場」「生活の中に美をとり入れる」といった課題を達成するためには、展覧会を中心に事業を構築してきた従来の美術館経営のあり方や学芸員の仕事のあり方を大胆に見直し、新規の事業構築に取り組む必要がある。

今年度は、経営評価の初年度であり、全職員がこれまで蓄積してきた経験やノウハウを持ち寄ることで、全館的な視点にたって、美術館の経営資源の見直しを行うことができた。その結果、設定した使命や目標を達成するために着手すべき課題が明らかになり、それらが、あらゆる職員に共有されたことの意義は大きなものがある。

また、「美術作品は、静かに、じっくりと、個々に鑑賞するものである」という考え方を時には変えてみることも必要なのではないか。連れ同士作品鑑賞についてささやきあったり、館員が声をかけて作品の解説をする等は、美術館の使命「県民に親しまれる」「学びの場」「生活の中に美を取り入れる」からすれば必要なことではないか。これらのことから解説ボランティアの養成に着手したことは、評価に値する。今後の養成の成果とボランティアの活躍に期待している。

2 事業に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

県財政が厳しい中、美術館でも事業の優先順位や費用対効果の視点が求められている。美術館の社会教育施設としての使命のほか、地域の芸術文化の創造を推進する中心としての機能が求められており、一定期間の活動について、より具体的な運営戦略に基づき、着実な目標達成が期待されている。そのような観点から鑑みると、自己評価では、達成度5項目平均で近代美術館65%、万代島美術館86%であるが、改革のための事業に挑むという難易さから考えると、両館ともに50%以上の数値を残したことは素晴らしい。

また近代美術館は、「交流事業」が最も成功している反面、「創造事業」が課題であることが伺える。一方、万代島美術館は、5項目全てが高い数値である。特に「交流事業」は改善の余地なしという数値を示している。しかし、付帯施設や環境条件の整わない万代島美術館において、「交流事業」の中の「北東アジアから誘客を図りブランド力をつける」が事業の大切な柱になるものと考ええる。

なお、「未実施」という事業があり、今後、未実施ということに対し、取り組むべきなのかカットすべきなのか、の見解を根拠とともに明らかにする必要がある。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

両美術館ともに、「交流」に関する事業の達成度が高い。しかし、「キャリア教育の場としての活用を図る」という事業内容に対して「職場体験受入人数=20人」という達成目標値を設定するなど、達成目標値がこれまでの実情から設定された感がある。もし「交流」に改革の力点をおくのなら、その意を汲んだ事業を考案し、より高い目標値の設定が必要と考える。

そうした目標設定に課題は残るが、取り組みを見ていけば、企画展については、他館との共同開催の企画についても、本県民への独自の素材を用いた展示やプレゼンテーションなど、館の独自の取り組みが行われている点は評価できる。企画展示とともに、多様なギャラリートークなど、学識者の招聘による講演会・講座、映画会などの取り組みも評価される。特に学芸員の講座や解説等が内容的に優れたものであり、多様な観客層に配慮したわかりやすさや親しみやすさなどは、展示された作品群と観る者の距離を縮めるのに役立ち、そのような基本的で地道な努力こそが重要である。

予算の面でいろいろ制約がある中、一定数の企画展を開催し、解説会、講演会など、設定された数値目標の達成のために、多様な広報活動や働きかけを行っていることは評価される。とりわけ、地域の学校や県民の芸術への関心を掘り起こすために、ワークショップの開催や展覧会の紹介記事の執筆等において、マンパワーの活用が認められる。

館独自の企画展「佐藤哲三展」は研究上興味深い企画で、数字が伸びていなくとも追求すべき課題ということができる。時期的に児童生徒が動員できないこととか、冬場は人の動きが鈍化することもあるだろう。さらに、現場の美術教員にとって果たして関心あるテーマであったかどうか、リサーチを経て、企画を立てる工夫も必要である。

(3) 自己評価に対する総括

近代美術館と万代島美術館では、外的な条件からも両者の違いが出てくようが、美術館の規模やその役割の把握から、後者において業務や企画に一段の工夫が凝らされていることが自己評価表からも明らかになった。

しかしながら、今回の自己評価は、「まず戦略ビジョンが先にあり、それに応じた今までの取り組みを割り振り、その後目標値を設定する」という形であると読み取れる。従って、戦略ビジョンによる現状の分析という機能が中心にあると考える。定性評価は無くすことも含め目標値の意図するものを再考の上、5つの戦略ビジョンのどれが重要・優先事項であるのかなどを明らかにすることを期待する。

3 利用者満足に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

館の経営環境は厳しく、多くの制約の中での業務遂行は困難が多いと推察できる。この状況下において、「1 利用者のニーズ」、「3 利用者の生涯価値」、「4 サービスデザイン」の達成状況は、まずまずの結果であると思う。「4 サービスデザイン」では、きめ細やかな配慮がされており、利用者は高い満足が得られているものと思う。万代島美術館では、限定された環境の中で最大限の努力と工夫をしている。

展覧会は、単に美術鑑賞だけでなく、ひとつの感動体験であるので、心に残った体験、あるいは非日常体験をしたと感じた人はリピーターとなると思われるが、顕在的利用者のアンケートの回答率は低く、もう少ししっかりとしたニーズを把握してほしい。

「2 潜在的な利用者の把握」に関しては、実施目標の無作為抽出のアンケートが実施できず評価は1と残念な結果に終わっている。

潜在的な利用者の把握はとても重要なテーマである。館に課せられた大目標のひとつである来館者数や収支の改善向上を図るためには、リピーターへのアプローチだけでは限界があり、より強力に新規利用者の開拓が求められる。そのためには、彼らがどんな人たちであり、また館に何を求めているのかを知る客観的なデータを持つ必要がある。これを把握し有効に利用することにより、多くの人たちに支持される館の運営が可能になる。具体的には、企画展のターゲット設定が的確になり、その広報や関連事業にも、ターゲットの特性に合わせた方法を取り入れられるなど、効率的且つ効果的な行動を起こすことができるようになる。

しかしながら、精度の高い無作為抽出アンケートを行うには、膨大な時間と労力と情報、専門的ノウハウが必要とされ館独自での実施は難しい。よって、先行投資として予算化を検討することも必要ではないかと思う。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

テーマ「1 利用者のニーズ」に関しては、開館16周年を迎える館としては、内容が初歩的、基本的なレベルに留まっており、少々物足りなさを感じている。しかし、設定された評価項目と取り組み内容は整合性が取れており、妥当と評価しても良いと思う。また、取り組みの主体をアンケートとしているが、利用者のニーズ把握の方法としては一定の効果があると思う。しかし、ただアンケートを取るだけでなく、内容や形式（インタビュー形式やインターネットを使う）などを工夫し、回答率を高めるためには動機付けをする必要があるのではないかと思う。また、次の段階としてアンケートの結果をどのように分析するか、またそれを日々の業務にどのようにフィードバックさせるかなど、把握したものを効果的に活かす取り組みを期待している。

企業が行っているニーズ把握の成功事例からいえば、アンケートだけに頼らず自身の目、耳で利用者のニーズをリサーチする試みは効果的である。利用者は自身のニーズに合わせて行動する傾向があるし、現場で見たことが利用者のニーズそのものである。

万代島美術館に関しては、クレームや疑問への対応を重視している点を高く評価したい。特にクレームは、利用者の生の声であり、被害を回復したいというニーズの現れである。これらの対応だけでなく、それをどのように業務に反映させるか、また館全体で共有し活かす仕組みづくり（データベース化など）が必要であると思う。また、無理難題やクレーマーに対応するための基準やルールを整備してほしい。

「3 利用者の生涯価値」については、館の使命を考えればもっと以前に取り組みべき内容ではなかったかと感じている。効果としては、利用者への効果もさることながら、館側に利用者の生涯価値を考え高めるといった視点を植えつけ、その視点で今までの事業のあり方や方法を見直すことができたという意味では、効果は大きいのではないかと思う。

「4 サービスデザイン」については、効果的な取り組みが多く工夫もされていると思う。利用者には適切な解説の補助が必要であり、特に、近代美術館で行ったクイズ、投票などは利用者との関係性を双方向型に導く効果的な取り組みであり高く評価したい。このような取り組みが利用者との関係を強め、リピーターを増やす効果に大きく影響すると思う。万代島についても、「感動体験」をキーワードにして会場の構成に気を配るなど、鑑賞から一歩踏み出した試みは評価に値する。ま

た、利用者の満足にも大きく貢献していると考えられる。

(3) 自己評価に対する総括

近代美術館は、これまでの努力の蓄積が高いサービスを生んでいる。しかし開館16周年という館のキャリアを考えると、成熟期にある美術館でありながら本評価での取り組み内容は基本的、初歩的なものが多く、発展性や独自性に欠けていたように感じる。

本来であれば、この15年の間に培った実績をバックグラウンドに、よりレベルの高い、また創意工夫された先進的な取り組みが出来たのではなかったかと思う。万代島美術館に関しても、近代美術館のノウハウや実績を共有できる恵まれた環境をフルに活かした展開が期待できたのではないだろうか。

成熟期と言い換えれば「転換期」である。館には、より良い未来を迎えるための「変化」を期待している。

4 企画展に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

各企画展の「事業目標・ねらい」が述べられているが、その記述は、展覧会の内容、何を見せるかの説明に終わっているように思える。ここは、美術館がどのような美術館であろうとするのか、組織としての意志を展開する戦略上に立てられる企画展の目標が述べられるべきであろう。いま評価の対象とされているのは、美術館という組織そのもののためであり、組織の存在自体が問われているのである。何を行っているかの前に、どのような考えで行っているか、活動のもとにある意思をさまざまなかたちで示すことは、意味のある評価のためには不可欠なことであるが、いまだ評価への体制は緒についたばかりで、これからの課題となろう。

なお、近代美術館の「マティスとルオー」の達成状況が低く、自己評価がかなり悲観的ではあるが、これが新潟県の実態意識と見たほうがよいと思われる。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

平成20年度の8つの企画展のうち、美術館が主体的に組織した展覧会は、近代美術館の開館15周年記念のコレクション展と、万代島美術館の「佐藤哲三展」の二つで、ほかは、セットされた巡回展もしくは他館のコレクションの紹介展である。いま、多くの公立美術館の企画展がこうしたセットもの展覧会に流れがちな傾向は、全国各地に県立美術館がつくられるようになって20年、美術館を中核的に支える学芸員の地位が確立されず、学芸員の資質の向上も制度的に図られてこなかった結果と言わざるをえない。それに加えて昨今の財政状況では、学芸的負担の少ないセットものの展覧会の開催もやむを得ないところではあるが、

その場合には、美術館が立案から主体的に企画した自主企画展とは異なるものとして、それなりの取り組みをしないと、美術館は、単なる「展覧会場」でしかなくなり、ひとつの組織としての意思をもつ「美術館」という存在が霞んでしまう。

「作品」ではなく「展覧会」を見るとはどういうことか、学芸員は考える必要があり、それなくして、広報の面での戦略的メッセージは発せられない。作品や作家の名前でアピールしようとするのには限界がある。ブランド名によらない広報への努力がなされているだろうか。

アンケートの満足度調査というものに意味があるとすれば、それは、無回答を含めてのネガティブな回答にあり、それは数値以上の重みをもつ。同時にまた「否」の表明をもって回答してくれた人たちは、美術館という公共の「間」に参加する意思をもつ、美術館にとっては信頼すべき人たちである。どの展覧会でも10%程度を占めるこの批判的な人々について、美術館は、彼らが何ゆえに「否」と答えたかを、考えてみる必要がある。

関連イベントは充実し、高く評価したいが、現状では規模や数が限界に近いように思われた。県民に対するサービスはさまざまなかたちでなされているが、それで手いっぱいという感じをもつ。組織としての意思が定かでないため、残念ながら新潟県の実態意識は、全国にある県立美術館のひとつ以上の、独自の存在として見えてはこない。毎年一回は独自の企画展を組むということも、その存在をアピールする方法ではあるが、そればかりではなく、開館15周年を迎えた美術館として、ひとつの過去を歴史として、そこから何を財産として継承し、何を負債としてどう変えていこうとしているのか、組織としての意思が見えてこないことが、「否」と答えた人たちの思いであろう。

主な企画展では、「マティスとルオー」は、専門性が強かったと思うが、名を知る人にとっては、作品鑑賞とともに新しい角度で作家や作品を知ることができ「まなび」の成果はあったと考える。新たな視点を提示することで、美術館の専門性、独自性についての信用や支持を高めた。また今後も作家・作品は勿論のこと、他の分野とも関連させて多面的に捉えていくことで「創造」・「交流」がより深まるものとする。

「国立能楽堂コレクション」は、日ごろ親しみのない能楽が総合的に紹介され、また関連行事も充実していた。「独自性の盛り込み」に課題を残すが、文化財の研究、情報の収集蓄積を継続することで将来、新しい視点で観覧できるようになると思われる。また県内の文化財の紹介、再評価、再発見につながり、人的交流や地域の活性化が促進されるものとする。

「国宝との出会い」「国立能楽堂コレクション展」は、少し対象が限定的でマニアック的であったと思われる。

万代島美術館の「佐藤哲三の時代」は、一人の地元作家の生きた時代や地域、人物などを放射状に展開して提示する手法をとり、現在の多様化し

ている文化や観覧者に対応できるものとして高く評価したい。入館者数が想定の半分ではあっても、「社会的使命」を十分に果たしており、長期的な評価にも耐え、多くの県民の信用や支持を得ているものとする。

(3) 自己評価に対する総括

実績報告と自己評価表から、まず感じることは、「美術館」というひとつの組織としての意思が共有されているか、その所在が見えにくいことである。セットものの展覧会においては、自主企画の場合以上に学芸員が前面に出て行かないと、借り物の展覧会を見せられている感が拭えない。こうした展覧会の場合は、担当学芸員は、企画者になり代わって代弁するのではなく、企画者と鑑賞者の間に、批判的精神をもった媒介者として、企画者の視点から一歩ずらした視点や切り口をもって参加していく必要がある。セットとして用意された筋書きをなぞるのではなく、それとのすれをはらんだ異論（反論ではなく）を付け加えていくことができれば、セットものであっても、その展覧会はひとつの開かれた「間」として、鑑賞者も参加できる場を創出できよう。

全体に「経営評価のあり方」と評価項目に従って、きちんと自己評価と総括がされており、全体として実績や内容の充実度は高いと判断する。

【参 考】

「新潟県立近代美術館の経営評価のあり方について」

（平成20年4月 新潟県立美術館外部評価検討委員会から新潟県教育委員会への報告）

〈新潟県立近代美術館の社会的使命〉

広く新潟県民と新潟を訪れた人のために、新潟県固有の文化の価値を見直し、併せて未来に継承すべきコレクションの充実と研究、活用、普及を通じて、多様な美術館活動を開発、提供し、創造力溢れる人材の育成に取り組み、地域の人々と協働しながら、県民の誇りとなる新潟県の文化を発信する。



沿革

《新潟県立近代美術館》

昭和63年度予算で美術館建設調査費計上
昭和63年12月
「新潟県美術品収集基金条例」制定
平成元年10月
新潟県美術館建設基本構想を策定
平成2年3月
新潟県美術館建設基本計画を策定
平成2年3月
県立近代美術館建設の設計者選考方式を指名設計競技（コンペ）に決定
平成2年3月
指名設計競技の参力口設計事務所5社を決定
平成2年7月
県立近代美術館建設指名設計競技審査会開催
（株）日本設計の作品が入選
平成2年8月
設計業務の委託を（株）日本設計と契約
平成3年2月
県立近代美術館建設の実施設計策定
平成3年5月
県立近代美術館建設工事入札
大成・吉原・小杉特定共同企業体等が落札
平成3年7月
県議会で建設工事の契約承認
平成3年7月
新潟県立近代美術館の建設着工
平成4年12月
県立近代美術館建設本体工事完了・引き渡し
平成5年3月
新潟県立近代美術館条例公布
平成5年4月
新潟県立近代美術館発足
平成5年7月
開館

《新潟県立近代美術館万代島美術館》

平成12年8月
新潟県新美術館基本構想を発表
平成13年2月
新潟県新美術館基本計画を策定
平成13年4月
新潟県新美術館開設準備室発足
平成14年8月
新美術館の名称を一般公募により「新潟県立万代島美術館」と決定
平成15年3月
朱鷺メッセ万代島ビル竣工
平成15年4月
新潟県立近代美術館万代島美術館発足
平成15年7月
開館

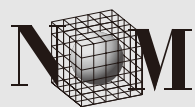


平成20年度
新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館 年報

編集 新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館

印刷 北越印刷株式会社

発行 平成21年12月28日



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum